

# 津市立修成小学校長寿命化改修工事

図面リスト							
図面番号	建築工事	図面番号	建築工事	図面番号	建築工事	図面番号	電気設備工事
A - 01	改修特記仕様書 (1)	A - 25	3階廊下 展開図	A - 49	エレベーター廻り構造詳細図	E - 01	電気設備工事 特記仕様書 (1)
A - 02	改修特記仕様書 (2)	A - 26	階段 平面詳細図	A - 50	エレベーター詳細図 (1)	E - 02	電気設備工事 特記仕様書 (2)
A - 03	改修特記仕様書 (3)	A - 27	1階・2階 天井伏図	A - 51	エレベーター詳細図 (2)	E - 03	電気設備工事 特記仕様書 (3)
A - 04	改修特記仕様書 (4)	A - 28	3階・R階 天井伏図	A - 52	エレベーター詳細図 (3)	E - 04	電気設備 配置図
A - 05	改修特記仕様書 (5)		特別教室管理棟	A - 53	エレベーター詳細図 (4)	E - 05	照明器具・弱電機器姿図
A - 06	改修特記仕様書 (6)	A - 29	特別教室管理棟・渡廊下 仕上表	A - 54	エレベーター詳細図 (5)	E - 06	特別教室管理棟 1階 平面図 (改修後)
A - 07	付近見取図・配置図	A - 30	特別教室管理棟 1階平面図 (改修前・改修後)	A - 55	エレベーター詳細図 (6)	E - 07	特別教室管理棟 電気設備図
	普通教室棟	A - 31	特別教室管理棟 2階平面図 (改修前・改修後)		渡り廊下	E - 08	特別教室管理棟 1・2・3階 電灯設備図 (改修前・改修後)
A - 08	普通教室棟 仕上表	A - 32	特別教室管理棟 3階平面図 (改修前・改修後)	A - 56	1階平面・断面詳細図 (改修前)	E - 09	特別教室管理棟 1・2・3階 放送・火災報知設備図 (改修前・改修後)
A - 09	普通教室棟 1階・2階平面図	A - 33	職員玄関 平面・断面詳細図 (改修前・改修後)	A - 57	1階平面・断面詳細図 (改修後)		
A - 10	普通教室棟 3階・R階平面図	A - 34	職員玄関 展開図 (改修前・改修後)	A - 58	3階平面・断面詳細図 (改修前)	図面番号	機械設備工事
A - 11	普通教室棟 北立面図・西立面図・東立面図	A - 35	倉庫・廊下 1階平面詳細図 (改修前・改修後)	A - 59	3階平面・断面詳細図 (改修後)	M - 01	機械設備工事 特記仕様書 (1)
A - 12	普通教室棟 南立面図	A - 36	倉庫・廊下 2階平面詳細図 (改修前・改修後)	A - 60	3階 新設70°断面詳細図	M - 02	機械設備工事 特記仕様書 (2)
A - 13	断面詳細図 1 (改修前・改修後)	A - 37	倉庫・廊下 3階平面詳細図 (改修前・改修後)	A - 61	断面詳細図 (改修前・改修後)	M - 03	凡例・樹リスト・衛生器具表・換気機器仕様書
A - 14	断面詳細図 2 (改修前・改修後)	A - 38	倉庫 7'平面詳細図 (改修後) 撤去・新設 詳細図		普通教室棟・特別教室管理棟・渡り廊下棟 共通	M - 04	給排水衛生設備 特別教室管理棟 1階平面図 (改修前・改修後)
A - 15	東昇降口 平面詳細図・展開図	A - 39	倉庫 A-A' 断面詳細図 (改修前・改修後)	A - 62	1階 建具キープラン	M - 05	給排水衛生設備 特別教室管理棟 1階平面詳細図 (改修前・改修後)
A - 16	西昇降口 平面詳細図・展開図	A - 40	倉庫 B-B' 断面詳細図 (改修前・改修後)	A - 63	2階 建具キープラン	M - 06	給排水衛生設備 特別教室管理棟 2階平面詳細図 (改修前・改修後)
A - 17	普通教室 a 平面詳細図・展開図	A - 41	倉庫 C-C' 断面詳細図 (改修前・改修後)	A - 64	3階・R階 建具キープラン	M - 07	給排水衛生設備 特別教室管理棟 3階平面詳細図 (改修前・改修後)
A - 18	普通教室 b 平面詳細図・展開図	A - 42	倉庫 展開図 (改修前)	A - 65	建具表 (1) (改修前・改修後)	M - 08	空調換気設備 特別教室管理棟 1.2.3階平面図 (改修後)
A - 19	普通教室 c 平面詳細図・展開図	A - 43	倉庫 展開図 (改修後)	A - 66	建具表 (2) (改修前・改修後)		
A - 20	理科室 平面詳細図・展開図	A - 44	廊下 (倉庫周り) 展開図 (改修前)	A - 67	外部仮設計画図 [参考]		
A - 21	パソコン室 平面詳細図・展開図	A - 45	廊下 (倉庫周り) 展開図 (改修後)	A - 68	内部仮設計画図 [参考]		
A - 22	家庭科室 平面詳細図・展開図	A - 46	倉庫・廊下 1階天井伏図 (改修前・改修後)				
A - 23	1階廊下 展開図	A - 47	倉庫・廊下 2階天井伏図 (改修前・改修後)				
A - 24	2階廊下 展開図	A - 48	倉庫・廊下 3階天井伏図 (改修前・改修後)				



③ 防水改修工事

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Includes sections for 1 アスファルト防水, 2 改質アスファルトシート防水, 3 合成高分子系ルーフィングシート防水, 4 塗膜防水, 5 既存防水層表面の仕上塗料の除去.

Table with 4 columns: 種類, 材種, 施工箇所. Includes sections for 6 シーリング, 7 とい, 8 アルミニウム製笠木, 4 外壁改修工事.

Table with 4 columns: 種類, 材種, 施工箇所. Includes sections for 3 改修工法等, 9 樹脂注入工法, 10 シール材充填工法, 11 充填工法, 12 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法, 13 アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法, 14 アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法, 15 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法, 16 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法, 17 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法, 18 タイル部分張替え工法, 19 タイル張替え工法, 20 タイルの種類, 21 目地ひび割れ部改修工法, 22 伸縮調整目地改修工法.

<p>④ 塗り仕上げ (4.2.2)(10) (表4.2.4(その1) (その2))</p>	<p>種類</p> <p>呼び名</p> <p>仕上げ形状</p> <p>工法</p>	<p>薄付け仕上塗材</p> <p>外装薄塗材E</p> <p>( )</p>	<p>砂壁状</p> <p>ゆず肌状</p> <p>平たん状</p> <p>凹凸状</p> <p>吹付け</p> <p>こて</p> <p>ローラー</p> <p>吹付け</p> <p>こて</p>																																						
	<p>厚付け仕上塗材</p> <p>外装厚塗材C</p> <p>( )</p>	<p>吹放し</p> <p>凸部処理</p> <p>平たん状</p> <p>凹凸状</p> <p>ひき起し</p> <p>掻き落とし</p> <p>吹付け</p> <p>こて</p>	<p>外装厚塗材Si</p> <p>外装厚塗材E</p> <p>( )</p>	<p>吹放し</p> <p>凸部処理</p> <p>平たん状</p> <p>凹凸状</p> <p>ひき起し</p> <p>ローラー</p>																																					
	<p>複層仕上塗材</p> <p>複層塗材E</p> <p>複層塗材RE</p> <p>防水形複層塗材E</p> <p>防水形複層塗材RE</p> <p>( )</p>	<p>吹放し</p> <p>凸部処理</p> <p>平たん状</p> <p>凹凸状</p> <p>ひき起し</p> <p>ローラー</p> <p>吹付け</p> <p>こて</p> <p>ローラー</p>	<p>可とう形改修用仕上塗材</p> <p>可とう形改修塗材E</p> <p>可とう形改修塗材RE</p> <p>可とう形改修塗材CE</p> <p>( )</p>	<p>吹付け</p> <p>ローラー</p> <p>吹付け</p>																																					
	<p>外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所重量 ( kg/m2)</p> <p>マステック塗材塗り ・ A種 ・ B種</p> <p>複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p>	樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	<p>外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外壁用塗膜防水材</td> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	仕上げの形状	工法	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け	・ 凸部処理		・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																							
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																							
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																							
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																							
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																							
・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																							
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																							
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																							
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																							
・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																							
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																							
種類	仕上げの形状	工法																																							
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け																																							
	・ 凸部処理																																								
	・ ゆず肌状	・ ローラー																																							
	・ さざ波状																																								
<p>(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)</p>	<p>既着塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 集じん機付き超高压水洗工法 (100Mpa以上)</td> <td>普通教室棟 外壁</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離工法</td> <td>普通教室棟 階段室</td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法 (○) 高压ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ</td> <td>普通教室棟 中木</td> </tr> </tbody> </table> <p>下地調整</p> <p>・ C-1 ○ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ( )</p>	工 法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 集じん機付き超高压水洗工法 (100Mpa以上)	普通教室棟 外壁	・ 塗膜はく離工法	普通教室棟 階段室	・ 水洗い工法 (○) 高压ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ	普通教室棟 中木																														
工 法	処理範囲																																								
・ サンダー工法																																									
・ 集じん機付き超高压水洗工法 (100Mpa以上)	普通教室棟 外壁																																								
・ 塗膜はく離工法	普通教室棟 階段室																																								
・ 水洗い工法 (○) 高压ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ	普通教室棟 中木																																								

<p>7 網戸 (5.2.3)(5)</p>	<p>・ 可動式 ・ 固定式</p> <p>防虫網の材質</p> <p>・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製</p> <p>網目</p> <p>・ 16メッシュ ・ 18メッシュ</p>
<p>8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)</p>	<p>外部に面する樹脂製建具の性能等級等</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )</p> <p>ガラス ・ 複層ガラス ・ ( )</p> <p>建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>水切り ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>せん板 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号: )</p>
<p>9 鋼製建具 (5.4.2)</p>	<p>鋼製建具の性能等級</p> <p>○ 簡易気密性ドアセット</p> <p>・ 外部に面する建具の耐風圧</p> <p>・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級 )</p>
<p>(5.4.4)</p>	<p>・ H2400又はH950の建具</p> <p>鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: ) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による</p>
<p>10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3)(1) (5.2.3)(1)</p>	<p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <p>○ 簡易気密性ドアセット</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級 )</p> <p>・ H2400又はH950の建具</p> <p>鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: ) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による</p>
<p>11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)</p>	<p>表面仕上げ</p> <p>○ 焼付塗装</p> <p>・ ビニル被覆鋼板</p> <p>・ カラー鋼板</p> <p>・ ステンレス鋼板 ( ・ HL ・ 鏡面)</p> <p>・ ( )</p> <p>ステンレス製建具の性能等級</p> <p>・ 簡易気密性ドアセット</p> <p>・ 外部に面する建具の耐風圧</p> <p>・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級 )</p>
<p>(5.6.3)</p>	<p>材料 ・ SUS304 ・ ( )</p>
<p>(5.6.4)</p>	<p>表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( )</p>
<p>(5.6.5)</p>	<p>曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p>
<p>12 建具用金物 (5.7.2)</p>	<p>金物の見え掛かり部等の材質等</p> <p>○ 改修標準仕様書 (表5.7.1)による</p> <p>・ 図示 (図面番号: )</p>
<p>(5.7.4)</p>	<p>マスターキー ・ 製作する ○ 製作しない</p> <p>引渡用鍵箱 ・ 必要 ○ 不要</p>
<p>13 自動ドア開閉装置 (5.8.2)</p>	<p>駆動装置及び検出装置の性能値 ( ・ 多機能トイレ出入口 )</p> <p>・ 図示 (図面番号: )</p>
<p>(5.8.3) (表5.8.4)</p>	<p>引き戸用検出装置の種類</p> <p>・ 図示 (図面番号: )</p>
<p>(5.8.3)(7)</p>	<p>凍結防止措置 ・ あり ・ なし</p>
<p>14 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)</p>	<p>自閉式上吊り引戸装置の性能値</p> <p>○ 改修標準仕様書 (表5.9.1)による ・ ( )</p>
<p>15 重量シャッター (5.10.2)</p>	<p>種類</p> <p>・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター</p> <p>・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター</p> <p>耐風圧強度 ( Pa以上)</p> <p>開閉機能</p> <p>・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式</p>
<p>(5.10.2)(3) (表5.10.1)</p>	<p>一般重量シャッターのシャッターケース</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )</p>
<p>(5.10.2)(6) (5.10.3)</p>	<p>開閉形式</p> <p>・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式</p> <p>耐風圧強度 ( Pa以上)</p>
<p>16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)</p>	<p>スラットの材質及び形状</p> <p>・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形</p> <p>・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( )</p> <p>JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ( )</p>

<p>17 オーバーヘッドドア (5.12.2)</p>	<p>型式及び機構</p> <p>セクション材料</p> <p>・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</p> <p>耐風圧強度 ( Pa以上)</p> <p>開閉方式</p> <p>・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</p> <p>収納形式</p> <p>・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</p> <p>(5.12.3)</p> <p>ガイドレール</p> <p>・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>・ 図示 (図面番号: )</p>																																																																																											
<p>18 板ガラス (5.13.2)(1) (5.13.4)</p>	<p>○ シーリング ・ ガスケット ( )</p>																																																																																											
<p>19 ガラス留め材 (5.13.2)(2)</p>	<p>・ 図示 (図面番号: )</p> <p>○ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による</p>																																																																																											
<p>20 ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)</p>	<p>・ 図示 (図面番号: )</p> <p>○ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による</p>																																																																																											
<p>21 ガラスブロック積み (5.13.5)</p>	<p>ガラスブロック</p> <p>表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>化粧カバー ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>工法 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。</p>																																																																																											
<p>⑥ 内装改修工事</p>	<p>1 一般事項 (6.1.3)(2)</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 天井</td> <td>○ 図示 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>○ 壁</td> <td>○ 図示 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>○ 床</td> <td>○ 図示 ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.1.3)(3)</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲</p> <p>○ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</p> <p>(6.1.3)(5)</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修</p> <p>○ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</p>	改修部分	改修範囲	○ 天井	○ 図示 ・ ( )	○ 壁	○ 図示 ・ ( )	○ 床	○ 図示 ・ ( )																																																																																			
	改修部分	改修範囲																																																																																										
	○ 天井	○ 図示 ・ ( )																																																																																										
	○ 壁	○ 図示 ・ ( )																																																																																										
	○ 床	○ 図示 ・ ( )																																																																																										
	<p>2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(7)</p> <p>既存床仕上げ材の除去等</p> <p>浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去</p> <p>○ 行う ・ 行わない</p> <p>(6.2.2)(1)(4)</p> <p>合成樹脂塗リ床材の除去等</p> <p>・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法</p> <p>(6.2.2)(3)</p> <p>改修後の床の清掃範囲</p> <p>○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲</p> <p>( )</p>																																																																																											
	<p>3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法</p> <p>○ ( 既設同等 )</p>																																																																																											
	<p>4 木下地等 (6.5.1)(3) (表6.5.1) (表6.5.2)</p> <p>表面仕上げ</p> <p>機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種</p> <p>木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>○ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>製材「製材の日本農林規格」による製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>○ 図示</td> <td>○ ( 2級 )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>○ ( C-D )</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ (図面番号: A-38 )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ (図面番号: )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ (図面番号: )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <p>樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( )</p> <p>樹種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6.5.2)(2)(4) (6.5.2)(2)(9) (表6.5.4)</p> <p>造作用集材材</p> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名 ・ 樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集材材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(図面番号: )</td> <td>(図面番号: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(図面番号: )</td> <td>(図面番号: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集材材</td> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(図面番号: )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部材名称	種 別	下地材	○ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用	○ 図示	○ ( 2級 )	・ ( )	・ ( )	○ ( C-D )	針葉樹製材	・ (図面番号: A-38 )					造作用	・ 図示					針葉樹製材	・ (図面番号: )					広葉樹製材	・ 図示						・ (図面番号: )					部 位	樹 種	県 産 材													部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集材材	・ 図示	・ 図示			(図面番号: )	(図面番号: )		化粧ばり造作用集材材	・ 図示	・ 図示			(図面番号: )	(図面番号: )		化粧ばり構造用造作用集材材	・ 図示				(図面番号: )		
	部材名称	種 別																																																																																										
	下地材	○ A種 ・ B種																																																																																										
造作材	・ A種 ・ B種																																																																																											
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																																																																																							
下地用	○ 図示	○ ( 2級 )	・ ( )	・ ( )	○ ( C-D )																																																																																							
針葉樹製材	・ (図面番号: A-38 )																																																																																											
造作用	・ 図示																																																																																											
針葉樹製材	・ (図面番号: )																																																																																											
広葉樹製材	・ 図示																																																																																											
	・ (図面番号: )																																																																																											
部 位	樹 種	県 産 材																																																																																										
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																																																																									
造作用集材材	・ 図示	・ 図示																																																																																										
	(図面番号: )	(図面番号: )																																																																																										
化粧ばり造作用集材材	・ 図示	・ 図示																																																																																										
	(図面番号: )	(図面番号: )																																																																																										
化粧ばり構造用造作用集材材	・ 図示																																																																																											
	(図面番号: )																																																																																											
<p>(6.5.2)(3)(7)</p>	<p>造作用集材材</p> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名 ・ 樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集材材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(図面番号: )</td> <td>(図面番号: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(図面番号: )</td> <td>(図面番号: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集材材</td> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(図面番号: )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集材材	・ 図示	・ 図示			(図面番号: )	(図面番号: )		化粧ばり造作用集材材	・ 図示	・ 図示			(図面番号: )	(図面番号: )		化粧ばり構造用造作用集材材	・ 図示				(図面番号: )																																																																	
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																																																																									
造作用集材材	・ 図示	・ 図示																																																																																										
	(図面番号: )	(図面番号: )																																																																																										
化粧ばり造作用集材材	・ 図示	・ 図示																																																																																										
	(図面番号: )	(図面番号: )																																																																																										
化粧ばり構造用造作用集材材	・ 図示																																																																																											
	(図面番号: )																																																																																											

(6.5.2)(3)(4) 「集成材の日本農林規格」以外の製材  
樹種、寸法、見付け材面の品質 図示(図面番号: )  
含水率 1.5%以下 ( )

(6.5.2)(4)(7) 造作用単板積層材  
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材  
部位 品名・寸法 表面の品質 防虫処理  
造作用単板積層材 図示(図面番号: ) ( ) ( )

(6.5.2)(4)(4) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材  
寸法、表面の品質、防虫処理 図示(図面番号: )  
含水率 1.4%以下 ( )

(6.5.2)(5) 「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材  
品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 図示(図面番号: )

(6.5.2)(6) 合板等  
品名(品目) 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ  
耐水合板 1類 2級 C-D 12mm

(6.5.3)(1) 接合具等  
造作用化粧面の釘打ち 隠し釘打ち ( )

(6.5.3)(2) 諸金物  
形状、寸法及び材質 図示(図面番号: )

(6.5.5)(1) 防腐、防蟻処理  
適用部位 図示(図面番号: )  
保存処理性能区分 ( )  
薬剤の塗布等の処理方法 ( )  
附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 適用する(・薬剤の種類( )・適用部材( ))  
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ( )

(6.5.5)(2) 防虫処理  
図示(図面番号: )

野縁等の種類  
屋内 19形 ( )  
屋外 25形 ( )

形式及び寸法  
屋外 図示(図面番号: )  
耐震天井 図示(図面番号: )  
ふところ≥1.5m 改修標準仕様書(6.6.4)(8) 図示(図面番号: )

(6.6.4) 既存埋込みインサート  
使用する 使用しない(※使用する場合は、確認試験を行う)  
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験  
行う(図面番号: ) 行わない  
確認試験の箇所数(箇所) 確認強度( )  
耐震性・耐風圧性を考慮した補強  
図示(図面番号: )

(6.7.3) 軽量鉄骨壁下地  
スタッド、ランナー等の種類  
図示(図面番号: )

材料  
ビニル床シート【JIS A 5705(ビニル系床材)】  
種類の記号 色柄 厚さ 備考  
FS マブル 2.5mm

(6.8.2)(2) ビニル床タイル【JIS A 5705(ビニル系床材)】  
種類の記号 色柄 寸法 厚さ 備考  
KT 2.0mm

(6.8.2)(3)(7)(4) 帯電防止床シート又は床タイル  
種類 性能 寸法 厚さ 備考

(6.8.2)(3)(7) 視覚障害者用床タイル  
種類 形状 備考  
ビニル床タイル 300×300×7.0mm

(6.8.2)(3)(2) 耐動荷重性床シート  
種類 厚さ 備考

(6.8.2)(3)(7)(4) 防滑性床シート又は床タイル  
種類 寸法 厚さ 備考  
FS マブル 2.0mm

(6.8.2)(5) ゴム床タイル  
種類 色柄 寸法 厚さ 備考

(6.8.3)(1) 工法  
下地 モルタル塗り セルフレベリング材塗り 木下地 その他( )

(6.8.3)(2)(7) ビニル床シート張り  
熱溶接工法 適用する 適用しない

8 カーベット敷き  
(6.9.3)(1) (表6.9.1)  
種類 糸の種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 色柄  
A種 羊毛 カットバイル 人体帯電圧 3KV以下 ( ) 無地  
B種 紡糸 ループバイル ( ) 柄物  
C種 ( ) カット、ループ併用 ( )  
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

(6.9.2)(2) (表6.9.2)  
タフテッドカーベット  
バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度  
カットバイル 人体帯電圧 3KV以下 全面接着工法 ( )  
ループバイル グリッパー工法 ( )  
カット、ループ併用 ( )

(6.9.2)(3) ニードルパンチカーベット  
厚さ(mm) 帯電性 備考  
人体帯電圧 3KV以下 ( )

(6.9.2)(4) (表6.9.2)  
タイルカーベット  
種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度  
カットバイル 500×500 6.5 ( )  
ループバイル ( ) ( )

(6.9.2)(5) 下敷き材 第2種第2号、厚さ8mm ( )  
(6.9.2)(6) 見切り、押え金物 適用する(材質、種類及び形状 図示(図面番号: ))

(6.9.3)(3) 織じゅうたんの接合方法  
ヒートボンド工法 ( )

(6.9.3)(5) タイルカーベットの敷き方  
平場 市松敷き 模様流し ( )  
階段部分 市松敷き 模様流し ( )

9 合成樹脂塗床  
(6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)  
弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程  
平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ

(6.10.3)(2)(b) (表6.10.5)~(表6.10.8)  
エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類  
薄膜流しの仕上げ(平滑・防滑) 厚膜流しの仕上げ(平滑・防滑)  
樹脂モルタル仕上げ(平滑・防滑) 薄膜型塗床仕上げ(平滑)

10 フローリング張り  
(6.11.4) (表6.11.2)  
釘留め工法  
材料 種別 樹種  
フローリングボード(根太張用) A種 B種 C種 ( )  
複合フローリング(根太張用) A種 B種 C種 ( )  
防湿処理 図示(図面番号: )

(6.11.5) (表6.11.5)  
接着工法  
材種 樹種 厚さ 大きさ  
フローリングボード(直張用) ( )  
フローリングブロック(直張用) ( )  
複合フローリング(直張用) ( )  
A種 B種 C種 ( )

繊維材 合成樹脂発泡シート 図示(図面番号: )

(6.11.6)(3) 塗装  
ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)  
オイルステイン塗りのウエックス塗り  
生地のままワックス塗り ( )

種別 A種 B種 C種 D種  
D種の量床 KT-(I・II・III・K・N)

11 畳敷き  
(6.12.2) (表6.12.1)

12 セッコロボード、その他ボード及び合板張り  
(6.13.2) (表6.13.1)  
材種 種別 厚さ(mm)  
壁 9.5(準不燃) 12.5(不燃)  
天井 9.5(準不燃) 12.5(不燃)  
化粧セッコロボード トラバーチン模様 9.5(不燃) 9.5(準不燃)  
木目模様 9.5(不燃) 9.5(準不燃)  
普通 9( ) ( )  
ロックウール化粧吸音板 立体模様 9( ) ( )  
けい酸カルシウム板 タイプII 0.8FK 21(不燃)  
強化セッコロボード 3(不燃)  
メラミン不燃化粧板

(6.13.2)(8) 遮音シール材  
シーリング材 ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(5)(7) 合板類の張付け  
A種 B種

(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5) セッコロボードの目地工法  
縫目処理 突付け 目透し

13 壁紙張り  
(6.14.2)  
施工箇所 種類 防火性能  
普通教室様梁型 量産品 不燃 準不燃  
不燃 準不燃  
不燃 準不燃

14 モルタル塗り  
(6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)  
モルタル 現場調合材料 既調合材料  
既製目地材 使用する(形状: )  
床の目地 図示(図面番号: )  
下地処理 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示(図面番号: )

15 タイル張り  
(6.16.2) (6.16.3)  
伸縮調整目地  
位置 図示(図面番号: )

(6.16.3)(2) タイルの種類  
施工箇所 工法 種類 形状寸法 耐滑り性 うわぐすり 役物 標準・特注色の別 耐凍害性の有無  
スロープ 湿式 磁器質 150×150 有り ー ー 標準 ー

試験張り 行う 行わない  
見本焼き 行う 行わない  
既調合モルタル 使用できる 使用できない

16 セルフレベリング材塗り  
(6.17.2) (6.17.3)  
せっこう系 セメント系  
塗厚( )mm

17 断熱材  
(9.5.2) (9.5.3)  
断熱材打込み工法  
種類 種別 厚さ(mm) 施工箇所  
ビーズ法ポリスチレンフォーム  
押出法ポリスチレンフォーム  
A種硬質ウレタンフォーム  
フェノールフォーム

断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)  
種類 厚さ(mm) 施工箇所  
A種1 ( ) 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所  
A種1H ( ) ( )

7 塗装改修工事  
1 材料 (7.1.3)  
2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7)  
3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1)~(表7.3.4)  
4 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)  
5 クリヤラッカー塗り(DL) (7.5.2) (表7.5.1)  
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)  
7 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)

既存塗膜の除去範囲(塗り替えてRB種の場合)  
図示(図面番号: )

種別 下地 種別 仕上げ部の補修  
木部 RA種 RB種 RC種  
鉄鋼面 RA種 RB種 RC種  
垂れめつき鋼面 RA種 RB種 RC種  
モルタル、プaster面 RA種 RB種 RC種 行う  
コンクリート、ALCパネル面 RA種 RB種 RC種 行う  
コンクリート、押出成形セメント板面 RA種 RB種 RC種 行う  
せっこうボード、その他ボード面 RA種 RB種 RC種

錆止め塗料種別  
鉄鋼面 A種 B種  
垂れめつき鋼面 A種 B種 C種  
錆止め塗料塗り種別  
鉄鋼面 A種 B種 C種  
垂れめつき鋼面 A種 B種 C種

塗料種別 1種 ( )

種別 下地 種別  
木部 A種 B種 C種  
鉄鋼面 A種 B種 C種  
垂れめつき鋼面 A種 B種 C種

種別 木部 A種 B種

種別 A種 B種

上塗り等級  
1級(フッ素系) 2級(シリコン系) 3級(ポリウレタン系)

下地 種別  
鉄鋼面 A種 B種 C種  
垂れめつき鋼面 A種 B種 C種  
コンクリート面及び押出成形セメント板面 A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種

<p>8 つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)</p> <p>9 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)</p> <p>10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)</p> <p>11 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)</p> <p>12 オイルステイン塗り (OS) (7.13.2) (表7.13.1)</p> <p>13 木材保護塗料塗り (MP) (7.14.2) (表7.14.1)</p>	<p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table>	下地	種別	コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	重鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	下地	種別										
	コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )										
	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種										
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種											
重鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種											
<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )</p>												
<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p>												
<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種</p>												
<p>塗料 ( )</p>												
<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種</p>												
<p>(一般事項)</p> <p>1 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)</p> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</li> <li>鉄骨ブレースの設置工事</li> <li>柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)</li> <li>柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)</li> <li>柱補強工事 (連続繊維補強工法)</li> <li>耐震スリット新設工事</li> <li>免震改修・制振改修工事</li> </ul> <p>工事種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋工事</li> <li>あと施工アンカー工事</li> <li>コンクリート工事</li> <li>鉄骨工事</li> <li>グラウト工事</li> <li>連続繊維補強工事</li> <li>スリット新設工事</li> <li>免震改修・制振改修工事</li> <li>土工事及び地業工事</li> </ul>												
<p>1 既存部分の撤去等 (8.21.2)</p> <p>撤去の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> <li>新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分</li> <li>既存コンクリート撤去範囲に面する部分 ( )</li> </ul> <p>既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置</p> <p>本工事の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分</li> <li>設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。</li> <li>( )</li> </ul> <p>撤去範囲 図示 (図面番号: )</p> <p>2 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)</p> <p>既存構造体の撤去</p> <p>撤去範囲 図示 (図面番号: A-35~37 )</p> <p>はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋の切断</th> <th>範囲</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td> <td>・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td> <td>・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>はつりだした鉄筋の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。</li> <li>( )</li> </ul> <p>はつりだした鉄骨の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発泡スチロール等で養生する。</li> <li>( )</li> </ul> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らし</p> <p>目荒らし程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>(既存部分の処理)</p> <p>3 既存構造体コンクリート面の目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)</p>	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし		・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし		・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ( )	
鉄筋の切断	範囲	適用										
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし											
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし											
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ( )											

<p>8の3 耐震改修工事 鉄筋工事</p>	<p>1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)</p> <p>材料 改修標準仕様書 (表8.2.1)による</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>SD390</td> <td></td> </tr> <tr> <td>( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 溶接金網 (8.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法及び鉄線の径</p> <table border="1"> <tr> <th>網目の形状、寸法</th> <th>鉄線の径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>100x100</td> <td>6</td> </tr> </table> <p>3 加工 (8.3.2)</p> <p>90°未満の折曲げの内法直径 図示 (図面番号: )</p> <p>4 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>重ね継手</td> <td>D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>D19以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.3.4) (3) (7)による</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部配筋参考図による</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>先組み工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柱・梁主筋の継手を同一面に設ける</li> </ul> <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (表8.3.4)による</li> <li>(表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示 (図面番号: )</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>帯筋組立の形、継手及び定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ( ) mm</p>	種別	径 (mm)	SD295A	D16以下	SD345	D19以上	SD390		( )		網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)	100x100	6		径	部位	重ね継手	D16以下		ガス圧接	D19以上																					
	種別	径 (mm)																																										
	SD295A	D16以下																																										
	SD345	D19以上																																										
SD390																																												
( )																																												
網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)																																											
100x100	6																																											
	径	部位																																										
重ね継手	D16以下																																											
ガス圧接	D19以上																																											
<p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) (表8.3.6)</p> <p>6 各部配筋 図示 (図面番号: A-33、49 )</p> <p>7 ガス圧接 (8.3.8)</p> <p>圧接完了後の試験</p> <p>超音波探傷試験 行う 行わない</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)</p> <p>8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>本数・ピッチ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ スパイラル筋</td> <td>・ 鉄筋コンクリート用</td> <td>・ R235</td> <td>・ 6φ</td> <td>スパイラルの径 (mm)</td> <td rowspan="2">・ 図示 (図面番号: )</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼網</td> <td>・ ( )</td> <td>・ 9φ</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ はしご筋</td> <td>・ 鉄筋コンクリート用</td> <td>・ 295A</td> <td>・ 10</td> <td>スパイラルのピッチ (mm)</td> <td rowspan="2">( )</td> </tr> <tr> <td>・ 棒鋼 (異形鉄筋)</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機械式継手種類 ( ) 適用箇所 ( )</li> <li>性能 ( ) 鉄筋相互のあき ( ) mm</li> <li>施工完了後の継手部の試験 ( )</li> <li>不合格となった継手部への措置等 ( )</li> <li>溶接継手工法 ( ) 適用箇所 ( )</li> <li>性能 ( ) 鉄筋相互のあき ( ) mm</li> <li>溶接完了後の溶接部の試験 ( )</li> <li>不合格となった溶接部への措置等 ( )</li> </ul>	種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所	・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ R235	・ 6φ	スパイラルの径 (mm)	・ 図示 (図面番号: )	・ 鋼網	・ ( )	・ 9φ	( )	・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ 295A	・ 10	スパイラルのピッチ (mm)	( )	・ 棒鋼 (異形鉄筋)	・ ( )	・ ( )	( )																		
種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所																																							
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ R235	・ 6φ	スパイラルの径 (mm)	・ 図示 (図面番号: )																																							
	・ 鋼網	・ ( )	・ 9φ	( )																																								
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ 295A	・ 10	スパイラルのピッチ (mm)	( )																																							
	・ 棒鋼 (異形鉄筋)	・ ( )	・ ( )	( )																																								
<p>8の4 耐震改修工事 コンクリート工事</p> <p>(コンクリート工事一般事項)</p> <p>1 コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F<sub>c</sub> [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>適用範囲</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>エレベーターピット</td> <td>3t/m<sup>3</sup>程度</td> <td>S18</td> </tr> <tr> <td>( 18 )</td> <td>土間コン、捨コン</td> <td></td> <td>S15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)</p> <p>2 構造体コンクリートの仕上り (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)</p> <p>(コンクリート)</p> <p>3 コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3)</p> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通ポルトランドセメント</li> <li>高炉セメントA種</li> <li>シリカセメントA種</li> <li>フライアッシュセメントA種</li> <li>( )</li> <li>高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種</li> <li>適用箇所 ( )</li> </ul> <p>コンクリートの類別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I類</li> <li>II類</li> </ul> <p>普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F<sub>c</sub> [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>適用範囲</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>エレベーターピット</td> <td>3t/m<sup>3</sup>程度</td> <td>S18</td> </tr> <tr> <td>( 18 )</td> <td>土間コン、捨コン</td> <td></td> <td>S15</td> </tr> </tbody> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F<sub>c</sub> [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36</td> <td>1種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種</li> <li>B種</li> <li>C種</li> </ul> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a種</li> <li>b種</li> <li>c種</li> </ul>	設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランブ	21	エレベーターピット	3t/m <sup>3</sup> 程度	S18	( 18 )	土間コン、捨コン		S15	設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランブ	21	エレベーターピット	3t/m <sup>3</sup> 程度	S18	( 18 )	土間コン、捨コン		S15	設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランブ	36	1種					2種				( )				
設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランブ																																									
21	エレベーターピット	3t/m <sup>3</sup> 程度	S18																																									
( 18 )	土間コン、捨コン		S15																																									
設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランブ																																									
21	エレベーターピット	3t/m <sup>3</sup> 程度	S18																																									
( 18 )	土間コン、捨コン		S15																																									
設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランブ																																								
36	1種																																											
	2種																																											
( )																																												
<p>10 暑中コンクリート (8.10.2)</p> <p>9 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>10 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)</p> <p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱頭柱脚の隙間部間の型枠</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱頭柱脚の隙間寸法</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発泡プラスチック保温材等を埋込む</li> <li>( )</li> </ul> <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: ) ・ 60mm ( )</li> </ul> <p>11 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	柱頭柱脚の隙間寸法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																					
補強工法	打設工法	部位																																										
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
柱頭柱脚の隙間寸法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																										

<p>4 混和材料 (8.2.5)</p> <p>混和剤</p> <p>混和剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (a)による</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>混和材</p> <p>混和材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (b)による</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>5 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 N/mm<sup>2</sup></li> <li>6 N/mm<sup>2</sup></li> <li>( )</li> </ul> <p>6 養生 (8.7.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通エコーメント使用の場合の湿潤養生期間 ( )</li> </ul> <p>7 型枠 (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合板 (厚さ 12mm ( ) )</li> </ul> <p>スリーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材種 ( ) 規格 ( )</li> </ul> <p>型枠存置期間及び取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通エコーメント使用の場合の最小存置期間 ( )</li> </ul> <p>8 暑中コンクリート (8.10.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 N/mm<sup>2</sup></li> <li>( )</li> </ul> <p>9 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通コンクリート ( )</li> </ul> <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>18 N/mm<sup>2</sup> ( )</li> </ul> <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15cm</li> <li>18cm</li> <li>( )</li> </ul>	<p>骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制)</li> <li>A (安全と認められる骨材を使用)</li> </ul> <p>なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊な骨材の使用</li> <li>フェロニッケルスラグ骨材</li> <li>銅スラグ骨材</li> <li>電気炉酸化スラグ骨材</li> <li>再生骨材H (普通エコーメントを使用するコンクリートに限る)</li> </ul> <p>4 混和剤 (8.2.5)</p> <p>混和剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (a)による</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>混和材</p> <p>混和材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (b)による</li> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>5 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 N/mm<sup>2</sup></li> <li>6 N/mm<sup>2</sup></li> <li>( )</li> </ul> <p>6 養生 (8.7.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通エコーメント使用の場合の湿潤養生期間 ( )</li> </ul> <p>7 型枠 (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合板 (厚さ 12mm ( ) )</li> </ul> <p>スリーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材種 ( ) 規格 ( )</li> </ul> <p>型枠存置期間及び取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通エコーメント使用の場合の最小存置期間 ( )</li> </ul> <p>8 暑中コンクリート (8.10.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 N/mm<sup>2</sup></li> <li>( )</li> </ul> <p>9 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通コンクリート ( )</li> </ul> <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>18 N/mm<sup>2</sup> ( )</li> </ul> <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15cm</li> <li>18cm</li> <li>( )</li> </ul> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>10 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)</p> <p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱頭柱脚の隙間部間の型枠</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱頭柱脚の隙間寸法</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発泡プラスチック保温材等を埋込む</li> <li>( )</li> </ul> <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: ) ・ 60mm ( )</li> </ul> <p>11 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	柱頭柱脚の隙間寸法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )
補強工法	打設工法	部位																						
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
柱頭柱脚の隙間寸法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																						
	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																						

<p>⑧ の 5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事</p>	<p>(あと施工アンカー)</p> <p>① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属系 セットの方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>本体打込み式 ( ・ 改良型 ・ 従来型 )</li> <li>径及び埋込み長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> </li> <li>引張耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> </li> <li>せん断耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> </li> <li>接合筋の種類・長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-33, 49 )</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>接着系 アンカーの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>カプセル型回転 ( ・ 打撃式 ( ・ ) )</li> <li>接着剤の品質 <ul style="list-style-type: none"> <li>有機系 ( ・ 無機系 )</li> </ul> </li> <li>径及び埋込み長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-49 )</li> </ul> </li> <li>引張耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> </li> <li>せん断耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> </li> <li>アンカー筋の種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-49 )</li> </ul> </li> <li>アンカー筋の新設壁内への定着長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> </li> <li>あと施工アンカーの性能確認試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>行う ( ・ 行わない )</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>穿孔</p> <p>埋込み配管等の探査の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋探知機 ( 金属探知機 ) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>はつり出しによる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施する ( ・ 実施しない )</li> </ul> <p>試験方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>引張試験機による引張試験 ( ・ )</li> </ul> <p>1 ロットの単位 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 日に施工されたものの径及び仕様ごと ( ・ )</li> </ul> <p>試験の箇所数 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ロットに対し 3 本 ( 無作為 ) ( ・ )</li> </ul> <p>確認強度 <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ</p> <p>種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</li> <li>接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</li> </ul> <p>径 [mm] <ul style="list-style-type: none"> <li>D 1 0</li> </ul> <p>長さ [mm] <ul style="list-style-type: none"> <li>増打壁厚 - 4 0 ( ・ )</li> </ul> <p>彫込み深さ [mm] <ul style="list-style-type: none"> <li>5 d ( d : シアコネクタの径 ) 以上 ( ・ )</li> </ul> <p>間隔 [mm] <ul style="list-style-type: none"> <li>5 0 0 × 5 0 0</li> </ul> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 <ul style="list-style-type: none"> <li>兼用してもよい ( ・ 兼用しない ( ・ ) )</li> </ul> </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>	
	<p>② あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)</p> <p>(場所打ちコンクリート壁の増設工事)</p> <p>3 シアコネクタ</p>	
<p>⑧ の 6 耐震改修工事 鉄骨工事</p>	<p>① 鉄骨製作工場 (8.1.5)</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)</p> <p>③ 鋼材 (8.2.8)</p> <p>④ 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p> <p>⑤ 溶接材料 (8.2.10)</p> <p>6 仮組 (8.13.10)</p> <p>⑦ 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)</p> <p>8 溶接の準備 (8.15.4)</p> <p>9 溶接施工 (8.15.7)</p> <p>1 0 溶接部の試験 (8.15.12)</p>	<p>㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>J ・ R ・ M ・ H ・ S</li> </ul> <p>施工管理技術者 ( 鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等 ) の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しない ( ・ する )</li> </ul> <p>種類・形状及び寸法 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>高力ボルトの適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トルシア形高力ボルト 2 種 ( S10T )</li> <li>JIS 形高力ボルト 2 種 ( F10T )</li> <li>溶融亜鉛めっき高力ボルト 1 種 ( F8T 相当 )</li> </ul> <p>ねじの呼び <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>すべり試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>行う ( 試験方法等 図示 : 図面番号 )</li> </ul> <p>JIS 形・ナット回転法かつボルト長がねじの 5 倍を超える場合の回転量 <ul style="list-style-type: none"> <li>( ・ )</li> </ul> <p>① 改修標準仕様書 (8.2.10) (1) (2) 以外の溶接材料</p> <p>材料及び使用箇所 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>仮組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施する ( ) ・ 実施しない</li> </ul> <p>溶接作業における技能資格者の技量付加試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施する ( ) ( ・ 実施しない )</li> </ul> <p>開先の形状 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>鋼製エンドタブの切断 <ul style="list-style-type: none"> <li>適用箇所 図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>切断面の仕上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>鋼製エンドタブに代わるその他の工法</p> <p>鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ ( セラミックタブ又はフラックスタブ ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。</li> <li>製作工場が J、R、M グレードの場合は、溶接技能者が N P O 法人日本エンドタブ協会による図形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 ( 溶接技能者・A 級以上 ) 又は A W 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。また、製作工場が H、S グレードの場合は、溶接技能者が A W 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。</li> </ol> <p>板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 <ul style="list-style-type: none"> <li>低応力高サイクル疲労を受けやすい部位 図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>スカラップの形状 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>溶接部の外観試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>試験方法 ( ) ・ 確認方法 ( )</li> </ul> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験</p> <p>工場溶接の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>全数試験とする</li> <li>公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7.6.12) (i) による。</li> </ul> <p>平均出検品質限界 (AQL) <ul style="list-style-type: none"> <li>4.0% ( ・ 2.5% ( ・ ) )</li> </ul> <p>検査水準 <ul style="list-style-type: none"> <li>第 6 水準 ( ・ )</li> </ul> <p>ロットの構成 ( )</p> <p>工事現場溶接の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>全数試験とする</li> <li>公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7.6.12) (i) による。</li> </ul> <p>平均出検品質限界 (AQL) <ul style="list-style-type: none"> <li>4.0% ( ・ )</li> </ul> </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>

<p>① 鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)</p> <p>② 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)</p> <p>1 3 プレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)</p> <p>1 4 スタッド (8.2.11)</p>	<p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 ( 鉄骨に溶接されたものに限る )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (7.3.2) (表 7.3.1) ( ) 種</li> </ul> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> <li>改修標準仕様書 (7.3.2) (表 7.3.1) ( ) 種</li> </ul> <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-40 )</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄骨梁</td> <td>吹付</td> <td>ロックール</td> <td>1時間耐火</td> </tr> </tbody> </table> <p>図示 ( 図面番号 : )</p> <p>スタッドの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> </p></p></p>	部位	種類	材料・工法	耐火性能	鉄骨梁	吹付	ロックール	1時間耐火		
部位	種類	材料・工法	耐火性能								
鉄骨梁	吹付	ロックール	1時間耐火								
<p>⑧ の 7 耐震改修工事 グラウト工事</p>	<p>(グラウト工事)</p> <p>① モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等)</p> <p>2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)</p>	<p>構造体用モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.6) 及び (8.2.12) による。</li> </ul> <p>無収縮モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.12) (1) による ( ・ )</li> </ul> <p>グラウト材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 (8.2.12) (1) による。</li> </ul> <p>増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増設壁の上部</td> <td>グラウト材を注入 ( ・ )</td> <td>寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> </tbody> </table>	部位	処理方法	備考	増設壁の上部	グラウト材を注入 ( ・ )	寸法は図示による	( )	( )	( )
部位	処理方法	備考									
増設壁の上部	グラウト材を注入 ( ・ )	寸法は図示による									
( )	( )	( )									

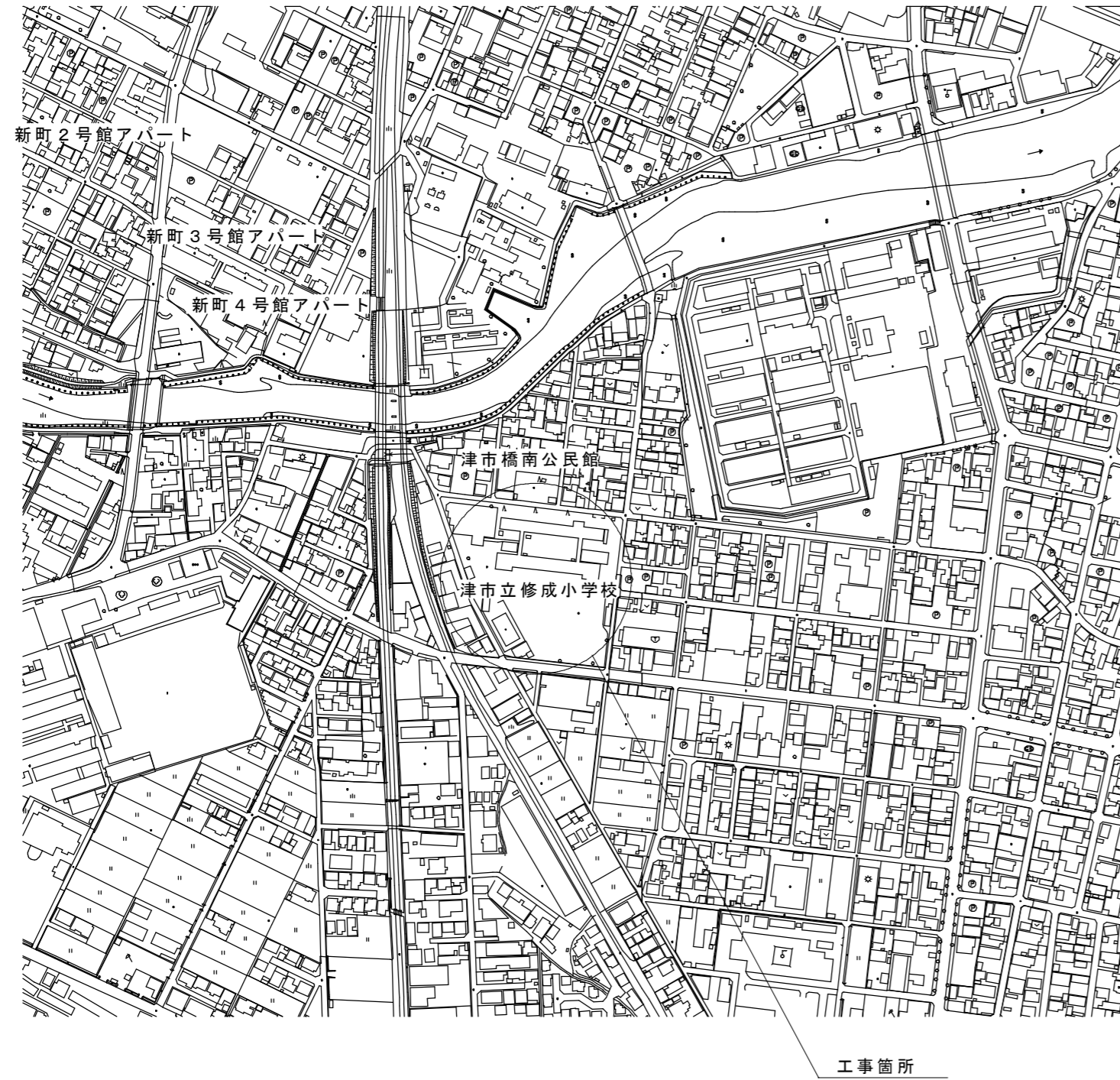
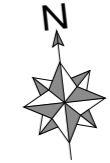
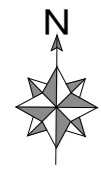
8の8 耐震改修工事 柱補強工事 ※省略

8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事 ※省略

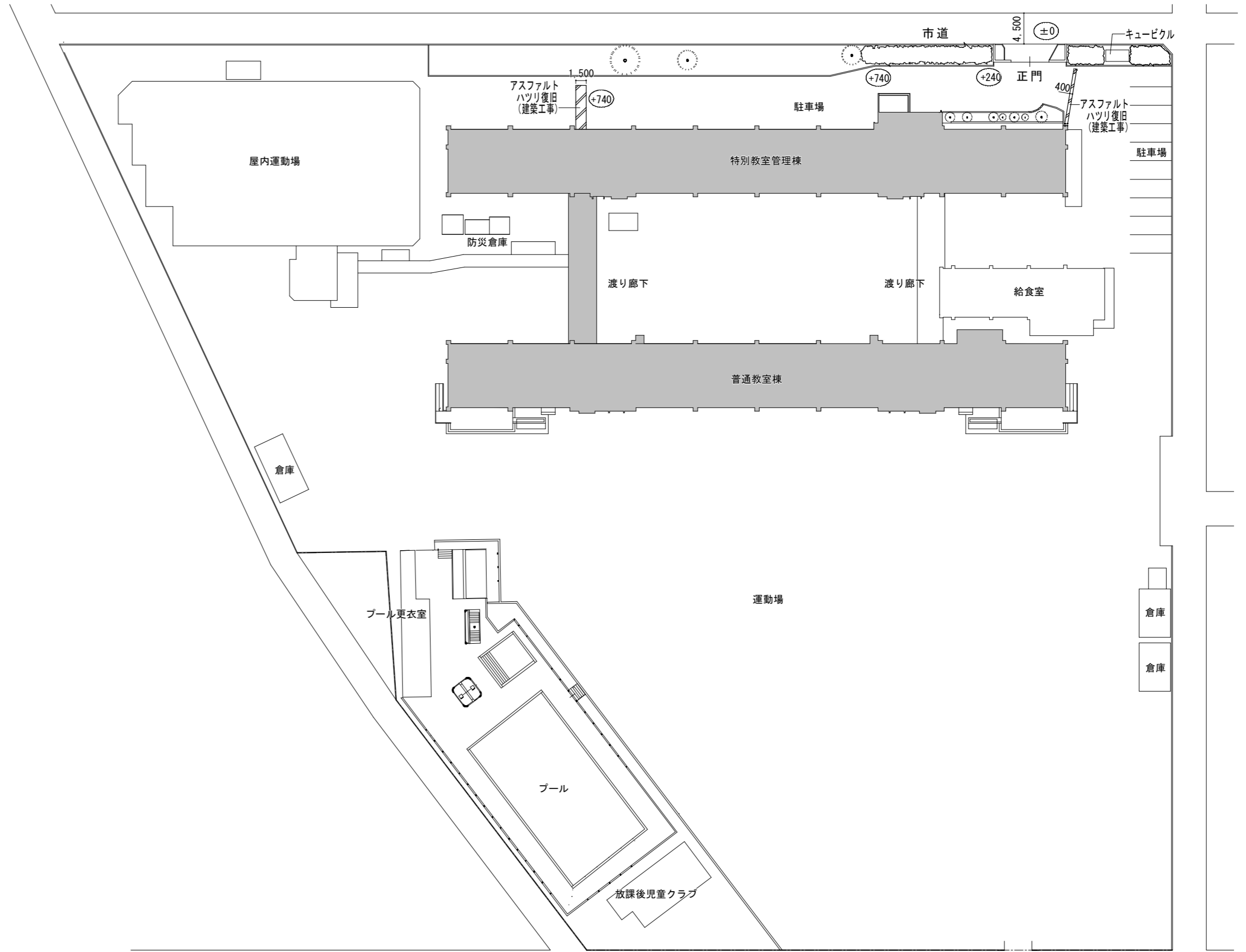
<p>⑧ の 1 0 その他工事</p>	<p>① 土工事 (8.28.2) (8.28.3)</p> <p>② 地業工事 (8.28.4)</p>	<p>既存杭の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>埋戻し及び盛土の材料及び工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 種 ( ・ ) 種 ( ・ ) 種 ( ・ ) 種 ( ・ ) 種 ( ・ ) 種</li> </ul> <p>建設発生土の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自由処分</li> <li>処分地指定 処分地 ( )</li> <li>処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km</li> </ul> <p>山留めの撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撤去 ( 鋼矢板等の抜き跡の処理 ( ・ 直ちに砂で充填する ( ・ ) ) )</li> <li>存置</li> </ul> <p>杭の施工監理</p> <p>杭工事特記仕様書による。</p> <p>適用基準</p> <p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。</p> <p>国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)</p> <p>施工記録</p> <p>受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。</p> <p>なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。</p> <p>根拠資料</p> <p>共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 ( 施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等 ) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第 3 1 条第 4 項又は第 5 項 ( 第 3 8 条においてこれらの規定を準用する場合を含む。 ) の規定による引渡しを受けた日から 1 0 年とする。</p> <p>また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。</p> <p>試験杭及び試験据</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験杭 位置、本数及び寸法は図示 ( 図面番号 : ) による。</li> <li>試験据 位置、本数及び寸法は図示 ( 図面番号 : ) による。</li> </ul> <p>杭の支持層</p> <p>支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : ) ( ・ )</li> </ul> <p>水平方向の位置ずれの精度 <ul style="list-style-type: none"> <li>( ) mm 以下</li> </ul> <p>杭の載荷試験</p> <p>試験方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>鉛直載荷 ( ・ 水平載荷 ( ・ ) )</li> </ul> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>載荷荷重 ( kN )</p> <p>報告書 <ul style="list-style-type: none"> <li>提出部数 2 部</li> </ul> </p></p></p></p></p>
----------------------------------	---	--

<p>⑨ 環境配慮改修工事</p>	<p>① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)</p>	<p>地盤の載荷試験</p> <p>試験方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>平板載荷 ( ・ )</li> </ul> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>載荷荷重 ( kN )</p> <p>報告書 <ul style="list-style-type: none"> <li>提出部数 2 部</li> </ul> <p>杭地業の工法、寸法 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>杭頭処置 <ul style="list-style-type: none"> <li>行う ( ・ 行わない )</li> </ul> <p>砂利及び砂地業</p> <p>範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-33, 49 )</li> </ul> <p>厚さ ( mm ) <ul style="list-style-type: none"> <li>60 ( ・ )</li> </ul> <p>捨てコンクリート地業</p> <p>範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>厚さ ( mm ) <ul style="list-style-type: none"> <li>50 ( ・ )</li> </ul> </p></p></p></p></p></p></p></p></p>																																																																											
	<p>① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)</p>	<p>施工調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有建材の事前調査</li> <li>工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。</li> </ul> <p>調査範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : ) ( ・ )</li> </ul> <p>貸与資料 ( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分析による石綿含有建材の調査</li> </ul> <p>分析対象</p> <p>分析対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソドライト、トレモライト</li> </ul> <p>分析方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A 1481-1 ( 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第 1 部 : 市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法 ) による</li> <li>JIS A 1481-2 ( 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第 2 部 : 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性的分析方法 ) による</li> <li>JIS A 1481-3 ( 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第 3 部 : アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法 ) による</li> <li>JIS A 1481-4 ( 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第 4 部 : 質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法 ) による</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ( )</td> <td>・ 箇所数 ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ( )</td> <td>・ 箇所数 ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ( )</td> <td>・ 箇所数 ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ( )</td> <td>・ 箇所数 ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 箇所あたり 3 サンプル</li> </ul> <p>採取箇所 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : ) ( ・ )</li> </ul> <p>石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 2</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>処理作業室外 ( 敷地境界 )</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業室内 ( 階段室 )</td> <td>計 2 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td>処理作業室外 ( 階段室前廊下 )</td> <td>計 6 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td rowspan="2">測定 5</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td rowspan="2">放流水分析</td> <td>検出限界値</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 1 リットル当たり 5 0 本以下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室外 ( 敷地境界 )</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>撤去後 1 週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径 (mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量 (L/min)</td> <td>・ 1 ( ・ )</td> <td>・ 5 ( ・ )</td> <td>・ 10 ( ・ )</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間 (min)</td> <td>・ 5 ( ・ )</td> <td>・ 120 ( ・ )</td> <td>・ 240 ( ・ )</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.1.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有吹付け材の除去</li> </ul> <p>除去対象範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>除去工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 9.1.3 (2) (7) による ( ・ )</li> </ul> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>湿潤化 ( ・ 固形化 )</li> </ul> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 ( 管理型最終処分場 ) ( ・ 中間処理 ( 溶融又は無害化による ) )</li> </ul> <p>(9.1.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有保温材等の除去</li> </ul> <p>除去対象範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : )</li> </ul> <p>除去方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書 9.1.4 (1) による ( ・ )</li> </ul> <p>除去した石綿含有保温材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 ( 管理型最終処分場 ) ( ・ 中間処理 ( 溶融又は無害化による ) )</li> </ul> <p>(9.1.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有成形板の除去</li> </ul> <p>除去対象範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-36, 37 )</li> </ul> <p>石綿含有せっこうボードの処分 <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 ( 管理型最終処分場 )</li> </ul> <p>石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 ( 安定型最終処分場 ) ( ・ 中間処理 ( 溶融又は無害化による ) )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有仕上塗材の除去</li> </ul> <p>除去対象範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 ( 図面番号 : A-11, 12, 13, 14)</li> </ul> <p>除去した石綿含有仕上塗材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 ( 管理型最終処分場 ) ( ・ 中間処理 ( 溶融又は無害化による ) )</li> </ul> <p>※ 「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」 (平成29年5月30日付け環水大発第1705301号) 及び 「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」 (平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所) に基づき適切に処理すること。</p> </p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p></p>	材料名	定性分析	定量分析		・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )		・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )		・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )		・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点	・	測定 2	処理作業中	処理作業室外 ( 敷地境界 )	計 4 点	・	測定 3	処理作業室内 ( 階段室 )	計 2 点	・	測定 4	処理作業室外 ( 階段室前廊下 )	計 6 点	・	測定 5	処理作業中	放流水分析	検出限界値	・	・ 1 リットル当たり 5 0 本以下	・	測定 6	処理作業後	処理作業室外 ( 敷地境界 )	計 4 点	・	測定 7	処理作業後	処理作業室内	計 4 点	・	測定 8	撤去後 1 週間以降	調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5	メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47	試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ( ・ )	・ 5 ( ・ )	・ 10 ( ・ )	試料の吸引時間 (min)	・ 5 ( ・ )	・ 120 ( ・ )
材料名	定性分析	定量分析																																																																											
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )																																																																											
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )																																																																											
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )																																																																											
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )																																																																											
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																									
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																									
・	測定 2	処理作業中	処理作業室外 ( 敷地境界 )	計 4 点																																																																									
・	測定 3		処理作業室内 ( 階段室 )	計 2 点																																																																									
・	測定 4		処理作業室外 ( 階段室前廊下 )	計 6 点																																																																									
・	測定 5	処理作業中	放流水分析	検出限界値																																																																									
・				・ 1 リットル当たり 5 0 本以下																																																																									
・	測定 6	処理作業後	処理作業室外 ( 敷地境界 )	計 4 点																																																																									
・	測定 7	処理作業後	処理作業室内	計 4 点																																																																									
・	測定 8	撤去後 1 週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																									
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5																																																																										
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47																																																																										
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ( ・ )	・ 5 ( ・ )	・ 10 ( ・ )																																																																										
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ( ・ )	・ 120 ( ・ )	・ 240 ( ・ )																																																																										

<p>工事名 / Title</p> <p>津市立修成小学校長寿命化改修工事</p>	<p>図面種別 / Drawing</p> <p>改修特記仕様書 ( 6 )</p> <p>縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date</p>	<p>Check</p>	<p>No.</p> <p>A-06</p>	<p>合資会社 重企建築事務所</p> <p>Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第 1-3 0 0 号</p> <p>一級建築士国土交通省大臣登録第 1 6 7 1 6 3 号 山田 裕治</p>
--	--	--------------	------------------------	--



付近見取図



配置図 S=1/600


■ : 改修対象建物を示す

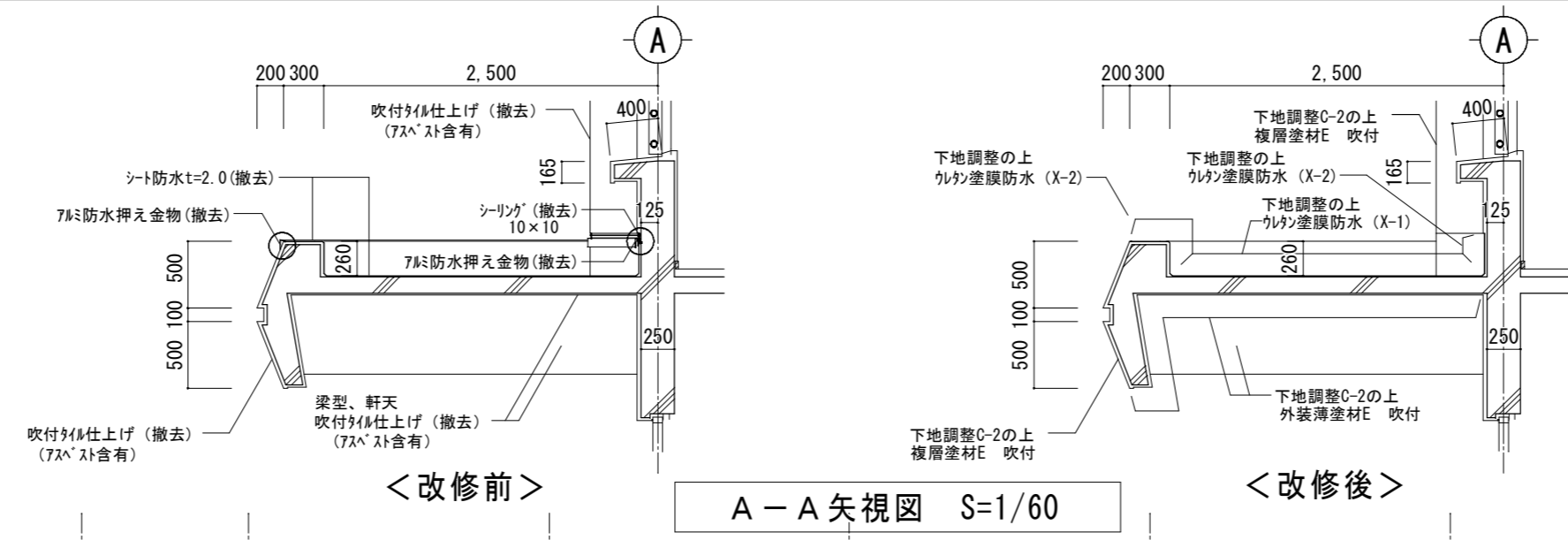
	<p>工事名 / Title</p> <p><b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b></p>	<p>図面種別 / Drawing</p> <p><b>付近見取図・配置図</b></p> <p>縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date</p> <p>S=1/600</p>	<p>Check</p>	<p>No.</p> <p>A-07</p>	<p>合資会社 <b>重企建築事務所</b></p> <p>Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
--	---	--	--------------	------------------------	---



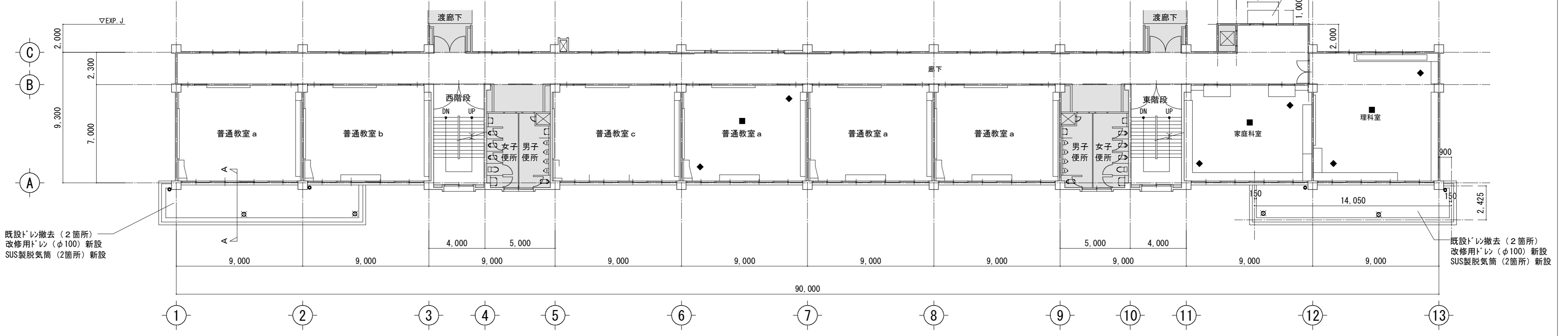
外部仕上表 ※特記無き限り、★印はアスベスト含有建材（下地調整材に含有）を示す。							
部 位	仕 上		備 考	部 位	仕 上		備 考
屋上防水 (歩行部)	改修前	平場：アスファルト防水（既設のまま）、保護仕上げ材（アスファルトマステック化粧板）貼り（撤去） 立上り・笠木：★アスファルト防水（防水材に含有 撤去）		外 壁	改修前	★吹付タイル仕上げ（撤去）	
	改修後	平場：水洗い後、ウレタン塗膜防水（X-1 遮熱仕様） 立上り・笠木：水洗い後、ウレタン塗膜防水（X-2）	ドレン及び脱気筒：撤去新設 フェンス：一時撤去復旧（基礎・支柱はそのまま）		改修後	既存仕上塗材除去 下地調整C-2 複層塗材E 吹付け	
屋上防水 (非歩行部)	改修前	平場：アスファルト防水（既設のまま） 立上り・笠木：★アスファルト防水（撤去）		巾 木	改修前	モルタル塗り（既設のまま）	
	改修後	平場：水洗い後、ウレタン塗膜防水（X-1 遮熱仕様） 立上り・笠木：水洗い後、ウレタン塗膜防水（X-2）	ドレン及び脱気筒：撤去新設		改修後	水洗い	
屋上防水 (ペントハウス上部)	改修前	平場、立上り：シート防水 t=2.0mm（既設のまま）		昇降口庇	改修前	パラペット：★吹付タイル仕上げ（撤去） 軒天：★吹付タイル仕上げ（撤去）	
	改修後	平場：水洗い後、ウレタン塗膜防水（X-2） 立上り・笠木：水洗い後、ウレタン塗膜防水（X-2）	ドレン：撤去新設 西側ペントハウス上部に設備機器の設置有り(平面詳細図参照)		改修後	パラペット：既存仕上塗材除去 下地調整C-2 複層塗材E 吹付け 軒天：既存仕上塗材除去 下地調整C-2 外装薄塗材E 吹付け	
庇防水 (昇降口庇上部)	改修前	平場、立上り：シート防水 t=2.0mm（撤去）		タテ樋・飾りマス	改修前	硬質塩化ビニル管 V P 塗り（撤去）	
	改修後	平場：水洗い後、下地調整の上ウレタン塗膜防水（X-1） 立上り・笠木：水洗い後、下地調整の上ウレタン塗膜防水（X-2）	ドレン：撤去新設		改修後	硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 支持金物：SUS製@1000内外	
軒 天	改修前	★吹付タイル仕上げ（撤去）		落下防止用手すり	改修前	鋼管φ46×4段 アングル鋼(L75×75×125) O P 塗り	
	改修後	既存仕上塗材除去 下地調整（C-2）の上、外装薄塗材E 吹付け			改修後	下地調整RCの上 D P 塗	

内部仕上表 ※特記無き限り、☆印はアスベスト含有建材（仕上げ材に含有）を示す。												
階	室 名	床（既設のまま）		巾木	H	壁	梁型	天井	廻縁	CH	カーテンボックス	備考
1	昇降口 (東側・西側共)	改修前	モルタル金こて下地長尺塩ビシート貼り モルタル金こて下地100角磁器質タイル	モルタル巾木 EP塗	90	モルタル金こて下地EP塗り		石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0	塩ビ廻り縁 2,620 2,500			
		改修後		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま		
	普通教室	改修前	ブナフローリングブロック貼りの上 直貼りフローリングt=10	木製巾木EP塗り	60	モルタル金こて下地EP塗り	木下地石膏ボードt=9.5の上、ビニルクロス貼り	石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0	塩ビ廻り縁 3,000		木製 EP塗り	
		改修後		下地調整RBの上 SOP塗		下地調整RBの上 EP塗	ビニルクロス貼り替え	下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま	下地調整RB の上 SOP塗	
	廊 下	改修前	モルタル金こて下地長尺塩ビシート貼り	モルタル巾木 EP塗	90	モルタル金こて下地EP塗り		石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0（一部撤去）	塩ビ廻り縁 2,500			
		改修後		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RCの上 EP塗 化粧石膏ボードt=9.5 新設の後、下地調整RCの上、EP塗	既設のまま	既設のまま		
2	普通教室	改修前	ブナフローリングブロック貼りの上 直貼りフローリングt=10	木製巾木NAD塗り	60	モルタル金こて下地NAD塗り	石膏ボードt=9.5の上ビニルクロス貼り	石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0	塩ビ廻り縁 3,000		木製 EP塗り	
		改修後		下地調整RBの上 SOP塗		下地調整RBの上 EP塗	ビニルクロス貼り替え	下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま	下地調整RB の上 SOP塗	
	廊 下	改修前	モルタル金こて下地長尺塩ビシート張りの上 Pタイル貼り	モルタル巾木 EP塗	90	モルタル金こて下地NAD塗り		石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0（一部撤去）	塩ビ廻り縁 2,500			
		改修後		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RCの上 EP塗 化粧石膏ボードt=9.5 新設の後、下地調整RCの上、EP塗	既設のまま	既設のまま		
	家庭科室2	改修前	モルタル金こて下地フローリングブロックt=15 一部パンチカーペット敷きt=4	木製巾木NAD塗り	90	モルタル金こて下地NAD塗り 一部：石膏ボードt=9.5の上NAD塗り	石膏ボードt=9.5の上ビニルクロス貼り	LGS下地の化粧石膏ボードt=9.0	塩ビ廻り縁 3,000		木製 EP塗り	
		改修後		下地調整RBの上 SOP塗		下地調整RBの上 EP塗	ビニルクロス貼り替え	下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま	下地調整RB の上 SOP塗	
理科室2	改修前	ブナフローリング張りの上直貼りフローリングt=10 流し前：モルタル金こて下地長尺塩ビシートt=2.5	木製巾木NAD塗り	60	モルタル金こて下地EP塗り 一部：プラスターt=25の上NAD塗り	石膏ボードt=9.5の上ビニルクロス貼り	石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0	塩ビ廻り縁 3,000		木製 EP塗り		
	改修後		下地調整RBの上 SOP塗		下地調整RBの上 EP塗	ビニルクロス貼り替え	下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま	下地調整RB の上 SOP塗		
3	普通教室	改修前	ブナフローリングブロック張りの上 直貼りフローリングt=10	木製巾木OP塗り	60	モルタル金こて下地EP塗り	プラスター塗りの上ビニルクロス貼り	石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0	塩ビ廻り縁 3,000		木製 EP塗り	
		改修後		下地調整RBの上 SOP塗		下地調整RBの上 EP塗	ビニルクロス貼り替え	下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま	下地調整RB の上 SOP塗	
	廊 下	改修前	モルタル金こて下地Pタイル貼り	モルタル巾木 EP塗	90	モルタル金こて下地EP塗り		石膏ボードt=9.0目透かし張りEP塗の上 化粧石膏ボード張りt=9.0（一部撤去）	塩ビ廻り縁 2,500			
		改修後		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RCの上 EP塗 化粧石膏ボードt=9.5 新設の後、下地調整RCの上、EP塗	既設のまま	既設のまま		
	パソコン教室	改修前	OAフロア 500角タイルカーペット敷き	ソフト巾木	60	モルタル金こて下地EP塗り 一部：LGS下地石膏ボードt=9.0の上、EP塗り	石膏ボードt=9.0の上ビニルクロス貼り	軽量鉄骨下地19型の上、化粧石膏ボード張りt=9.0	塩ビ廻り縁 3,000		木製 EP塗り	
		改修後				下地調整RBの上 EP塗	ビニルクロス貼り替え	下地調整RCの上 EP塗	既設のまま	既設のまま	下地調整RB の上 SOP塗	
階段室	改修前	モルタル金こて下地Pタイル貼り	モルタル巾木 EP塗	90	モルタル金こて下地EP塗り	モルタル金こて下地EP塗り	☆内装薄塗材E（撤去）					
	改修後		下地調整RBの上 EP塗		下地調整RBの上 EP塗	下地調整RBの上 EP塗	下地調整RBの上 EP塗				手摺笠木：EP塗替え	

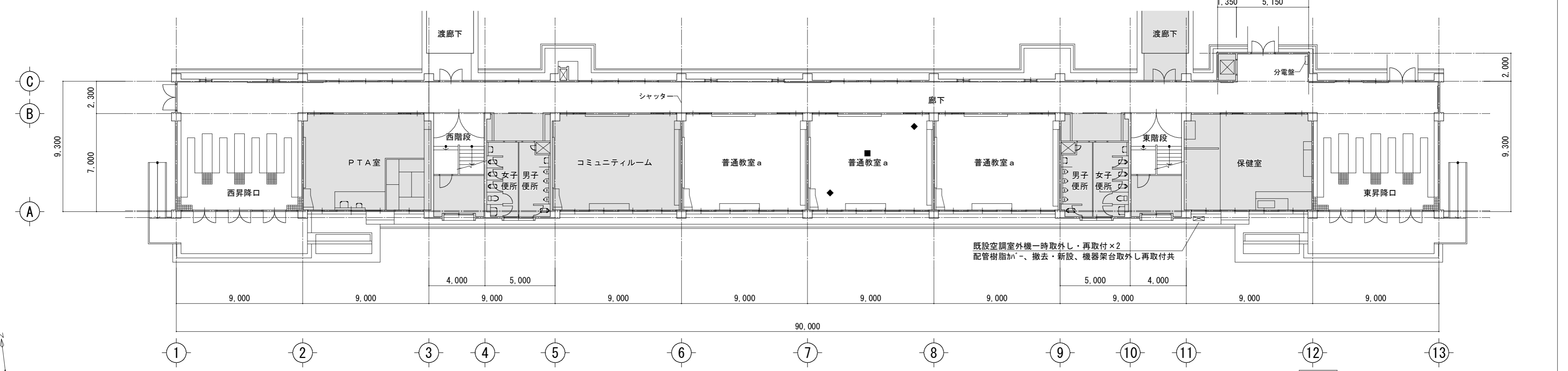
工事名 / Title		図面種別 / Drawing		Check	No.	 <p>重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
津市立修成小学校長寿命化改修工事		普通教室棟 仕上表			A-08	
		縮尺 / Scale	原図 : A2	日付 / Date		



A-A 矢視図 S=1/60



普通教室棟 2階平面図 S=1/200



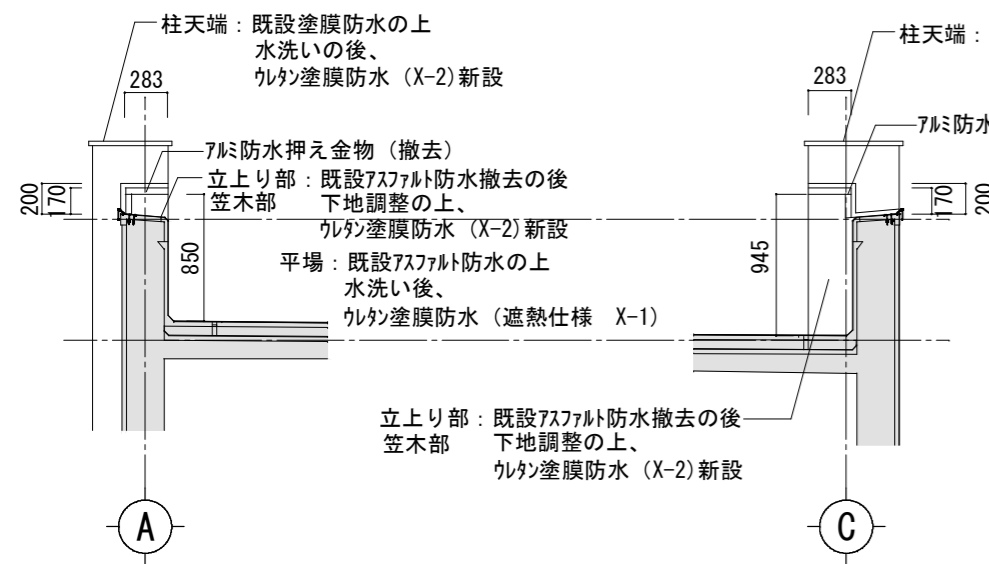
普通教室棟 1階平面図 S=1/200

※ 室外機は配管延長し、取外し再取付とする。  
 ※ 冷媒管外装 (スリムダクト) は撤去、新設とする。  
 ※ 空調機器は配管延長時を除き、常時使用可能とする。

: 改修範囲外を示す  
 ■ : 工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す  
 ◆ : 工事完了時化学物質濃度測定箇所を示す



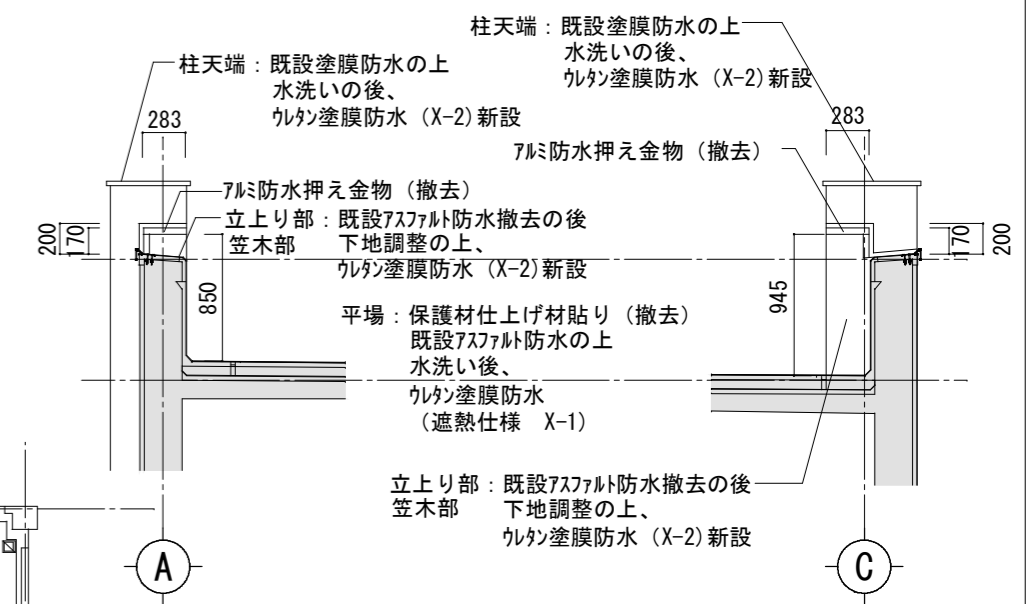
工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>普通教室棟 1階・2階平面図</b> 縮尺 / Scale 原図:A2 日付 / Date S=1/200	Check No. A-09	資会社 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
---	--	-------------------	--



A-A 矢視図 S=1/50

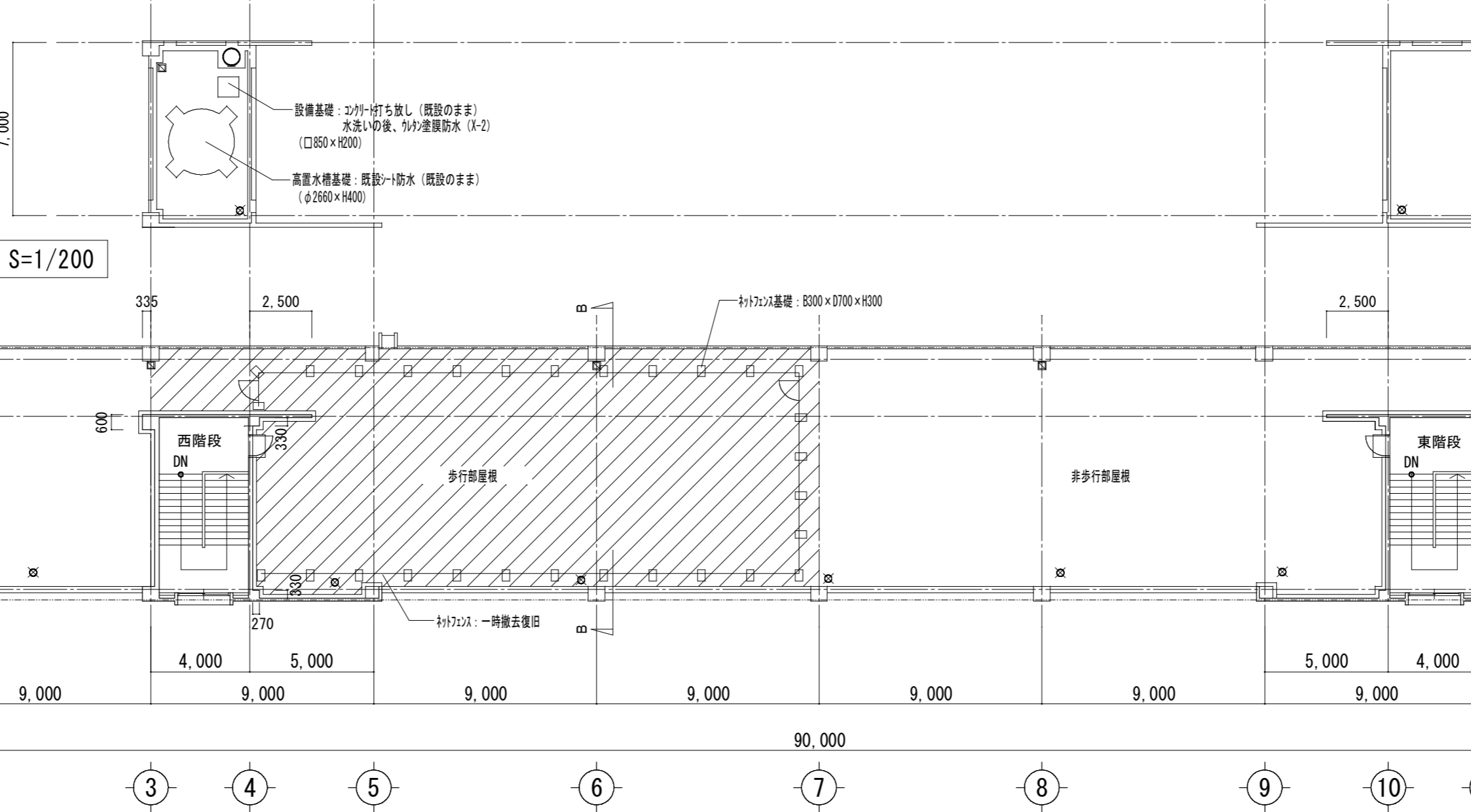
<屋上防水改修仕様>

部位	改修前	仕様	改修後	部位	改修前	仕様	改修後
PH屋根 (平場)	既設シート防水	(既設のまま)	既設7mm防水	非歩行部屋根 (平場)	既設7mm防水	(既設のまま)	既設7mm防水
PH屋根 (立上り)	既設シート防水	(既設のまま)	既設横引きドレン (撤去)	非歩行部屋根 (立上り)	既設7mm防水	(撤去)	既設横引きドレン (撤去)
歩行部屋根 (平場)	既設7mm防水	(既設のまま)	既設7mm防水 (X-2) 改修用横引きドレン新設	7mm基礎	コンクリート打ち放し	(既設のまま)	既設7mm防水 (X-2) 改修用横引きドレン新設
歩行部屋根 (立上り)	既設7mm防水	(既設のまま)	既設7mm防水 (X-1) 遮熱仕様 改修用ドレン新設				既設横引きドレン (撤去) 改修用横引きドレン (φ100) 新設
			既設7mm防水 (撤去) 7mm (X-1) 遮熱仕様 既設横引きドレン (撤去)				SUS製脱気筒 新設
			既設7mm防水 (撤去) 7mm (X-2) 改修用横引きドレン新設				

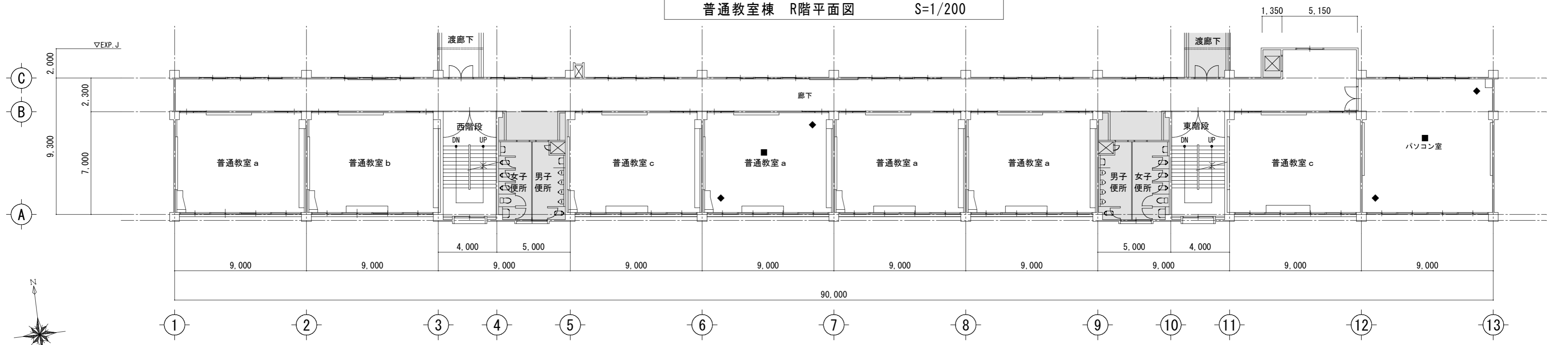


B-B 矢視図 S=1/50

PHR階平面図 S=1/200

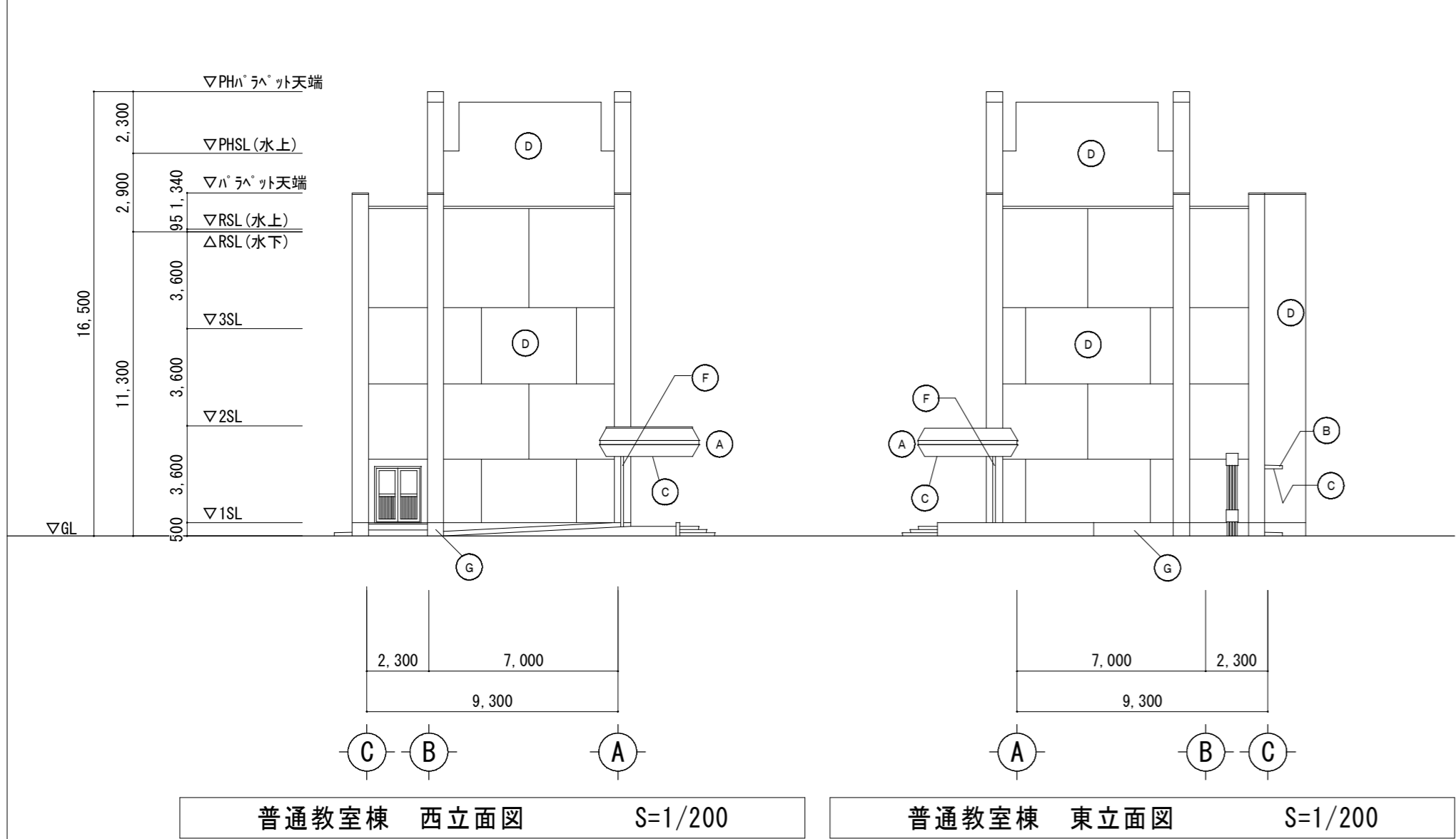
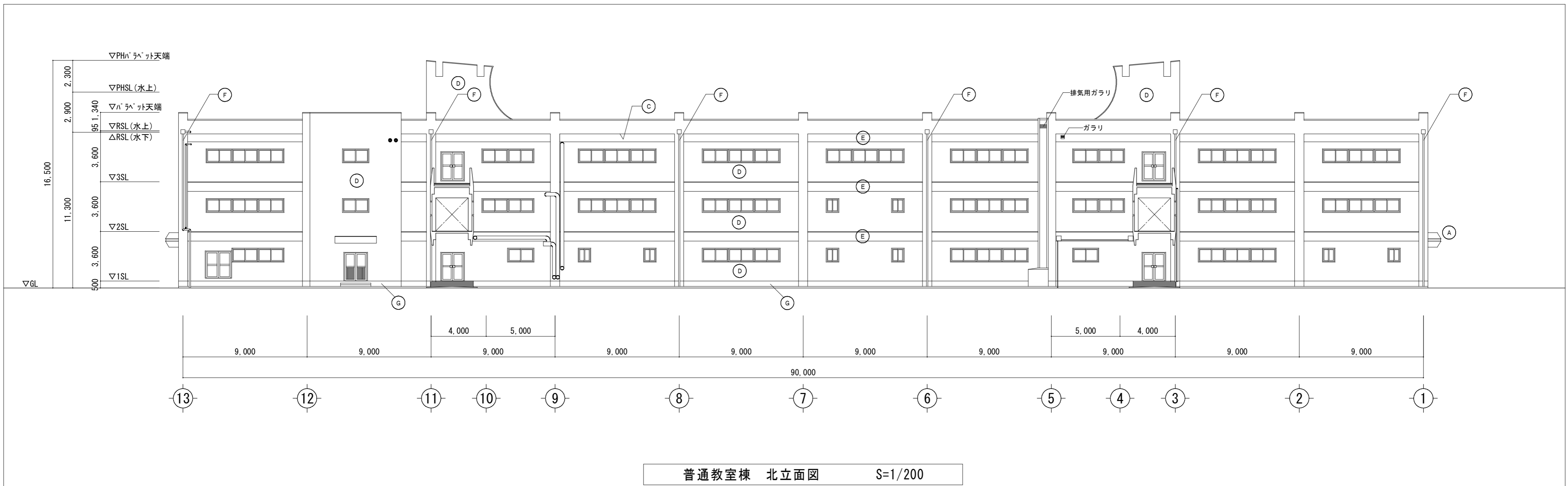


普通教室棟 R階平面図 S=1/200



普通教室棟 3階平面図 S=1/200

:改修範囲外を示す
  :工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す
  :工事完了時化学物質濃度測定箇所を示す

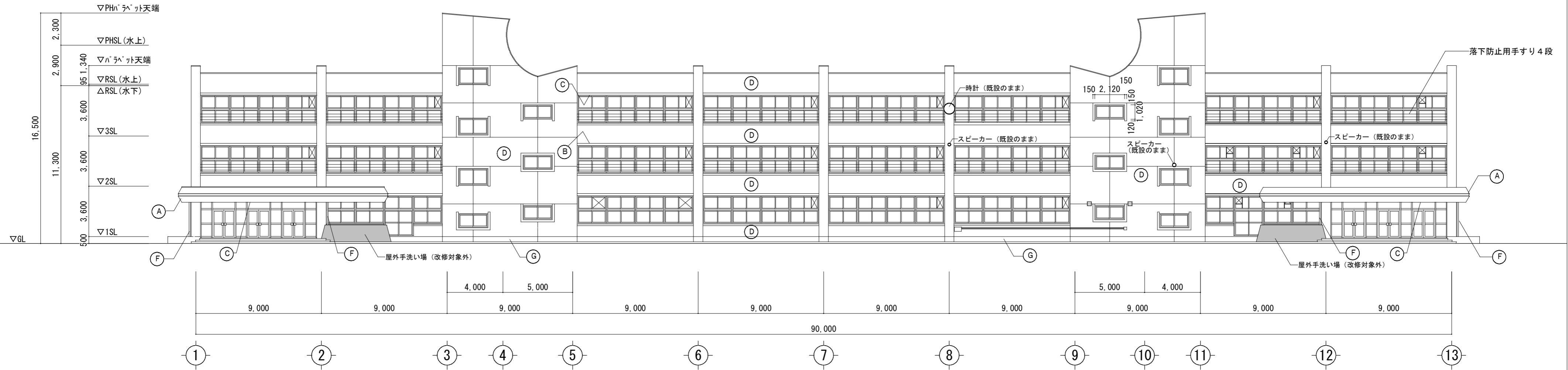


外壁改修仕様		※特記無き限り、★印はアスベスト含有建材（下地調整材に含有）を示す。	
部位	記号	仕 上	
昇降口庇	改修前 (A)	★吹付タイル仕上げ（撤去）	
	改修後	下地調整C-2の上 複層塗材E（吹付）	
小庇	改修前 (B)	塗膜防水 着色仕上（既設のまま）	
	改修後	水洗い後 ウレタン塗膜防水（X-2）	
軒天	改修前 (C)	★吹付タイル仕上げ（撤去）	
	改修後	下地調整C-2の上 外装薄塗材E（吹付）	
外壁	改修前 (D)	★吹付タイル仕上げ（撤去）	
	改修後	下地調整C-2の上 複層塗材E（吹付）	
梁型	改修前 (E)	天端：塗膜防水 着色仕上（既設のまま） 側面、下端：★吹付タイル仕上げ（撤去）	
	改修後	天端：水洗い後 ウレタン塗膜防水（X-2） 側面：下地調整材C-2 複層塗材E（吹付） 下端：下地調整材C-2 外装薄塗材E（吹付）	
壁 礎	改修前 (F)	硬質塩化ビニル管 V.P塗り 撤去 飾拵 撤去	
	改修後	硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 支持金物：ステンレス製φ1000内外 飾拵：塩化ビニル製	
巾木	改修前 (G)	モルタル塗り 既設のまま	
	改修後	水洗い	

<外壁吹付材> 吹付材（下地調整材に75%含有）  
 集じん装置付き超高压水洗工法  
 集じん装置付きイソグライゾール工法併用  
 ※各種申請及び届出を行うこと。

**【註記】**  
 ・サッシ廻りのシーリングは撤去とし、再度シーリングを行うこと。  
 ・外壁に取り付く設備配管は、養生し、脱着しないものとする。

◆外壁改修工事仕様		※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。	
<施工数量調査> ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部 ・調査方法 打診、目視及びクラックメーター等 ・報告書 2部（補修方法別に調査数量を集計すること）		<外壁クラック補修仕様> ・ひび割れ補修（1mm以上） Uカッター充填工法の上部 杉樹脂モルタル充填 ・ひび割れ補修（1mm未満） 自動式低圧球 杉樹脂注入工法 ・欠損部補修 杉樹脂モルタル充填工法（防錆処理共） ・浮き部補修 一般部：7カベニング部分 杉樹脂注入工法（16本/m <sup>2</sup> 25ml/穴） 見上部：7カベニング部分 杉樹脂注入工法（25本/m <sup>2</sup> 25ml/穴） 細幅部：7カベニング部分 杉樹脂注入工法（5本/m <sup>2</sup> 25ml/穴）	

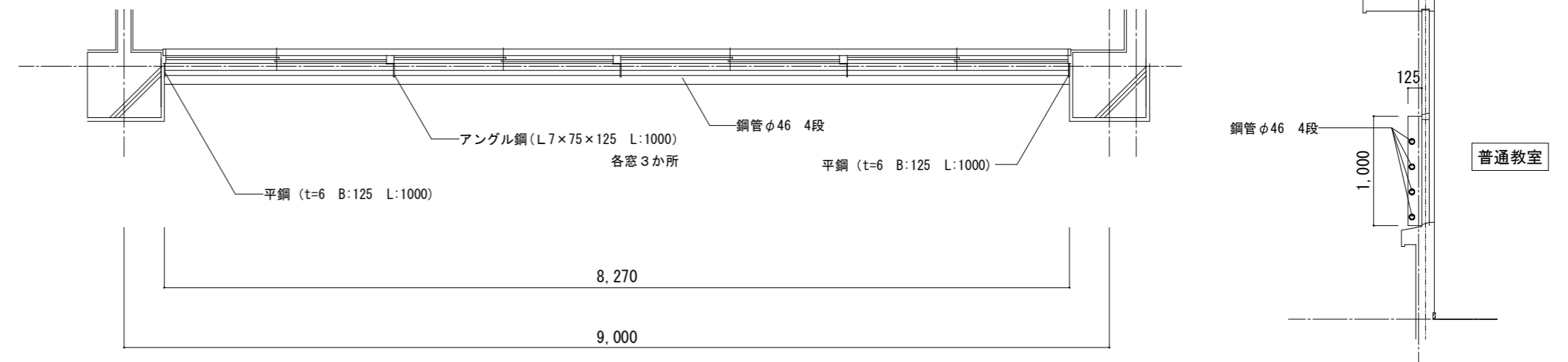


普通教室棟 南立面図 S=1/200

外壁改修仕様		※特記無き限り、★印はアスベスト含有建材(下地調整材に含有)を示す。	
部位	記号	仕上	
昇降口庇	改修前 (A)	★吹付タイル仕上げ(撤去)	
	改修後	下地調整材C-2 複層塗材E(吹付)	
小庇	改修前 (B)	塗膜防水 着色仕上(既設のまま)	
	改修後	水洗い後 ウレタン塗膜防水(X-2)	
軒天	改修前 (C)	★吹付タイル仕上げ(撤去)	
	改修後	下地調整材C-2 外装薄塗材E(吹付)	
外壁	改修前 (D)	★吹付タイル仕上げ(撤去)	
	改修後	下地調整材C-2 複層塗材E(吹付)	
梁型	改修前 (E)	天端: 塗膜防水 着色仕上(既設のまま) 側面、下端: ★吹付タイル仕上げ(撤去)	
	改修後	天端: 水洗い後 ウレタン塗膜防水(X-2) 側面: 下地調整材C-2 複層塗材E(吹付) 下端: 下地調整材C-2 外装薄塗材E(吹付)	
壁 樋	改修前 (F)	硬質塩化ビニル管 V.P.塗り 撤去 飾拵 撤去	
	改修後	硬質塩化ビニル管(カラー)φ100 支持金物: ステンレス製φ1000内外 飾拵: 塩化ビニル製	
巾木	改修前 (G)	モルタル塗り 既設のまま	
	改修後	水洗い	
<外壁吹付材> 吹付材(下地調整材に7%含有) 集じん装置付き超高压水施工法 集じん装置付きデスラグライナー工法併用 ※各種申請及び届出を行うこと。			
【註記】 ・サッシ廻りのシーリングは撤去とし、再度シーリングを行うこと。 ・外壁に取り付く設備配管は、養生し、脱着しないものとする。			
◆外壁改修工事仕様 ※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。 <施工数量調査> ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部 ・調査方法 打診、目視及びクラックメーター等 ・報告書 2部(補修方法別に調査数量を集計すること) <外壁クラック補修仕様> ・ひび割れ補修(1mm以上) Uカッター充填工法の上塗り 杉樹脂樹脂充填 ・ひび割れ補修(1mm未満) 自動式低圧球状杉樹脂注入工法 ・欠損部補修 球状杉樹脂樹脂充填工法(防錆処理共) ・浮き部補修 一般部: アカビニロン部分 球状杉樹脂注入工法(16本/m <sup>2</sup> 25ml/穴) 見上部: アカビニロン部分 球状杉樹脂注入工法(25本/m <sup>2</sup> 25ml/穴) 細幅部: アカビニロン部分 球状杉樹脂注入工法(5本/m <sup>2</sup> 25ml/穴)			

普通教室棟 落下防止手すり詳細図 S=1/50

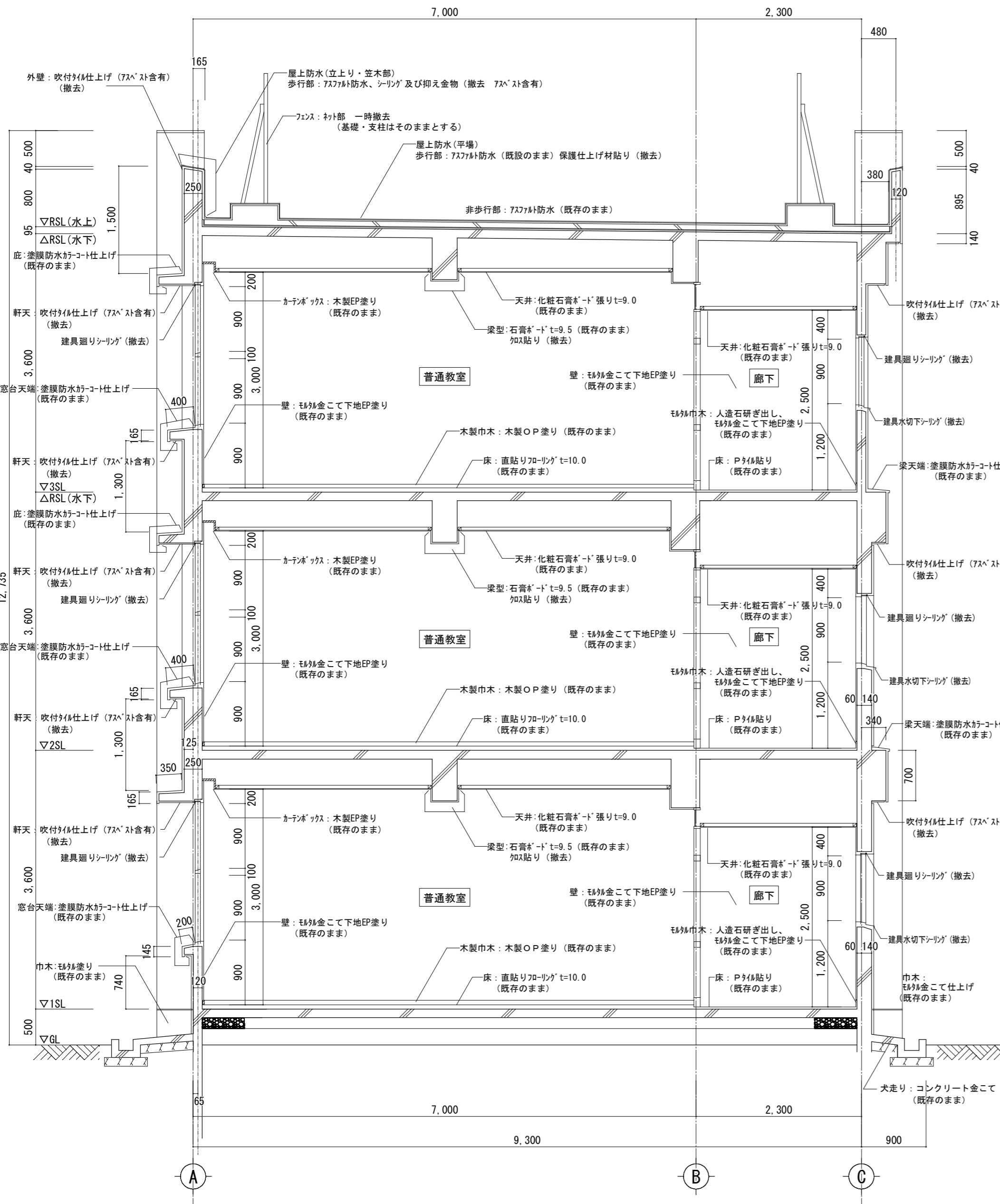
※特記無き限り、鉄部は下地調整RCの上DP塗とする。



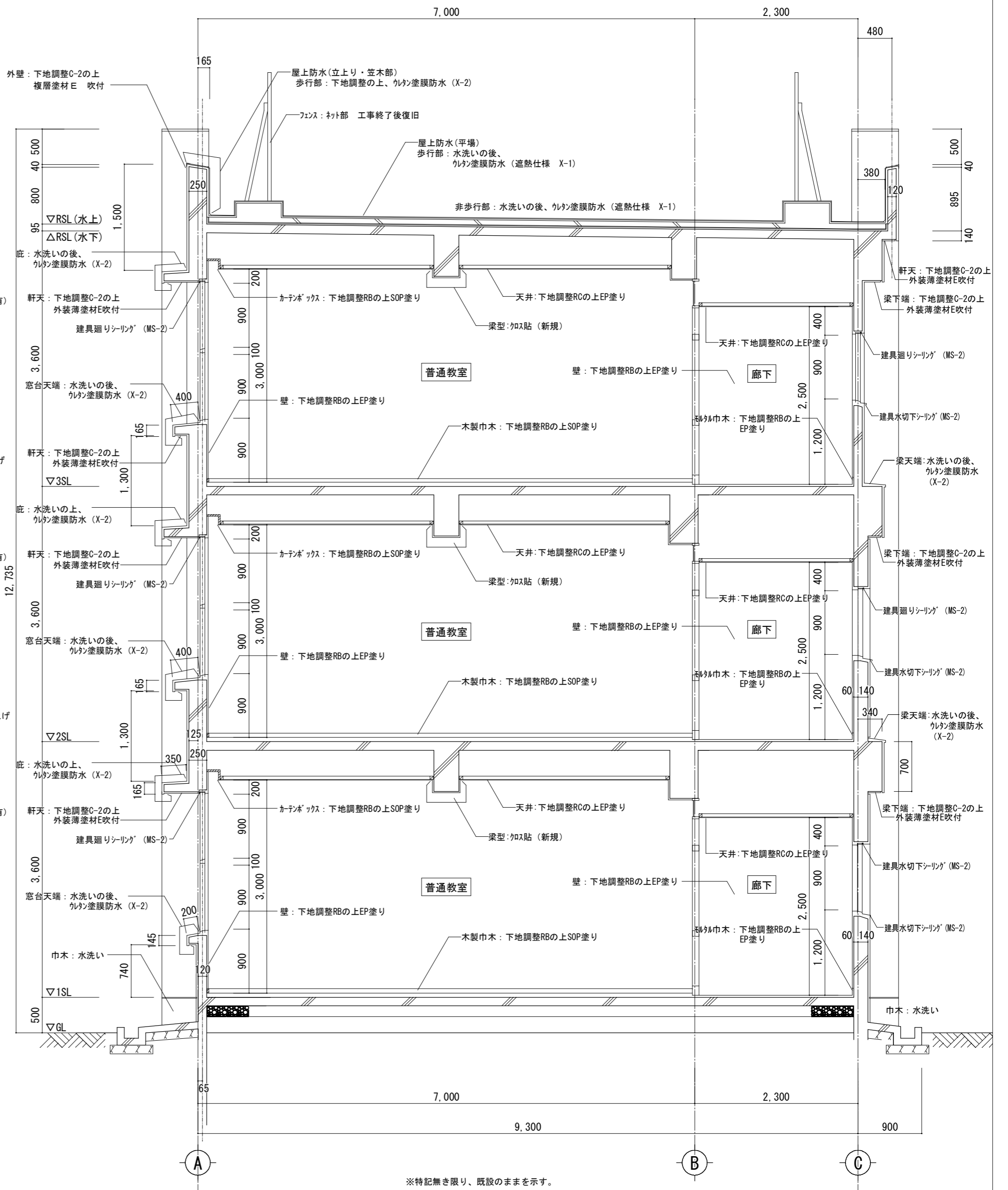
横断面詳細図 S=1/50

縦断面詳細図 S=1/50

断面詳細図 S=1/50 (改修前)



断面詳細図 S=1/50 (改修後)



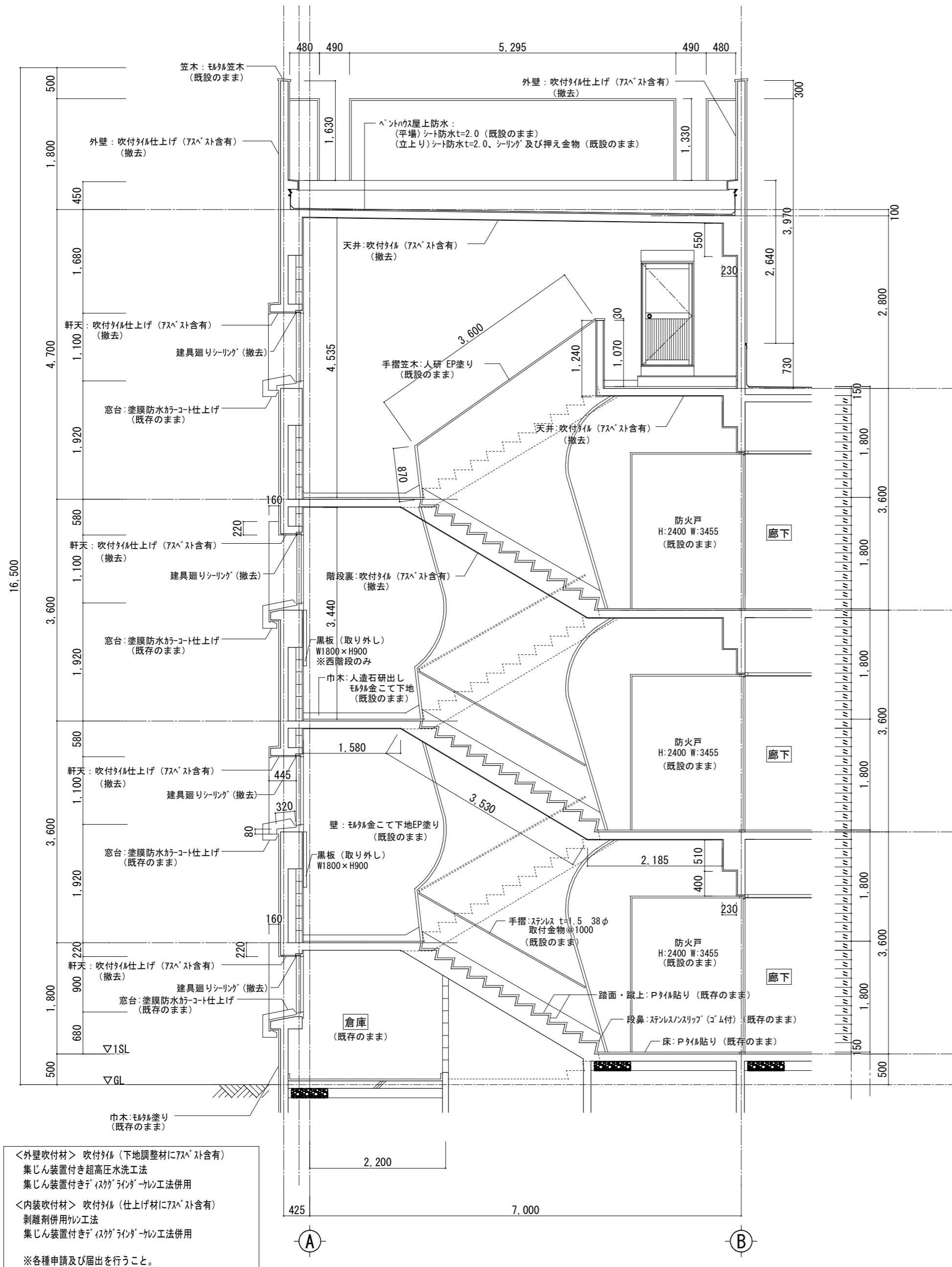
工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
**断面詳細図 1 (改修前・改修後)**  
 縮尺 / Scale 原図: A2  
**S=1/50**  
 日付 / Date

Check  
 No.  
**A-13**

重企建築事務所  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

断面詳細図 S=1/60 (改修前)

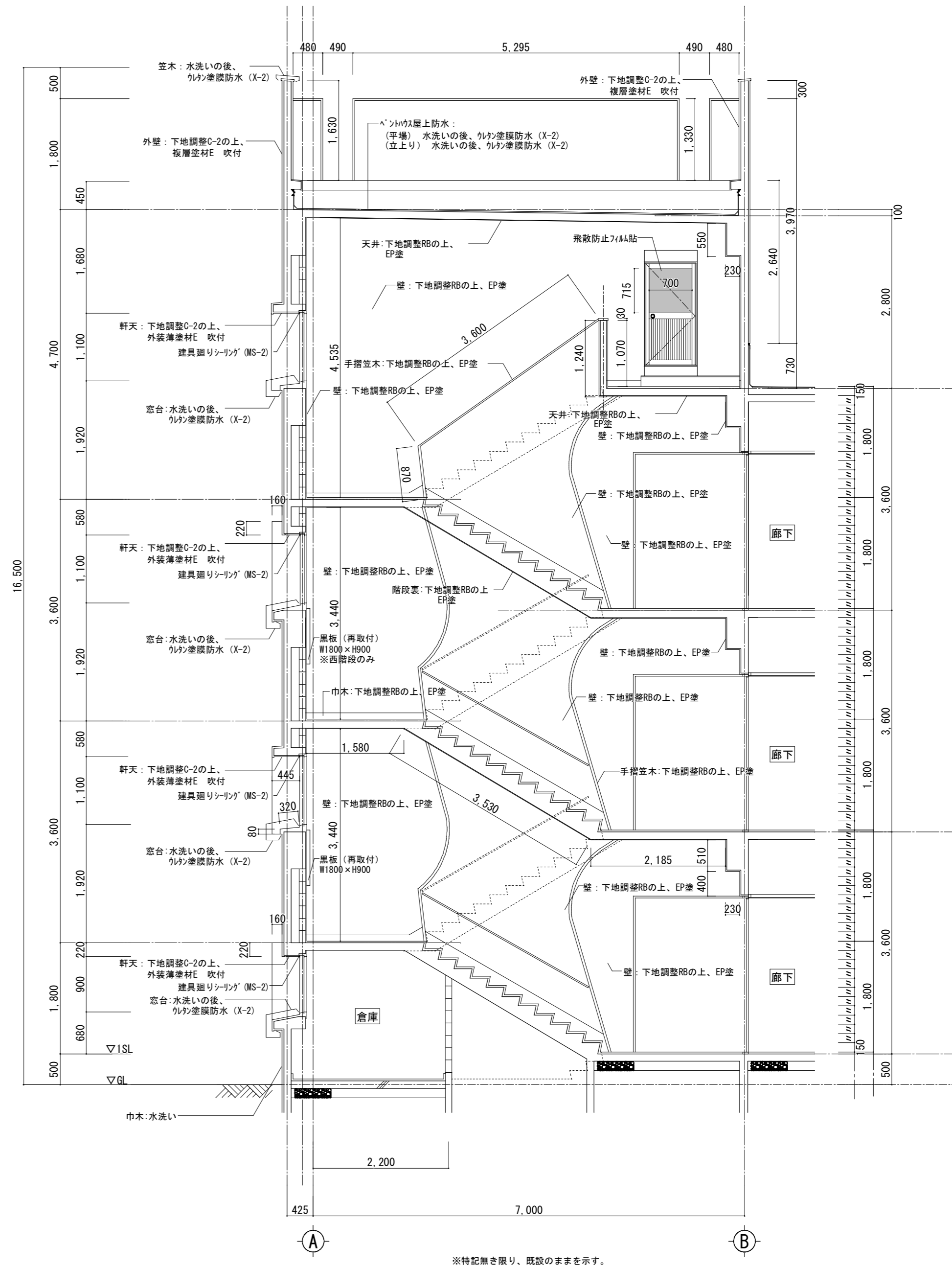


<外壁吹付材> 吹付材(下地調整材に7A'ス含有)  
 集じん装置付き超高压水洗浄工法  
 集じん装置付き「イカグライナー」工法併用

<内装吹付材> 吹付材(仕上げ材に7A'ス含有)  
 剥離剤併用工法  
 集じん装置付き「イカグライナー」工法併用

※各種申請及び届出を行うこと。

断面詳細図 S=1/60 (改修後)



※特記無き限り、既設のままを示す。

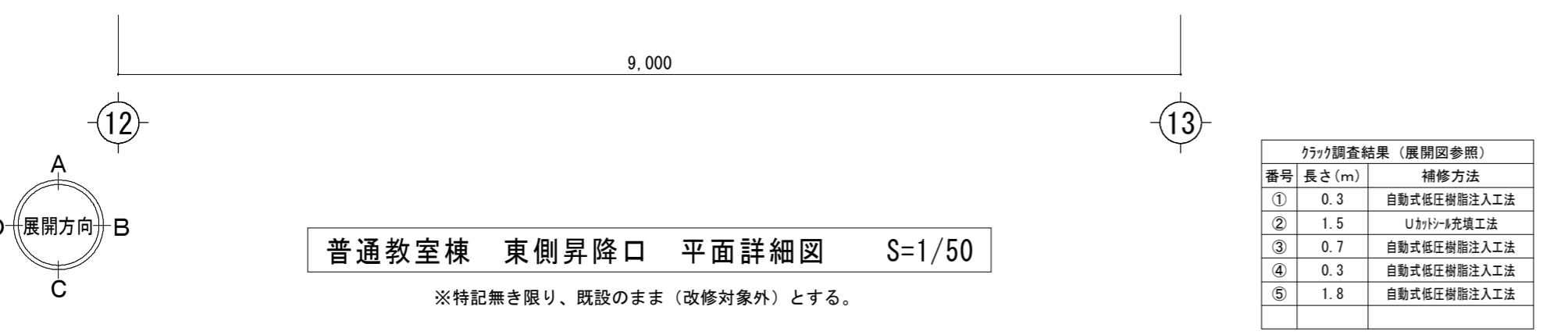
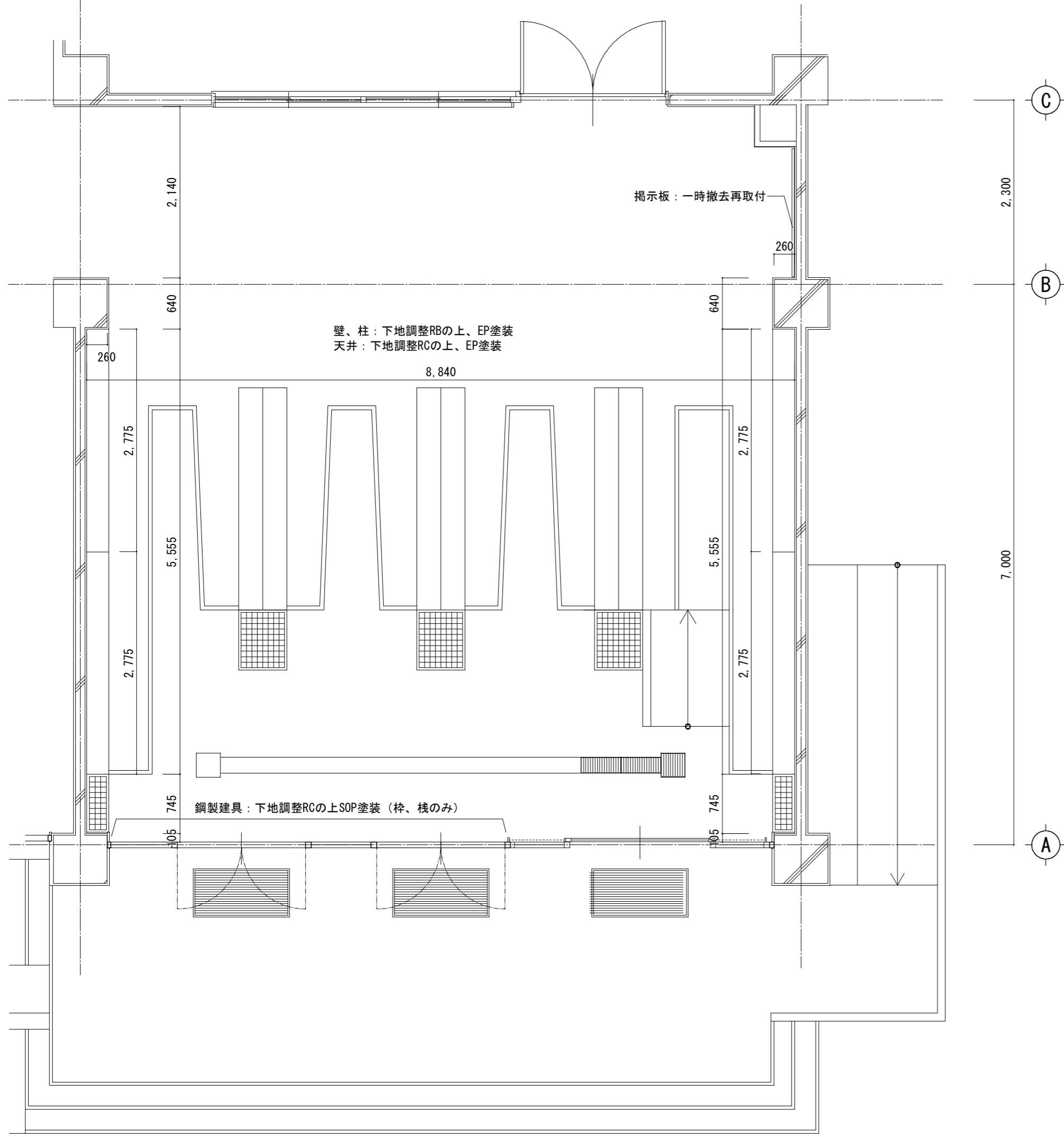
工事名/Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別/Drawing  
**断面詳細図2(改修前・改修後)**

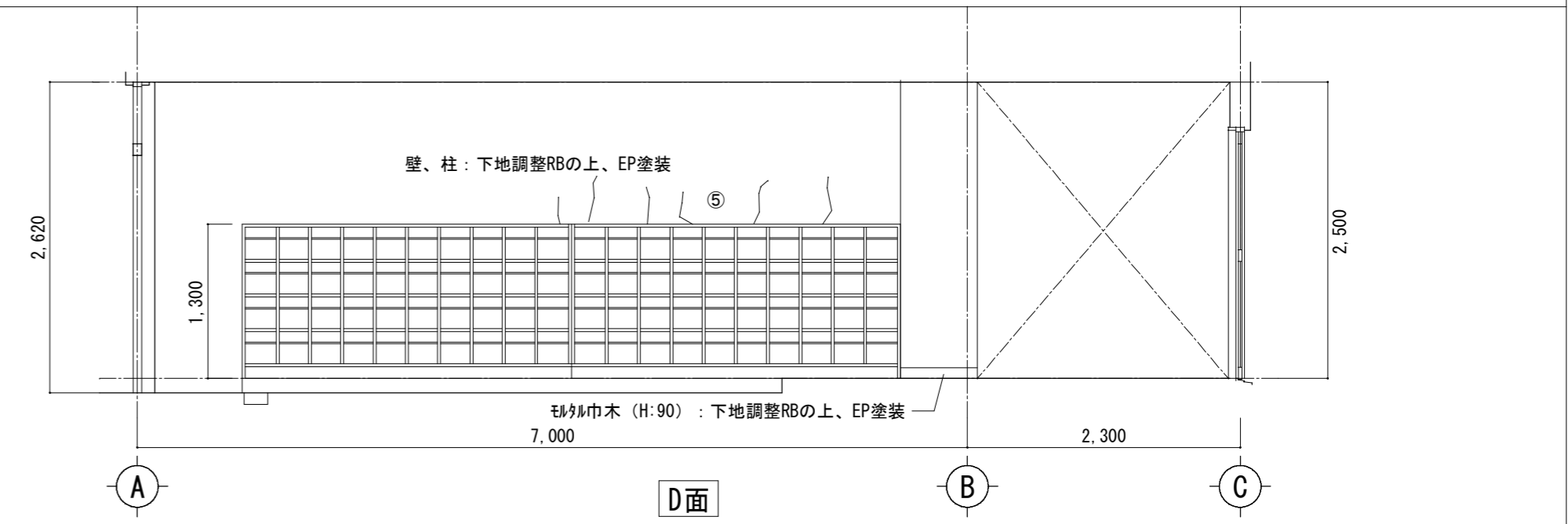
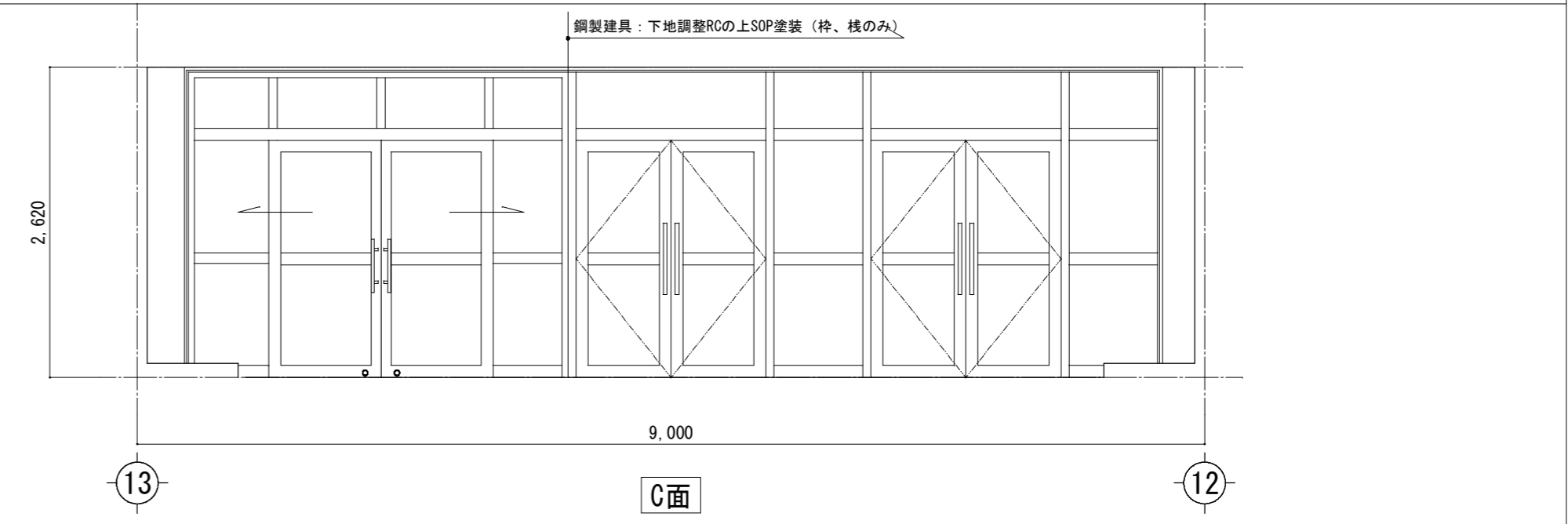
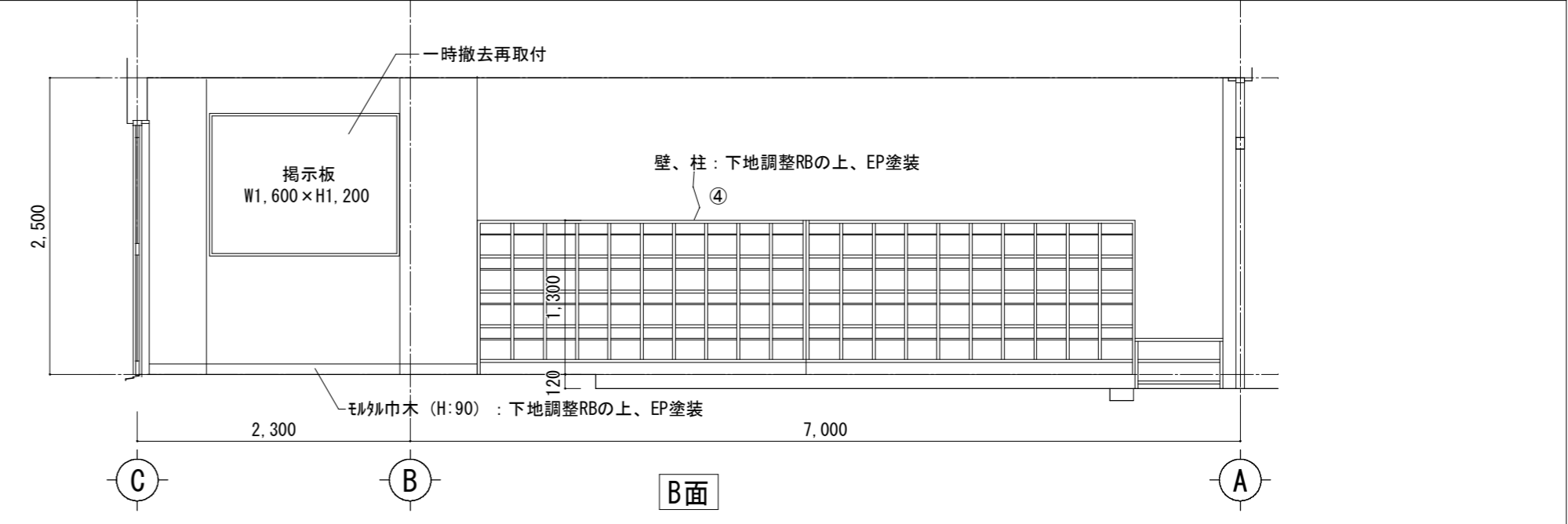
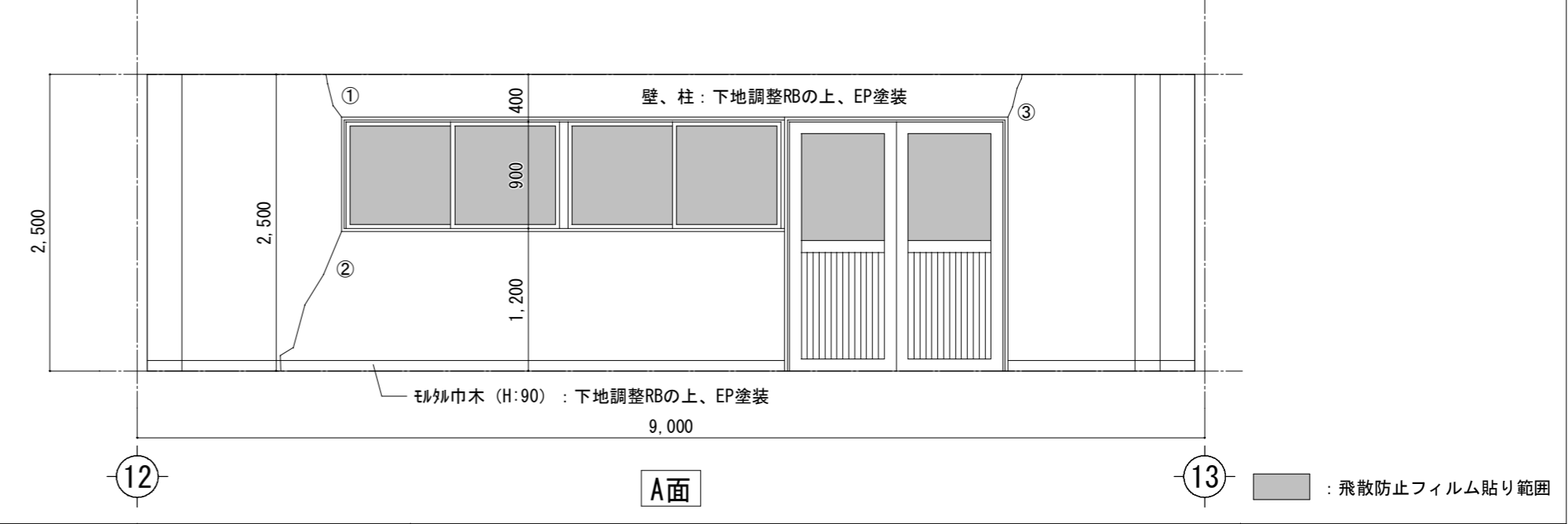
縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date  
 S=1/60

Check  
 No.  
**A-14**

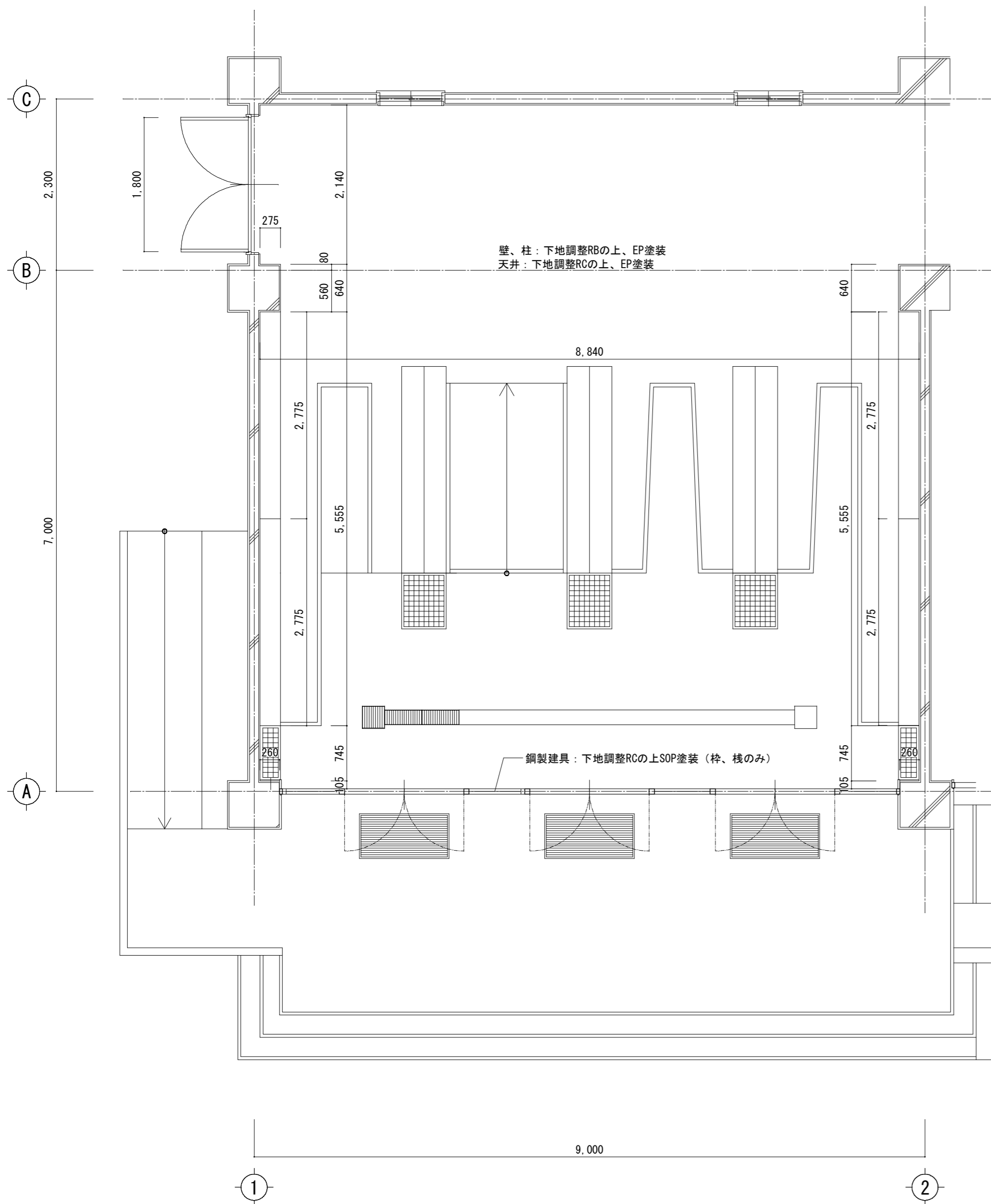
合資会社 **重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



普通教室棟 東側昇降口 展開細図 S=1/50 ※特記無き限り、既設のまま（改修対象外）とする。







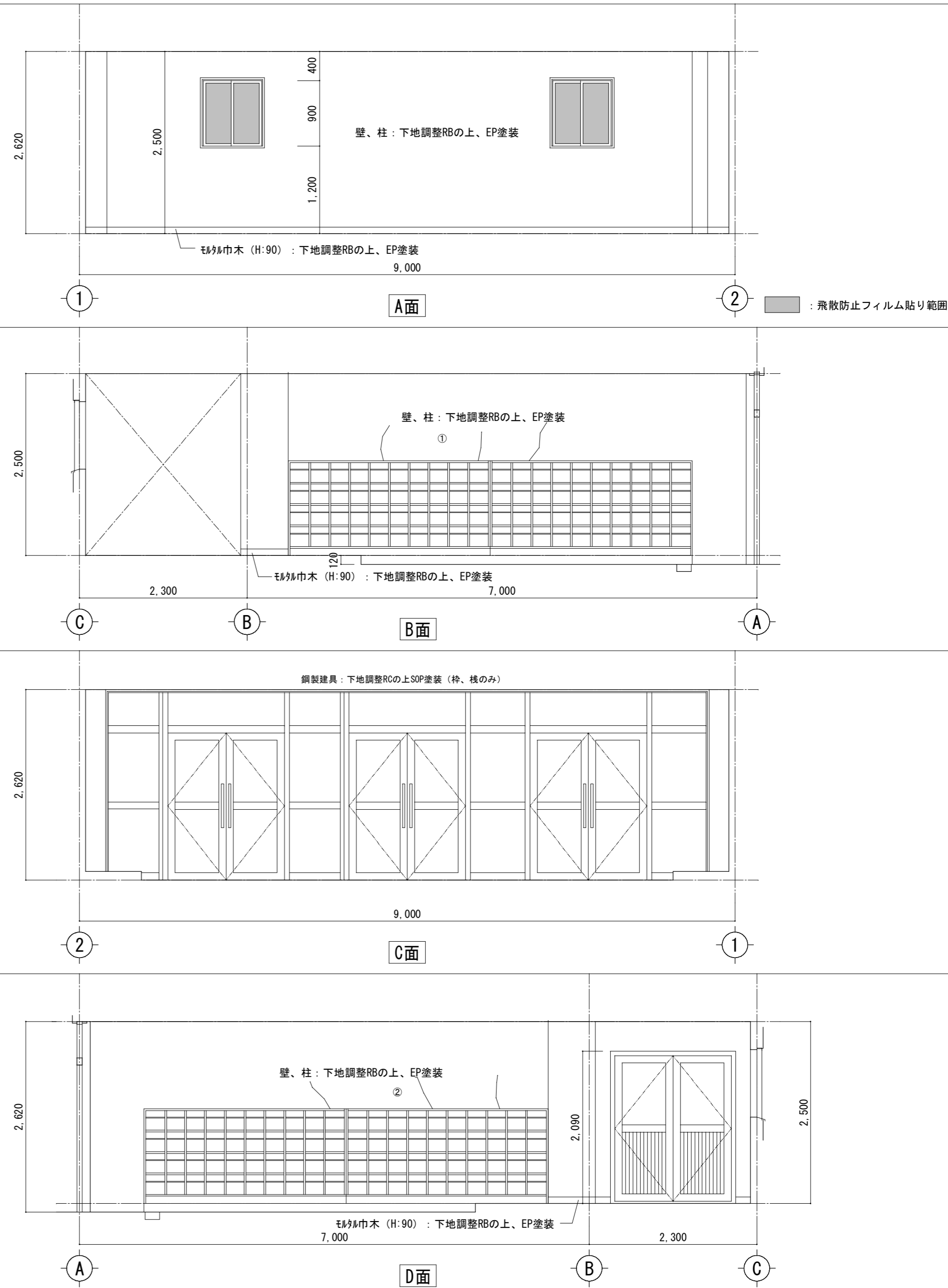
普通教室棟 西側昇降口 平面詳細図 S=1/50

※特記無き限り、既設のまま（改修対象外）とする。

クラック調査結果（展開図参照）		
番号	長さ(m)	補修方法
①	0.9	自動式低圧樹脂注入工法
②	0.9	自動式低圧樹脂注入工法

普通教室棟 西側昇降口 展開細図 S=1/50

※特記無き限り、既設のまま（改修対象外）とする。



工事名 / Title

津市立修成小学校長寿命化改修工事

図面種別 / Drawing

西昇降口 平面詳細図・展開図

Check

No.

A-16

縮尺 / Scale

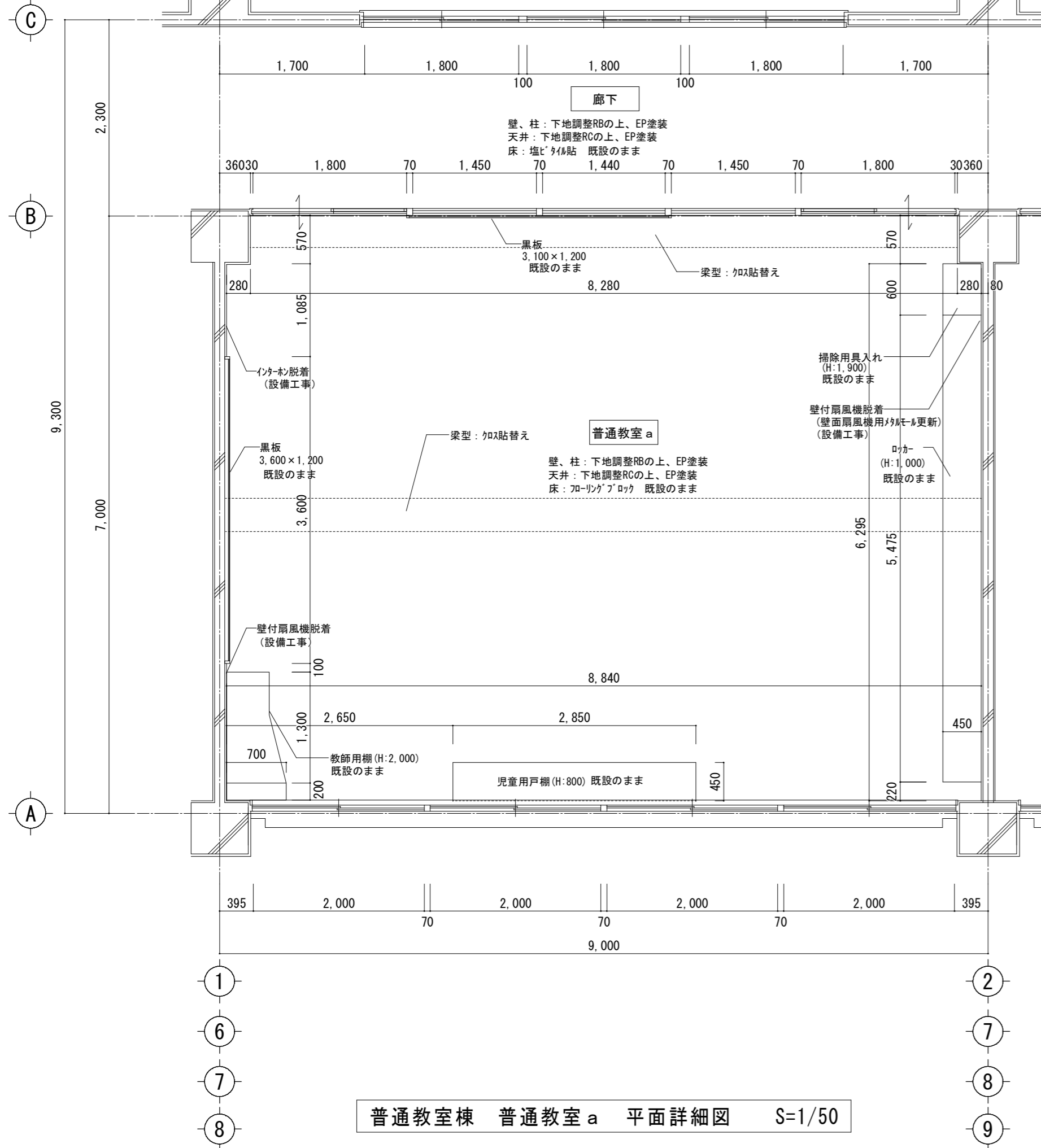
S=1/50

原図 / A2

日付 / Date

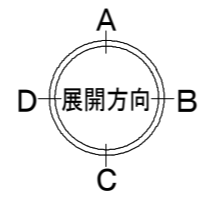
合資会社 重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



普通教室棟 普通教室 a 平面詳細図 S=1/50

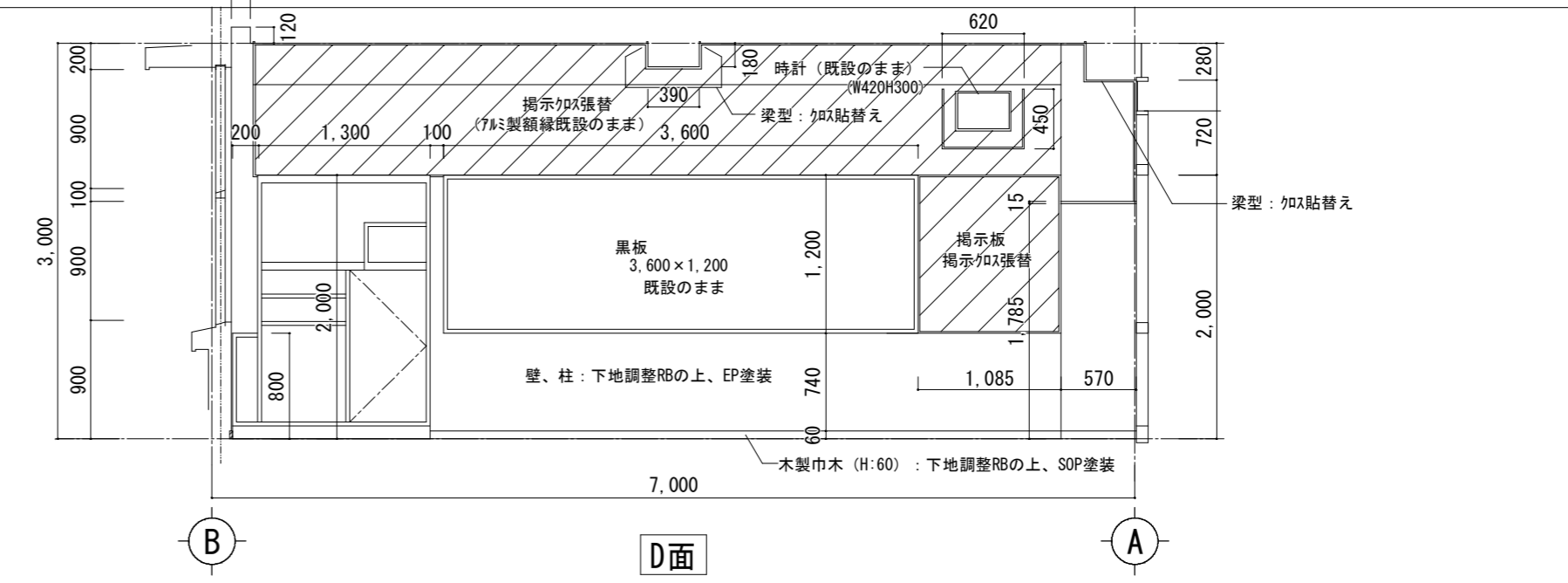
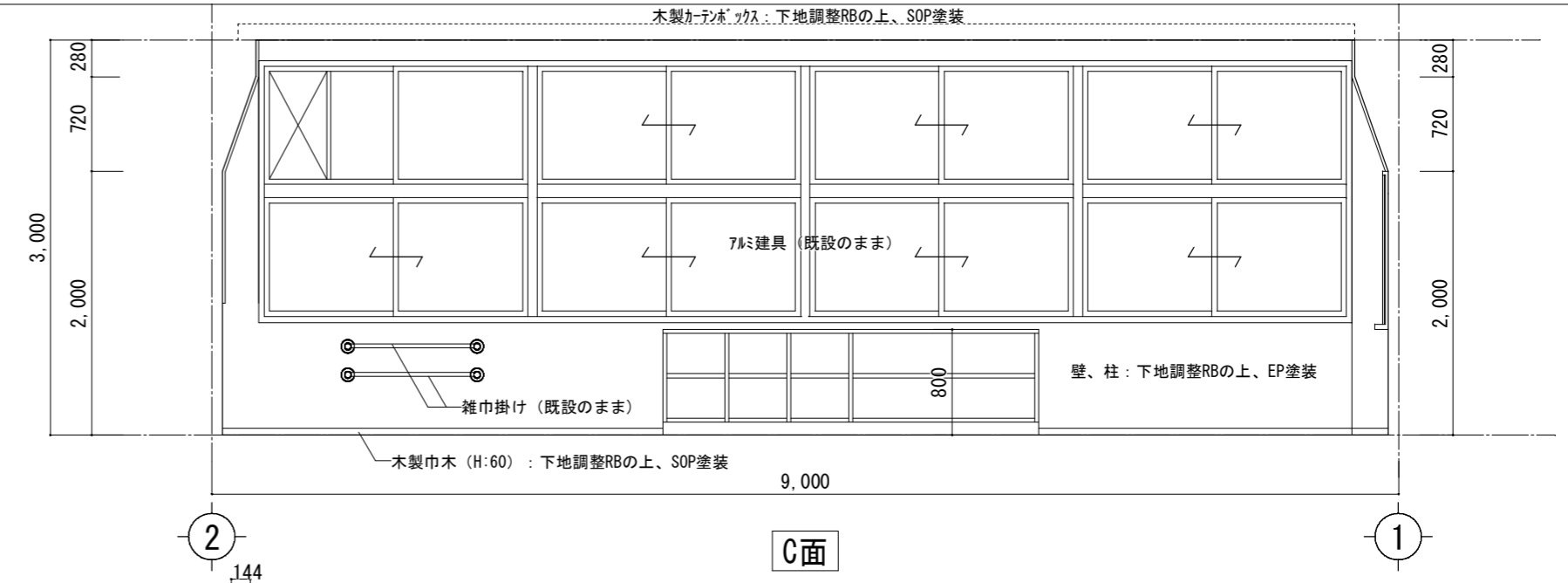
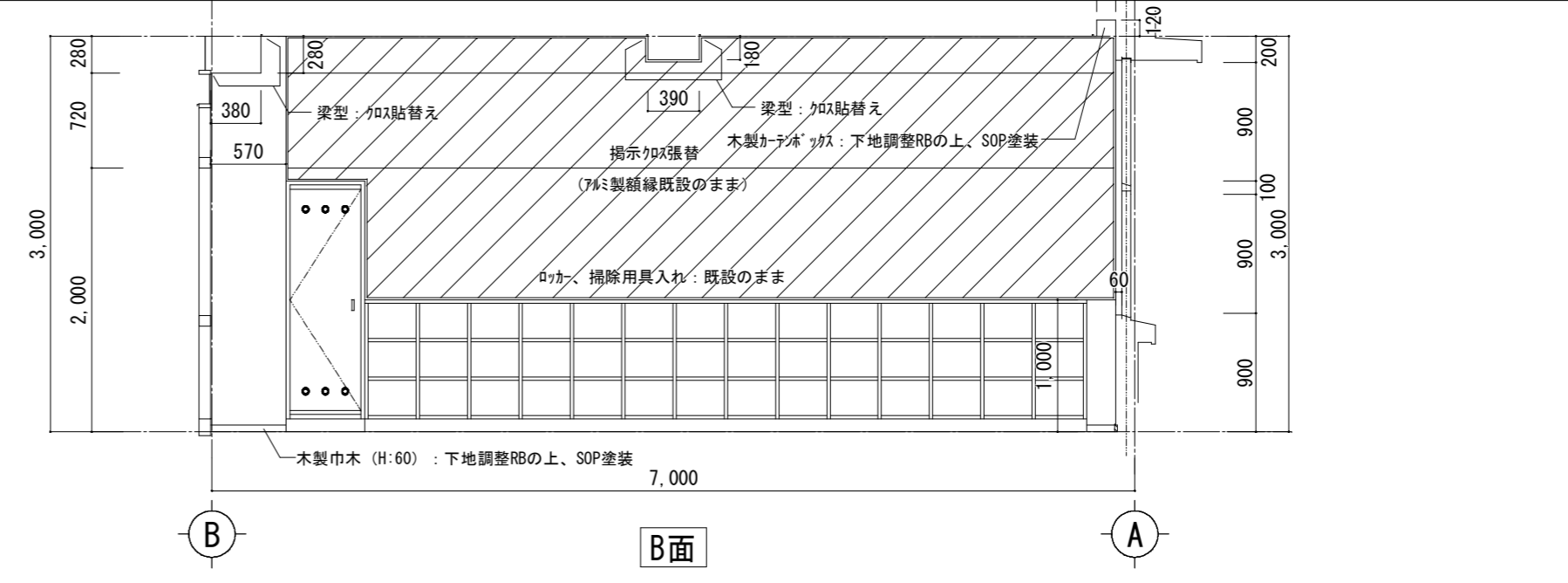
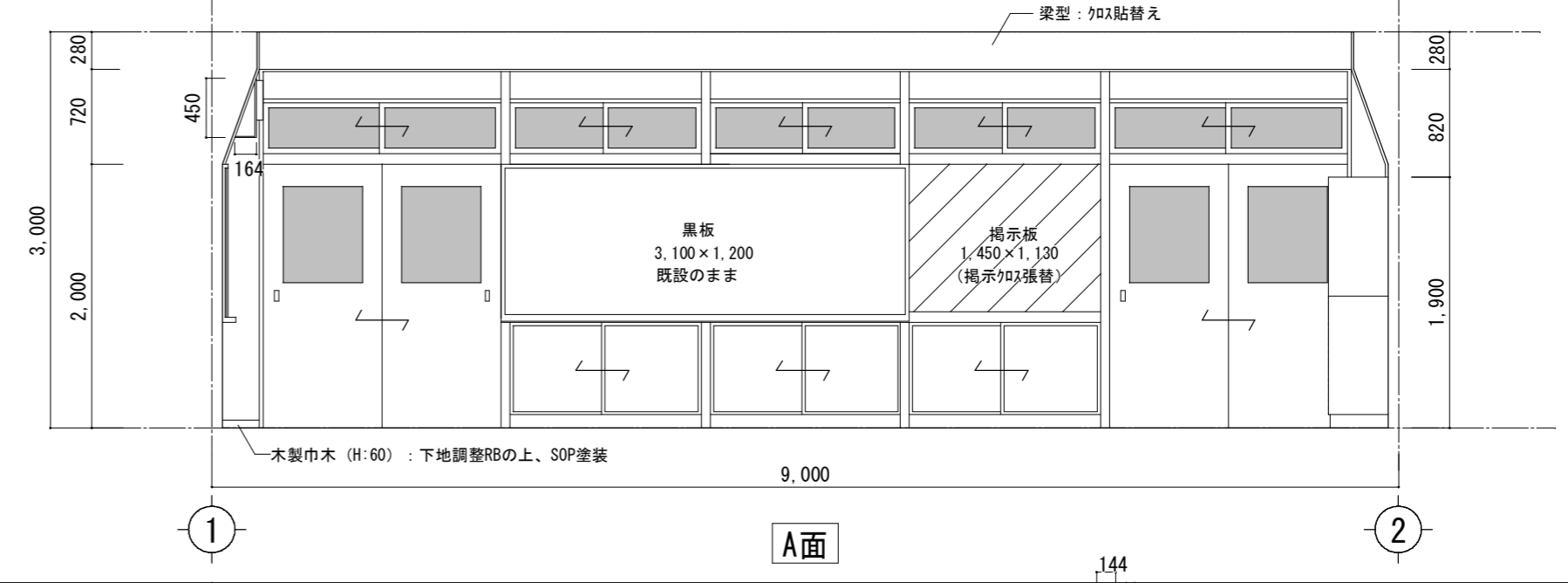
※特記無き限り、既設のまま(改修対象外)とする。



普通教室棟 普通教室 a 展開細図 S=1/50

※特記無き限り、既設のまま(改修対象外)とする。

：飛散防止フィルム貼り範囲  
：掲示加貼張替範囲

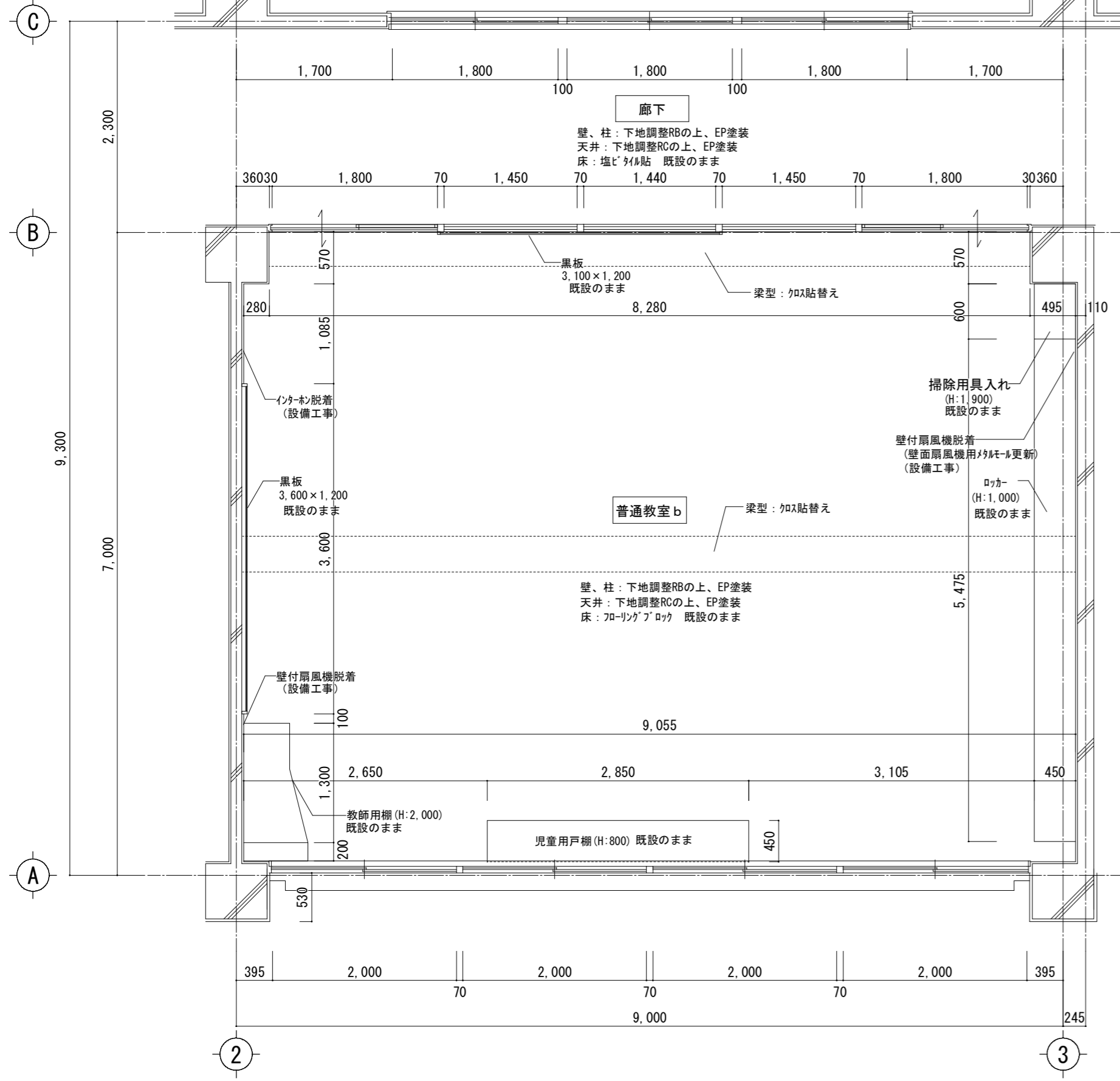


工事名/Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

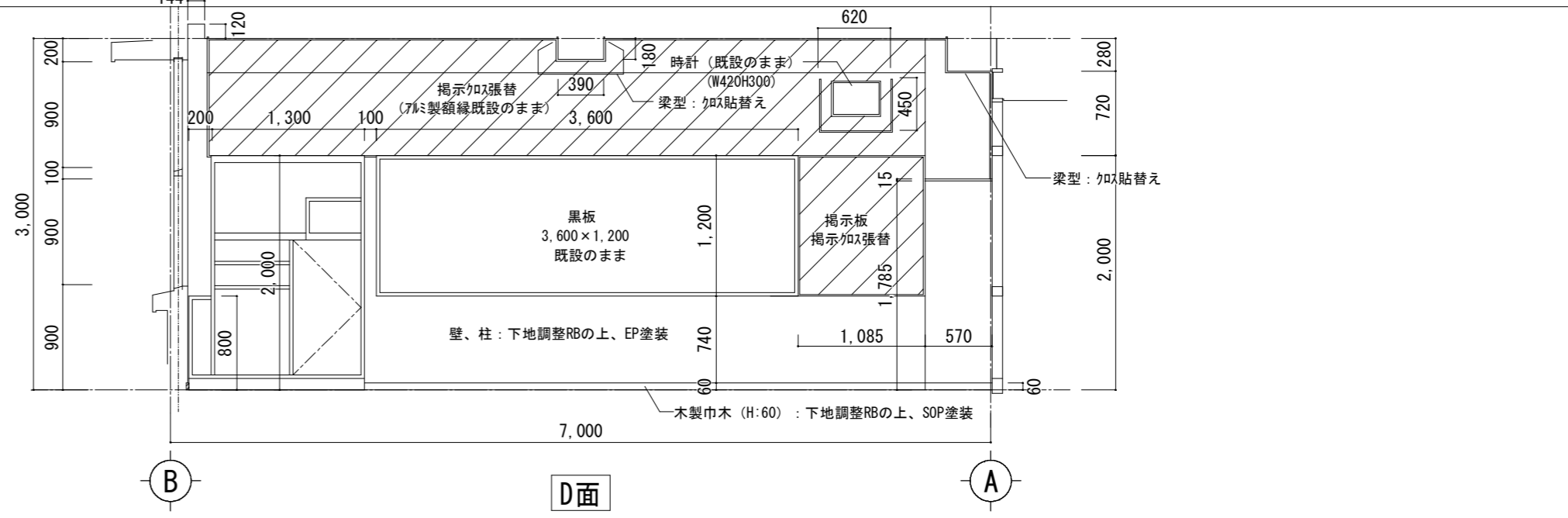
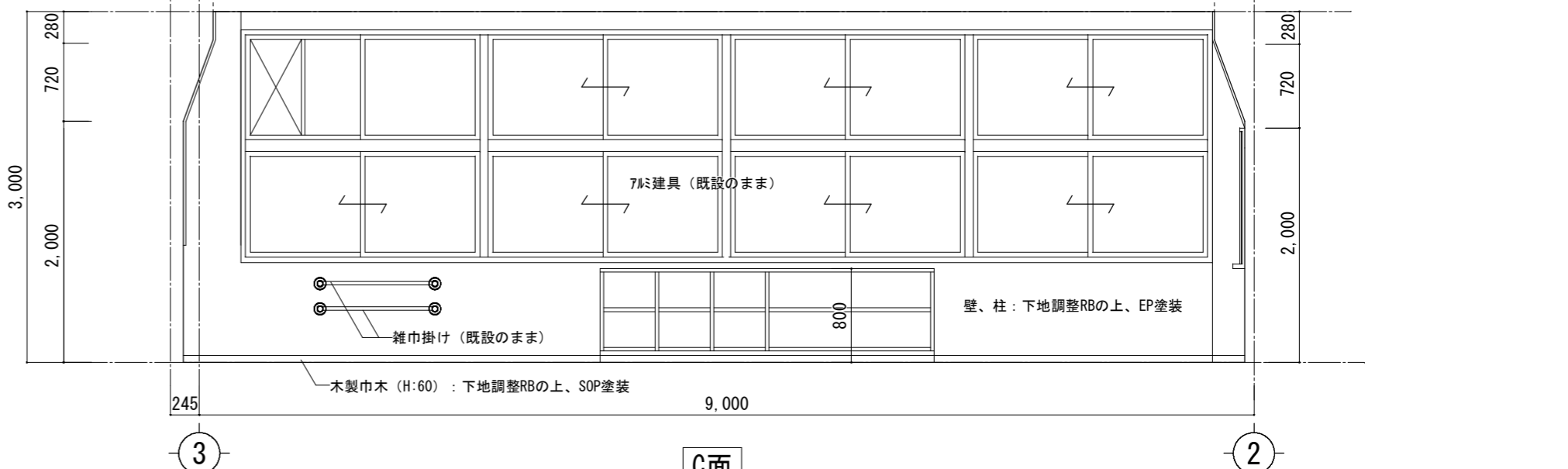
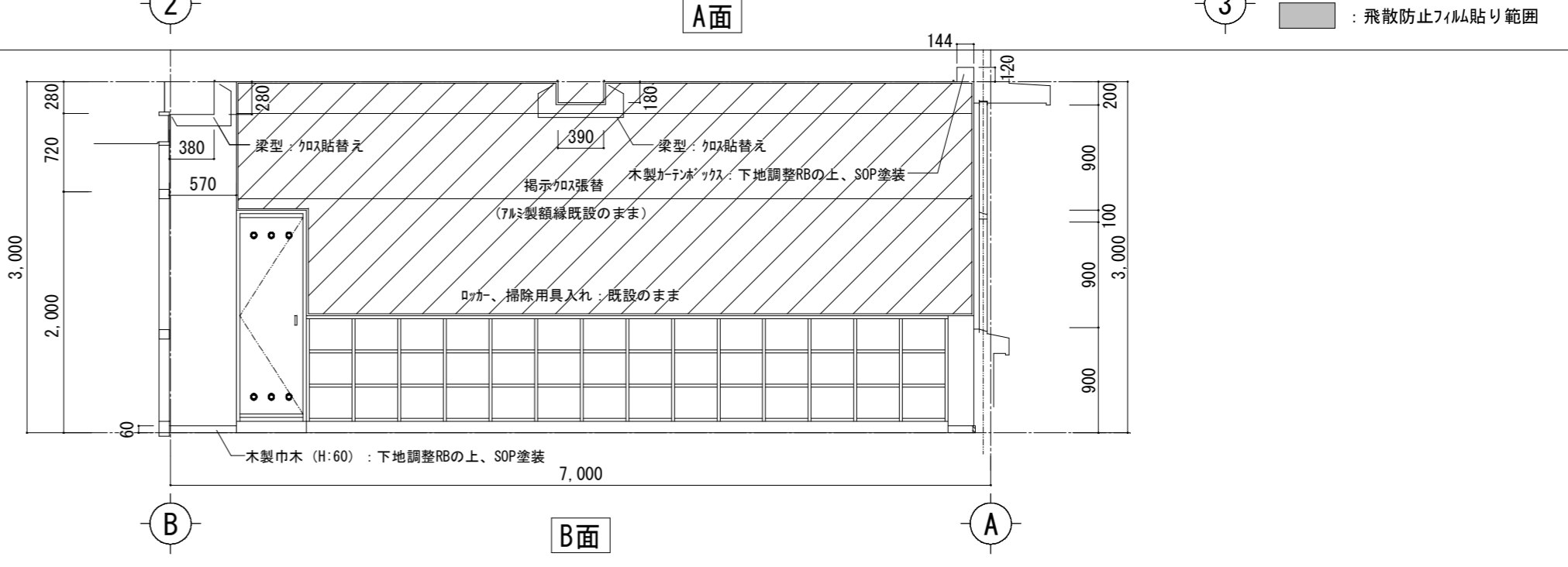
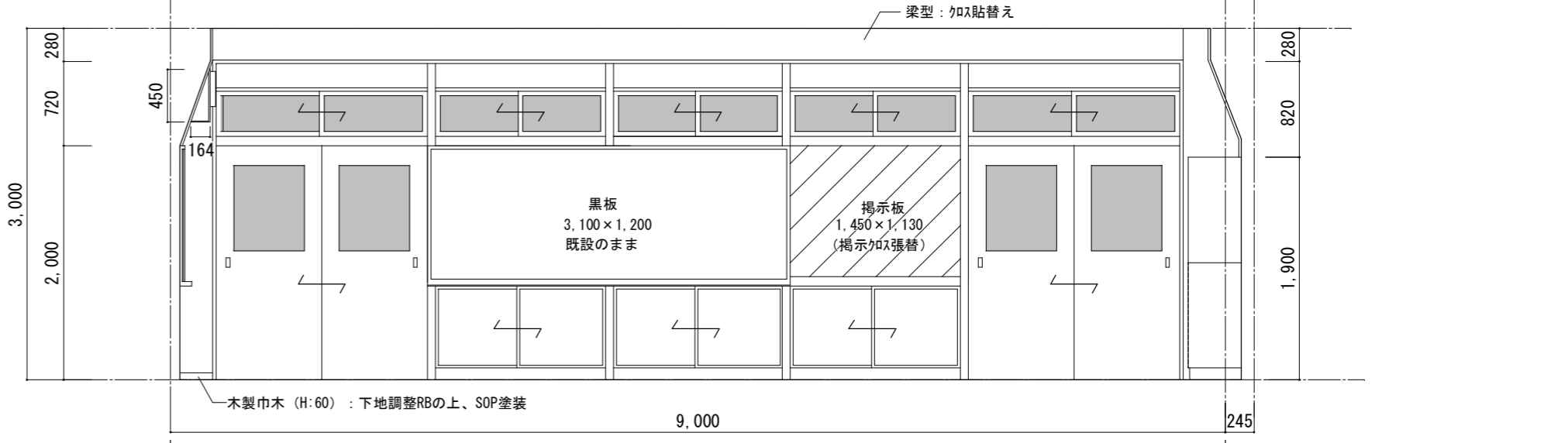
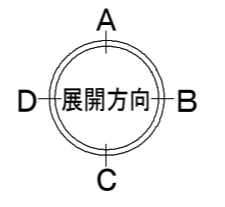
図面種別/Drawing  
普通教室 a 平面詳細図・展開図  
縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date  
S=1/50

Check  
No.  
A-17

合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



普通教室棟 普通教室 b 平面詳細図 S=1/50  
 ※特記無き限り、既設のまま（改修対象外）とする。



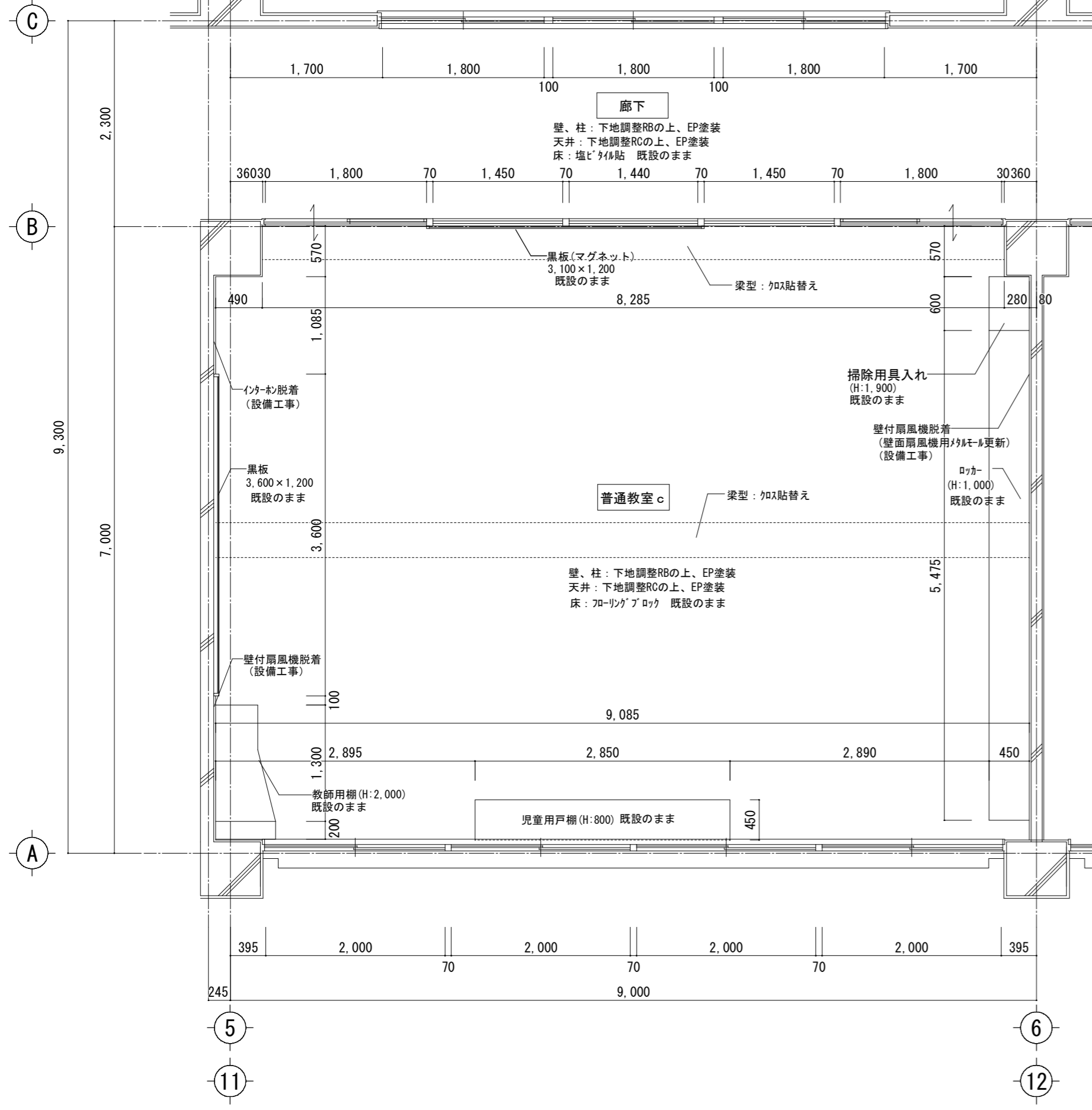
飛散防止フィルム貼り範囲  
 掲示加張替範囲  
 飛散防止フィルム貼り範囲

工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

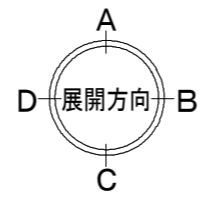
図面種別 / Drawing  
**普通教室 b 平面詳細図・展開図**  
 縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date  
 S=1/50

Check  
 No.  
**A-18**

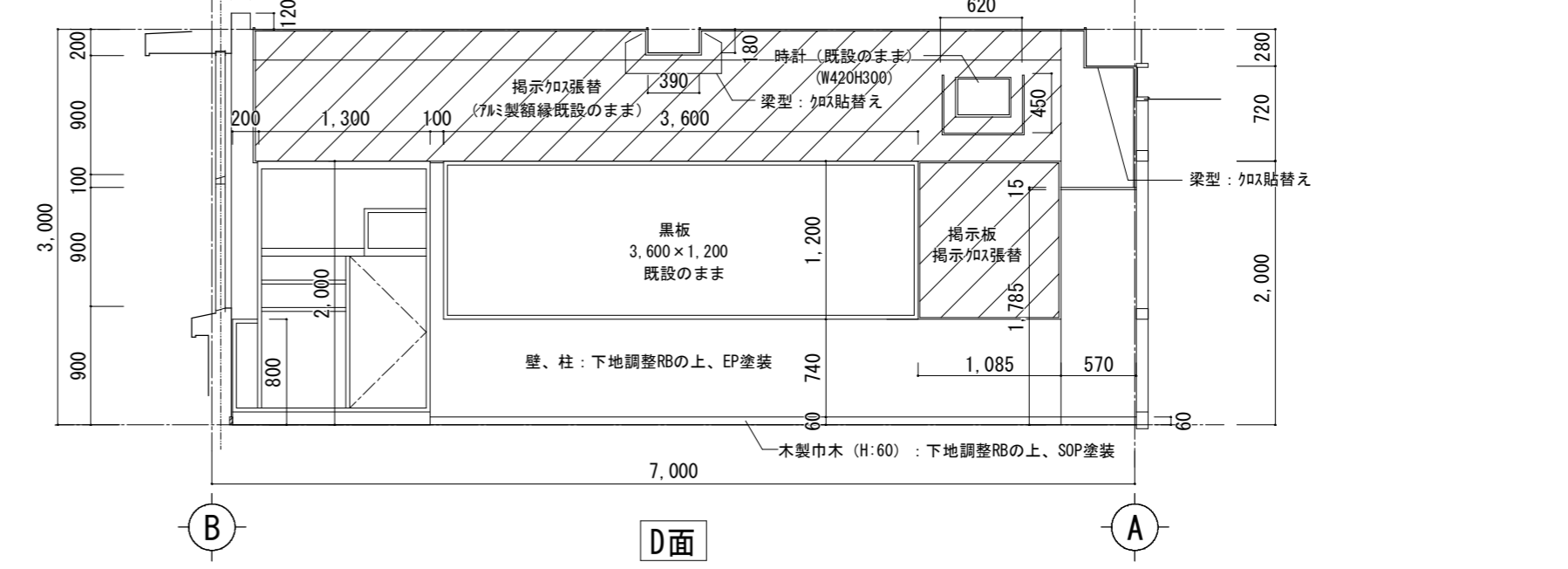
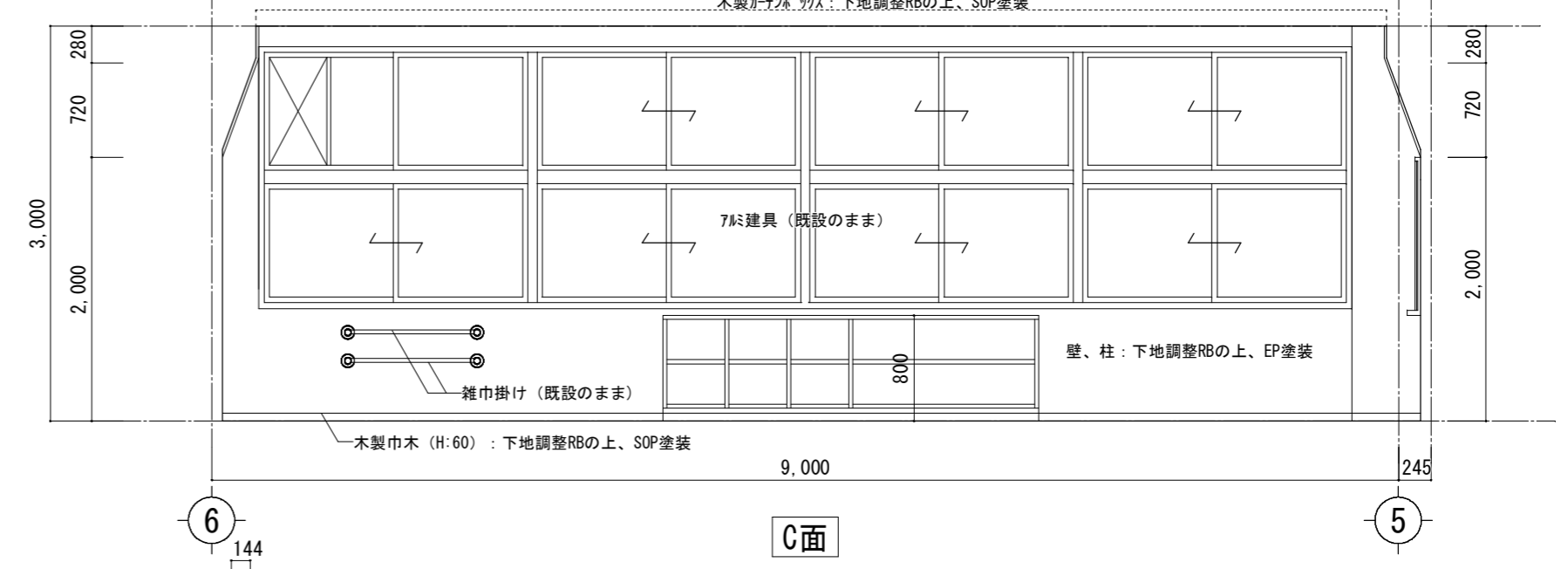
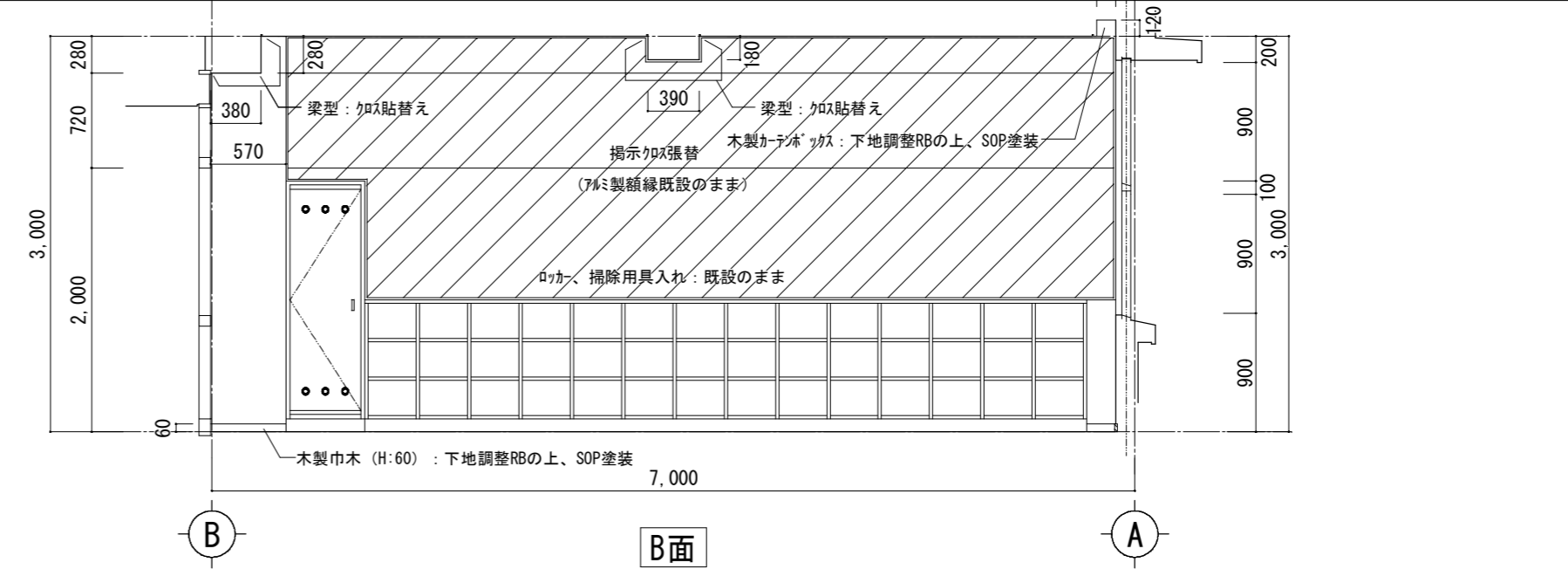
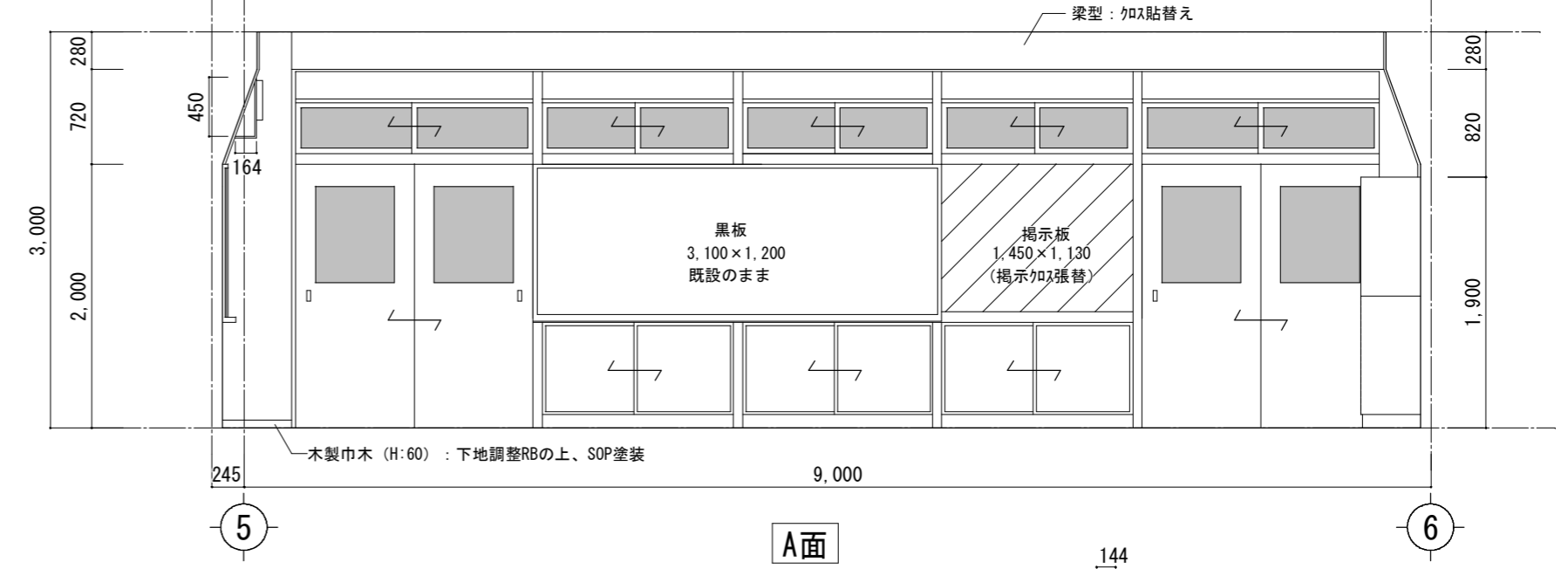
合資会社 **重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



普通教室棟 普通教室c 平面詳細図 S=1/50  
 ※特記無き限り、既設のまま(改修対象外)とする。



：飛散防止フィルム貼り範囲  
 ：掲示加貼替範囲

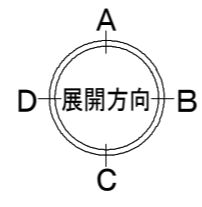
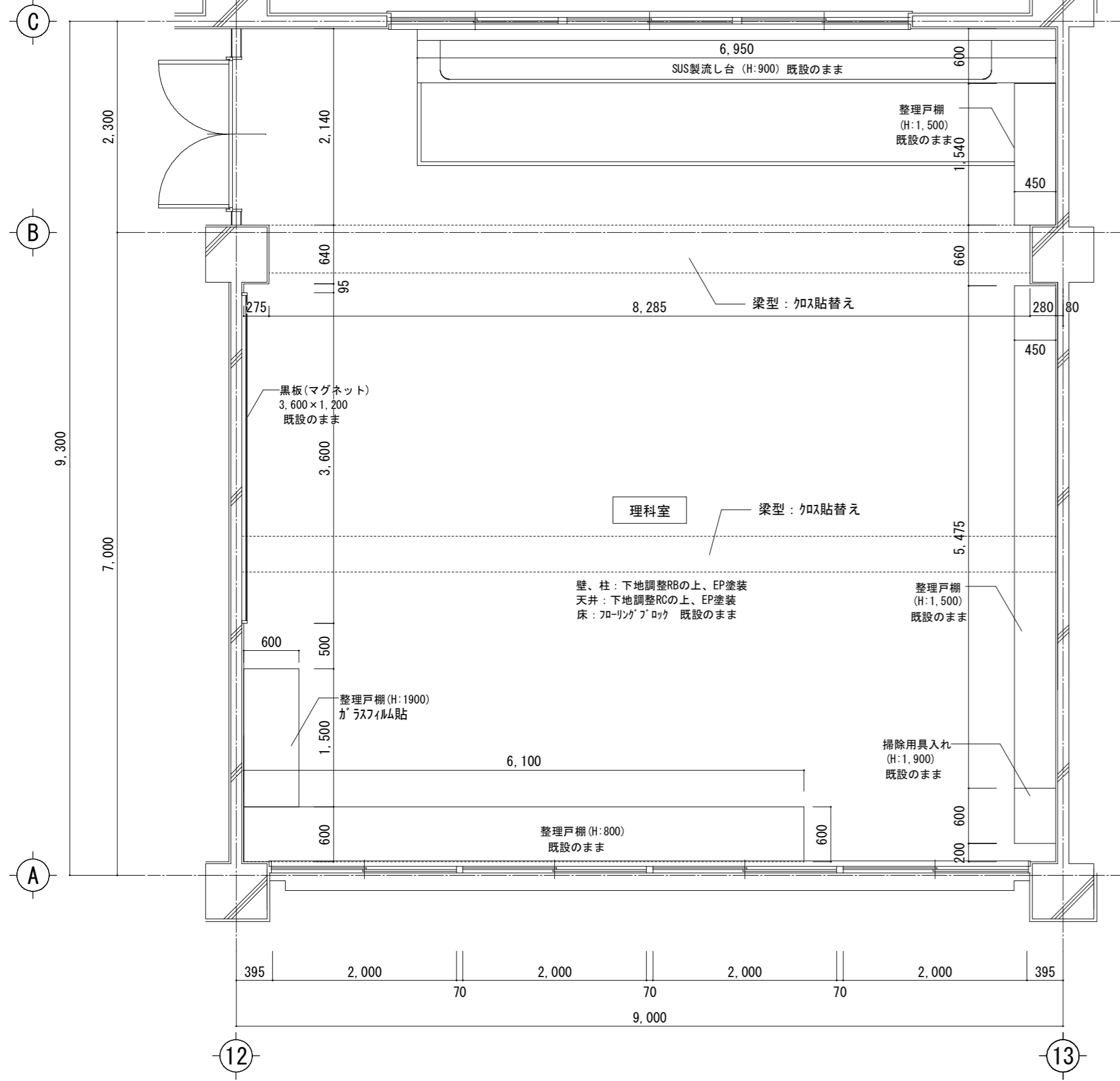


工事名/Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別/Drawing  
**普通教室c 平面詳細図・展開図**  
 縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date  
 S=1/50

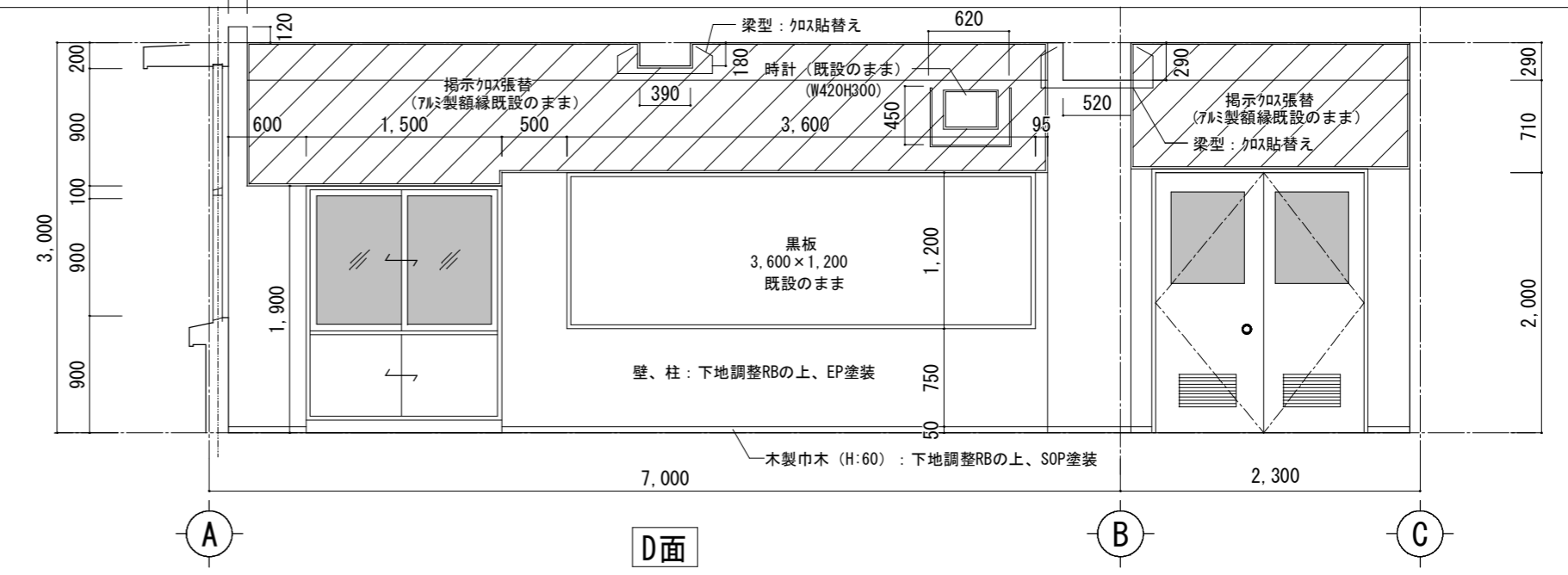
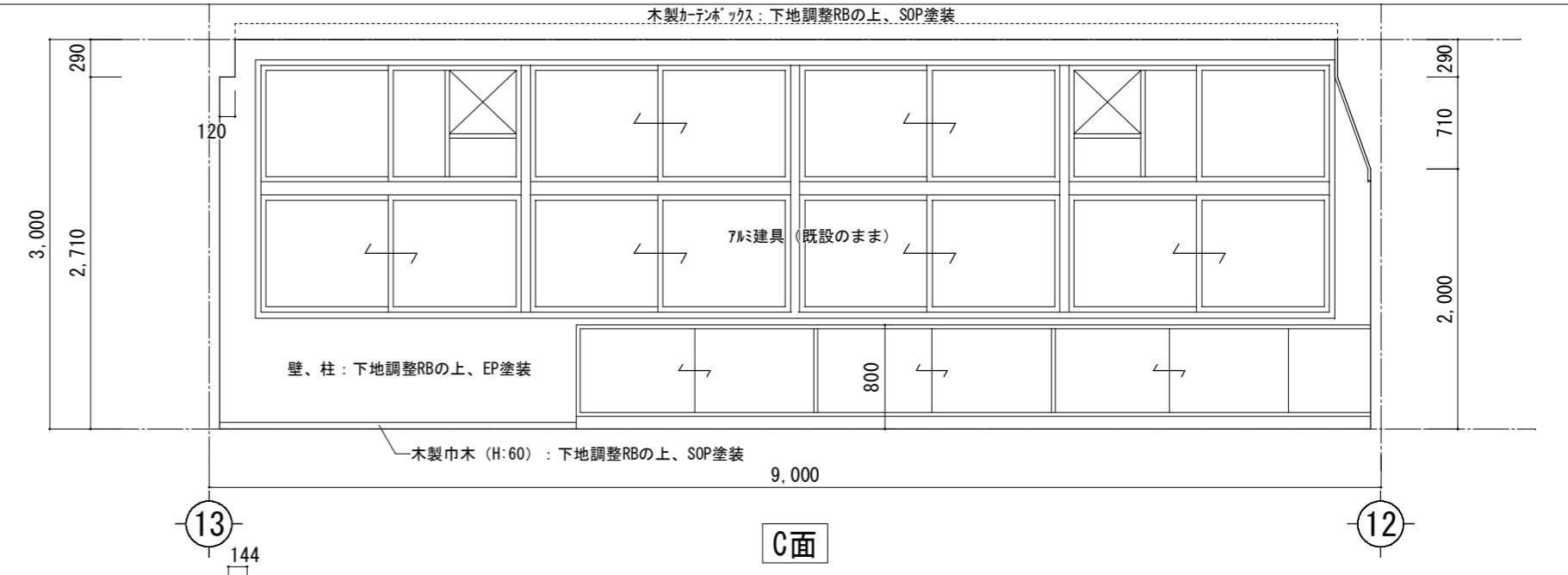
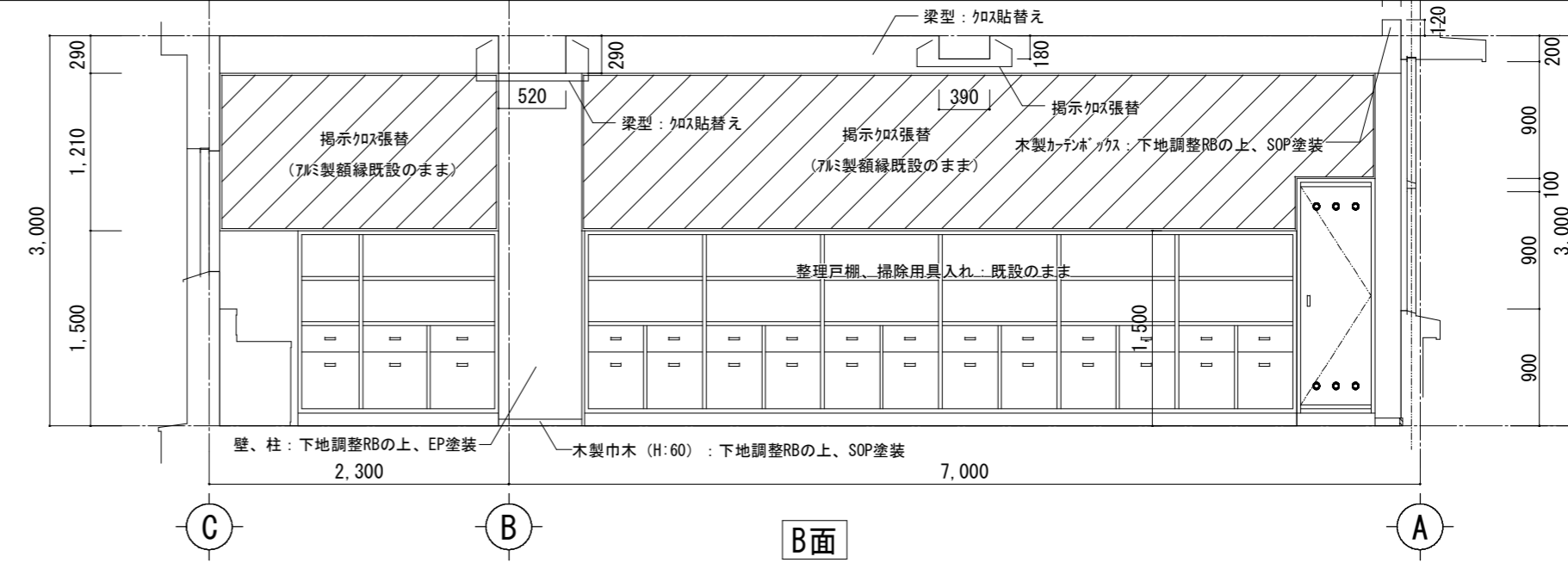
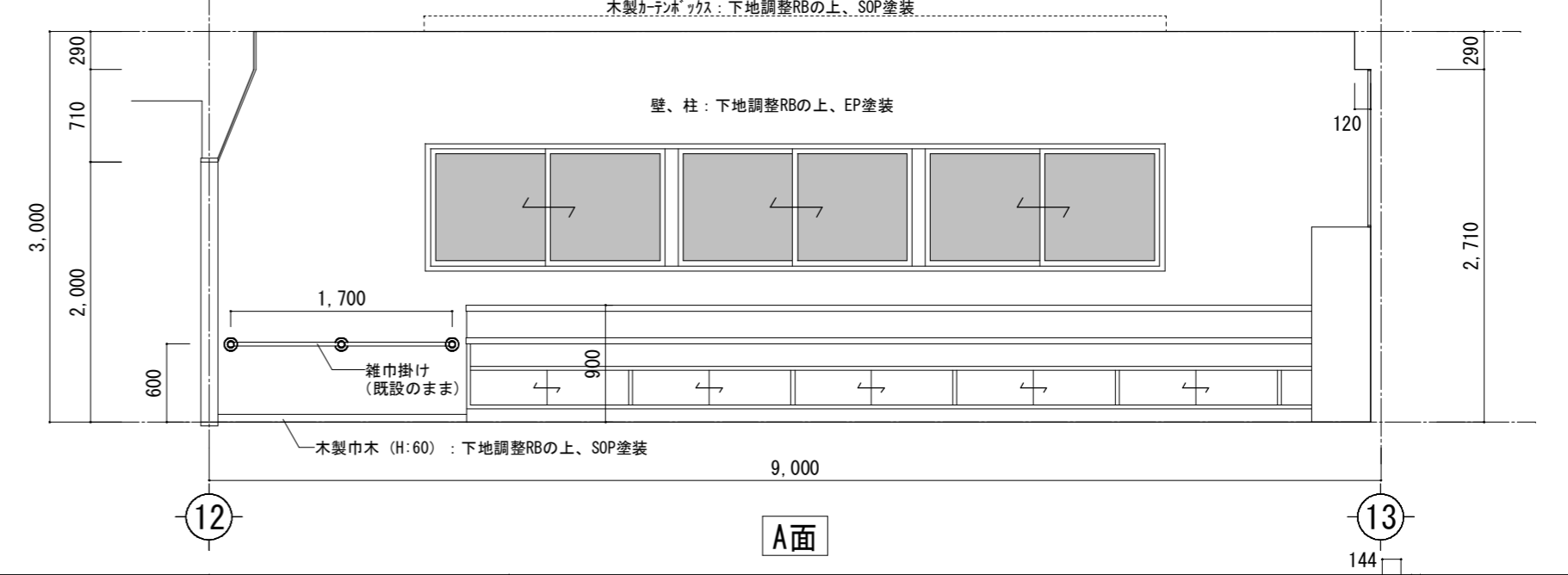
Check  
 No.  
**A-19**

合資会社 **重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



普通教室棟 理科室 展開細図 S=1/50

：飛散防止フィルム貼り範囲  
：掲示加貼替範囲



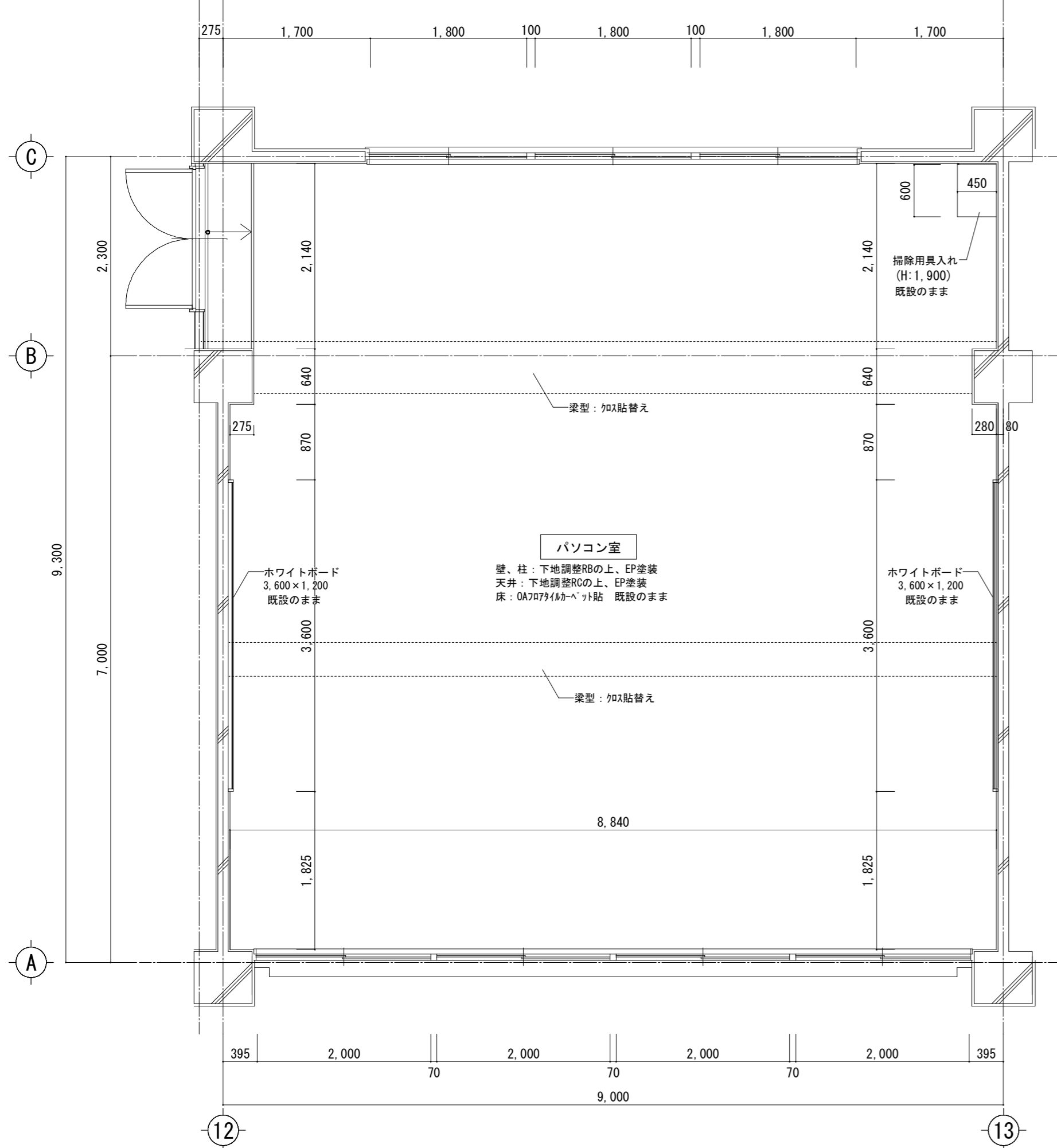
工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
**理科室 平面詳細図・展開図**

縮尺 / Scale 原図：A2 日付 / Date  
S=1/50

Check  
No.  
A-20

合資会社 **重企建築事務所**  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

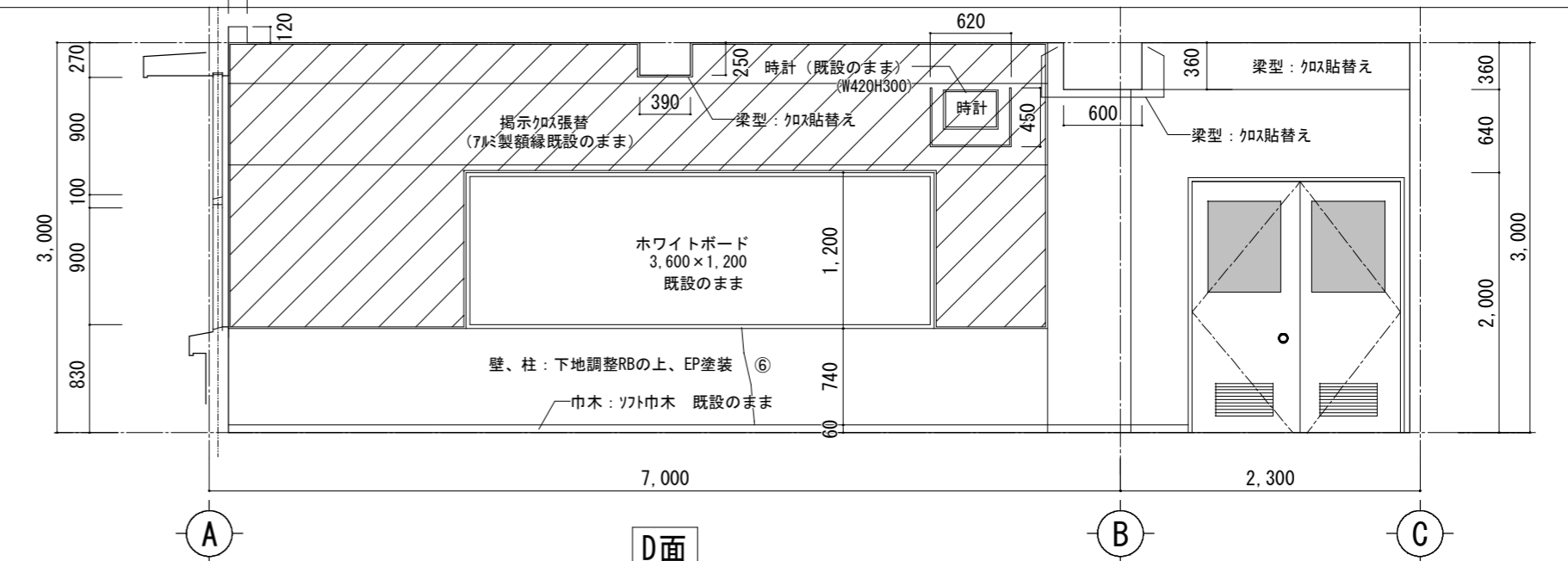
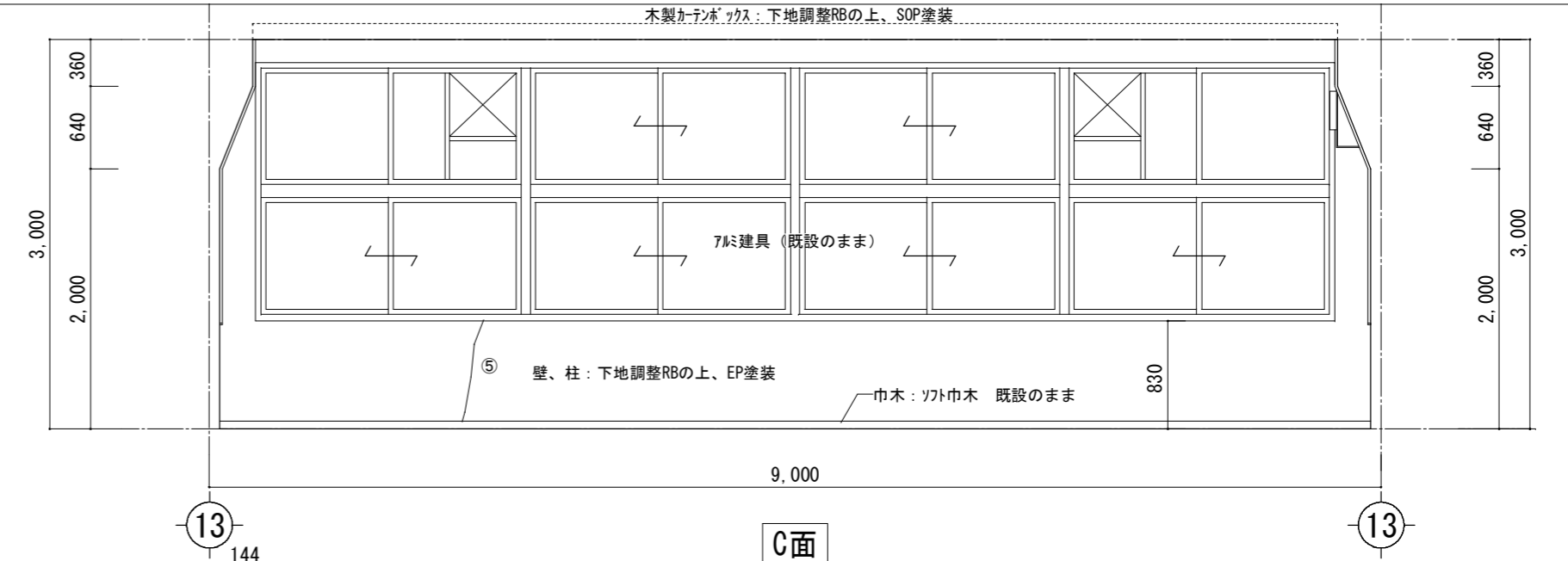
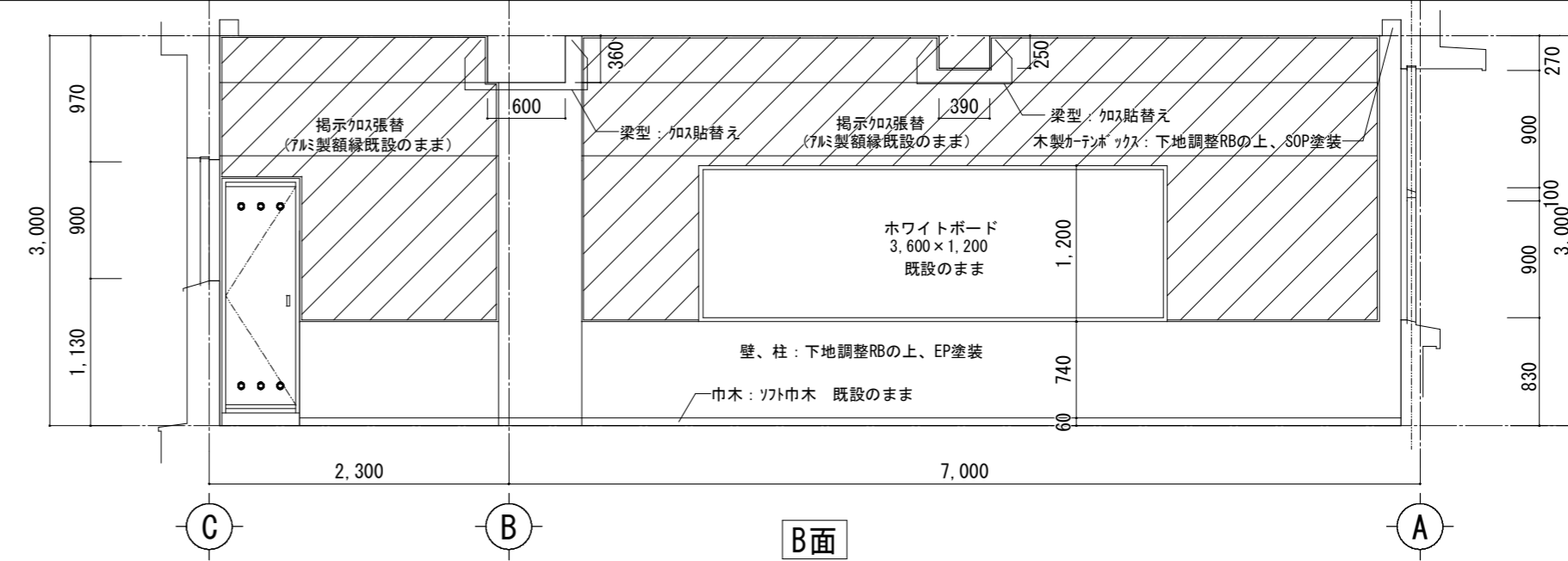
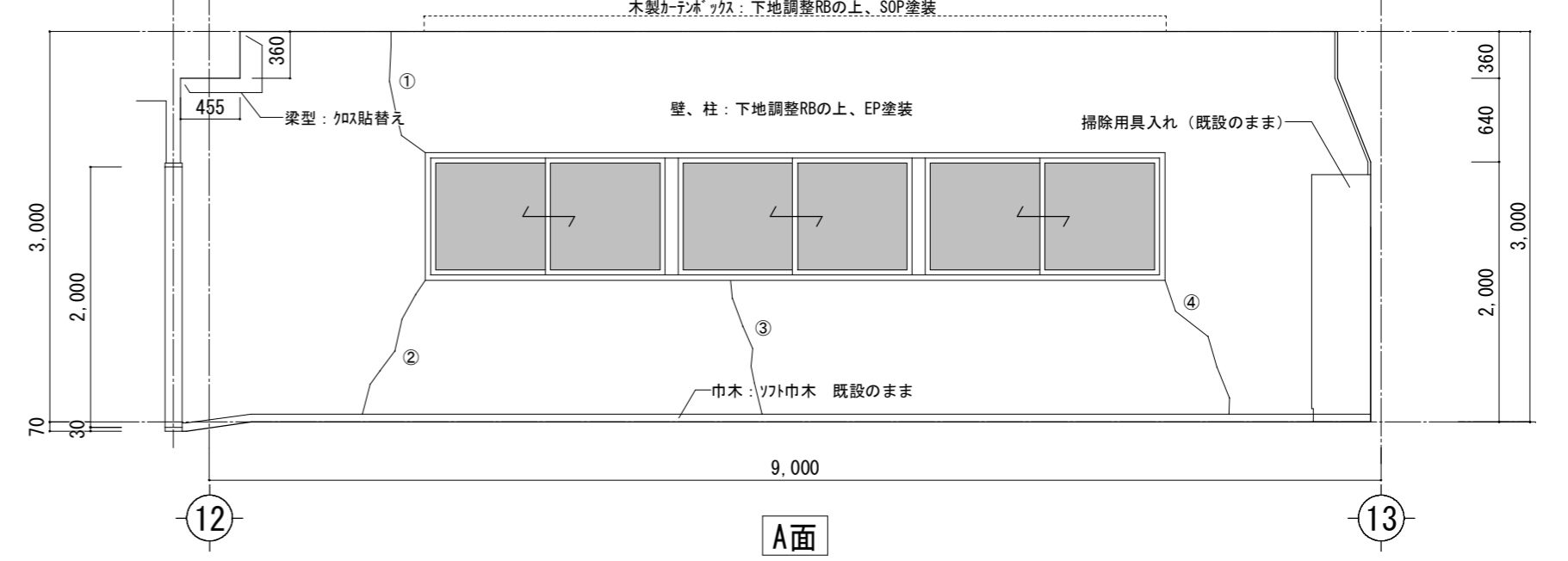


普通教室棟 パソコン室 平面詳細図 S=1/50

※特記無き限り、既設のまま（改修対象外）とする。

クラック調査結果（展開図参照）		
番号	長さ (m)	補修方法
①	0.9	自動式低圧樹脂注入工法
②	1.2	自動式低圧樹脂注入工法
③	1.2	自動式低圧樹脂注入工法
④	1.5	Uパッド充填工法
⑤	1.2	自動式低圧樹脂注入工法
⑥	1.2	自動式低圧樹脂注入工法

：飛散防止フィルム貼り範囲  
：掲示クロス張替範囲

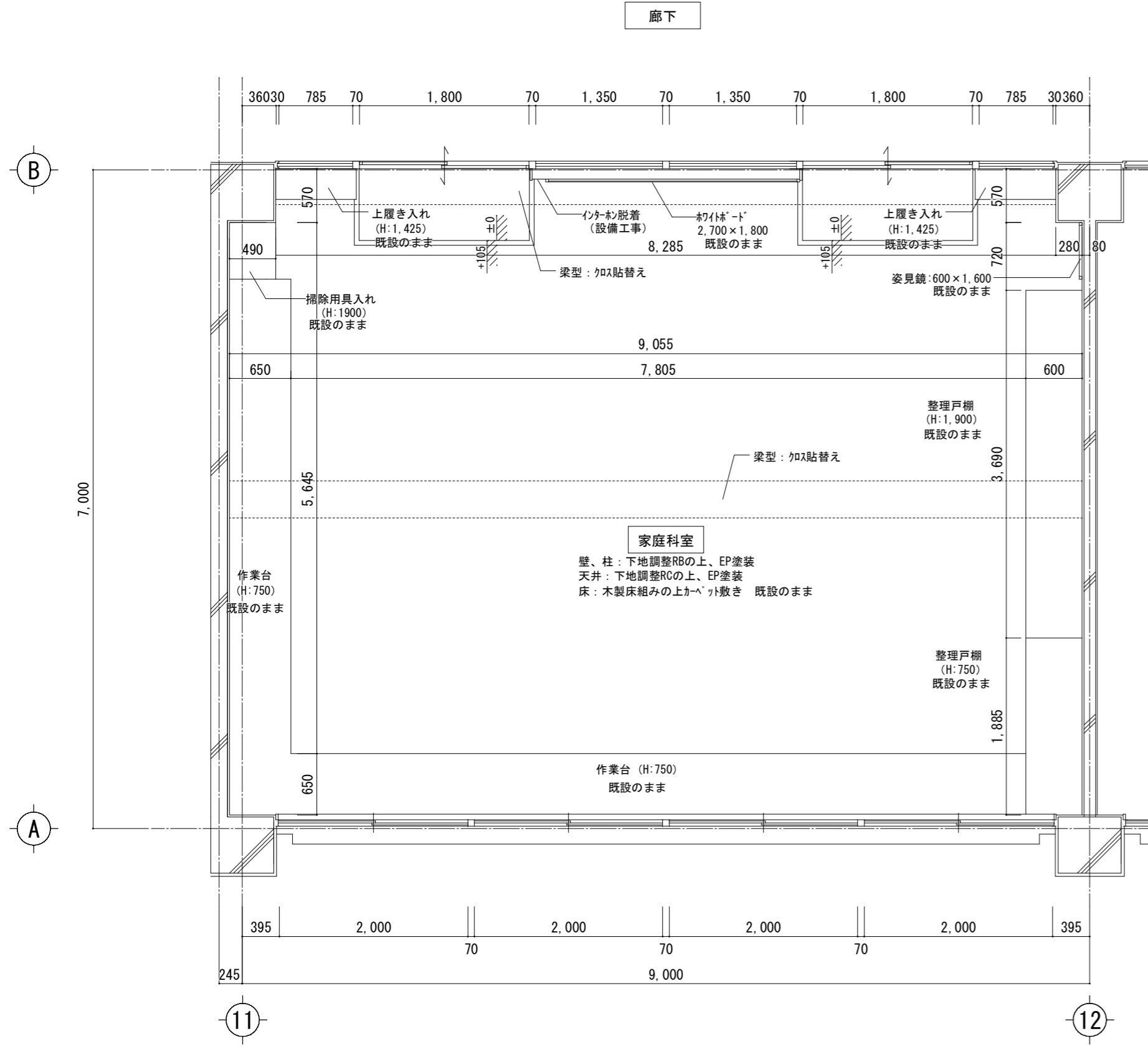


工事名 / Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

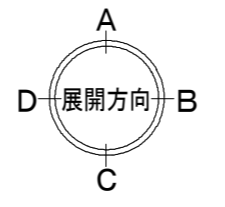
図面種別 / Drawing  
パソコン室 平面詳細図・展開図  
縮尺 / Scale 原図：A2 日付 / Date  
S=1/50

Check  
No.  
A-21

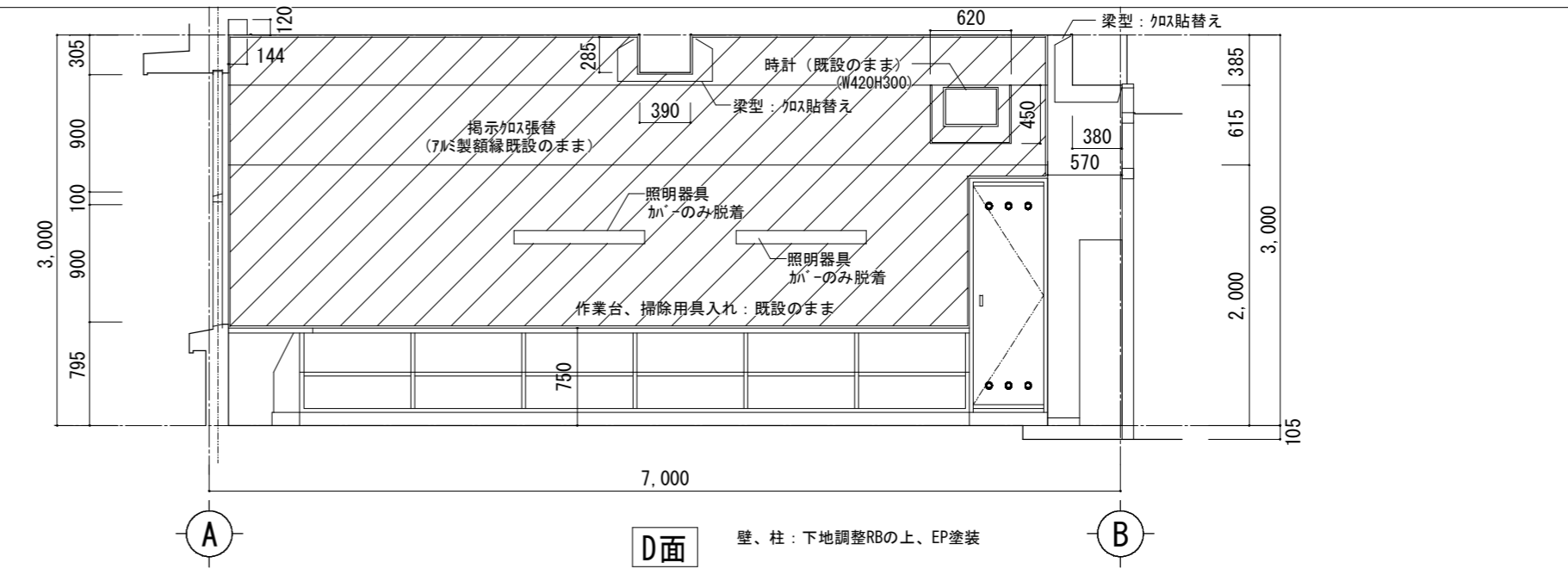
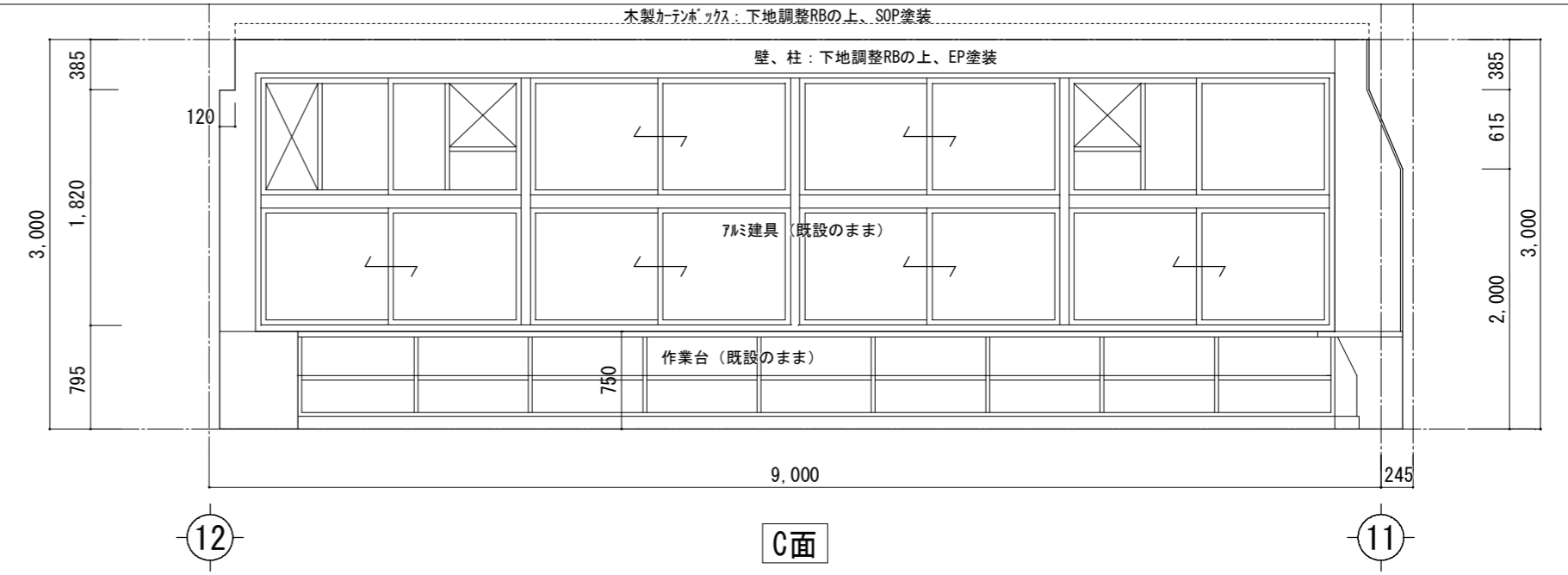
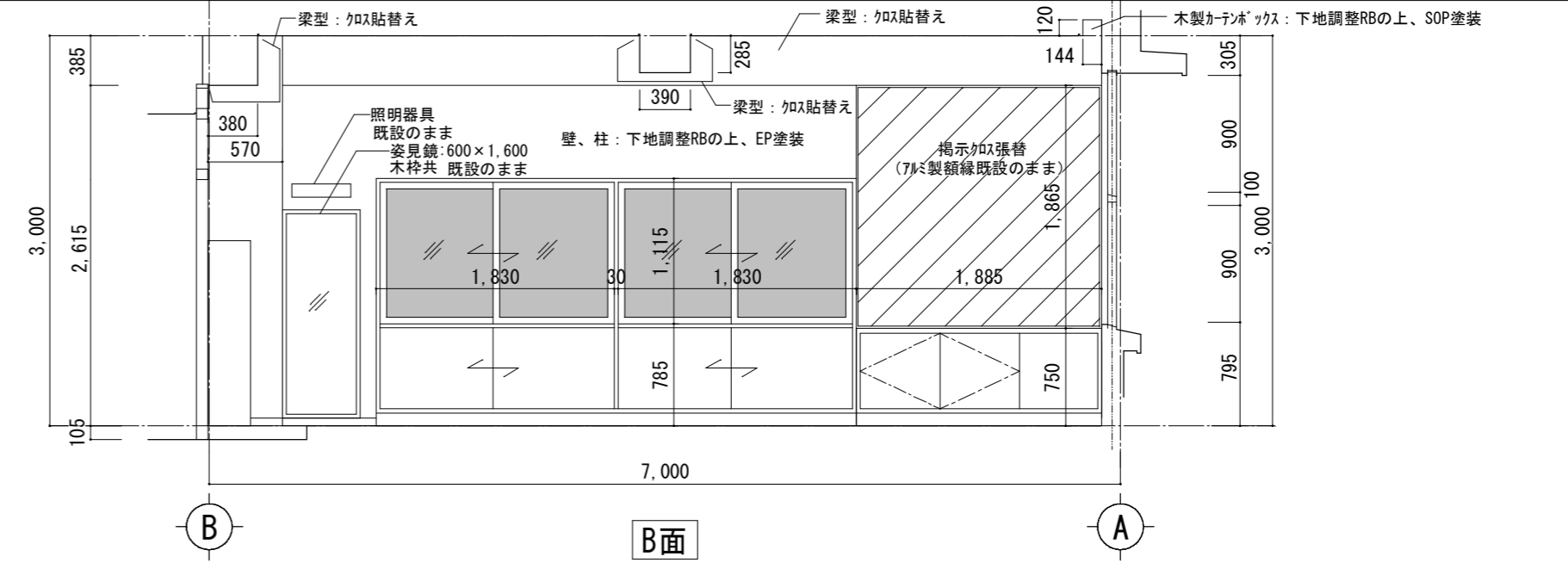
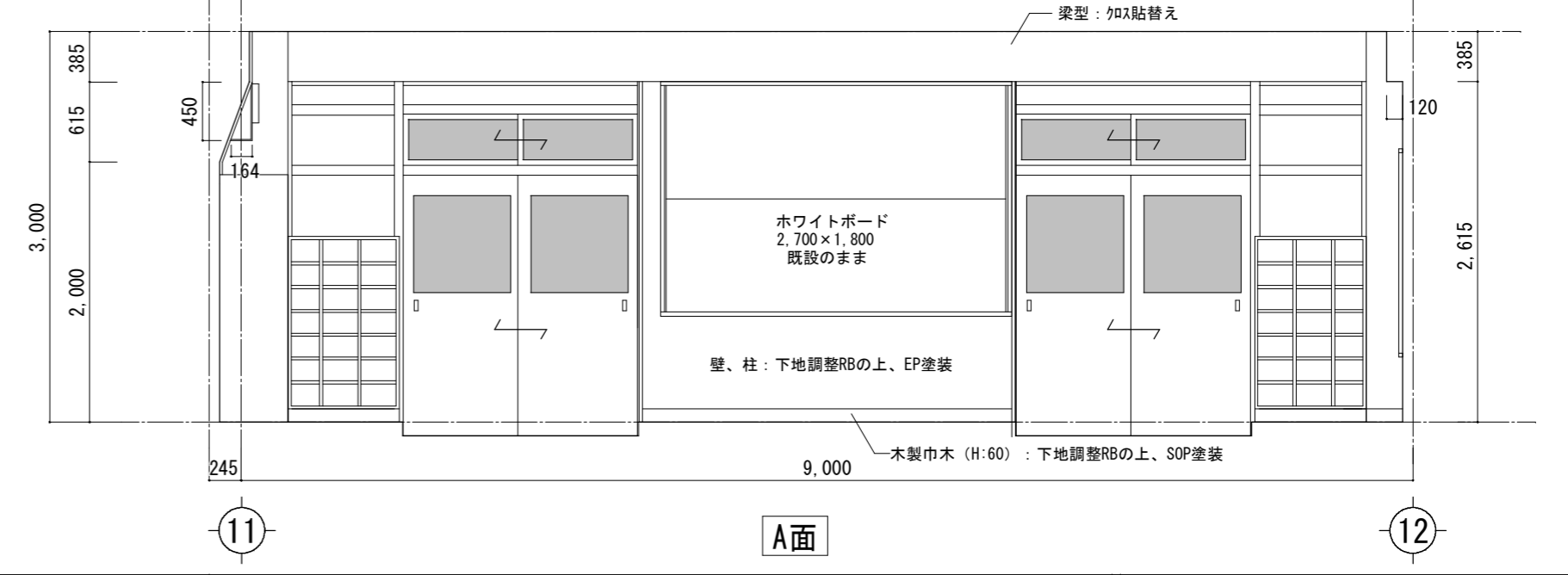
合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



普通教室棟 家庭科室 平面詳細図 S=1/50



：飛散防止フィルム貼り範囲  
：掲示加張替範囲



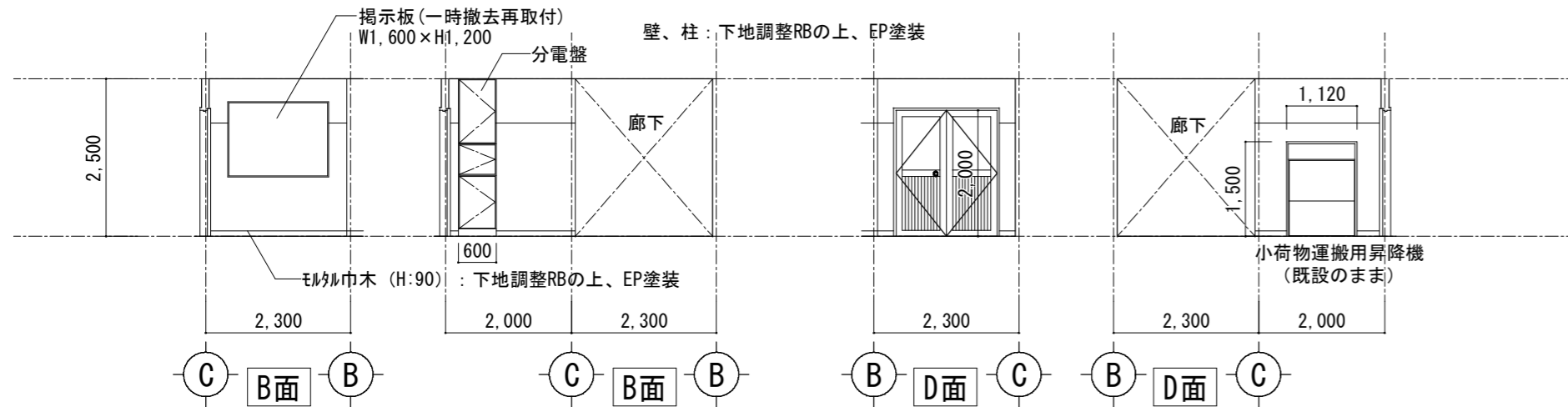
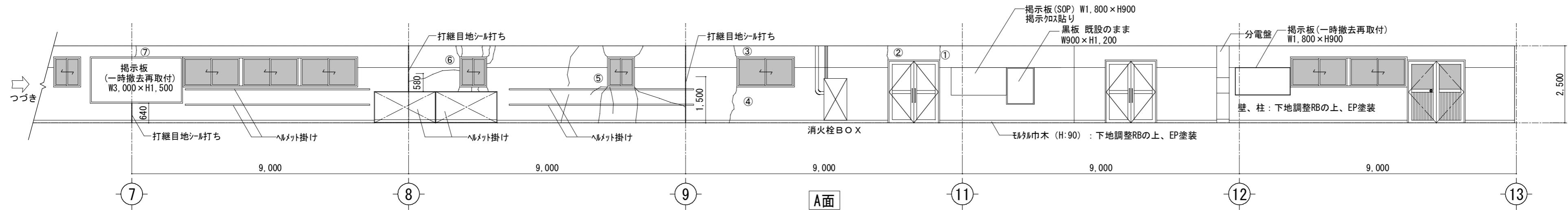
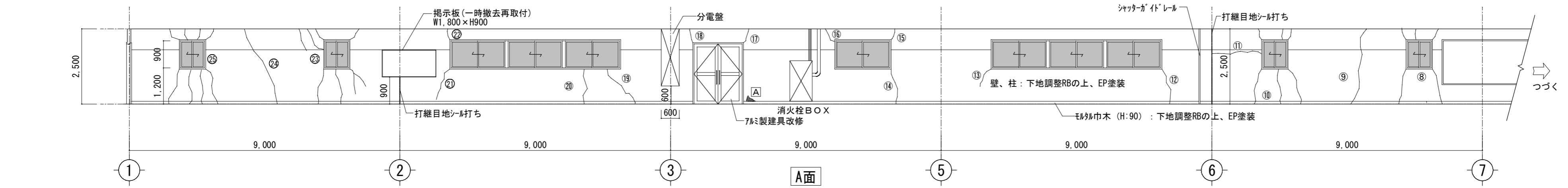
工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
**家庭科室 平面詳細図・展開図**

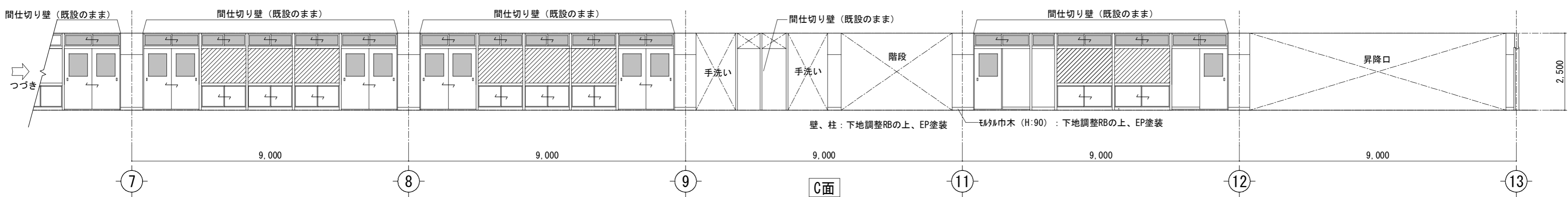
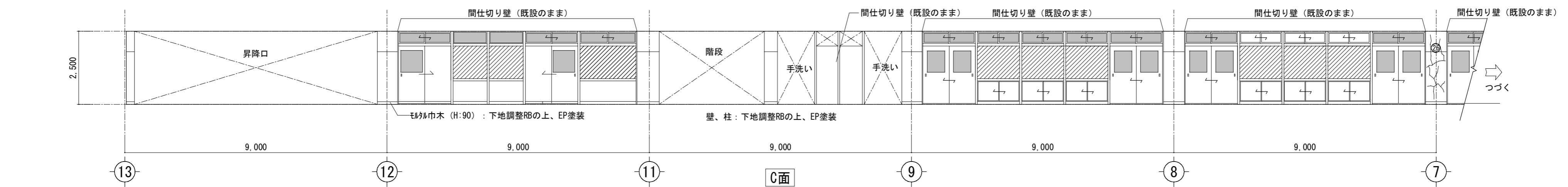
縮尺 / Scale 原図：A2 日付 / Date  
S=1/50

Check  
No.  
A-22

合資会社 **重企建築事務所**  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



番号	長さ(m)	補修方法	番号	長さ(m)	補修方法	番号	長さ(m)	補修方法
①	0.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑪	1.0	自動式低圧樹脂注入工法	⑳	1.2	自動式低圧樹脂注入工法
②	0.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑫	1.3	自動式低圧樹脂注入工法	㉑	0.4	自動式低圧樹脂注入工法
③	0.4	自動式低圧樹脂注入工法	⑬	1.0	自動式低圧樹脂注入工法	㉒	8.3	自動式低圧樹脂注入工法
④	1.5	Uカット+充填工法	⑭	1.4	自動式低圧樹脂注入工法	㉓	2.5	自動式低圧樹脂注入工法
⑤	8.7	自動式低圧樹脂注入工法	⑮	0.3	自動式低圧樹脂注入工法	㉔	7.6	自動式低圧樹脂注入工法
⑥	5.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑯	0.3	自動式低圧樹脂注入工法	㉕	6.0	自動式低圧樹脂注入工法
⑦	0.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑰	0.6	自動式低圧樹脂注入工法			
⑧	4.1	自動式低圧樹脂注入工法	⑱	0.4	自動式低圧樹脂注入工法	A	欠損 200×100程度	樹脂モルタル補修
⑨	2.6	自動式低圧樹脂注入工法						
⑩	5.1	自動式低圧樹脂注入工法	⑲	1.5	Uカット+充填工法			
			㉖	1.2	自動式低圧樹脂注入工法			



工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

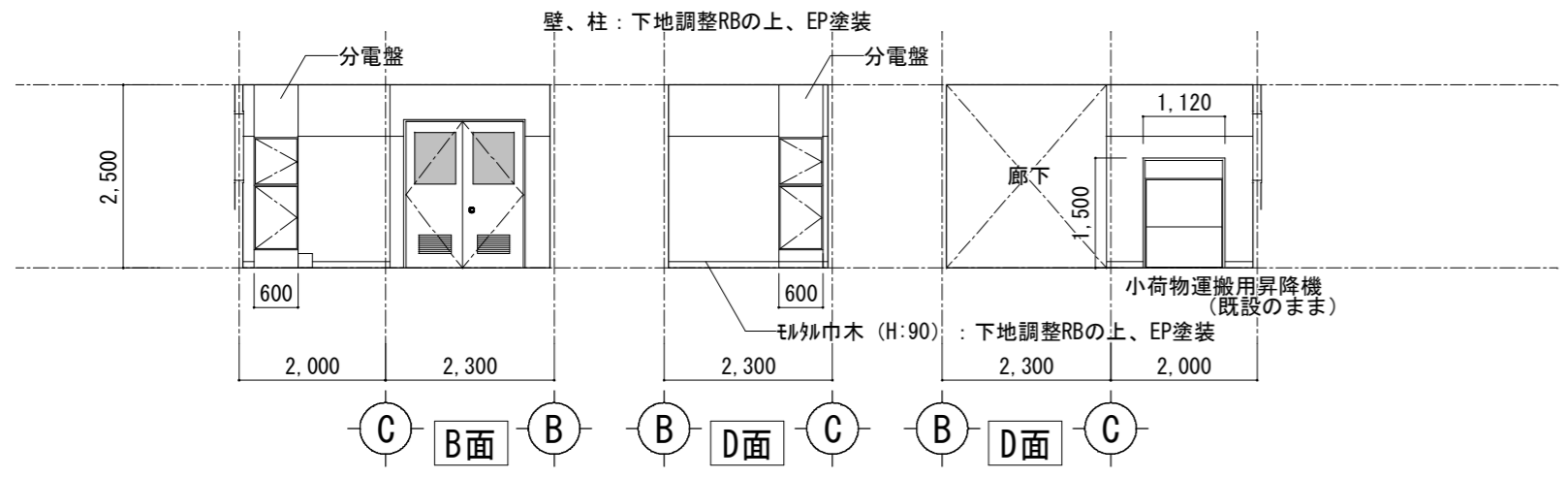
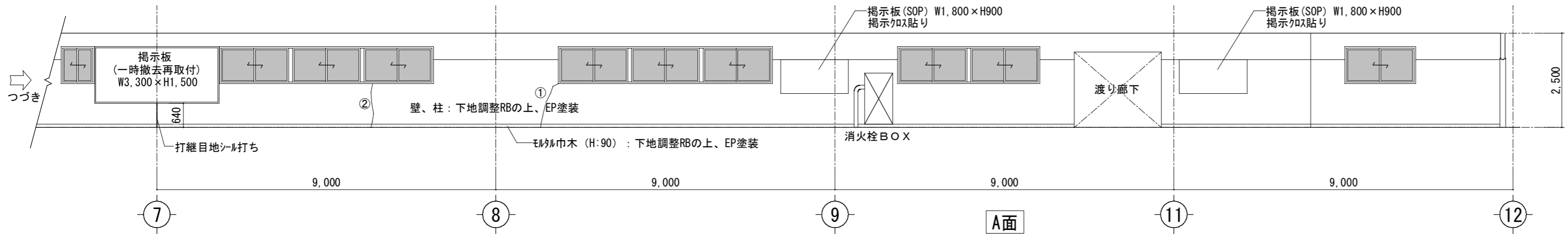
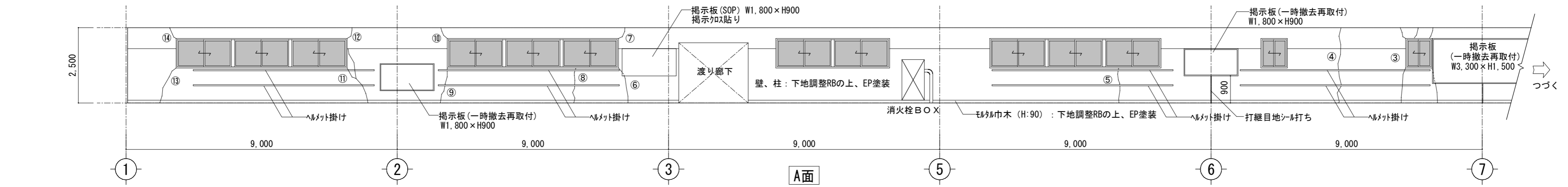
図面種別 / Drawing  
**1階廊下 展開図**

縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date  
 S=1/100

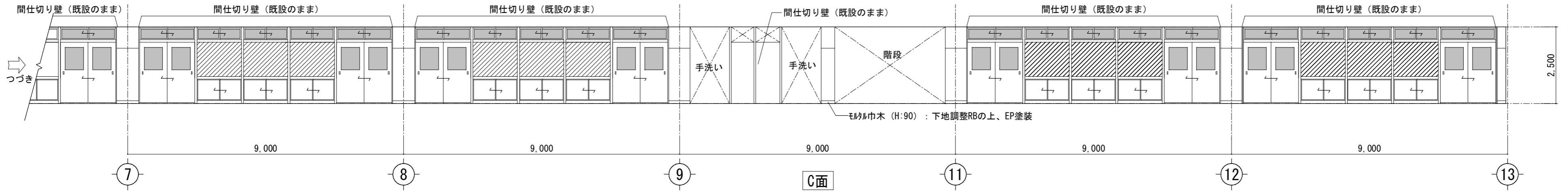
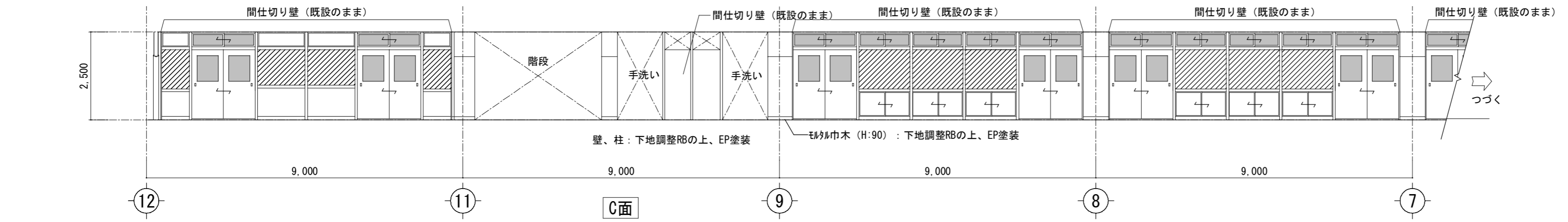
Check No.  
**A-23**

合資会社 **重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治





番号	長さ (m)	補修方法	番号	長さ (m)	補修方法
①	1.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑪	1.8	Uカットシール充填工法
②	1.2	自動式低圧樹脂注入工法	⑫	0.4	自動式低圧樹脂注入工法
③	2.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑬	1.8	Uカットシール充填工法
④	3.6	自動式低圧樹脂注入工法	⑭	0.4	自動式低圧樹脂注入工法
⑤	1.2	Uカットシール充填工法			
⑥	1.5	自動式低圧樹脂注入工法			
⑦	0.5	自動式低圧樹脂注入工法			
⑧	1.2	自動式低圧樹脂注入工法			
⑨	1.4	自動式低圧樹脂注入工法			
⑩	0.4	自動式低圧樹脂注入工法			

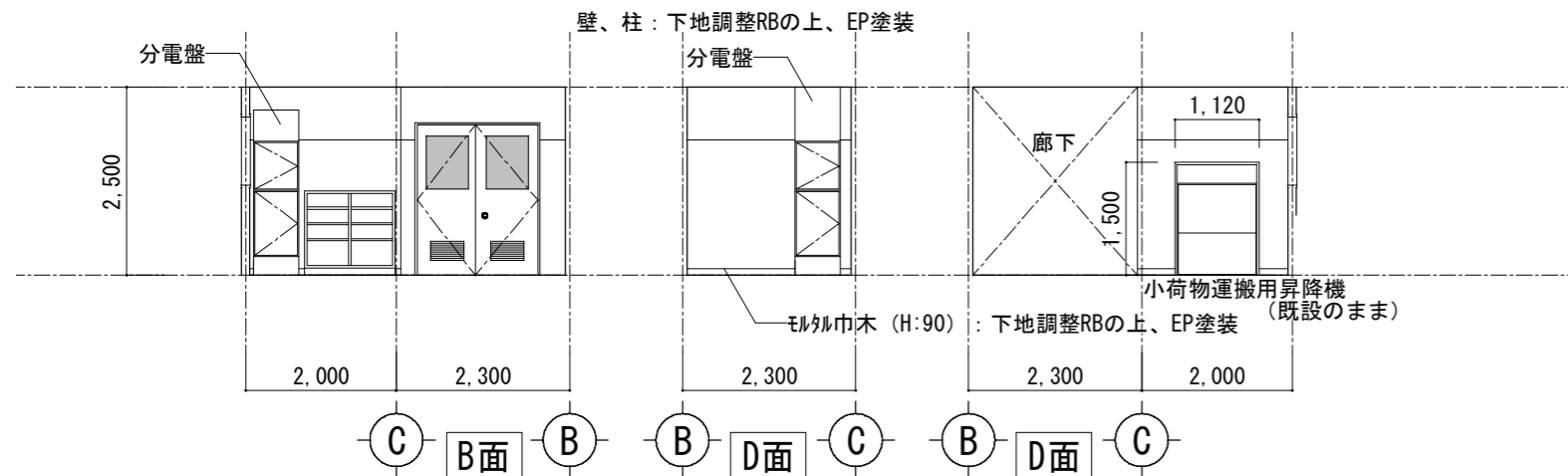
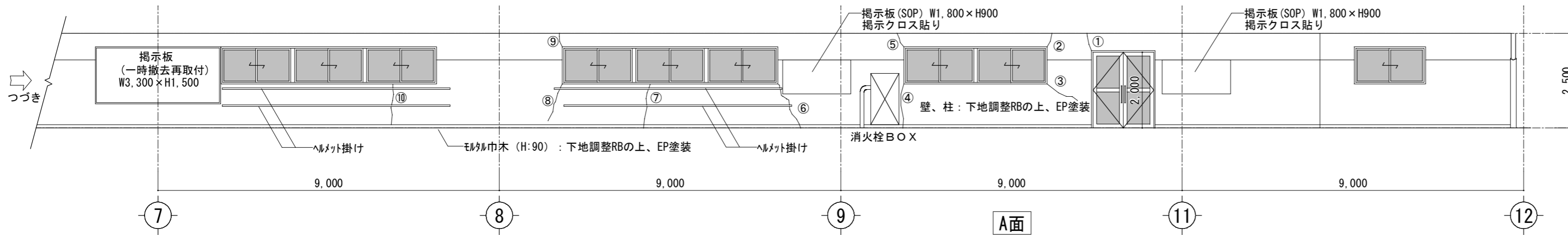
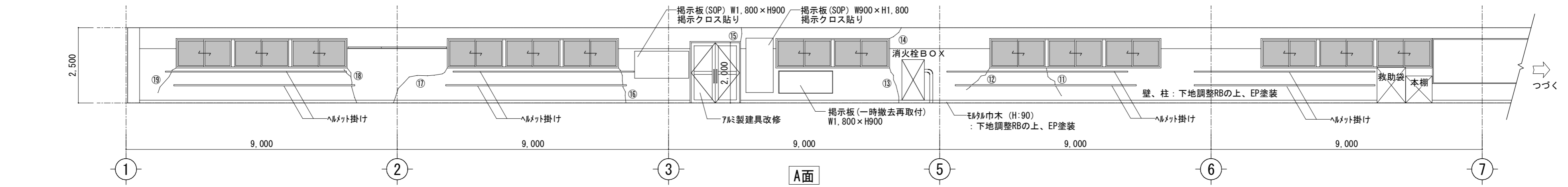


工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

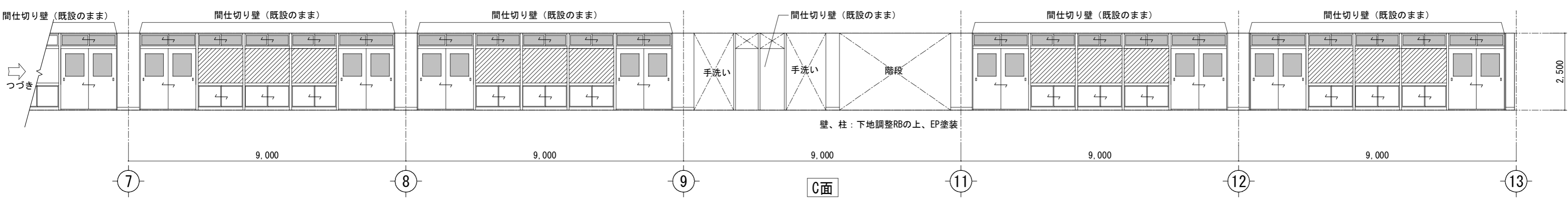
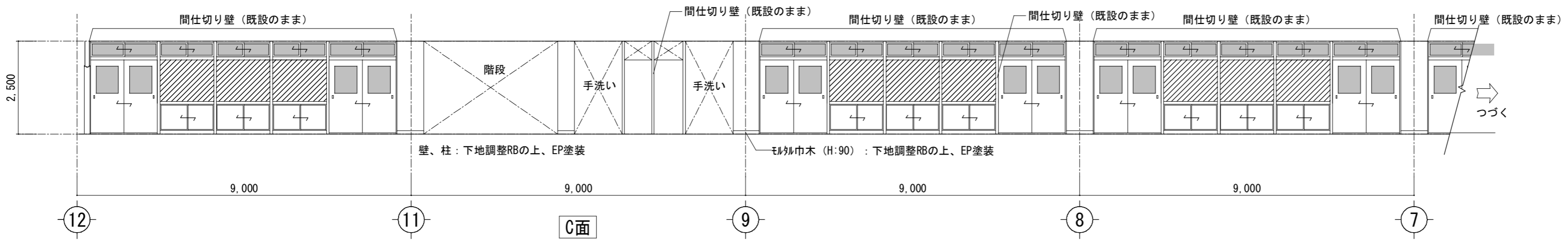
図面種別 / Drawing  
**2階廊下 展開図**  
 縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date  
 S=1/100

Check No.  
 A-24

合資会社 **重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



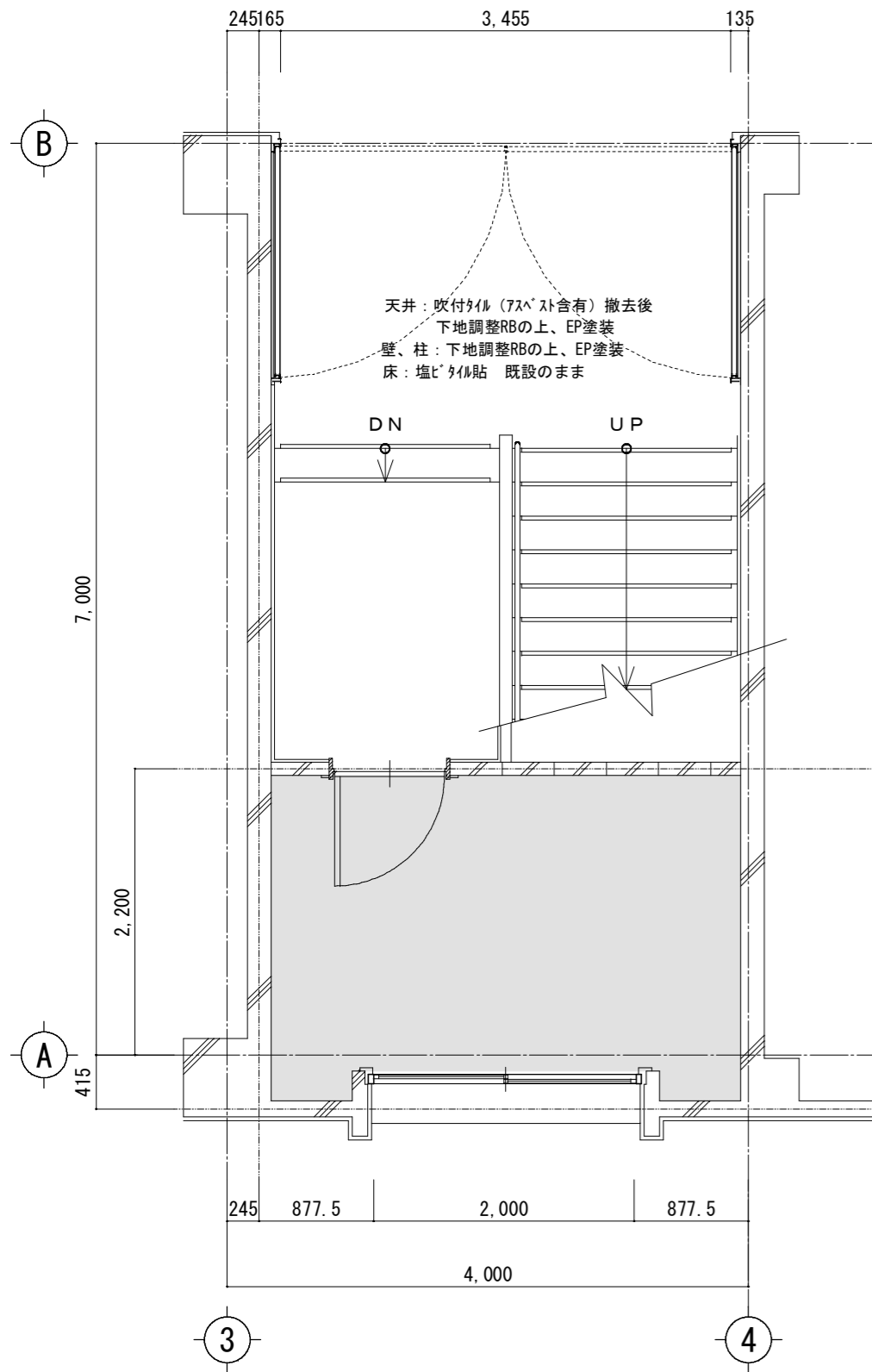
番号	長さ (m)	補修方法	番号	長さ (m)	補修方法
①	0.7	自動式低圧樹脂注入工法	⑪	1.2	自動式低圧樹脂注入工法
②	0.4	自動式低圧樹脂注入工法	⑫	0.8	自動式低圧樹脂注入工法
③	1.0	自動式低圧樹脂注入工法	⑬	1.2	自動式低圧樹脂注入工法
④	1.2	自動式低圧樹脂注入工法	⑭	0.7	自動式低圧樹脂注入工法
⑤	0.4	自動式低圧樹脂注入工法	⑮	0.5	自動式低圧樹脂注入工法
⑥	1.5	自動式低圧樹脂注入工法	⑯	1.2	Uカラム充填工法
⑦	1.2	自動式低圧樹脂注入工法	⑰	2.0	Uカラム充填工法
⑧	1.2	Uカラム充填工法	⑱	1.3	Uカラム充填工法
⑨	0.4	自動式低圧樹脂注入工法	⑲	1.0	Uカラム充填工法
⑩	1.2	自動式低圧樹脂注入工法			



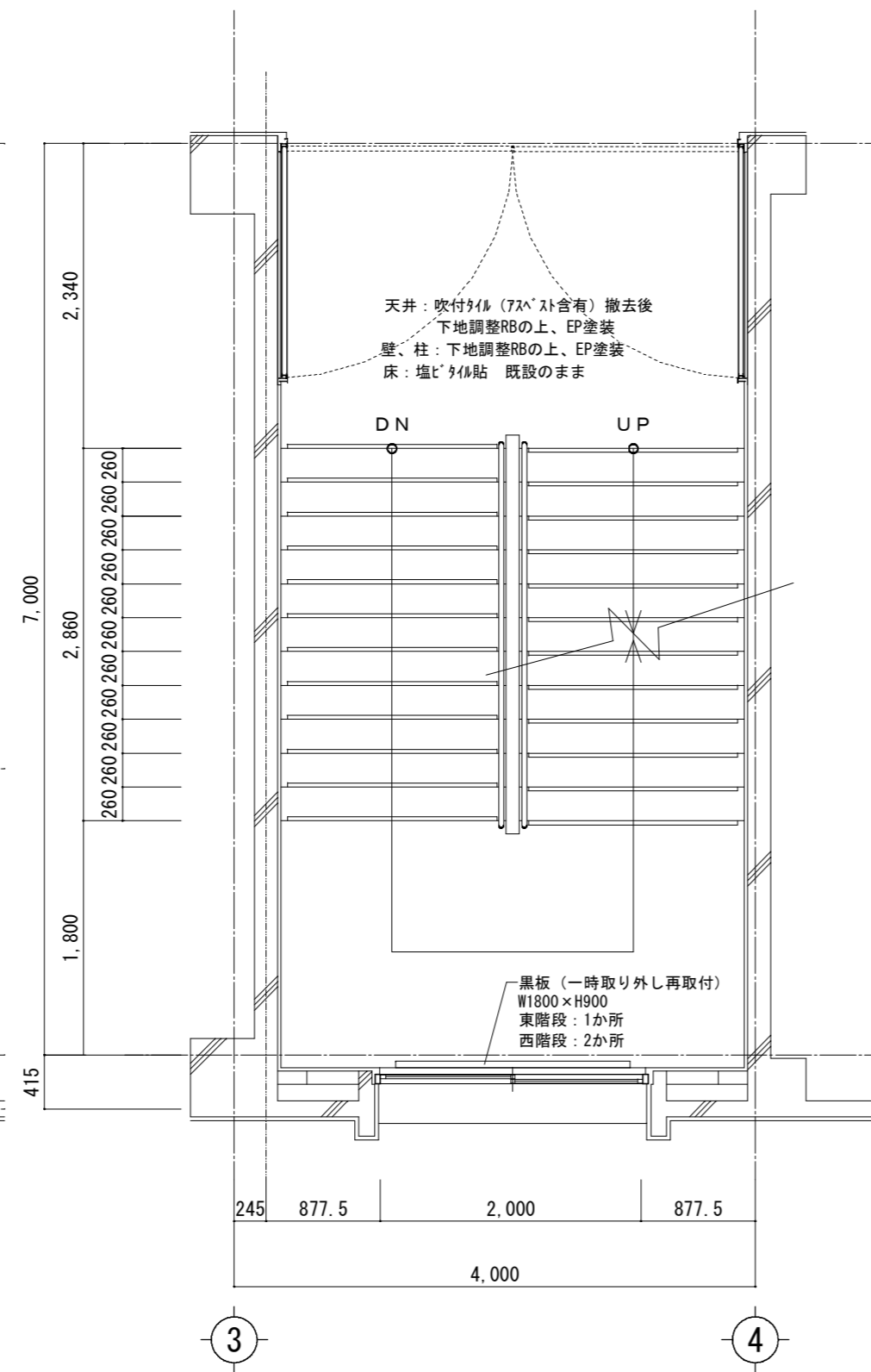
工事名 / Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

図面種別 / Drawing  
3階廊下 展開図  
縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date  
S=1/100

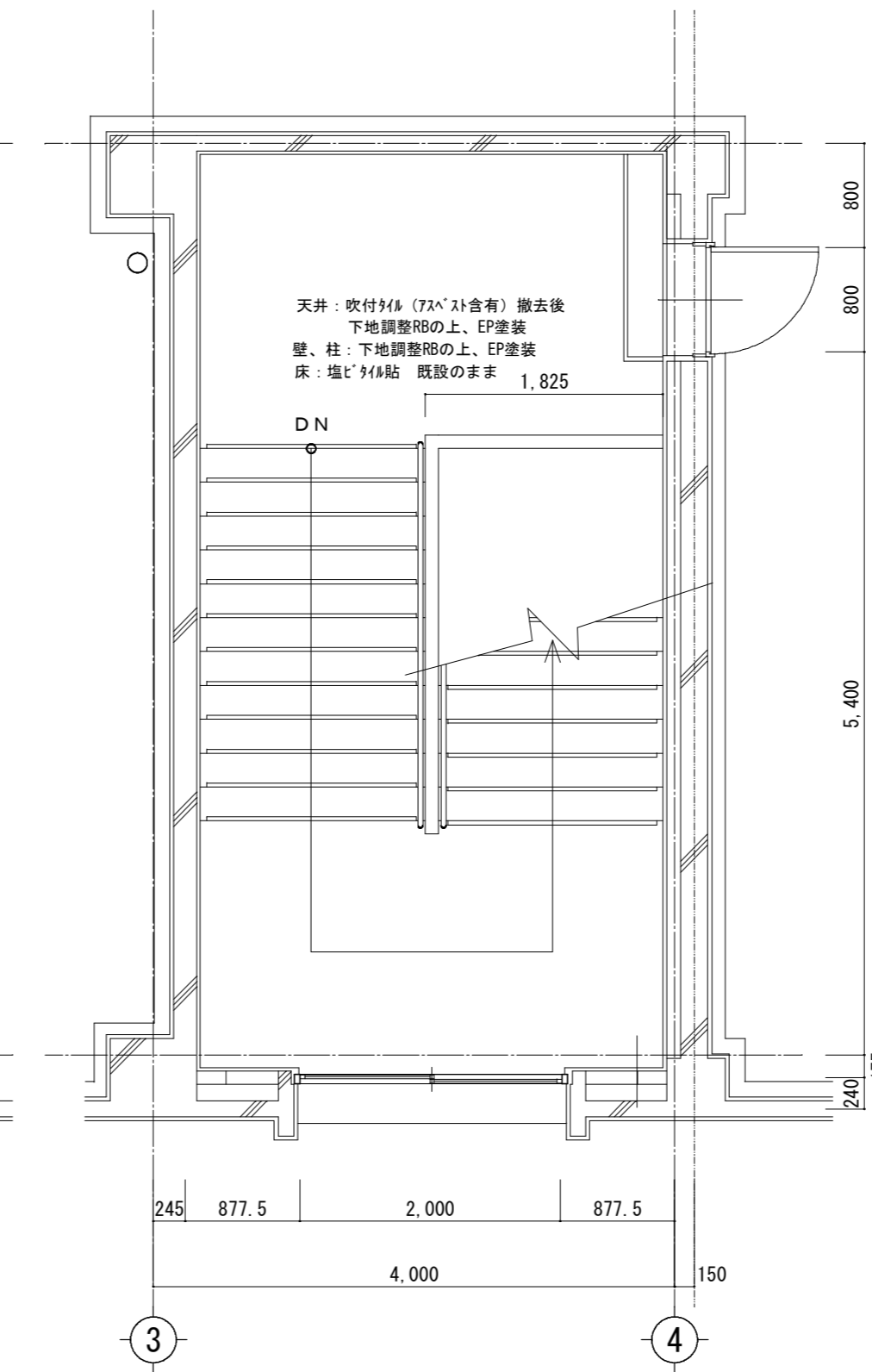
Check No.  
A-25



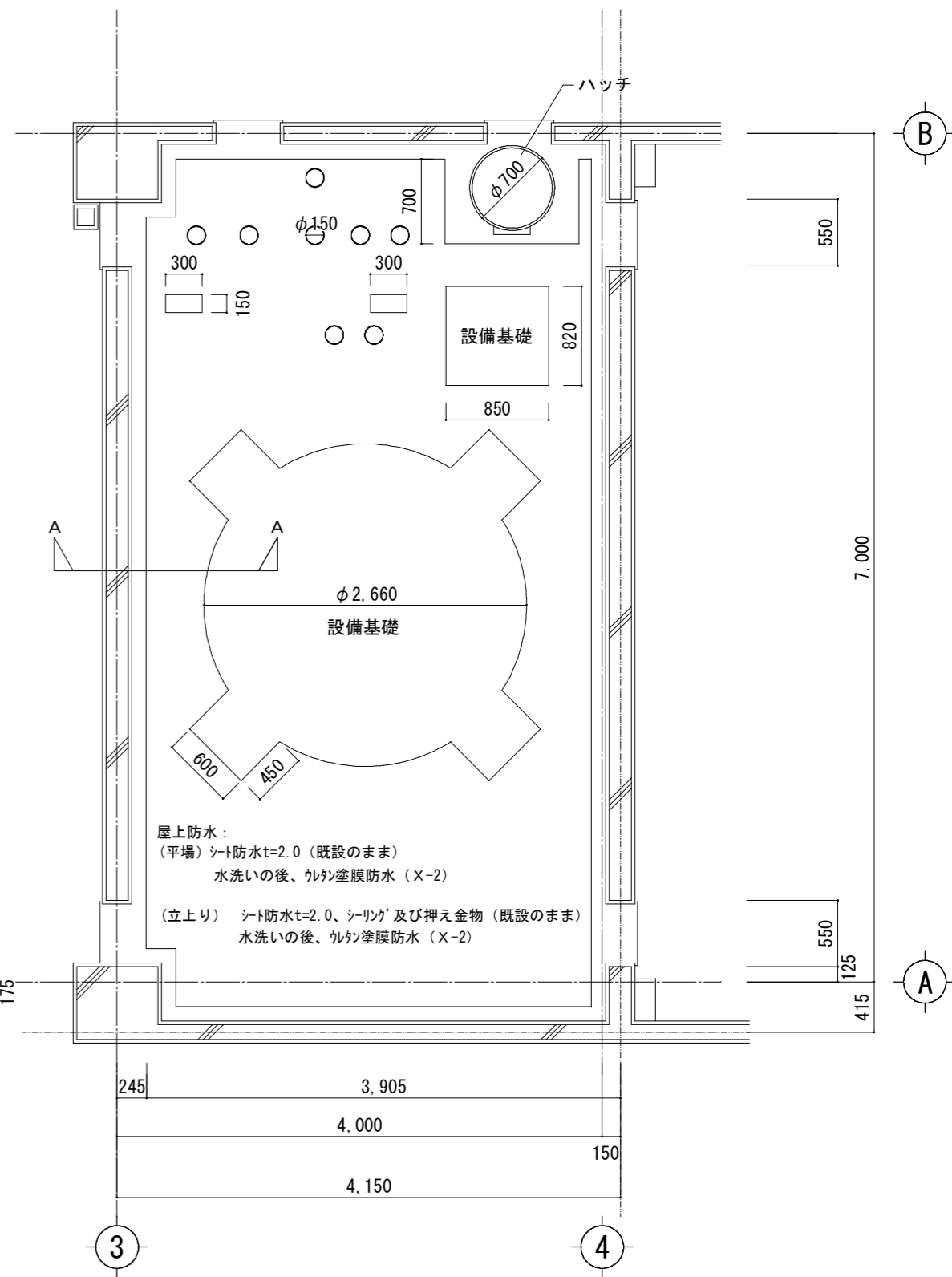
1階階段 平面詳細図 S=1/50



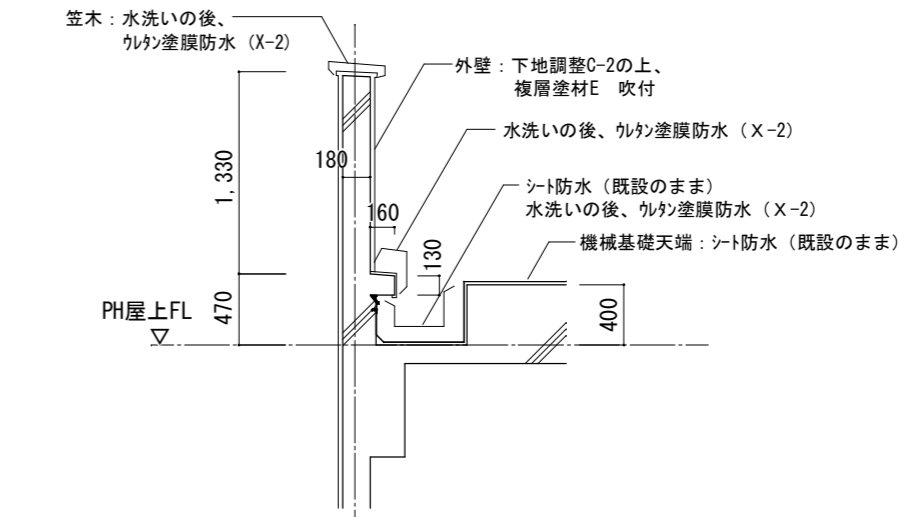
2,3階階段 平面詳細図 S=1/50



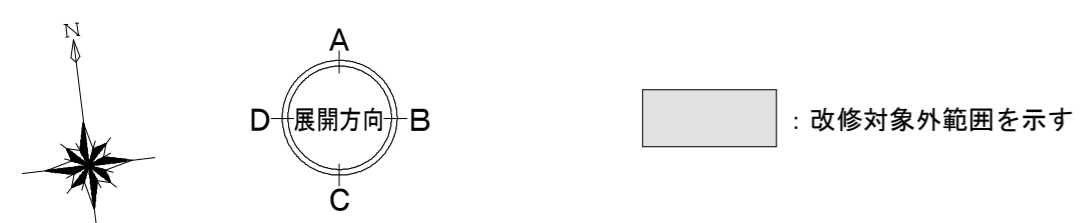
ペントハウス 平面詳細図 S=1/50



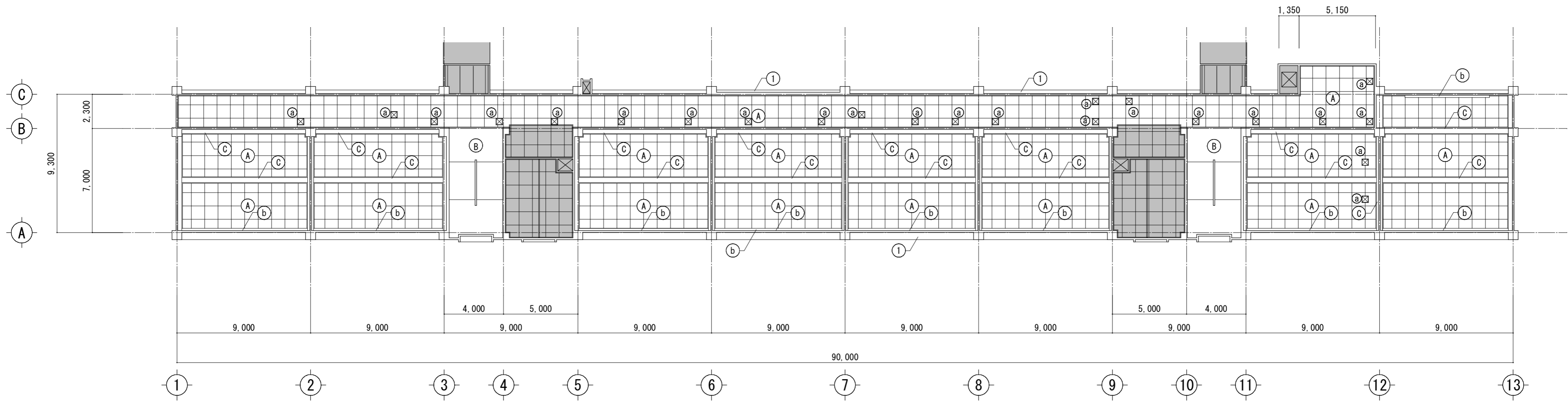
ペントハウス屋根 平面詳細図 S=1/50



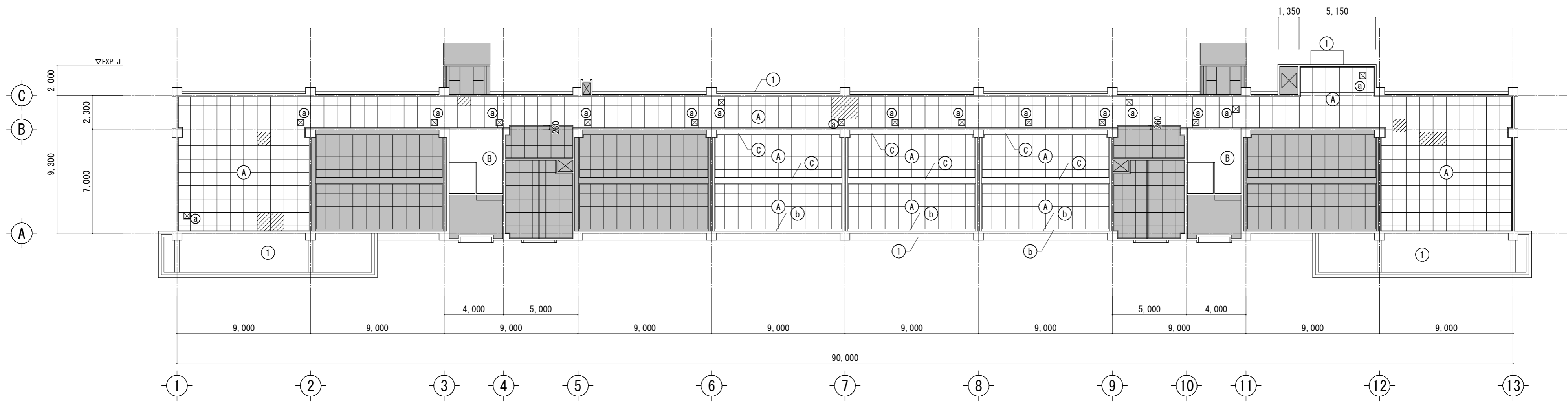
A-A 矢視図 S=1/50



工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>		図面種別 / Drawing <b>階段室 平面詳細図</b>		Check	No.	合資会社 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
縮尺 / Scale 原図：A2 <b>S=1/50</b>		日付 / Date			A-26	



普通教室棟 2階天井伏図 S=1/200

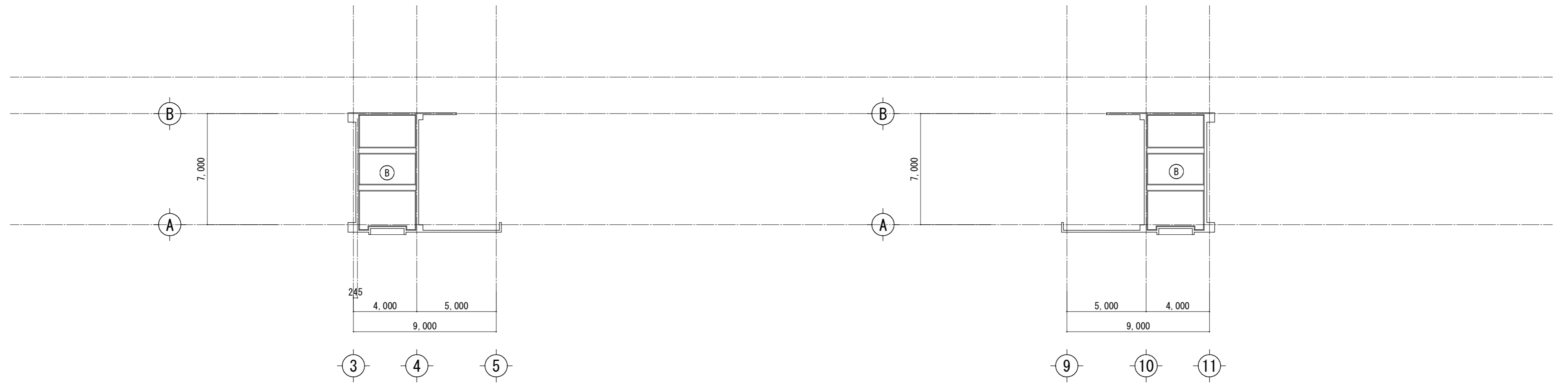


普通教室棟 1階天井伏図 S=1/200

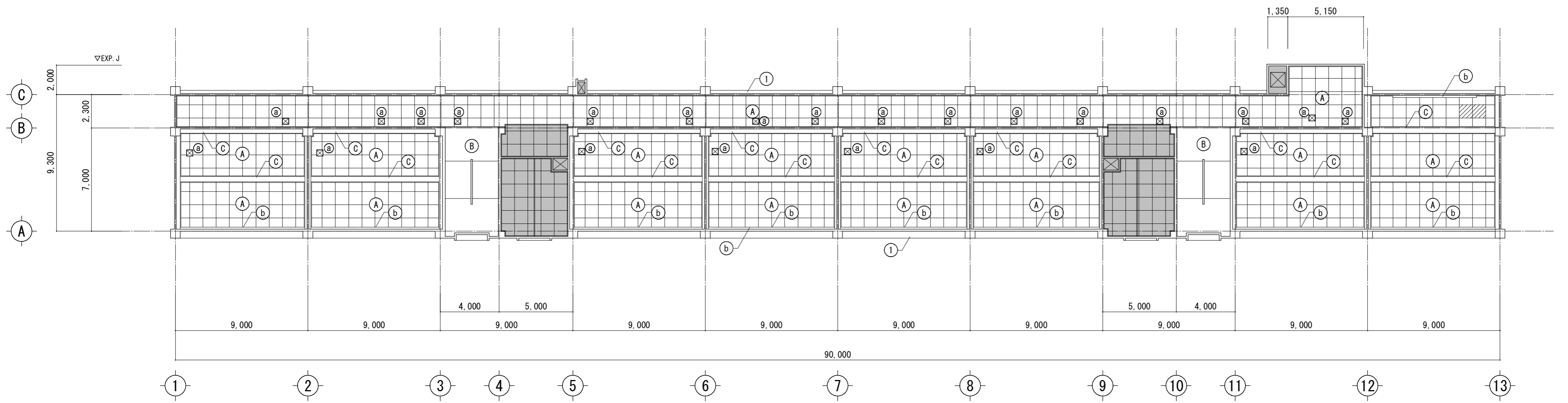
凡例	天井仕上 (現況)	改修内容	凡例	天井仕上 (現況)	改修内容
(A)	化粧石膏ボード t=9.0 (既設のまま)	下地調整RCの上、EP塗	(1)	吹付材 (下地調整材7スレ含有) 撤去	下地調整C-2の上、複層塗材E 吹付
(斜線)	化粧石膏ボード t=9.0 (劣化部) 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 新設の後、下地調整RCの上、EP塗			
(B)	吹付材 (仕上材7スレ含有) 撤去	下地調整RBの上、EP塗	(a)	天井点検口 450角	下地調整RCの上、EP塗
(C)	石膏ボード下地加貼 (加貼のみ撤去)	加貼 (量産品)	(b)	木製カンパネラ S0P塗	カンパネラ取り外し再取付 下地調整RBの上、S0P塗

■ :改修範囲外を示す





普通教室棟 R階天井伏図 S=1/200



普通教室棟 3階天井伏図 S=1/200

凡例	天井仕上 (現況)	改修内容	凡例	天井仕上 (現況)	改修内容
(A)	化粧石膏ボード t=9.0 (既設のまま)	下地調整RCの上、EP塗	(1)	吹付材 (下地調整材7スレ含有) 撤去	下地調整C-2の上、複層塗材E 吹付
(斜線)	化粧石膏ボード t=9.0 (劣化部) 撤去	化粧石膏ボード t=9.0 新設の後、下地調整RCの上、EP塗			
(B)	吹付材 (仕上材7スレ含有) 撤去	下地調整RBの上、EP塗			
(C)	石膏ボード下地加貼 (加貼のみ撤去)	加貼 (量産品)	(a)	天井点検口 450角	下地調整RCの上、EP塗
			(b)	木製カテナボックス SOP塗	カテナボ取り外し再取付 下地調整RBの上、SOP塗

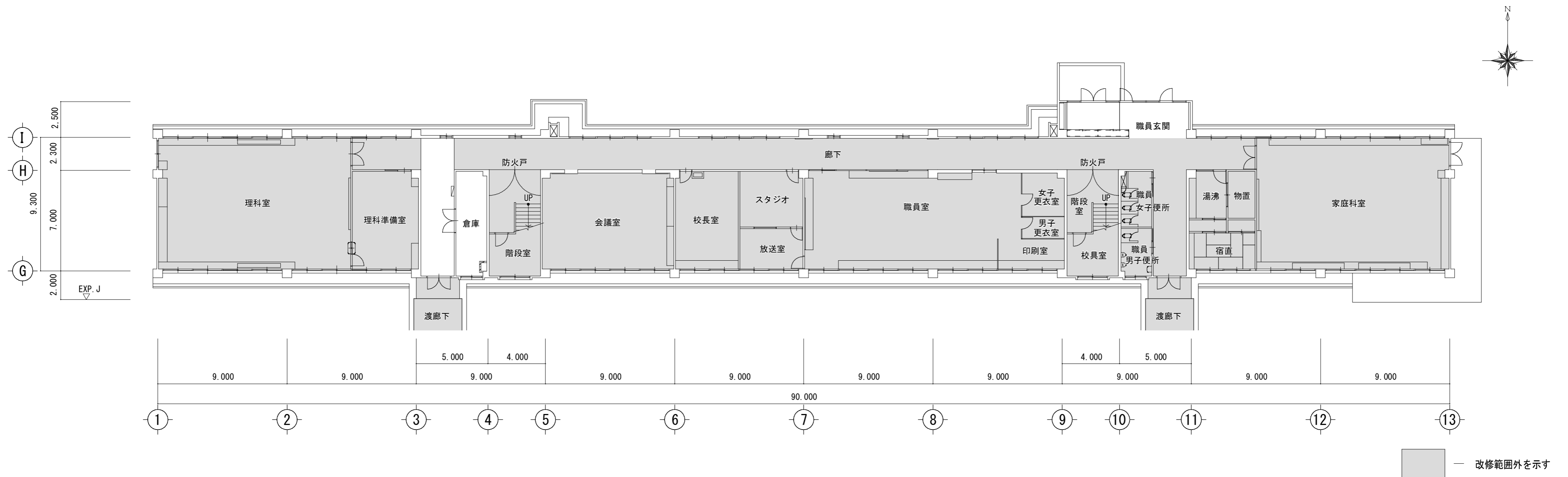
■ : 改修範囲外を示す

外部仕上表 ※特記無き限り、☆印はアスベスト含有建材を示す。																	
部位	仕上				部位	仕上											
渡廊下屋上防水	改修前	平場：アスファルト防水（既設のまま）、保護仕上げ材（アスファルトマステック化粧板）貼り（撤去） 立上り：☆アスファルト防水（撤去） 横引きドレン（撤去）[4か所] 水切金物上部シーリング（撤去）				玄関ポーチ	改修前	土間：モルタル金こて防塵塗床仕上げ（既設のまま） 段鼻磁器ノンスリップタイル（撤去）				外部建具	改修前	玄関：アルミ製両開き扉（扉のみ撤去） [1か所] 渡廊下(1、3階)：アルミ製両開き扉（研り撤去） [4か所]			
	改修後	平場：水洗い後、ウレタン塗膜防水（ノンスリップ X-1） 立上り：下地調整の上、ウレタン塗膜防水（X-2）					改修後	段鼻タイル：モルタル下地の上 磁器質タイル150×60 点字シート 300×300 スロープ床：モルタル下地の上 磁器質150角タイル（ノンスリップ） SUS製スロープ手すり（新規）					改修後	玄関：アルミ製片引きハンガードア（カバー工法）-[1か所] 渡廊下(1、3階)：アルミ製ハンガー扉-[4か所]			
			改修用ドレン（新規） ステンレス製脱気盤（新規） 水切金物上部シーリング（打替え）				その他	キュービクル前アスファルト舗装研り撤去・復旧工事									
1階渡廊下	改修前	土間コンクリート金こて（既存のまま） スロープ：コンクリート金こて（既存のまま）															
	改修後																

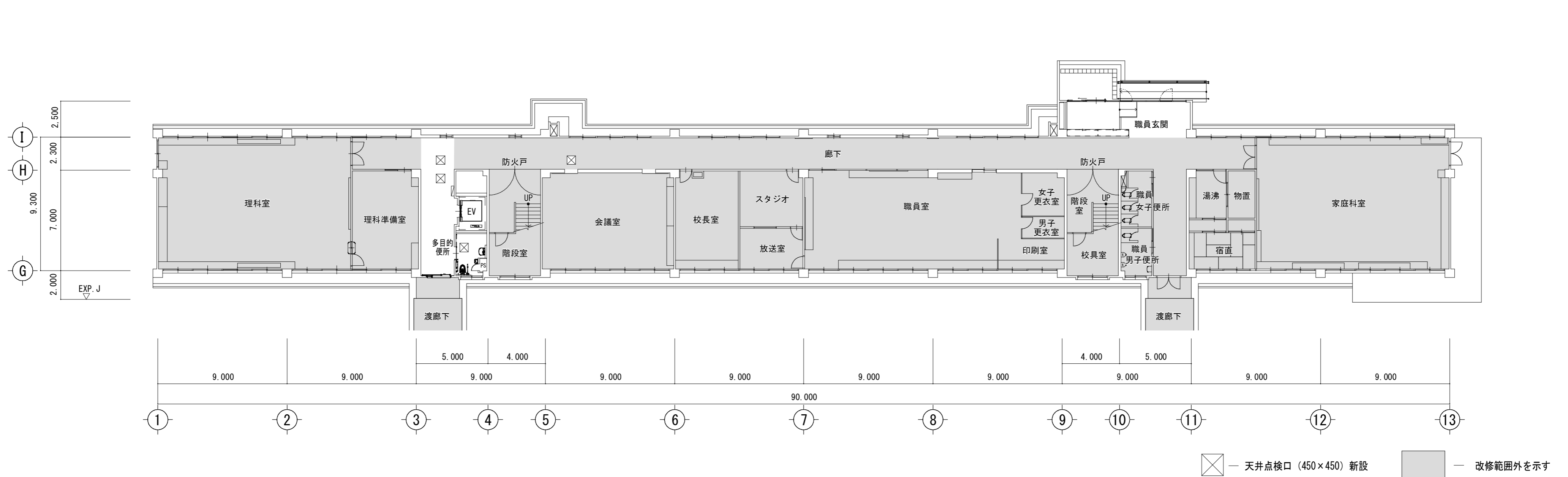
内部仕上表 ※特記無き限り、☆印はアスベスト含有建材を示す。

階	室名	床		巾木	H	壁	梁型	天井	廻縁	OH	天井点検口	備考		
1	職員用玄関	改修前	土間コンクリートt=120 モルタル下地（一部撤去） 長尺塩ビシート貼り（一部撤去）			人造石研出し（一部撤去）	100	モルタル金こてEP塗り（既存のまま）	化粧石膏ボード張り t=9.5（既存のまま）					
		改修後	土間コンクリートt=150 長尺塩ビシートt=2.5（ノンスリップタイプ）			ステンレス製框	100							
	廊下（エレベーター前）	改修前	土間コンクリートt=120 モルタル下地（撤去） 長尺塩ビシート貼り（撤去）			モルタル金こてEP塗り（既設のまま）	90	モルタル金こてEP塗り（塗装替え） エレベーター、多目的トイレ出入口部壁撤去	木製下地化粧石膏ボード張り t=9.5（下地共撤去）	塩ビ	2.480	○	撤去	
		改修後	土間コンクリートt=150 ビニル床シートt=2.5			下地調整RBの上EP塗 木製巾木	90	下地調整RBの上EP塗（展開図D面除く） LGS下地強化石膏ボードt=21+21下地（FP060NP-0075）の上EP塗	LGS下地化粧石膏ボード張り t=9.5	塩ビ	2.480	○		
	倉庫	改修前	土間コンクリートt=120（撤去）					モルタル金こて仕上（既存のまま） PSコンクリートブロック壁（撤去）	モルタル金こて仕上（既存のまま）	コンクリート打放し仕上げ		直天		
	多目的トイレ	改修後	土間コンクリートt=150 トイレ用防滑性ビニル床シート t=2.0			ビニル巾木	100	LGS下地強化石膏ボードt=21+21下地（FP060NP-0075）の上 メラミン不燃化粧板t=3.0接着貼り（一部メラミン不燃化粧板t=3.0接着直貼り） LGS下地石膏ボードt=12.5下地の上メラミン不燃化粧板t=3.0接着貼り	LGS下地化粧石膏ボード張り t=9.5	塩ビ	2.480	○	ビクトサイン、面台	
	倉庫	改修前	土間コンクリートt=120（撤去）					モルタル金こて仕上（既存のまま）	モルタル金こて仕上（既存のまま）	コンクリート打放し仕上げ（一部撤去）		直天		木製棚（撤去）
2	エレベーターピット	改修後	防水モルタル下地t=30 ケイ酸質系塗布防水塗（O-U1）					LGS下地強化石膏ボードt=21+21（FP060NP-0075）					エレベーター（1基） スラブ開口補強鉄骨梁	
	廊下（エレベーター前）	改修前	モルタル下地（既設のまま） ☆塩ビタイル貼り（撤去）			モルタル金こてEP塗り（塗装替え）	90	モルタル金こてEP塗り（塗装替え） エレベーター、多目的トイレ出入口部壁撤去	木製下地化粧石膏ボード張り t=9.5（下地共撤去）	塩ビ	2.480	○	撤去	
		改修後	ビニル床シートt=2.0			下地調整RBの上EP塗 木製巾木	90	下地調整RBの上EP塗（展開図D面除く） LGS下地強化石膏ボードt=21+21下地（FP060NP-0075）の上EP塗	LGS下地化粧石膏ボード張り t=9.5	塩ビ	2.480	○		
	倉庫	改修前	モルタル金こて仕上（既存のまま）					モルタル金こて仕上（既存のまま） PSコンクリートブロック壁（撤去）	モルタル金こて仕上（既存のまま）	コンクリート打放し仕上げ		直天		木製棚（撤去）
	多目的トイレ	改修後	トイレ用防滑性ビニル床シート t=2.0			ビニル巾木	100	LGS下地強化石膏ボードt=21+21下地（FP060NP-0075）の上 メラミン不燃化粧板t=3.0接着貼り（一部メラミン不燃化粧板t=3.0接着直貼り） LGS下地石膏ボードt=12.5下地の上メラミン不燃化粧板t=3.0接着貼り	LGS下地化粧石膏ボード張り t=9.5	塩ビ	2.480	○	ビクトサイン、面台	
	倉庫	改修前	スラブコンクリートt=120+モルタル金こてt=30（撤去）					モルタル金こて仕上（既存のまま）	モルタル金こて仕上（既存のまま）	コンクリート打放し仕上げ（一部撤去）		直天		
エレベーターシャフト	改修後						LGS下地強化石膏ボードt=21+21（FP060NP-0075）						スラブ開口補強鉄骨梁	
3	廊下（エレベーター前）	改修前	モルタル下地（既設のまま） ☆長尺塩ビシート貼り（接着剤に含有 撤去）			モルタル金こてEP塗り（既設のまま）	90	モルタル金こてEP塗り（塗装替え） エレベーター、多目的トイレ出入口部壁撤去	木製下地化粧石膏ボード張り t=9.5（下地共撤去）	塩ビ	2.500	○	撤去	
		改修後	ビニル床シートt=2.5			下地調整RBの上EP塗 木製巾木	90	下地調整RBの上EP塗（展開図D面除く） LGS下地強化石膏ボードt=21+21下地（FP060NP-0075）の上EP塗	LGS下地化粧石膏ボード張り t=9.5	塩ビ	2.500	○×2		
	倉庫	改修前	モルタル金こて仕上（既存のまま）					モルタル金こて仕上（既存のまま） PSコンクリートブロック壁（撤去）	モルタル金こて仕上（既存のまま）	コンクリート打放し仕上げ（既存のまま）		直天		木製棚（撤去）
	多目的トイレ	改修後	トイレ用防滑性ビニル床シート t=2.0			ビニル巾木	100	LGS下地強化石膏ボードt=21+21下地（FP060NP-0075）の上 メラミン不燃化粧板t=3.0接着貼り（一部メラミン不燃化粧板t=3.0接着直貼り） LGS下地石膏ボードt=12.5下地の上メラミン不燃化粧板t=3.0接着貼り	LGS下地化粧石膏ボード張り t=9.5	塩ビ	2.500	○	ビクトサイン、面台	
	倉庫	改修前	スラブコンクリートt=120+モルタル金こてt=30（撤去）					モルタル金こて仕上（既存のまま）	モルタル金こて仕上（既存のまま）	コンクリート打放し仕上げ（既存のまま）		直天		
	エレベーターシャフト	改修後						LGS下地強化石膏ボードt=21+21（FP060NP-0075）						エレベーター吊鉄骨ビーム スラブ開口補強鉄骨梁

1階平面図 (改修前) S=1/200

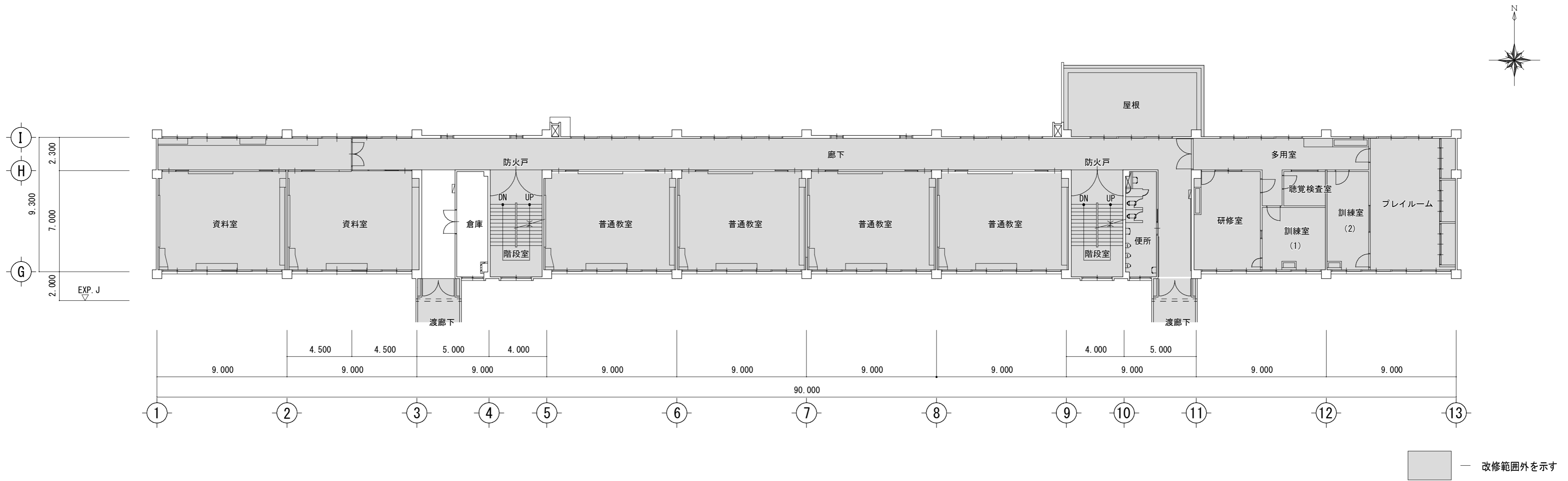


1階平面図 (改修後) S=1/200

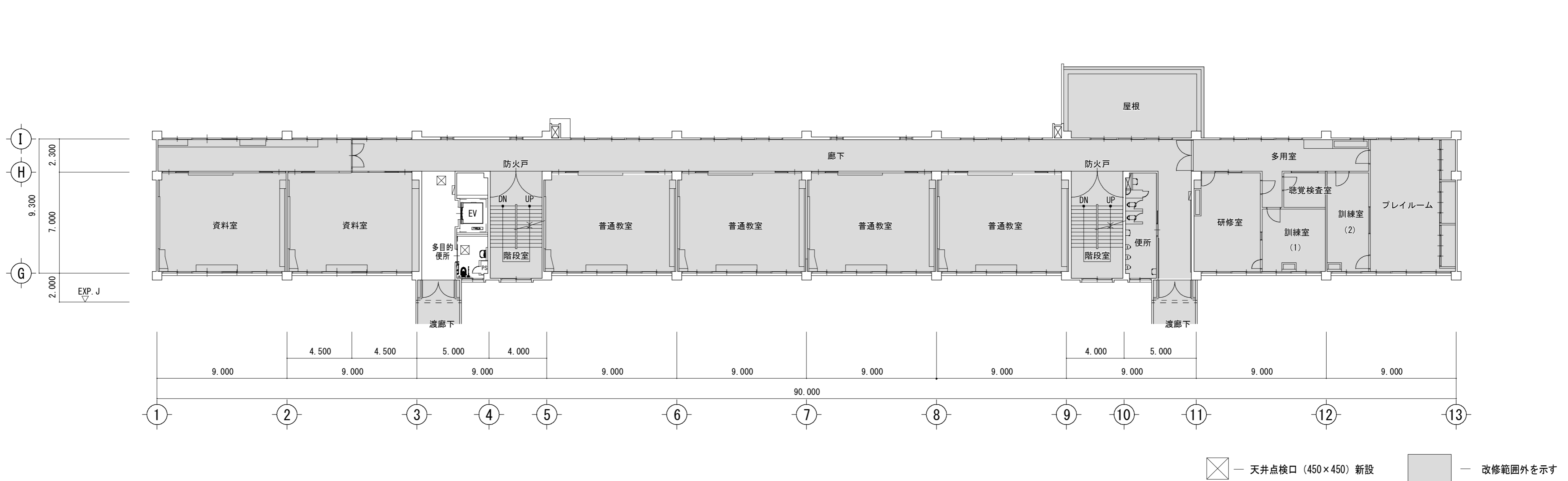


	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	特別教室管理棟 1階平面図 (改修前・改修後)		A-30	
		縮尺 / Scale 原図 : A2 S=1/200	日付 / Date		

2階平面図 (改修前) S=1/200



2階平面図 (改修後) S=1/200




工事名 / Title	津市立修成小学校長寿命化改修工事
-------------	------------------

図面種別 / Drawing	特別教室管理棟 2階平面図 (改修前・改修後)
縮尺 / Scale	原図 : A2 S=1/200
日付 / Date	

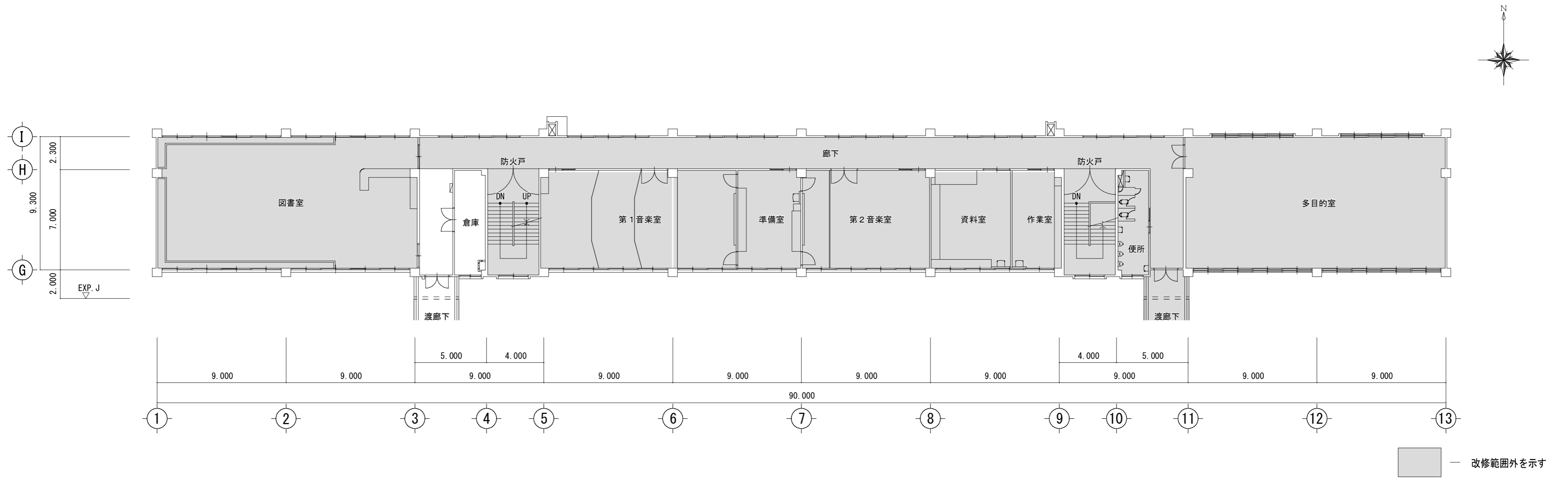
Check	
-------	--

No.	A-31
-----	------

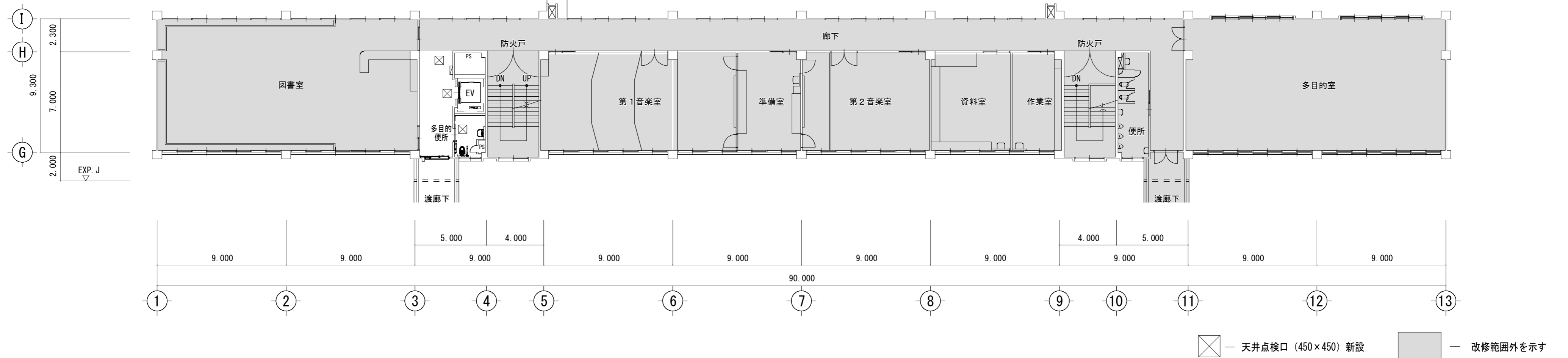

**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治




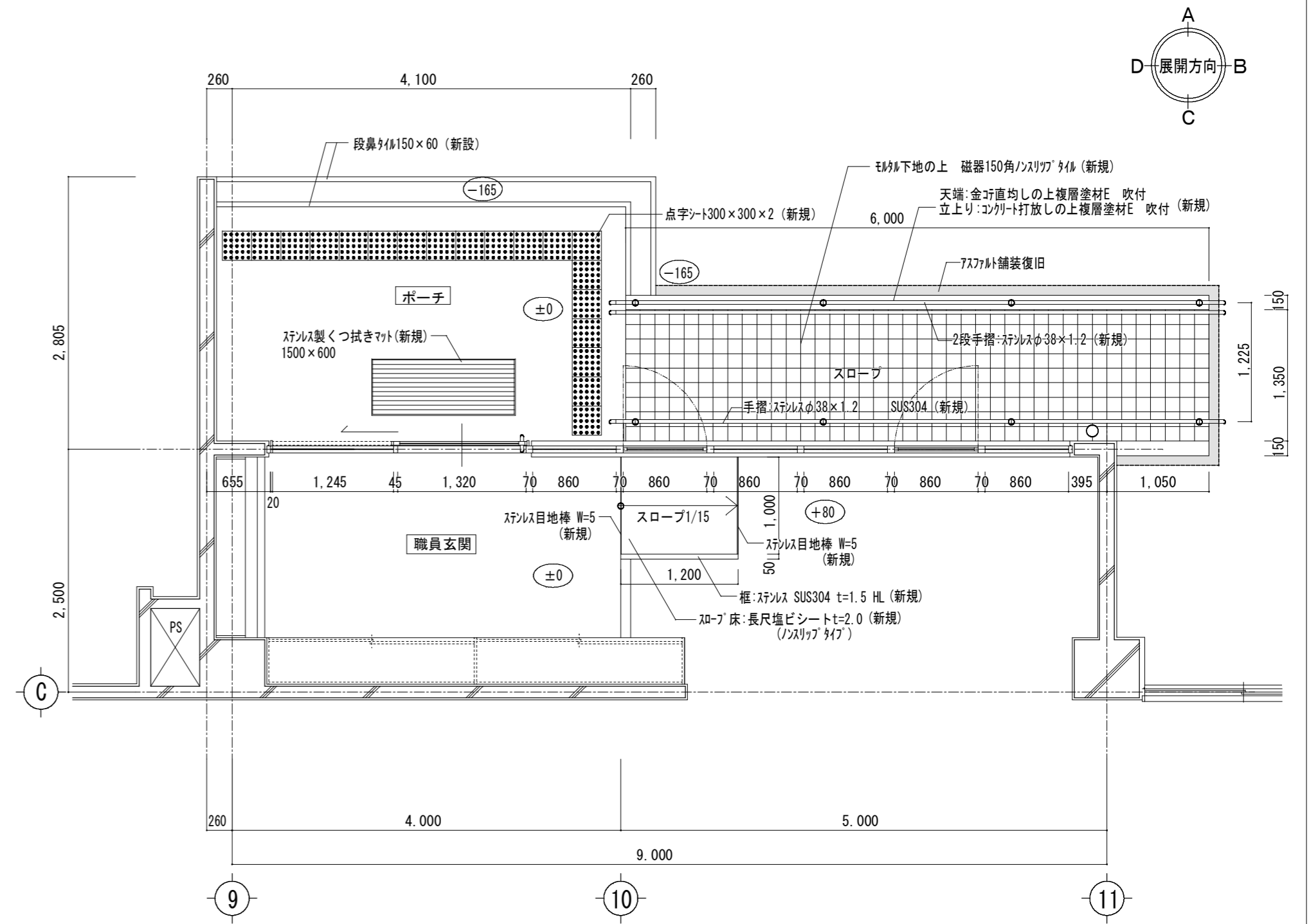
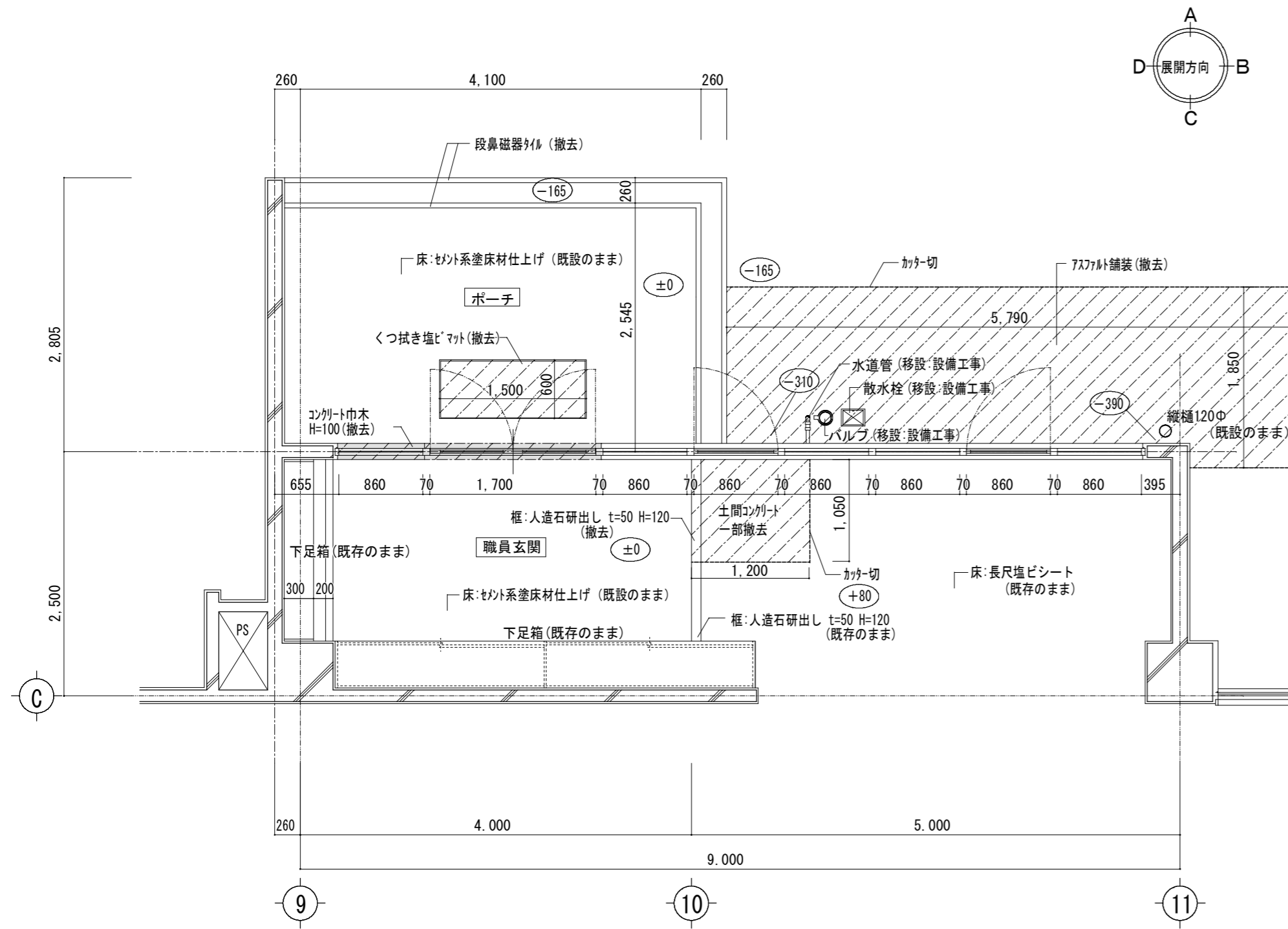
3階平面図 (改修前) S=1/200



3階平面図 (改修後) S=1/200



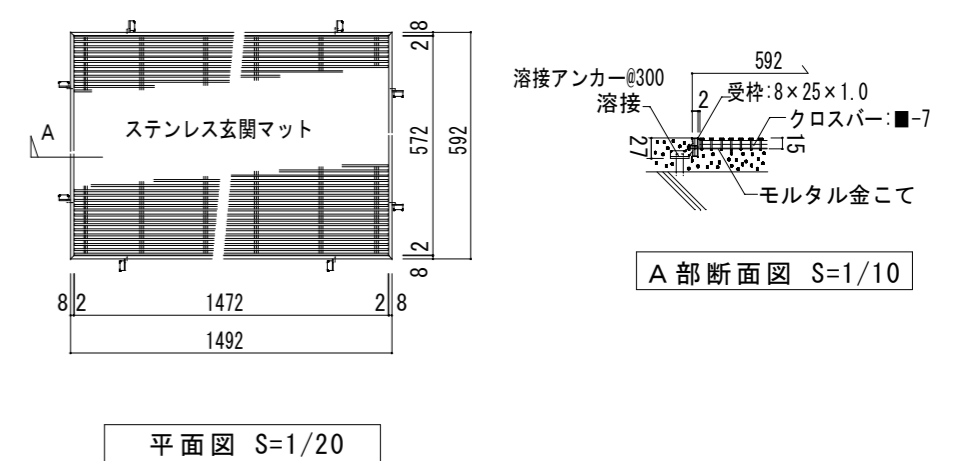
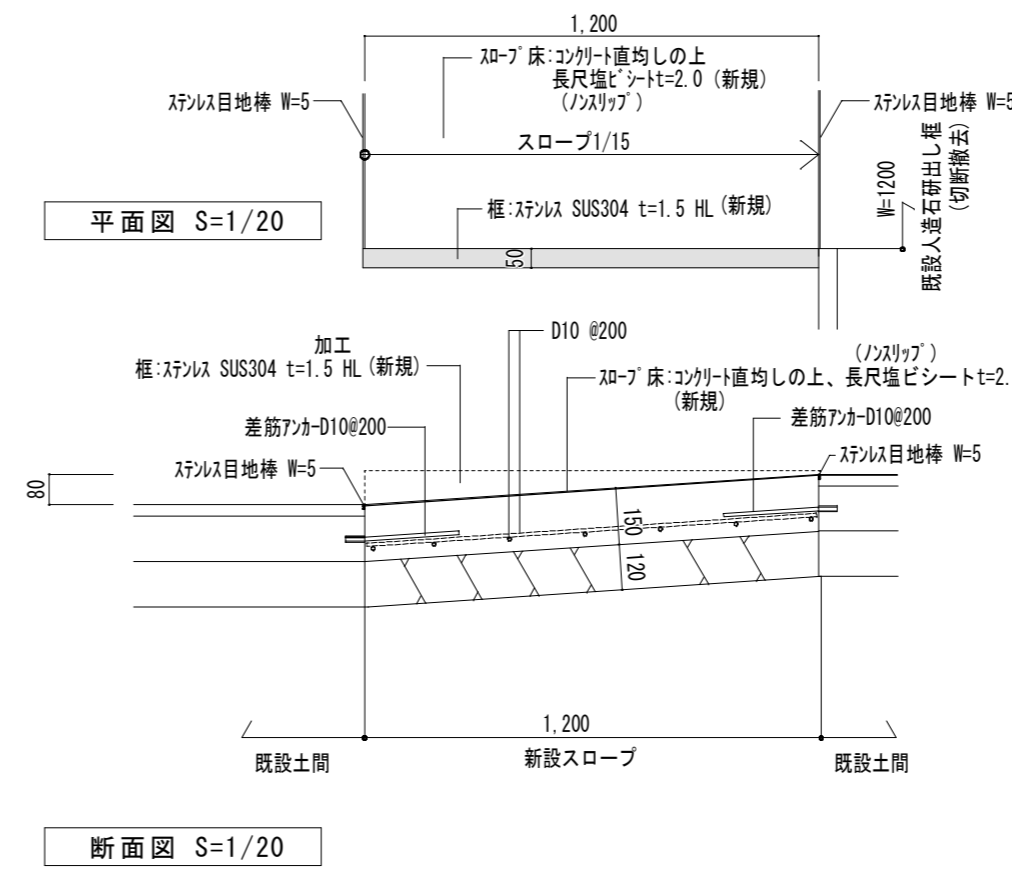
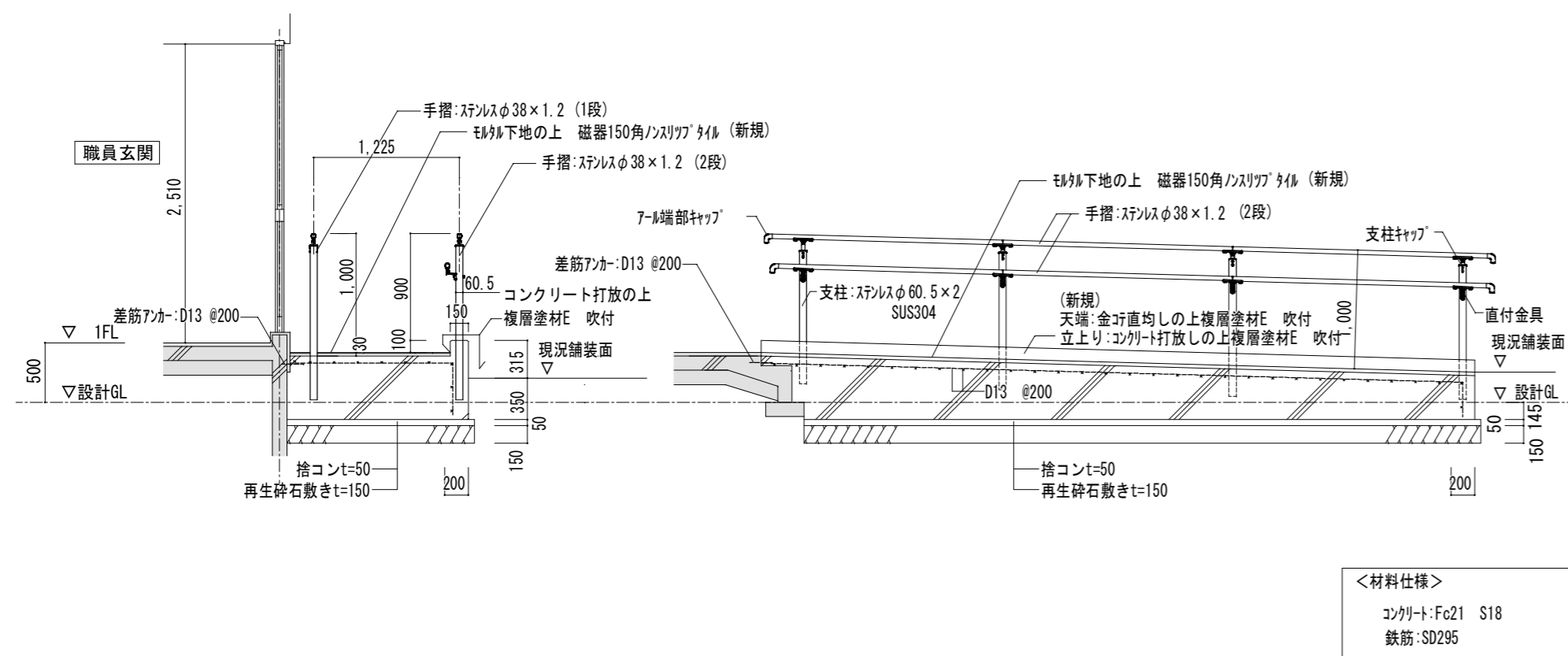
. . . .	工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>特別教室管理棟 3階平面図 (改修前・改修後)</b>	Check	No. <b>A-32</b>	 <b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	縮尺 / Scale 原図 : A2 <b>S=1/200</b>	日付 / Date	. . .	. . .	
	. . .		. . .	. . .	



(新規) 玄関ポーチ スロープ断面詳細図 S=1/50

(新規) 職員玄関 スロープ詳細図 S=1/20

(新規) 職員玄関 ステンレス製くつ拭きマット詳細図 S=1/10、1/20

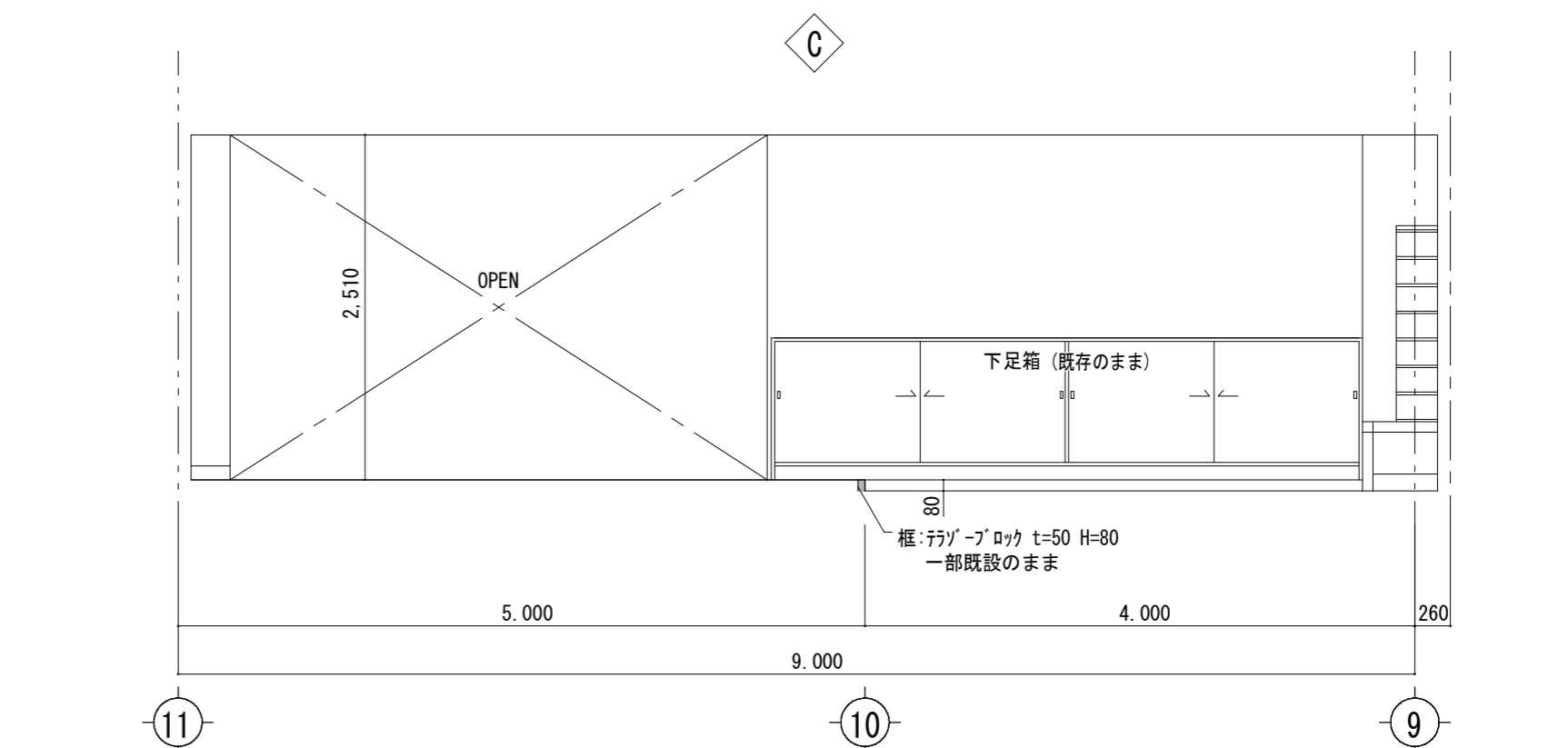
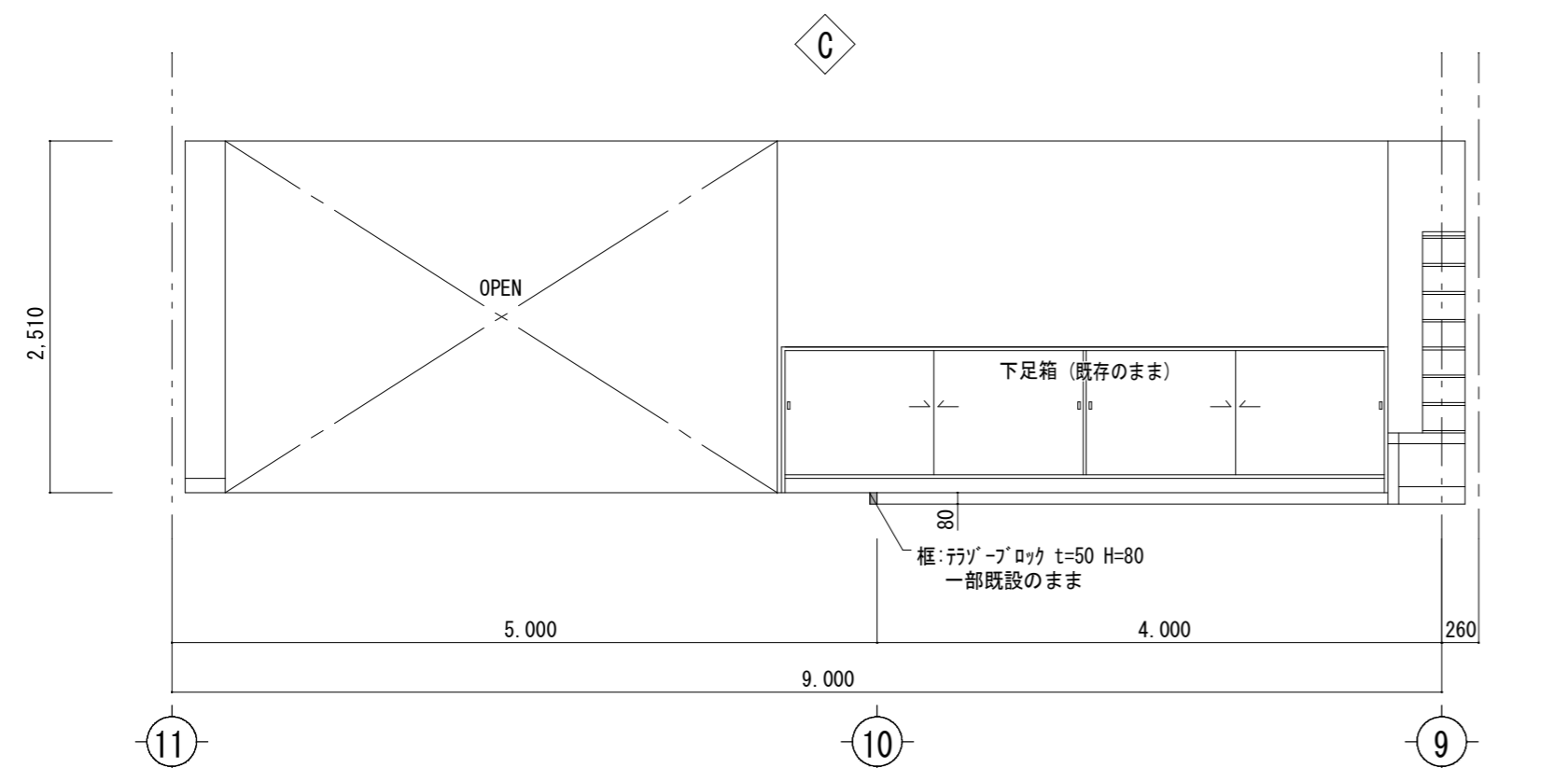
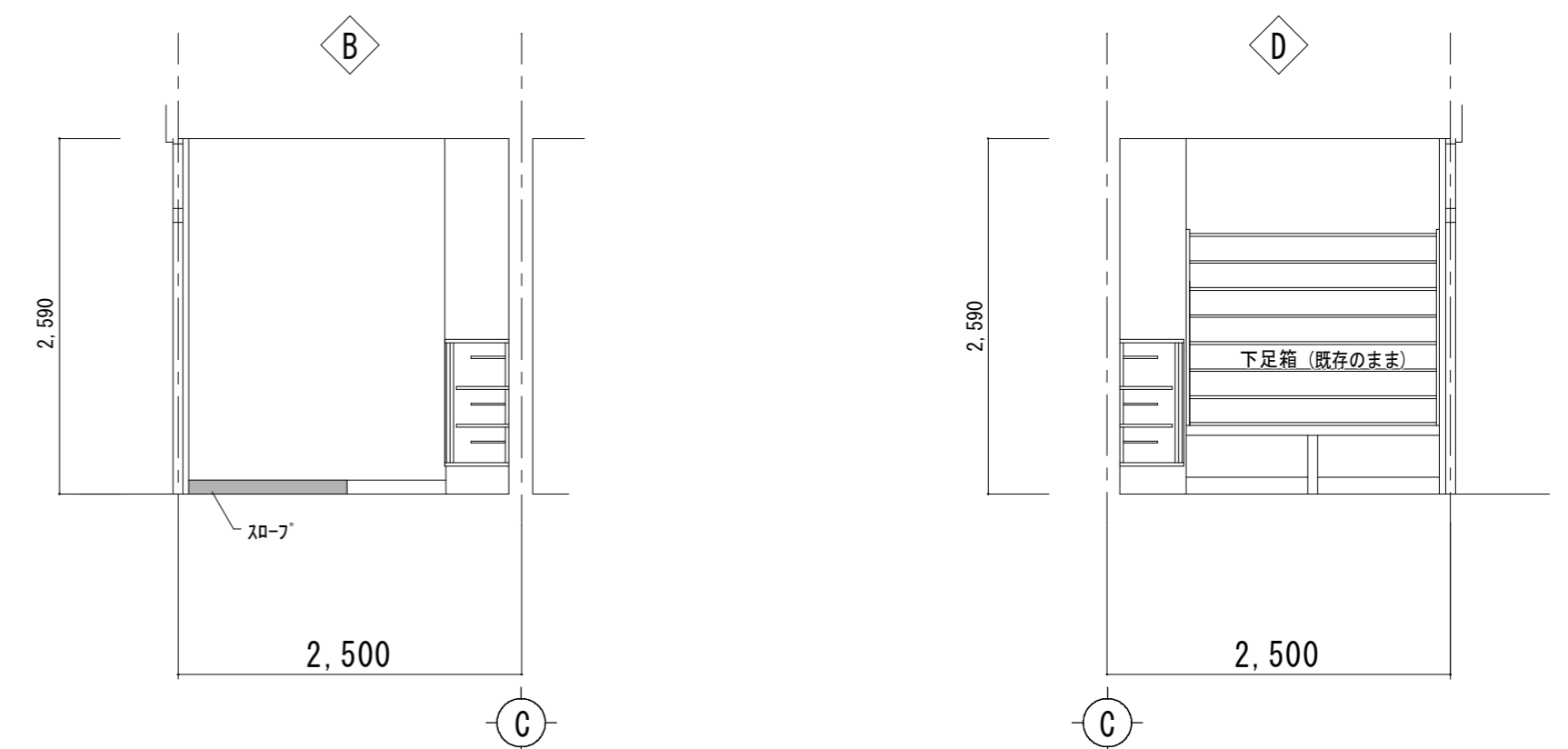
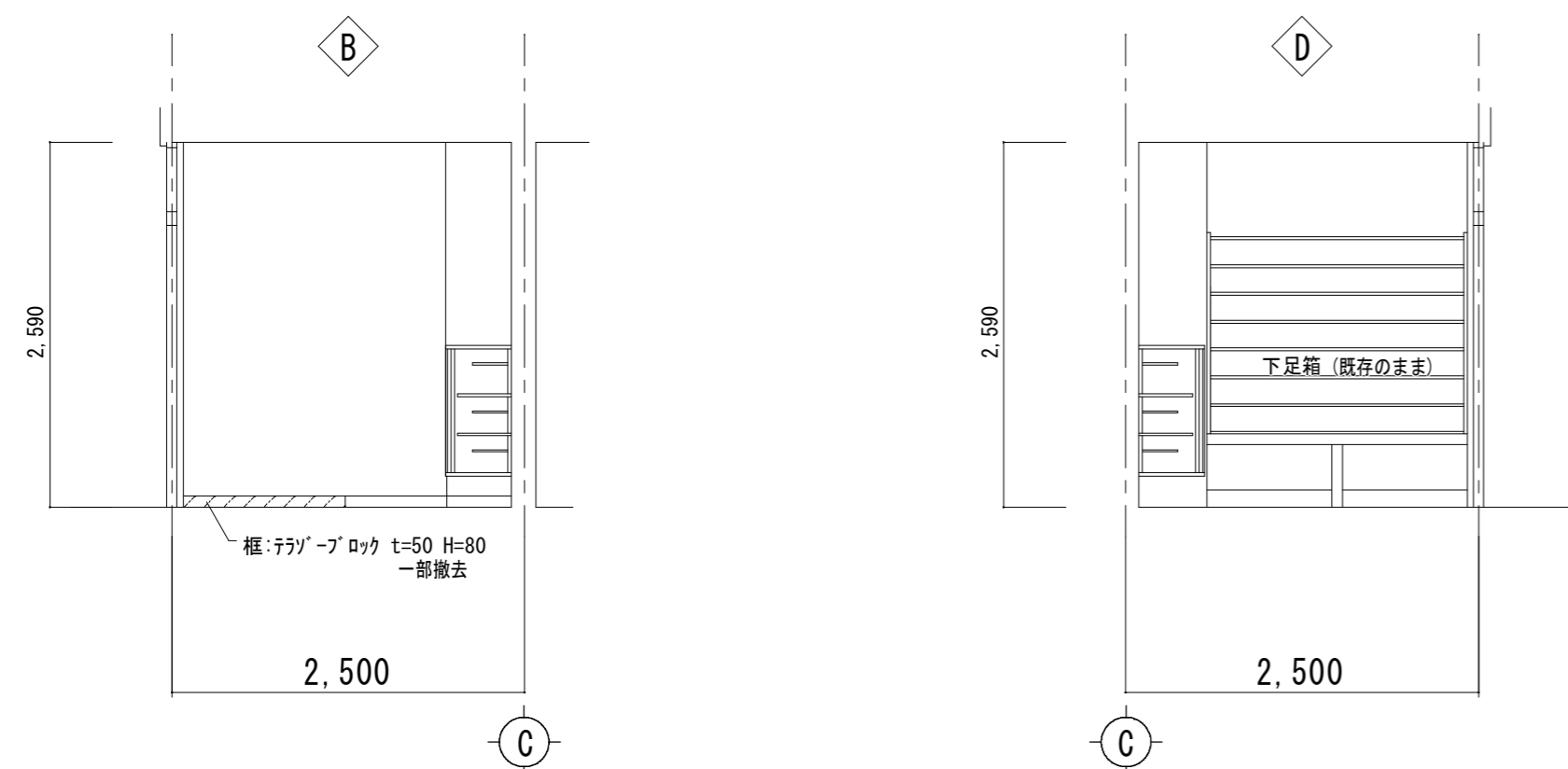
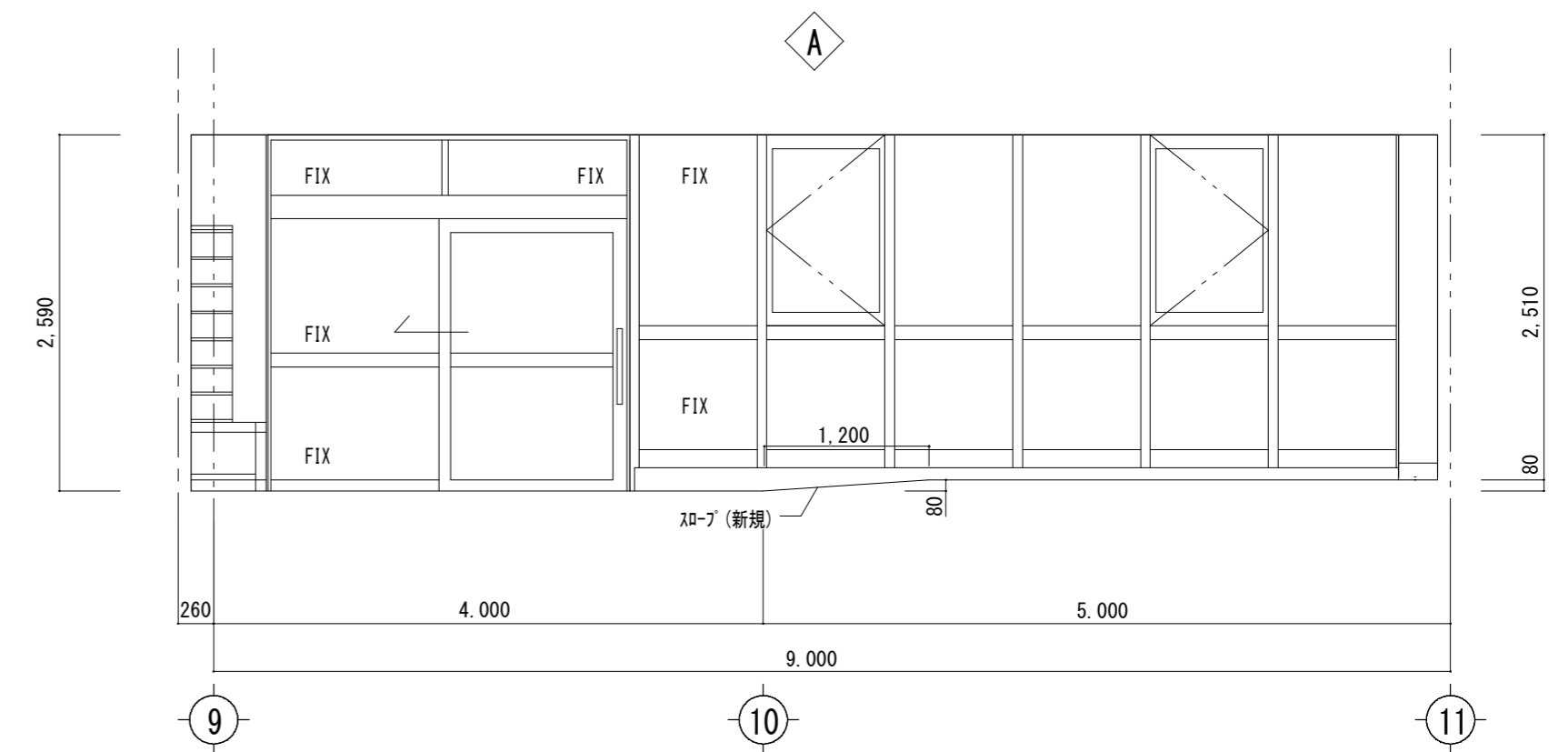
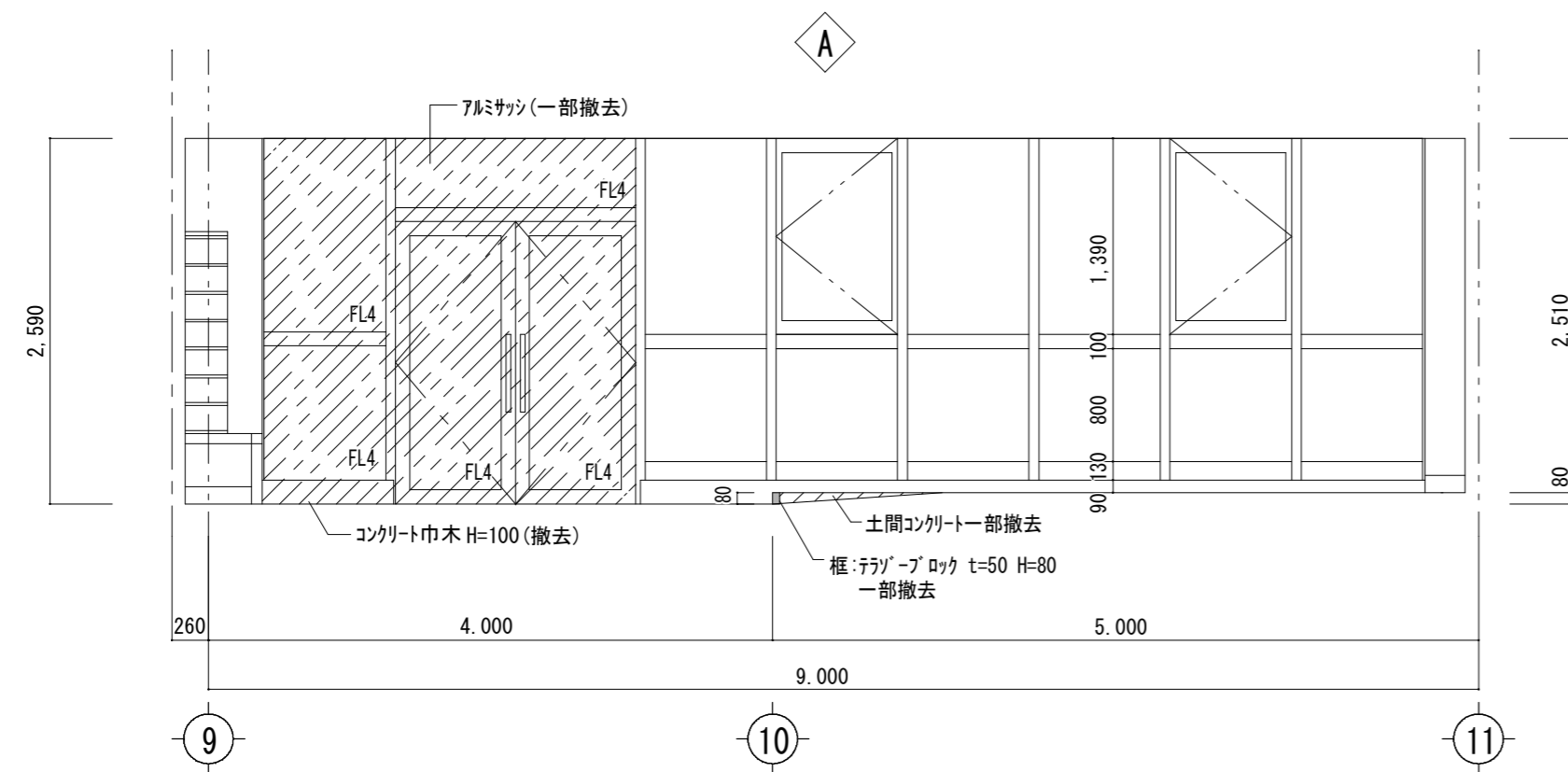


工事名 / Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

図面種別 / Drawing  
職員玄関 平面・断面詳細図 (改修前・改修後)  
縮尺 / Scale 原図: A2  
S=1/10、1/20、1/50  
日付 / Date

Check  
No.  
A-33

合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

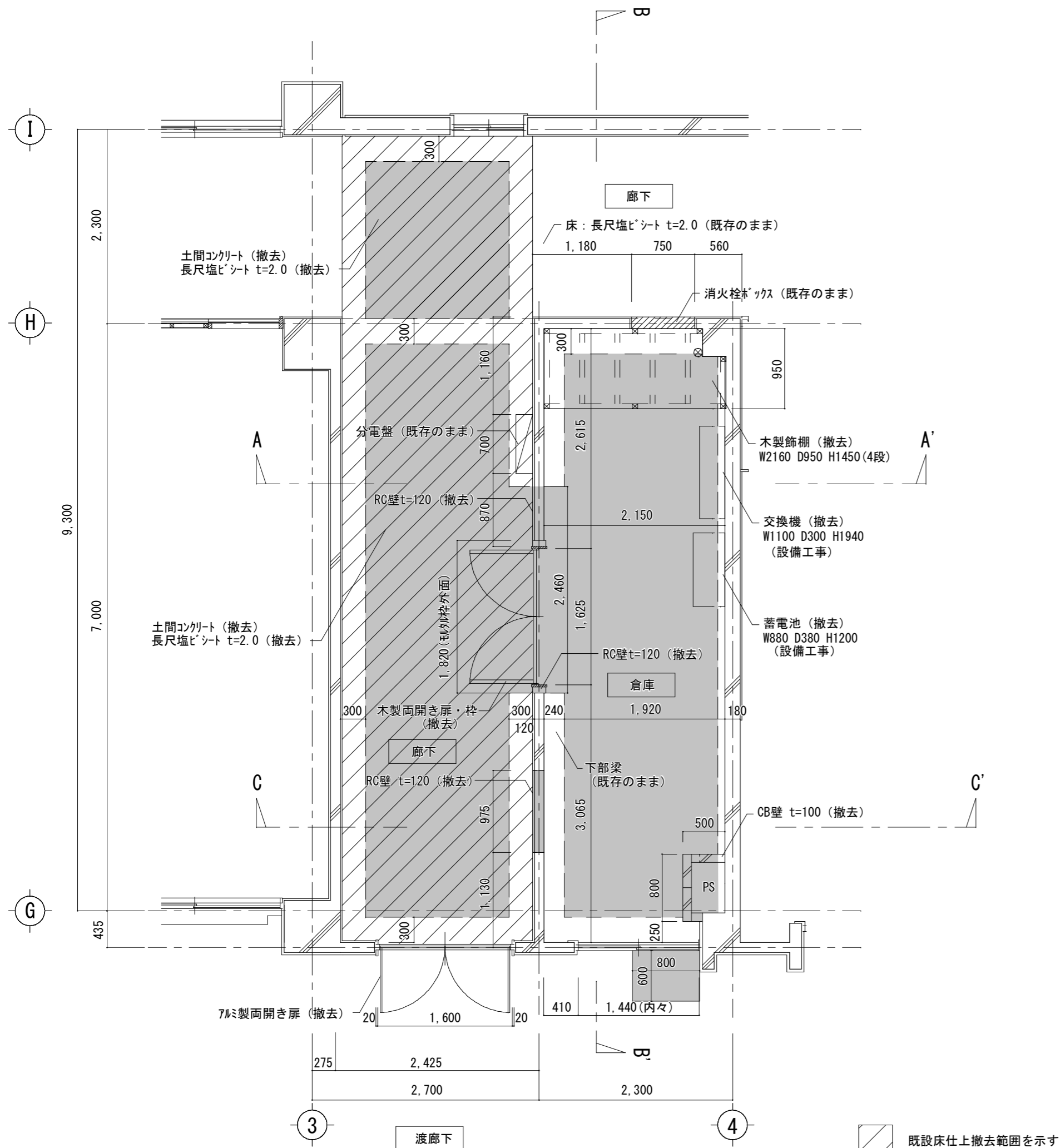
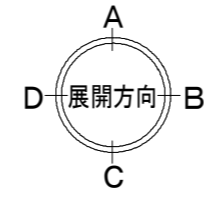


工事名/Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

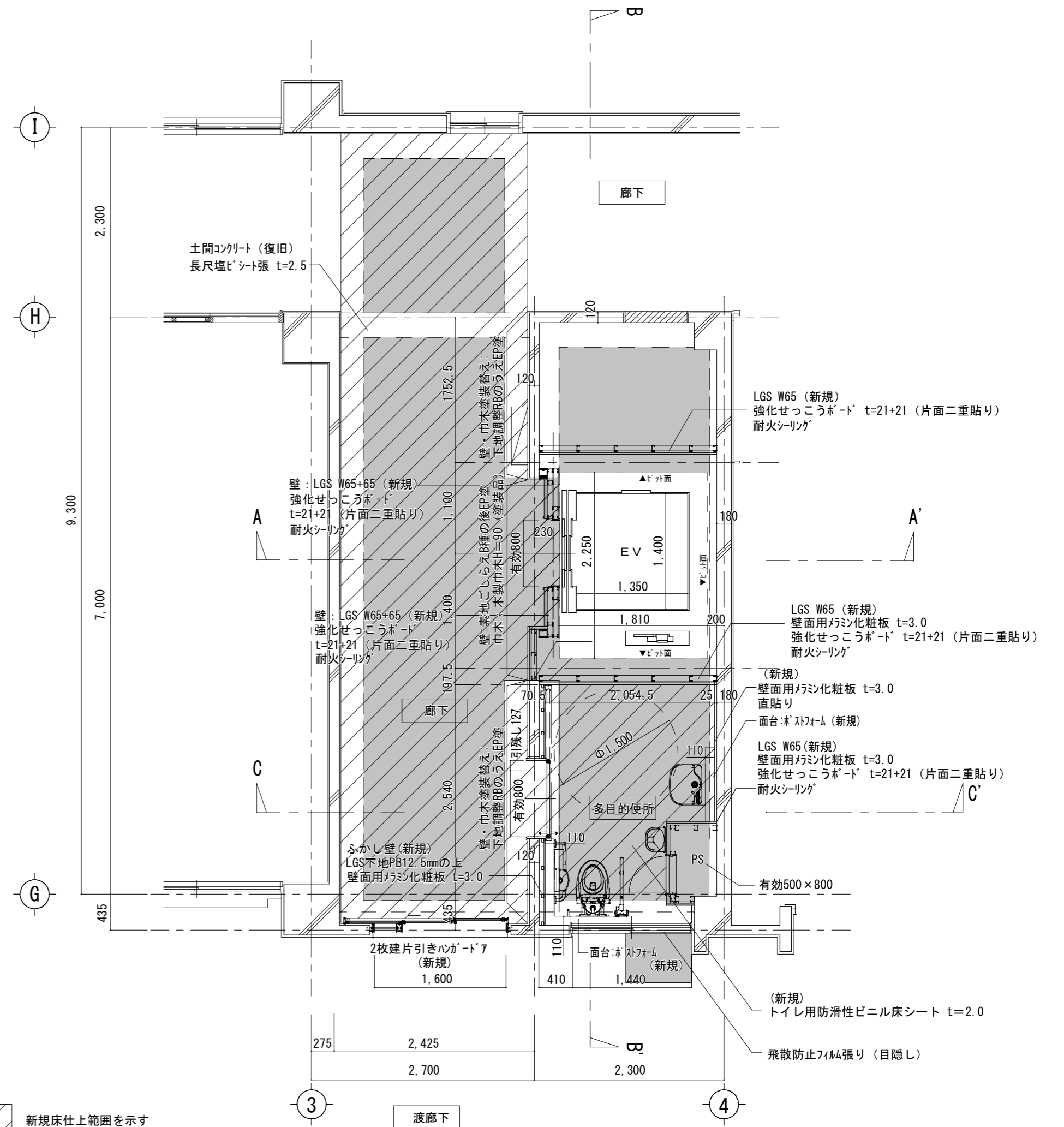
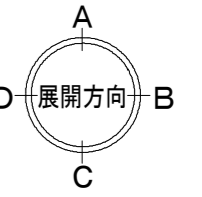
図面種別/Drawing  
職員玄関 展開図 (改修前・改修後)  
縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date  
S=1/50

Check  
No.  
A-34

合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



既設床仕上撤去範囲を示す  
 ｽﾌﾟ、壁撤去範囲を示す



新規床仕上範囲を示す  
 新規土間範囲を示す

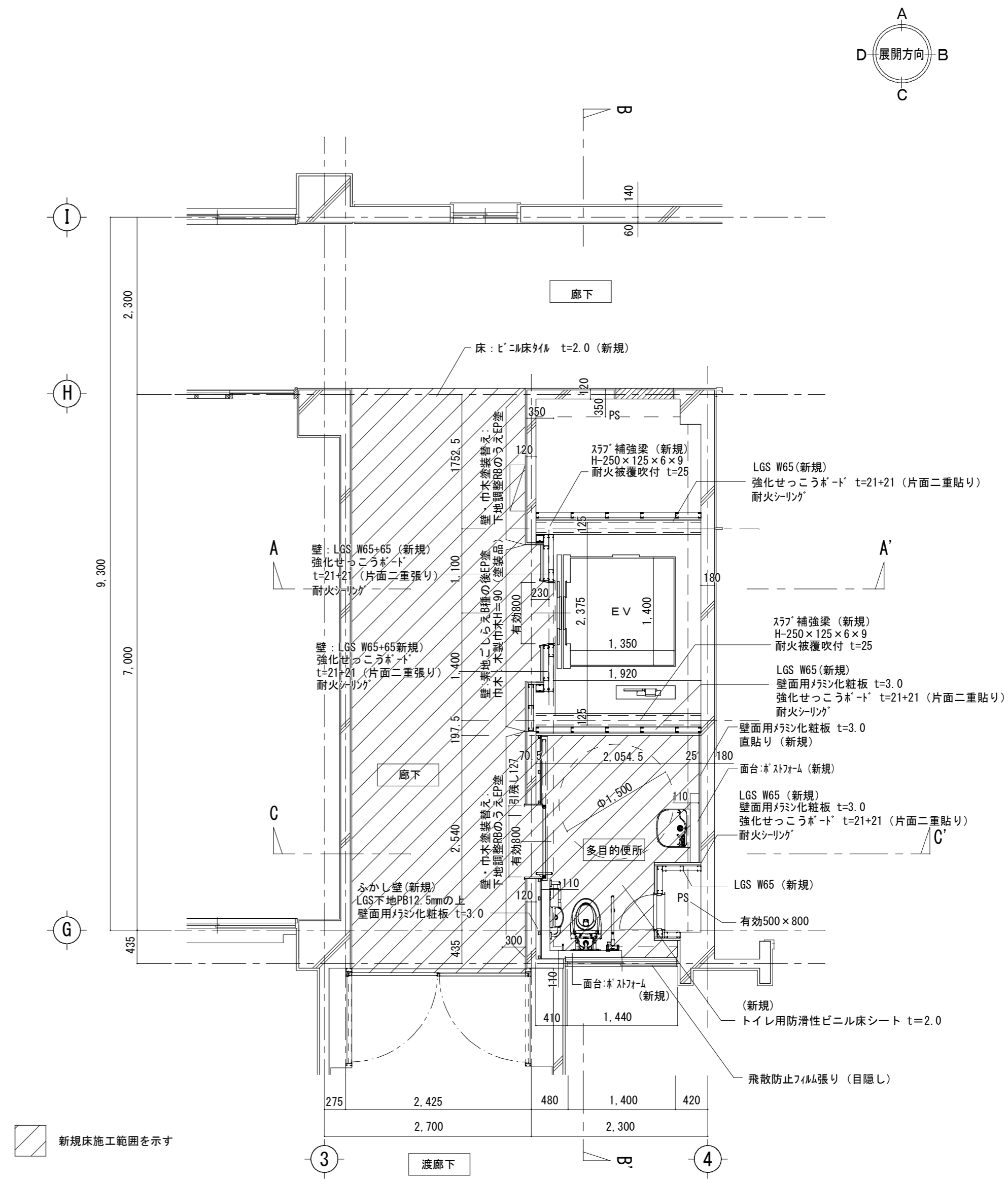
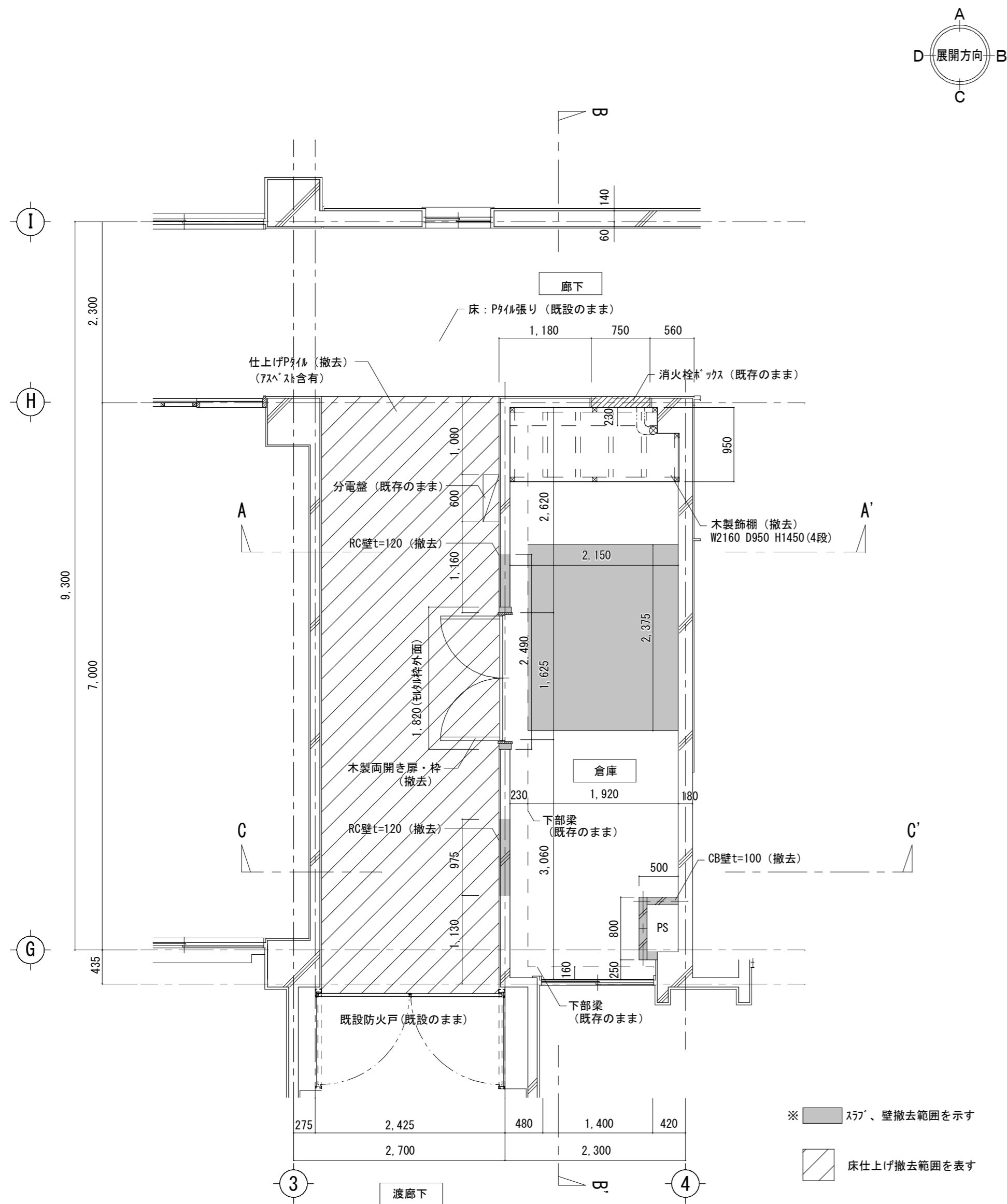
※特記無き限り、既設部材を示す。

工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
 倉庫・廊下 1階平面詳細図  
 (改修前・改修後)  
 縮尺 / Scale 原図:A2 日付 / Date  
 S=1/50

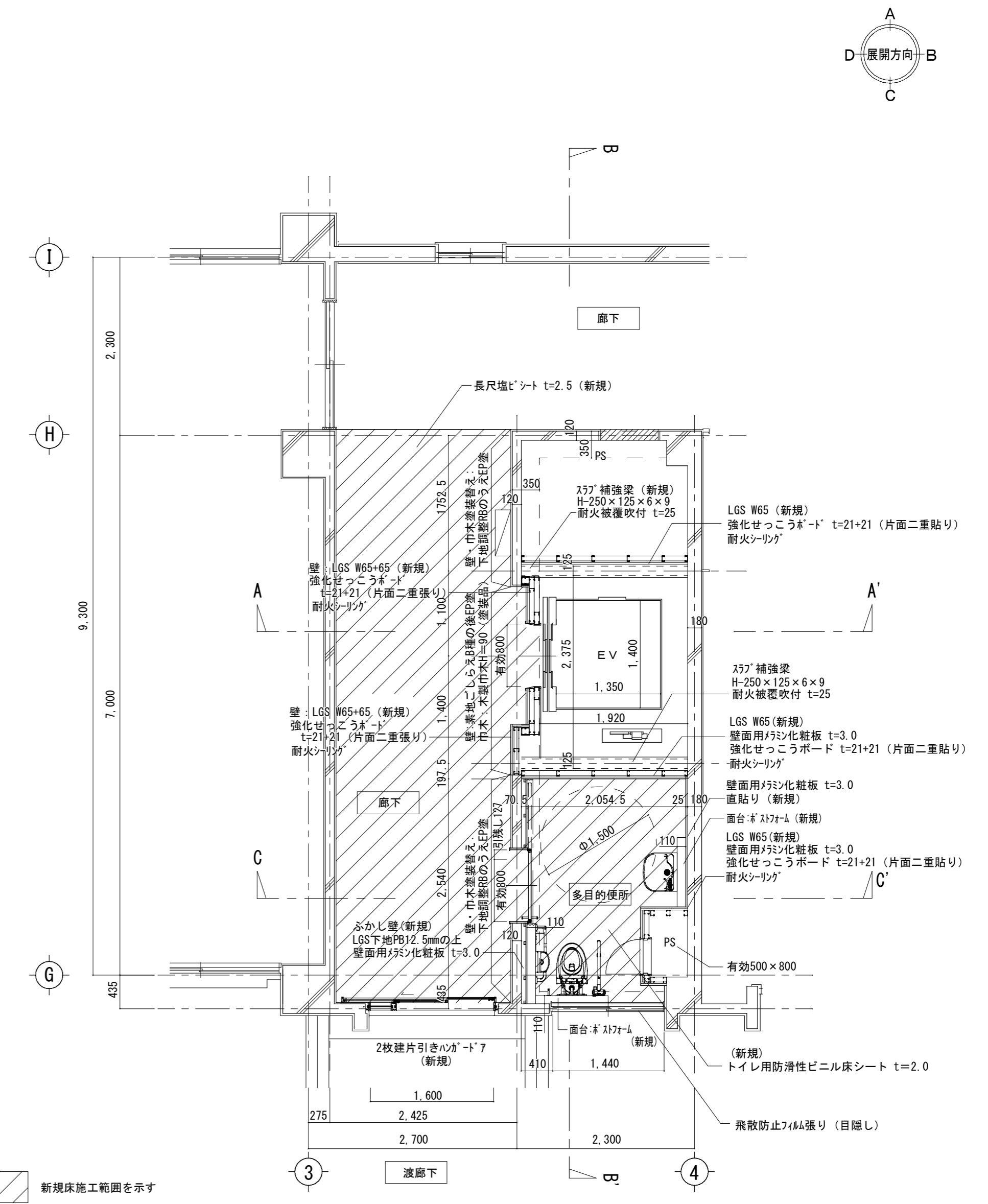
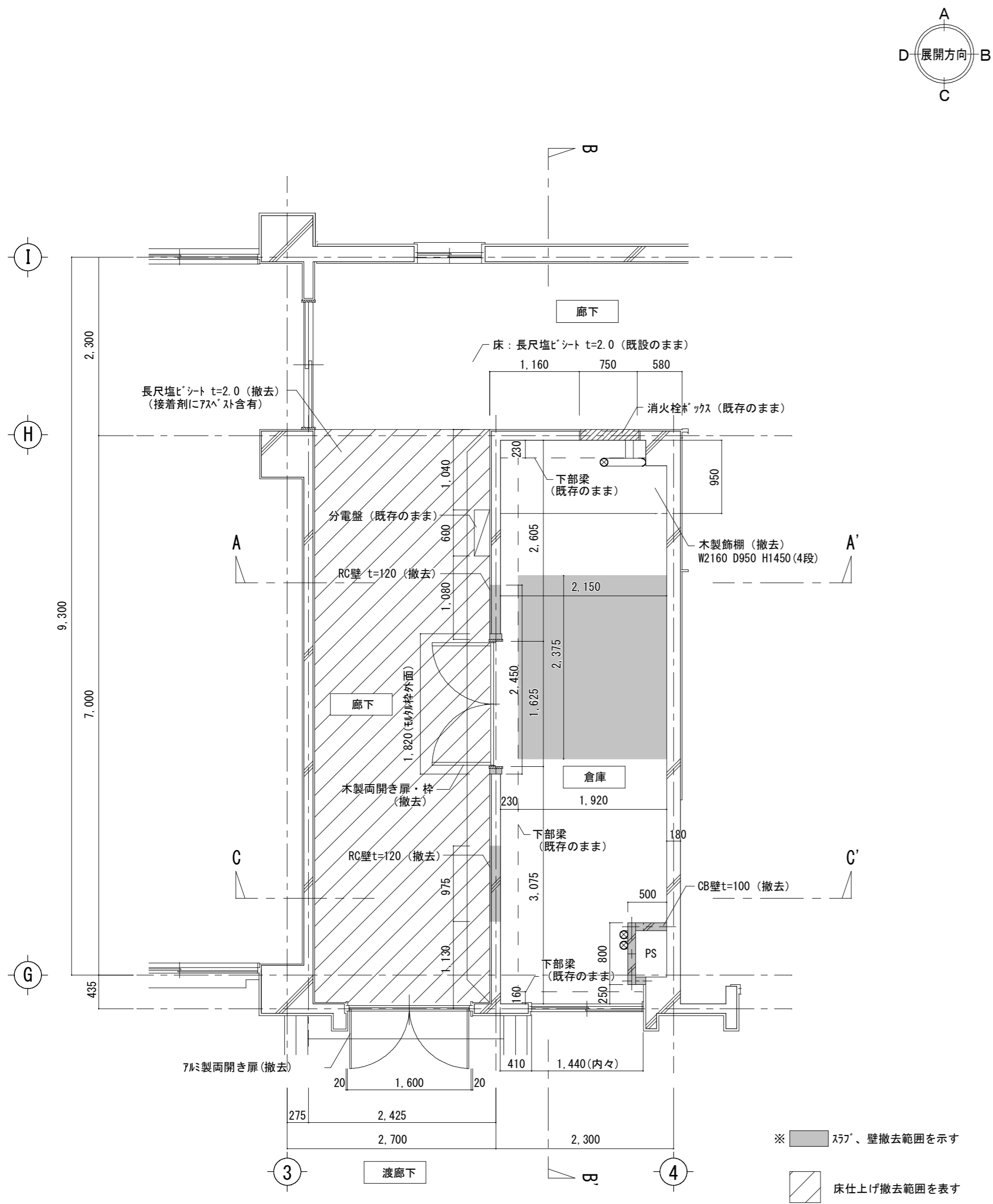
Check  
 No.  
 A-35

重企建築事務所  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



※特記無き限り、既設部材を示す。

<p>工事名 / Title</p> <p><b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b></p>	<p>図面種別 / Drawing</p> <p>倉庫・廊下 2階平面詳細図 (改修前・改修後)</p> <p>縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date</p> <p>S=1/50</p>	<p>Check</p> <p>No.</p> <p>A-36</p>	<p>合資会社 重企建築事務所</p> <p>Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</p> <p>一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
---	---	-------------------------------------	---

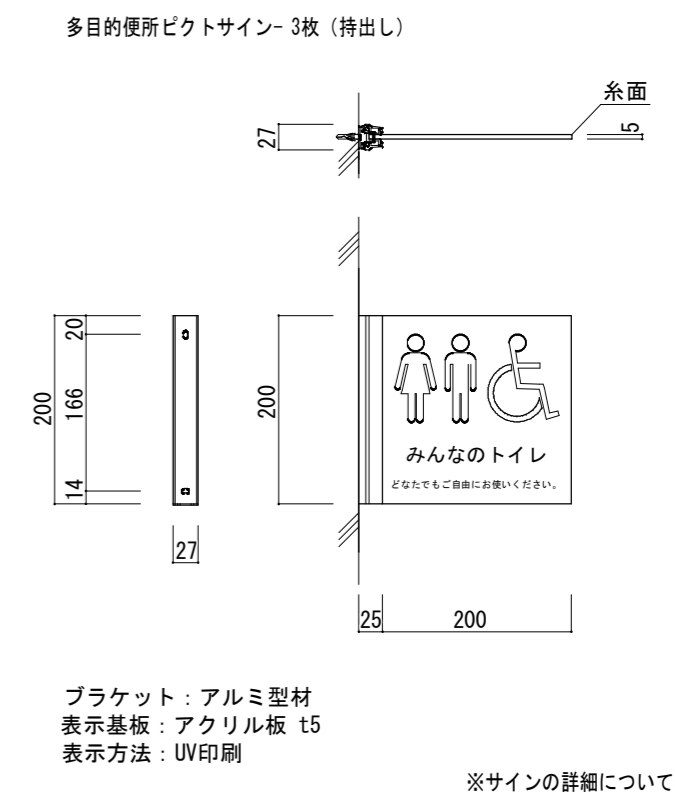
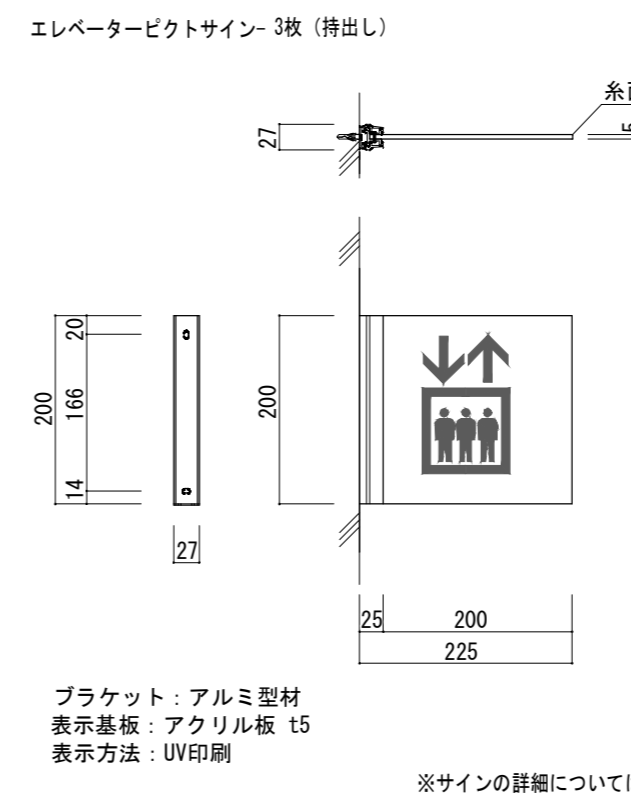
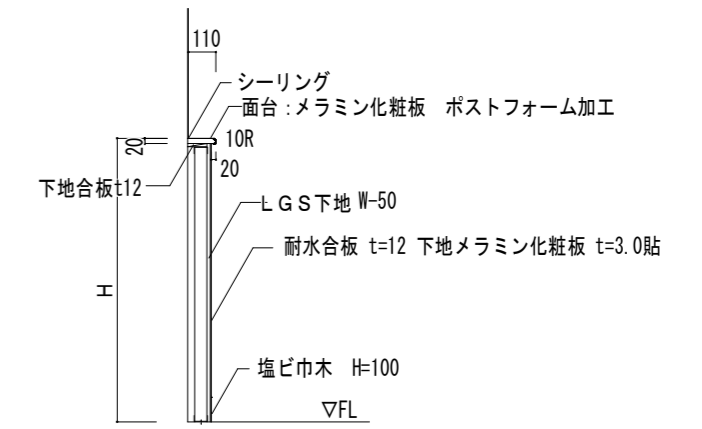
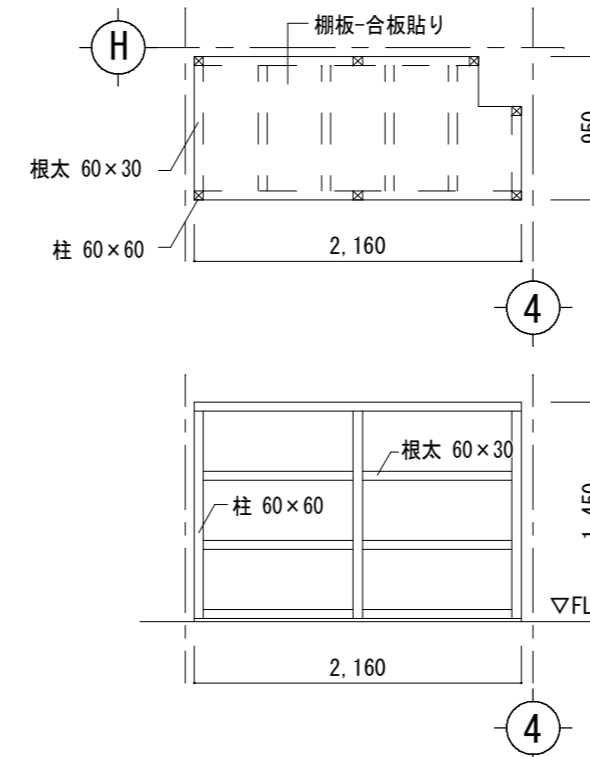
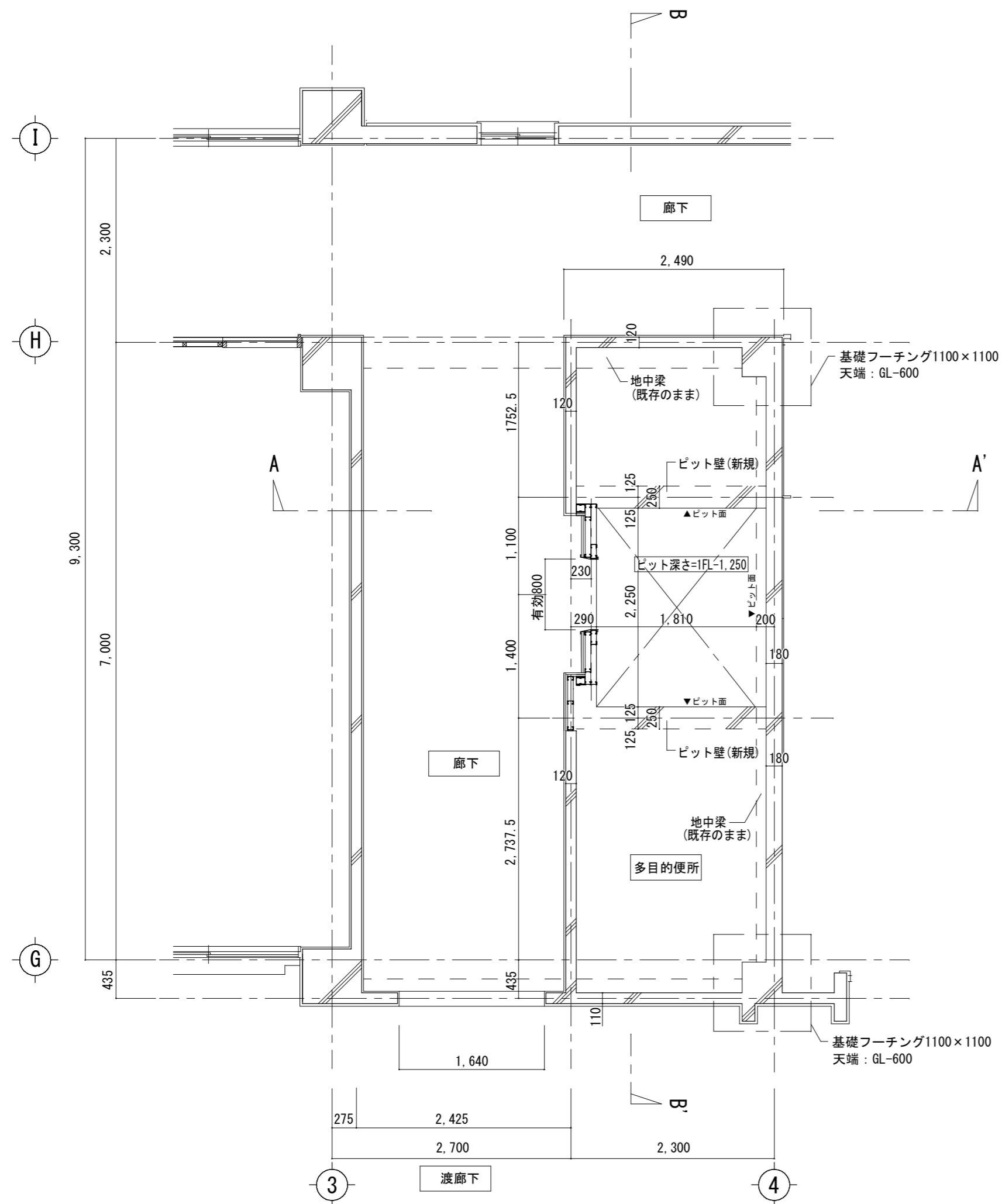


※ スラブ、壁撤去範囲を示す  
 床仕上げ撤去範囲を表す

※ 新規床施工範囲を示す

※特記無き限り、既設部材を示す。

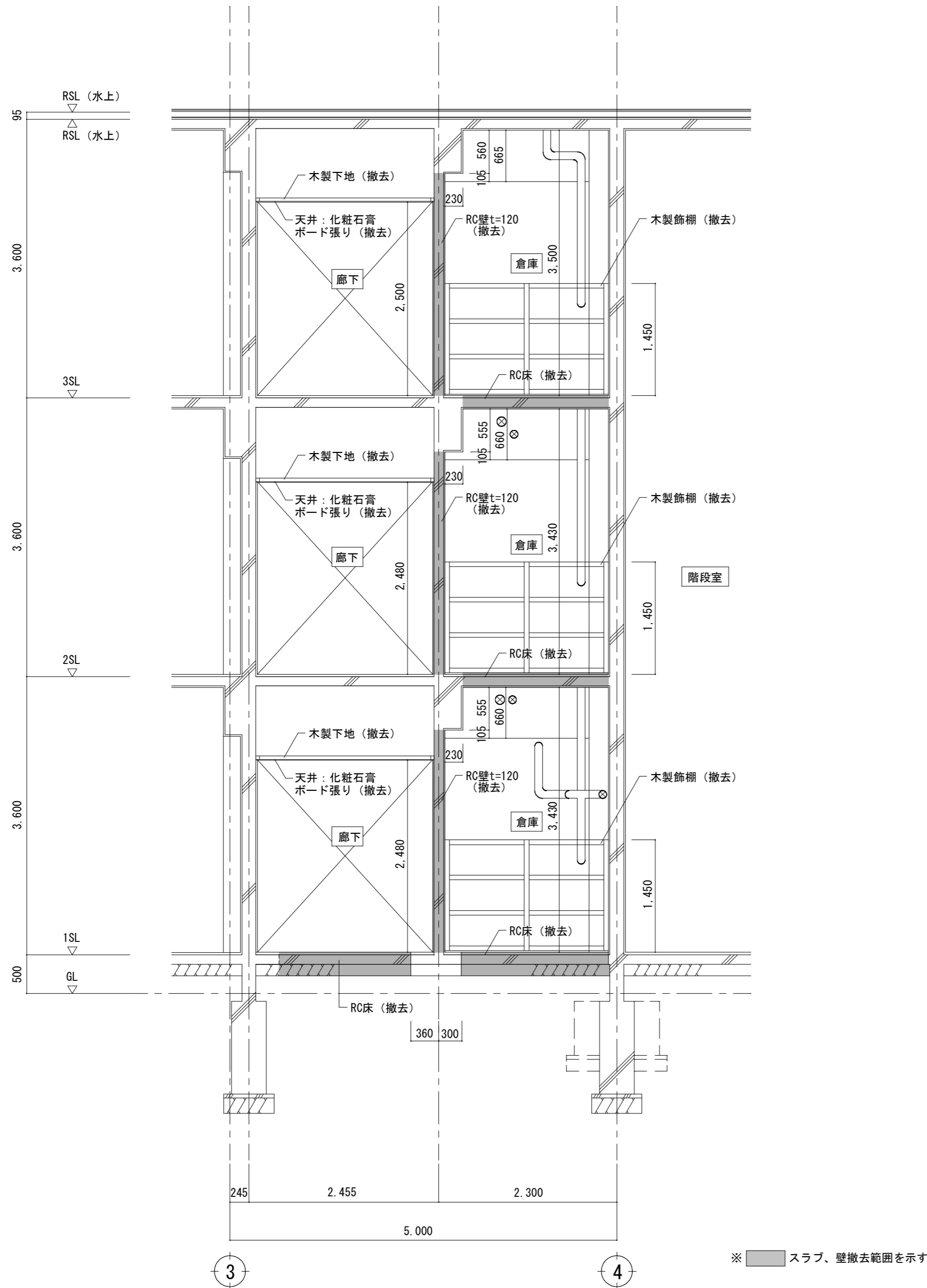
<p>津市立修成小学校長寿命化改修工事</p>	<p>工事名 / Title</p>	<p>図面種類 / Drawing</p> <p>倉庫・廊下 3階平面詳細図 (改修前・改修後)</p>	<p>Check</p>	<p>No.</p>	<p>資力社 重企建築事務所                  Jyuki Architectural Design Office                  一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号                  一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
	<p>縮尺 / Scale</p> <p>原図: A2                  S=1/50</p>	<p>日付 / Date</p>	<p>A-37</p>		



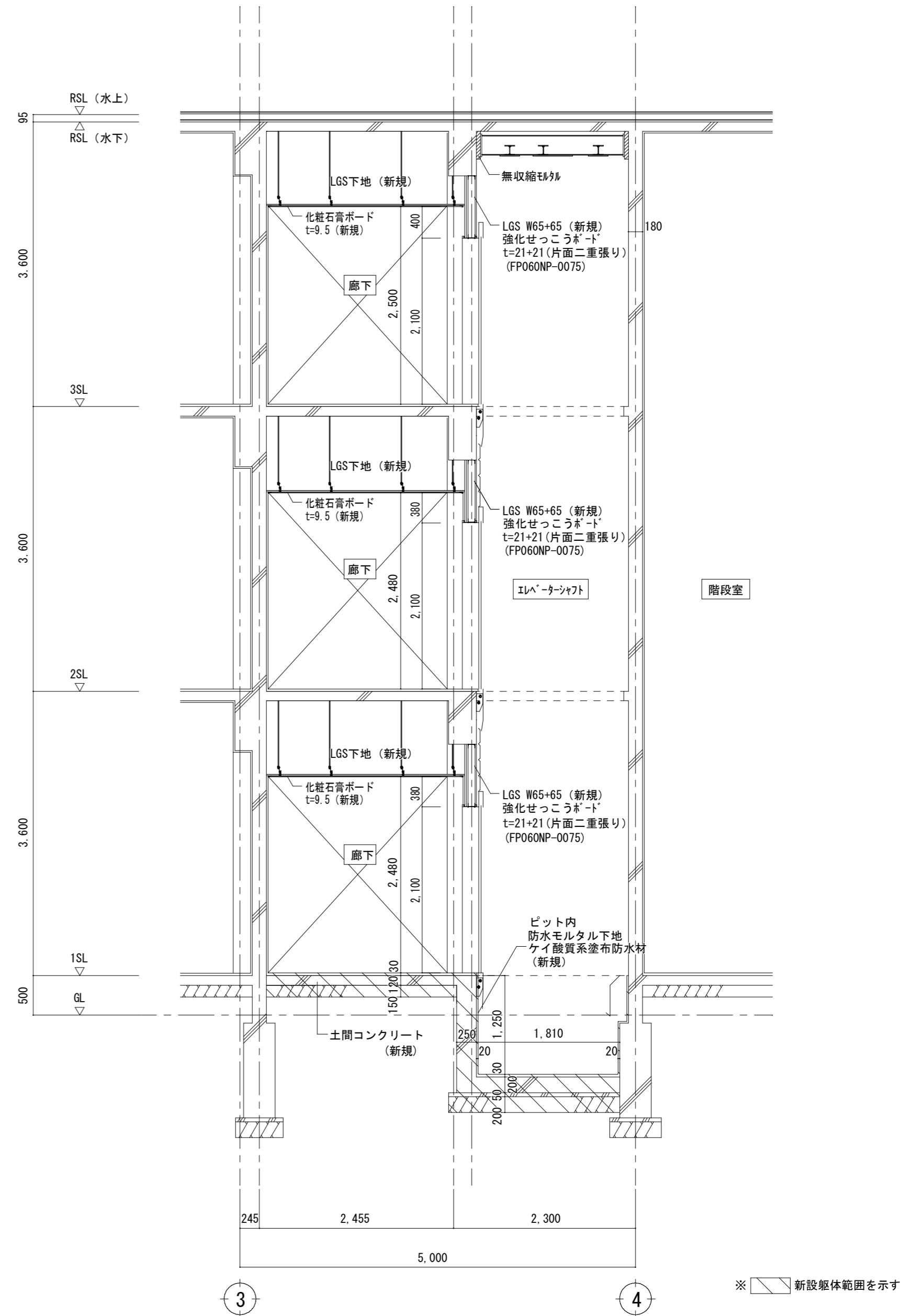
※サインの詳細については監督員と協議の上、決定する。

※サインの詳細については監督員と協議の上、決定する。

A-A' 断面詳細図 (改修前) S=1/50



A-A' 断面詳細図 (改修後) S=1/50



工事名 / Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

図面種別 / Drawing  
倉庫 A-A' 断面詳細図 (改修前・改修後)

縮尺 / Scale 原図: A2  
S=1/50

日付 / Date

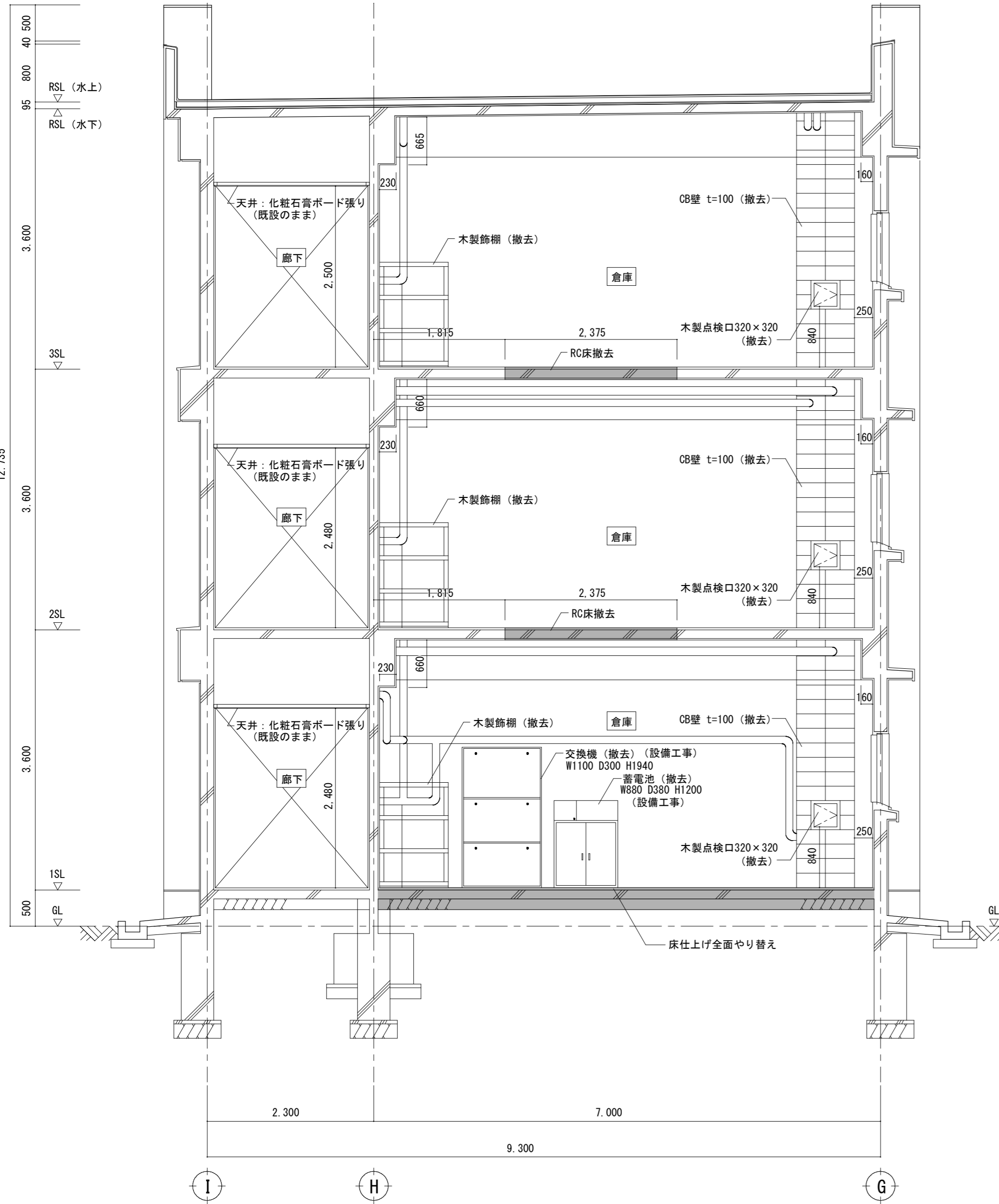
Check

No.  
A-39

合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

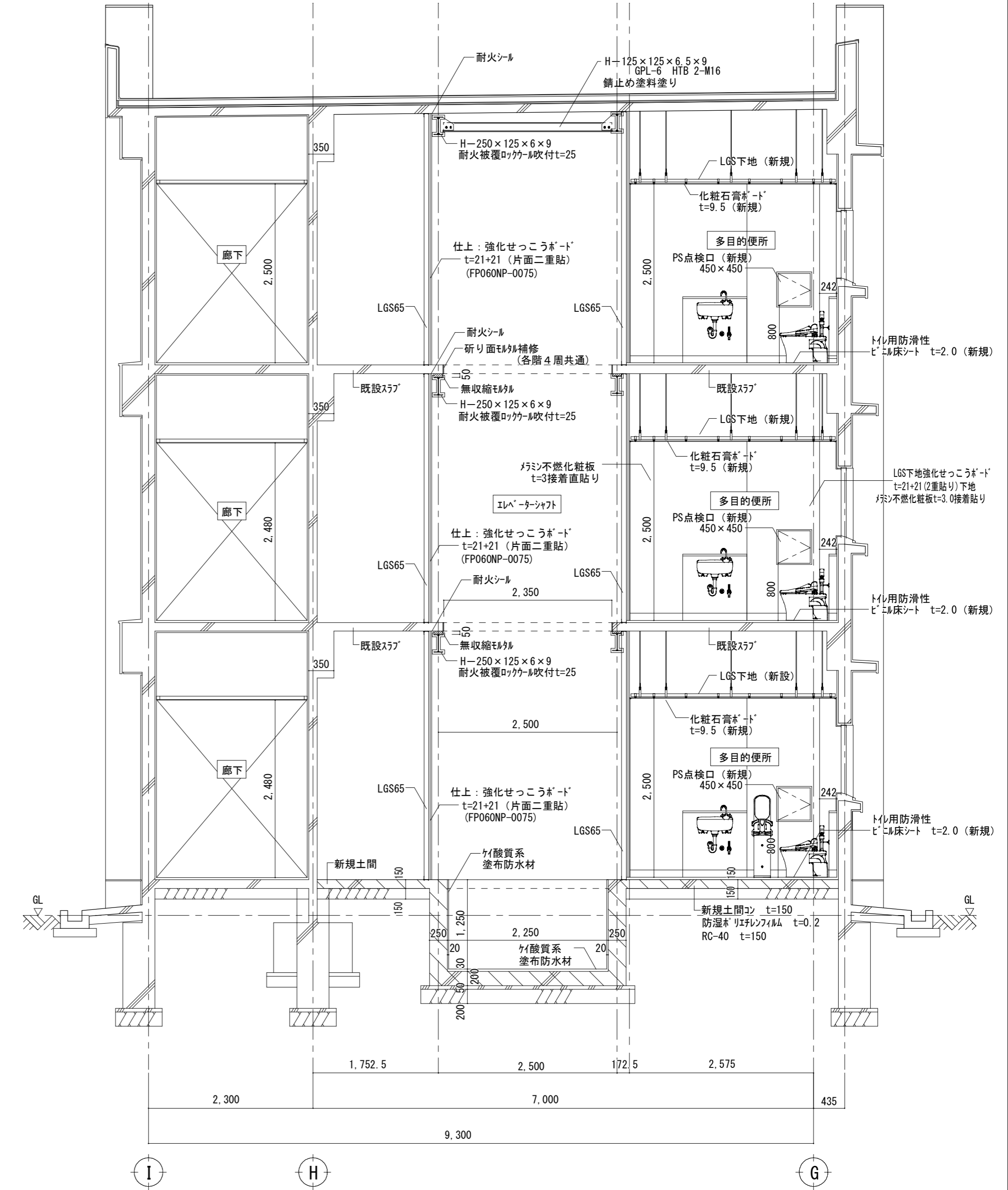


B-B' 断面詳細図 (改修前) S=1/50



※ スラブ、壁撤去範囲を示す

B-B' 断面詳細図 (改修後) S=1/50



※ 新設躯体範囲を示す

工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
 倉庫 B-B' 断面詳細図 (改修前・改修後)

縮尺 / Scale 原図: A2  
 S=1/50

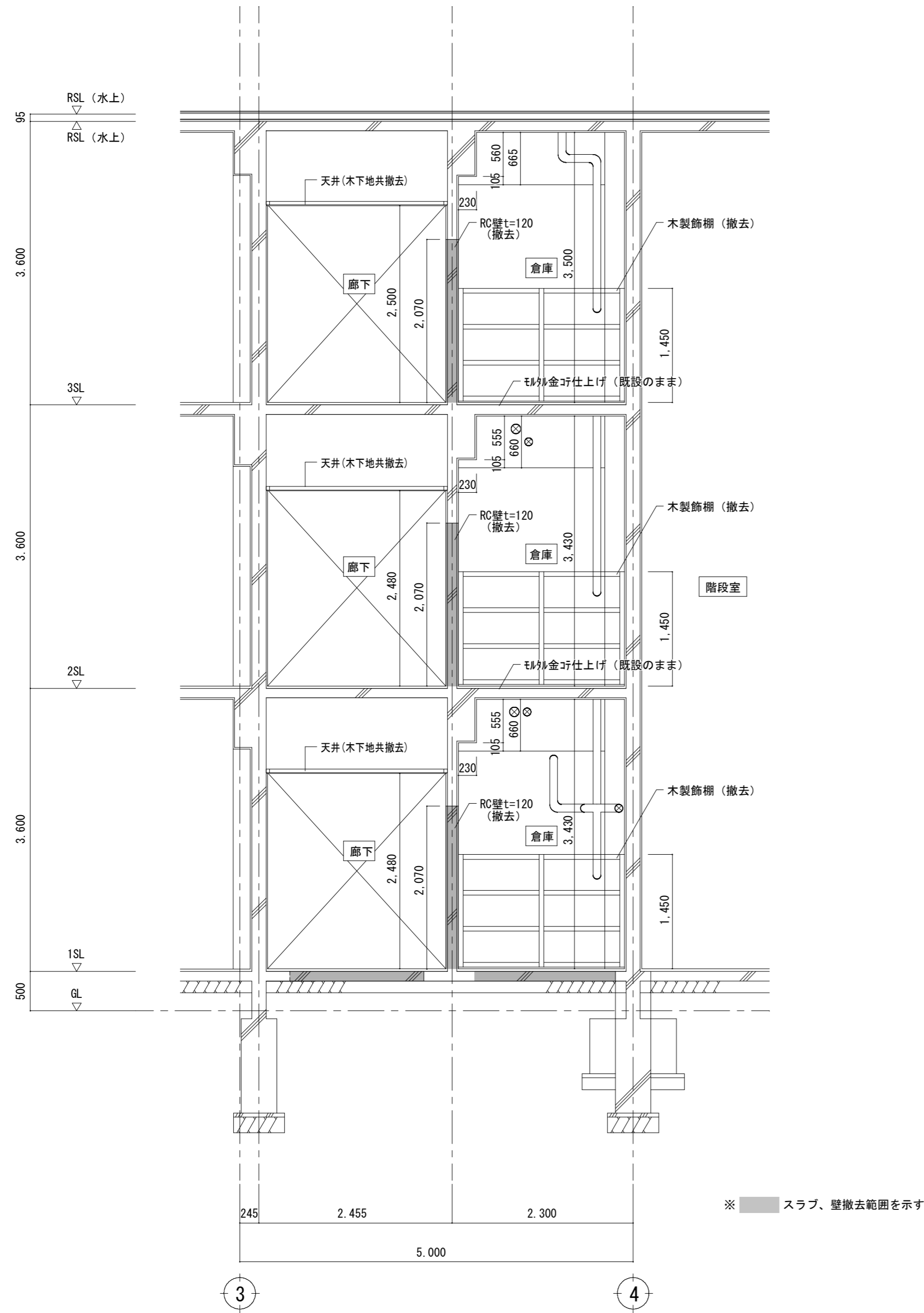
日付 / Date

Check

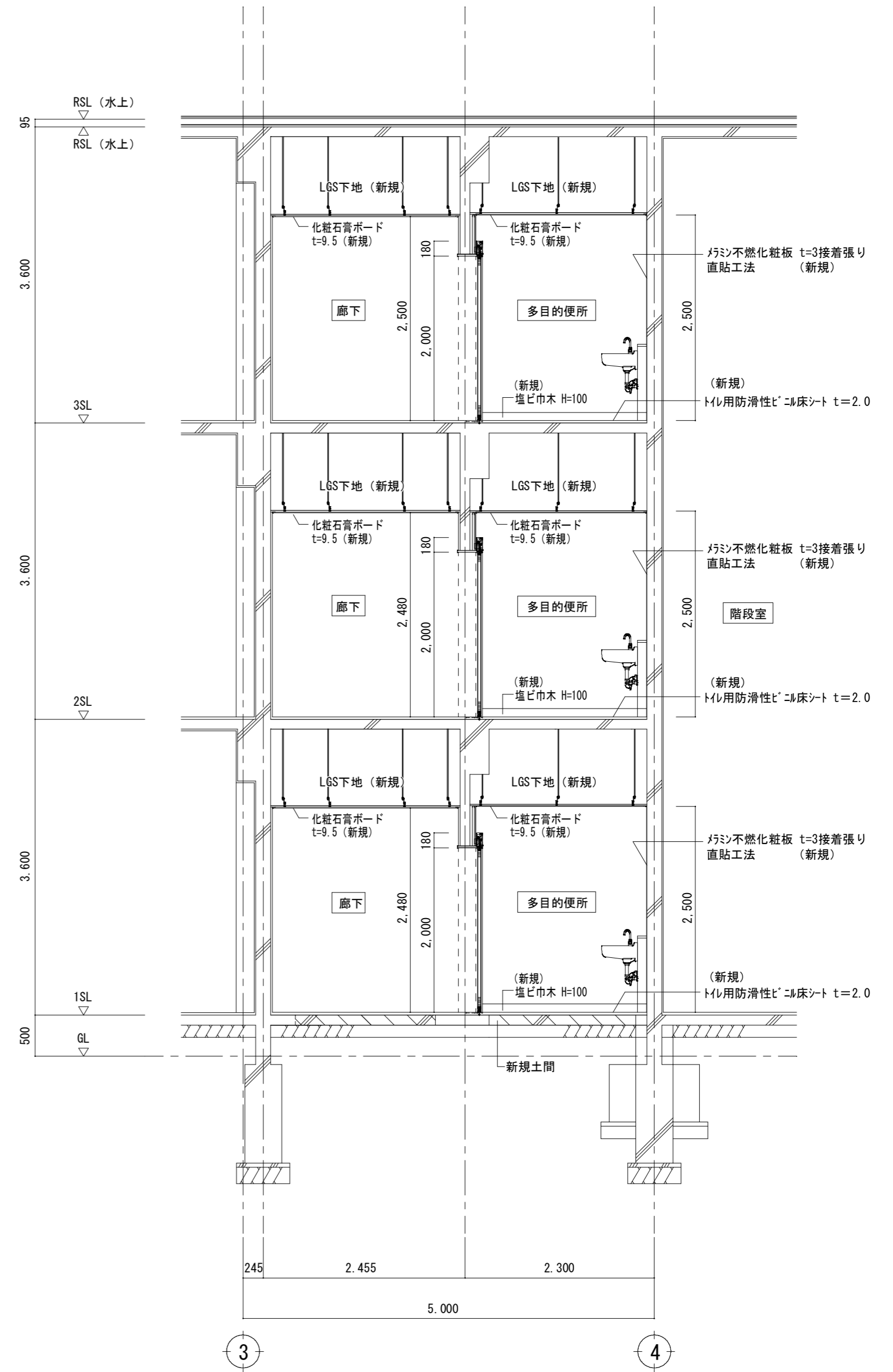
No.  
**A-40**


**重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

C-C' 断面詳細図 (改修前) S=1/50



C-C' 断面詳細図 (改修後) S=1/50

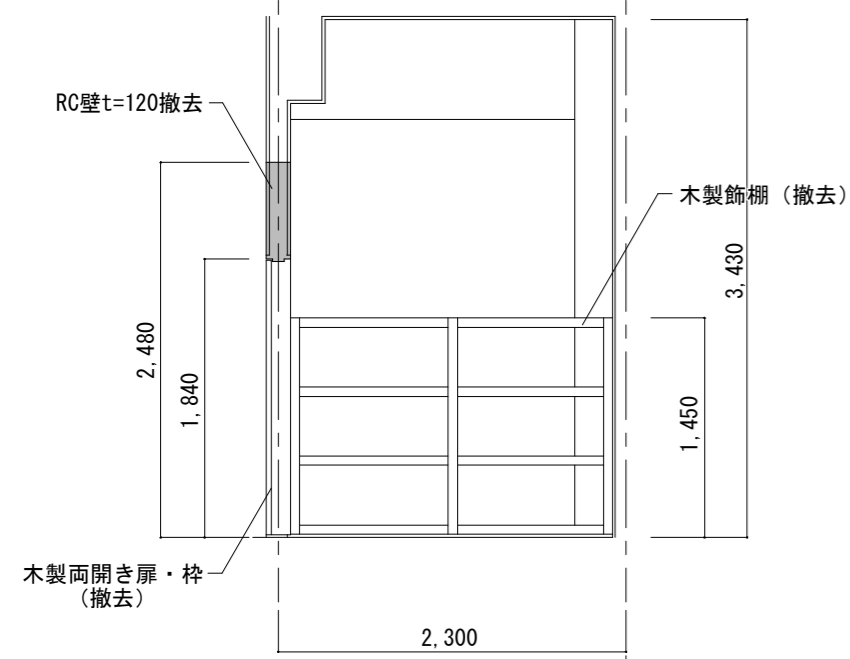


工事名 / Title  
津市立修成小学校長寿命化改修工事

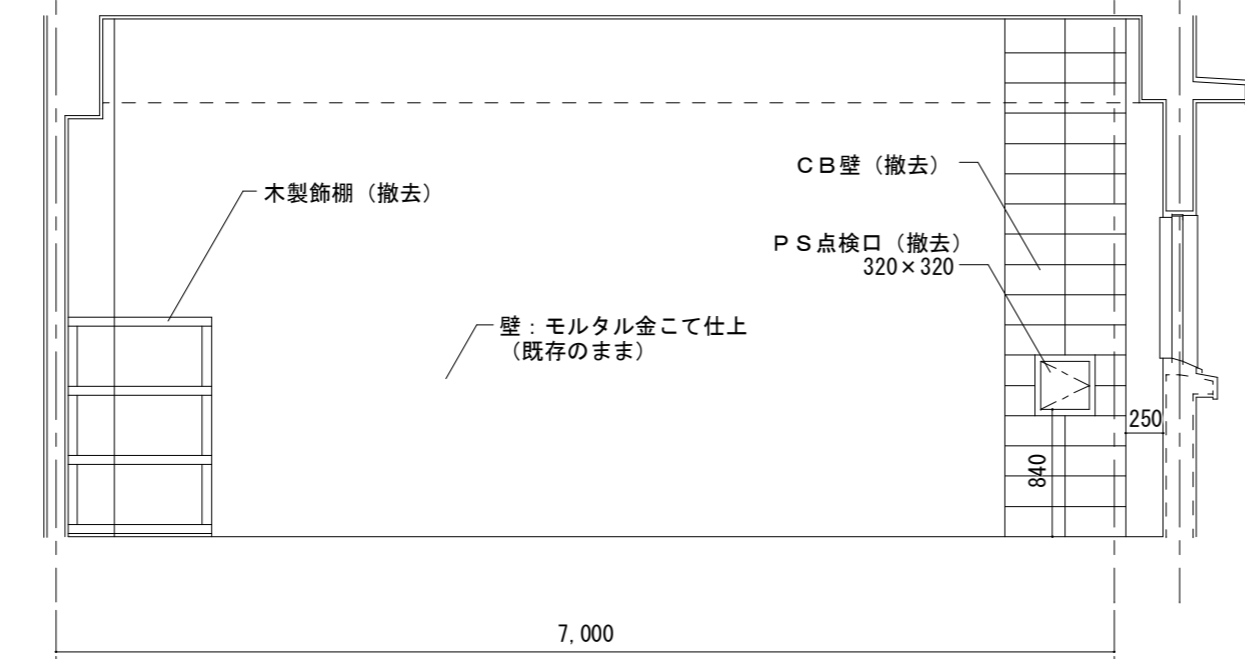
図面種別 / Drawing  
倉庫 C-C' 断面詳細図 (改修前・改修後)  
縮尺 / Scale 原図:A2 日付 / Date  
S=1/50

Check  
No.  
A-41

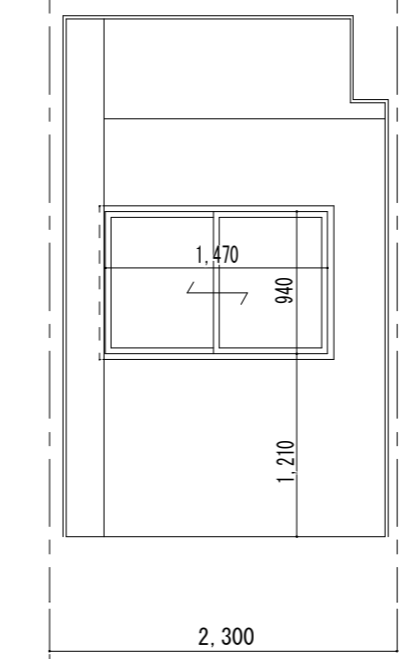
合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



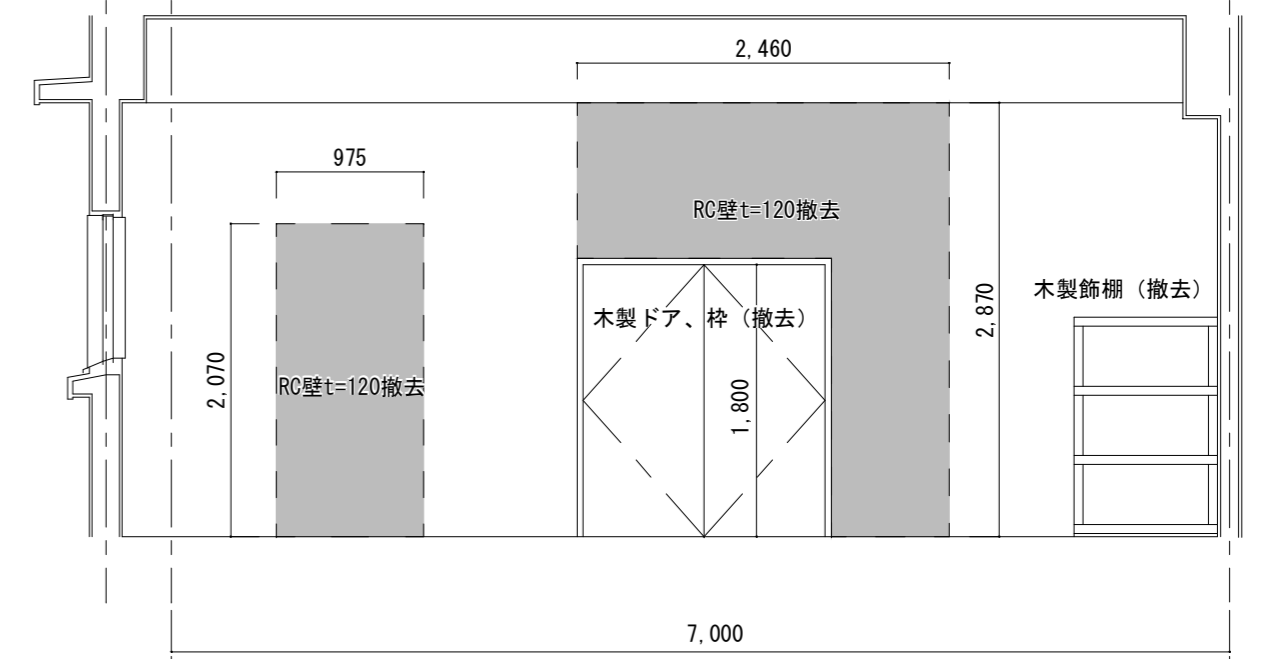
3階倉庫 <A面>



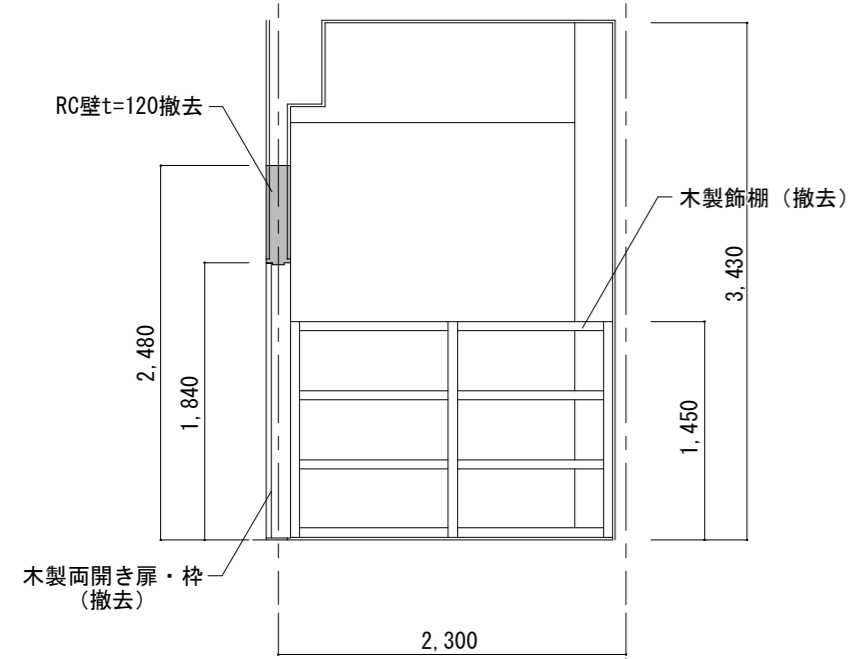
3階倉庫 <B面>



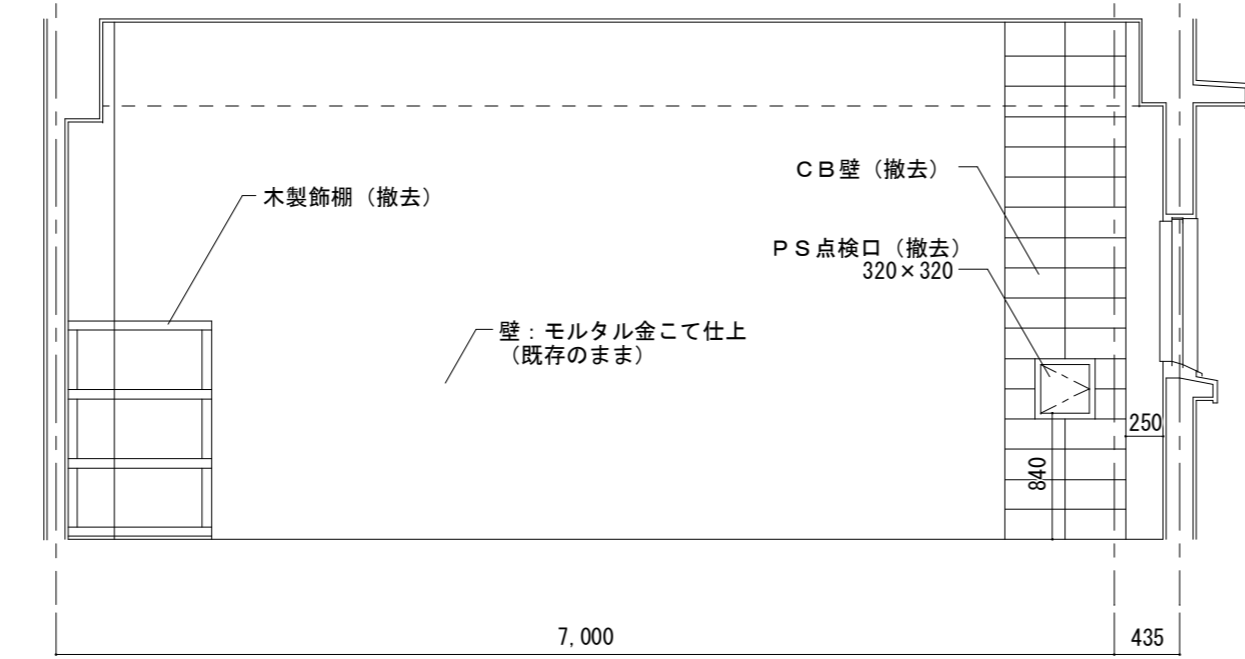
3階倉庫 <C面>



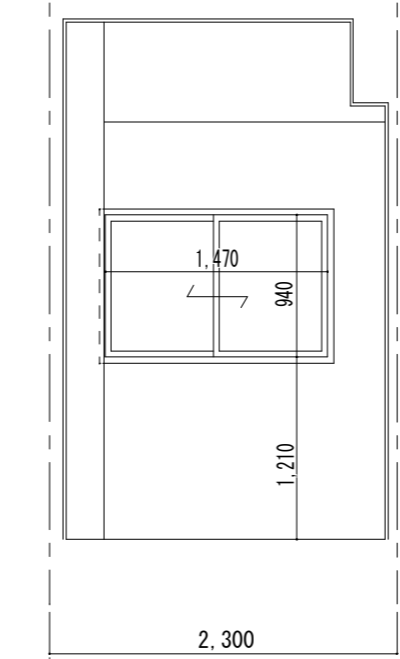
3階倉庫 <D面>



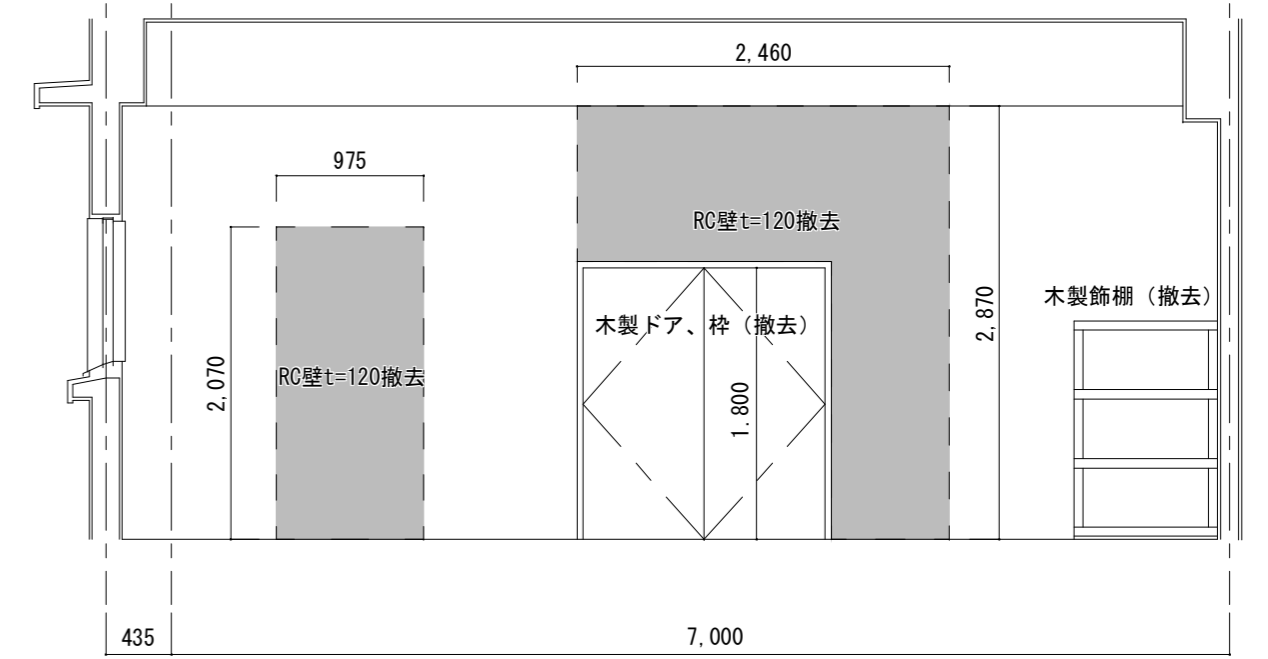
2階倉庫 <A面>



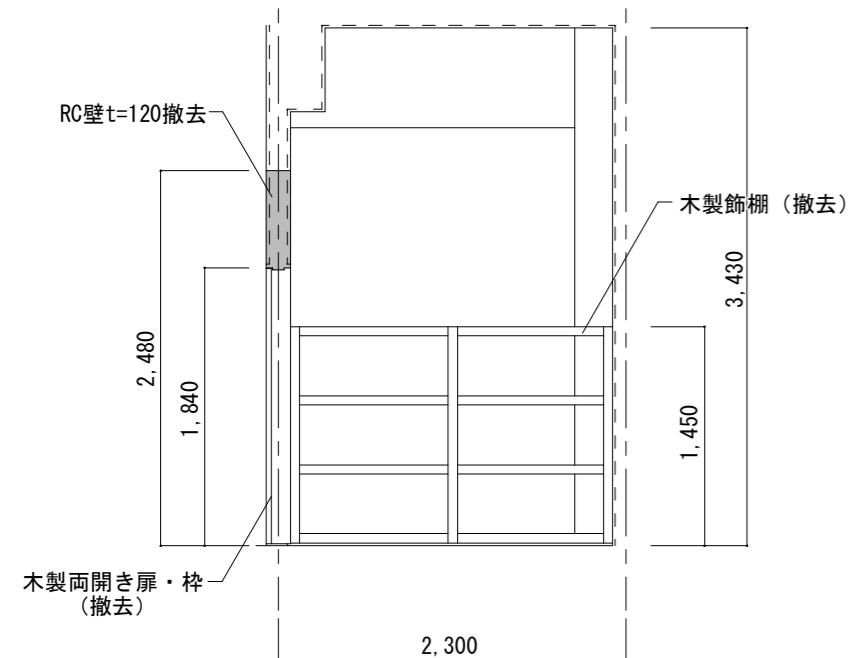
2階倉庫 <B面>



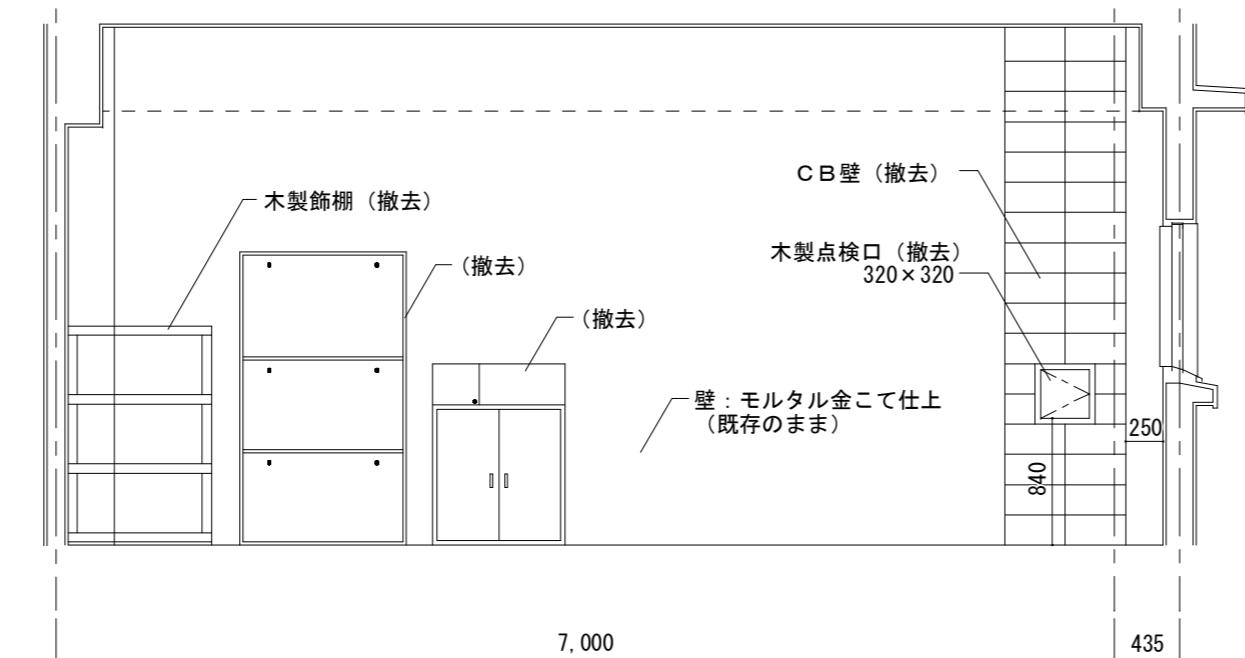
2階倉庫 <C面>



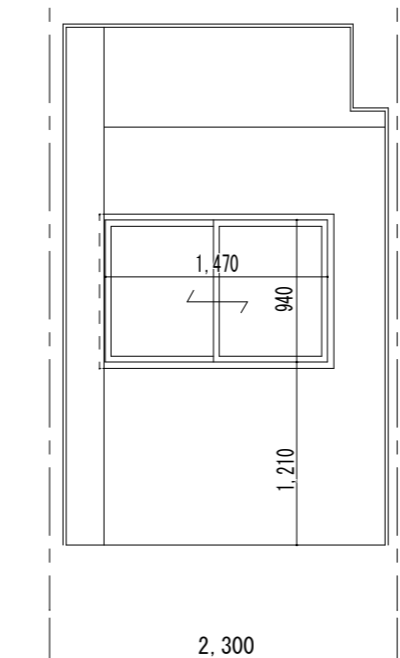
2階倉庫 <D面>



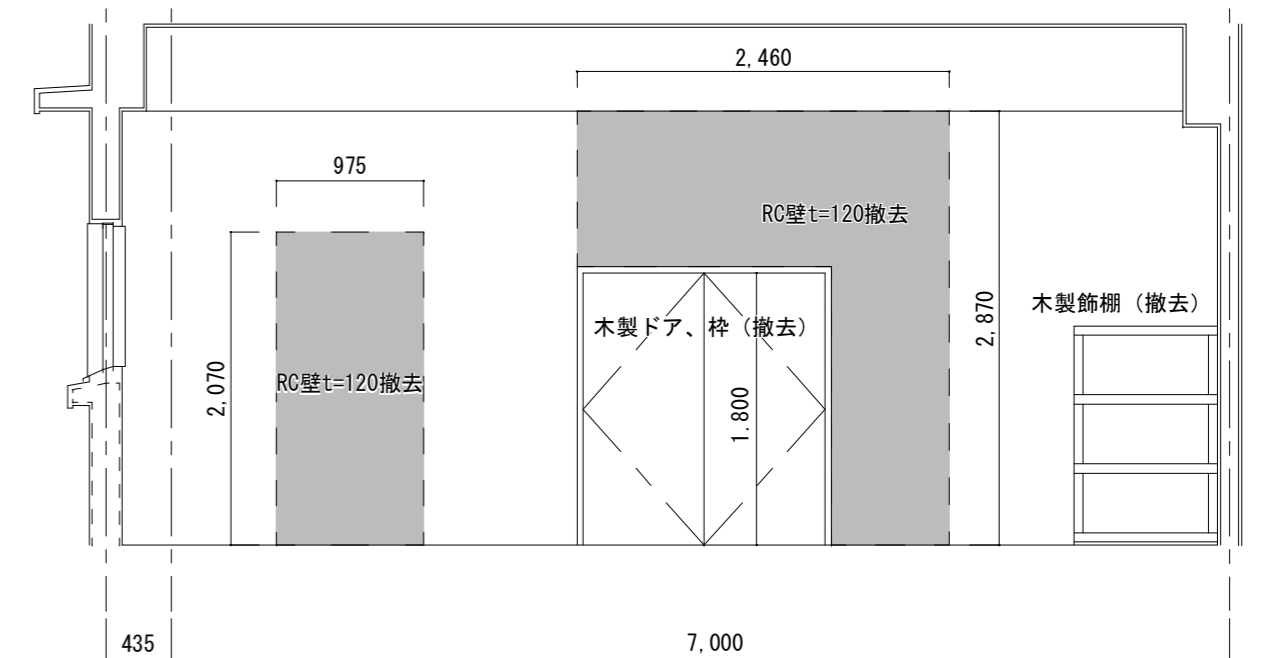
1階倉庫 <A面>




1階倉庫 <B面>

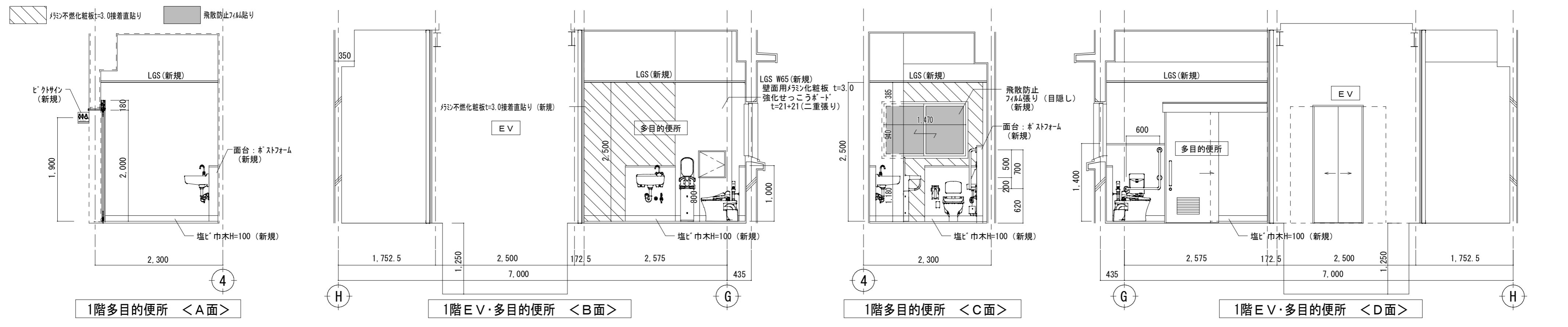
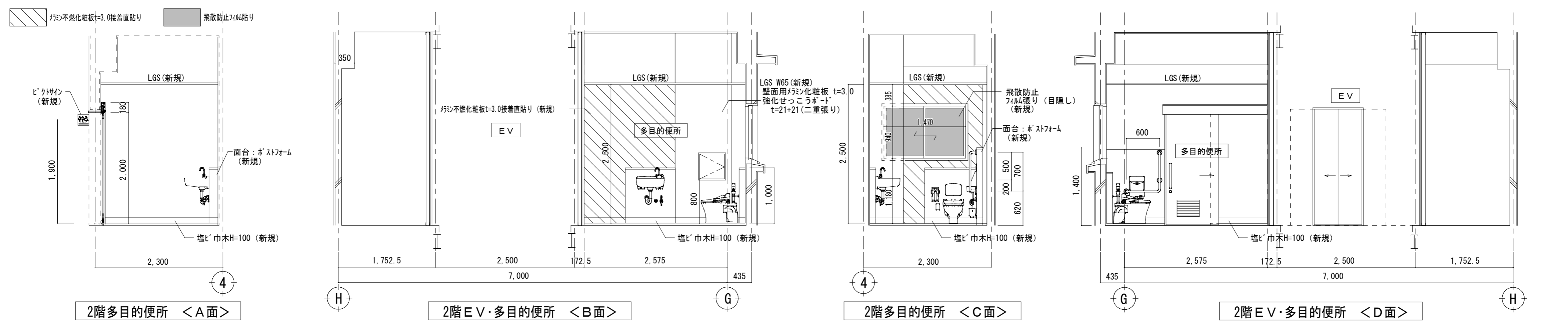
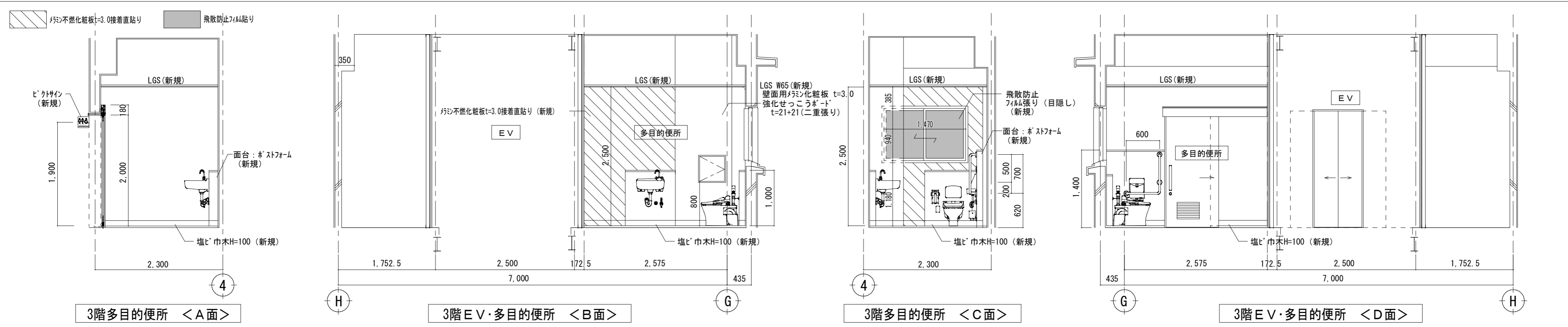


1階倉庫 <C面>

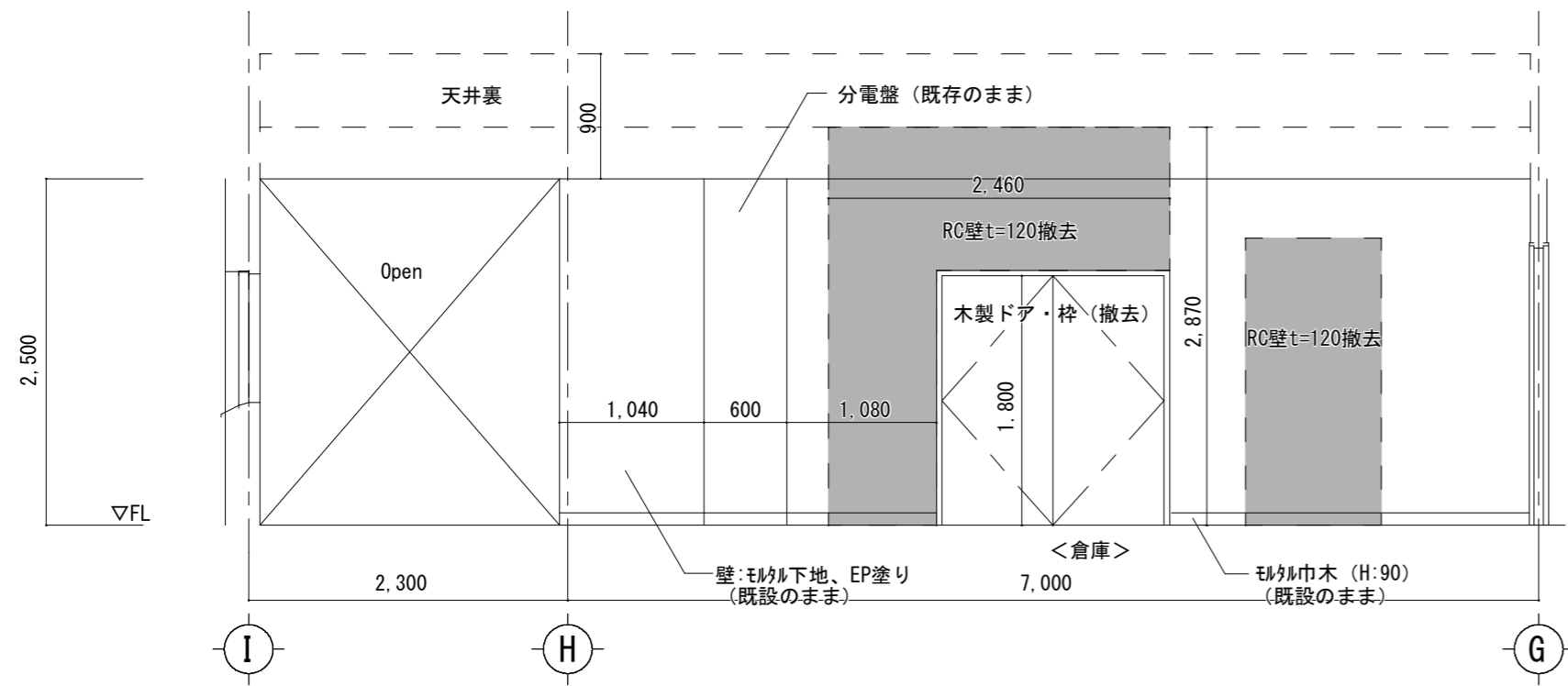


1階倉庫 <D面>

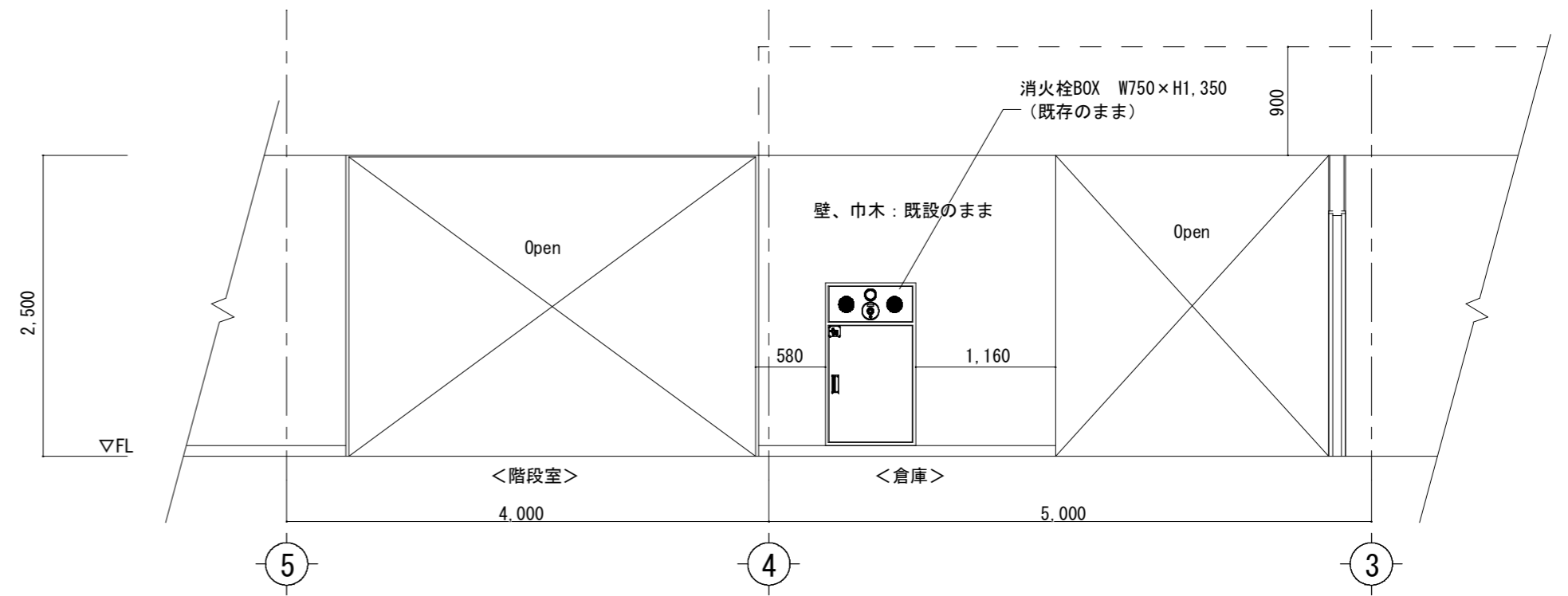
	工事名/Title	図面種別/Drawing	Check	No.	 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	倉庫 展開図 (改修前)		A-42	
	縮尺/Scale	原図:A2	日付/Date		
	S=1/50				



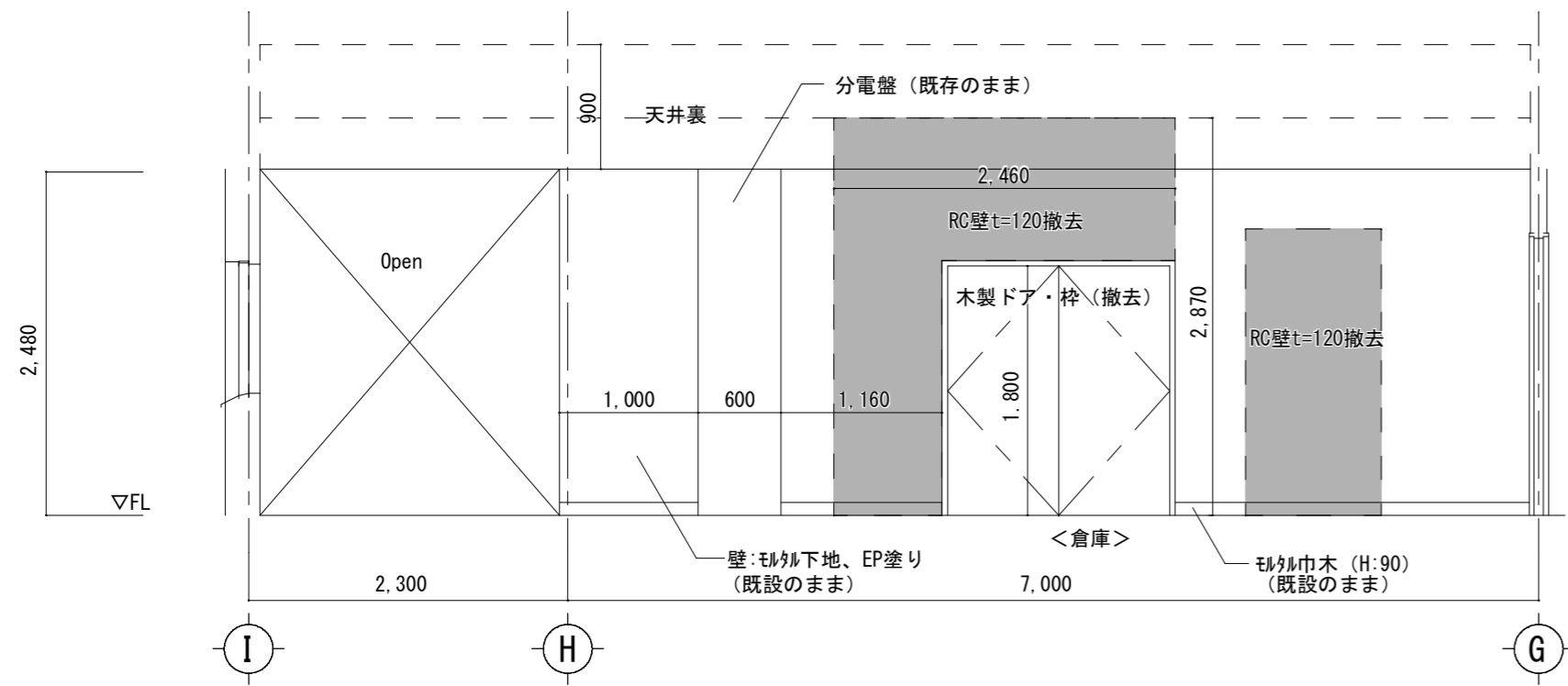
	工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>倉庫 展開図 (改修後)</b> 縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date S=1/50	Check	No. A-43	合資会社 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
--	--	---	-------	-------------	---



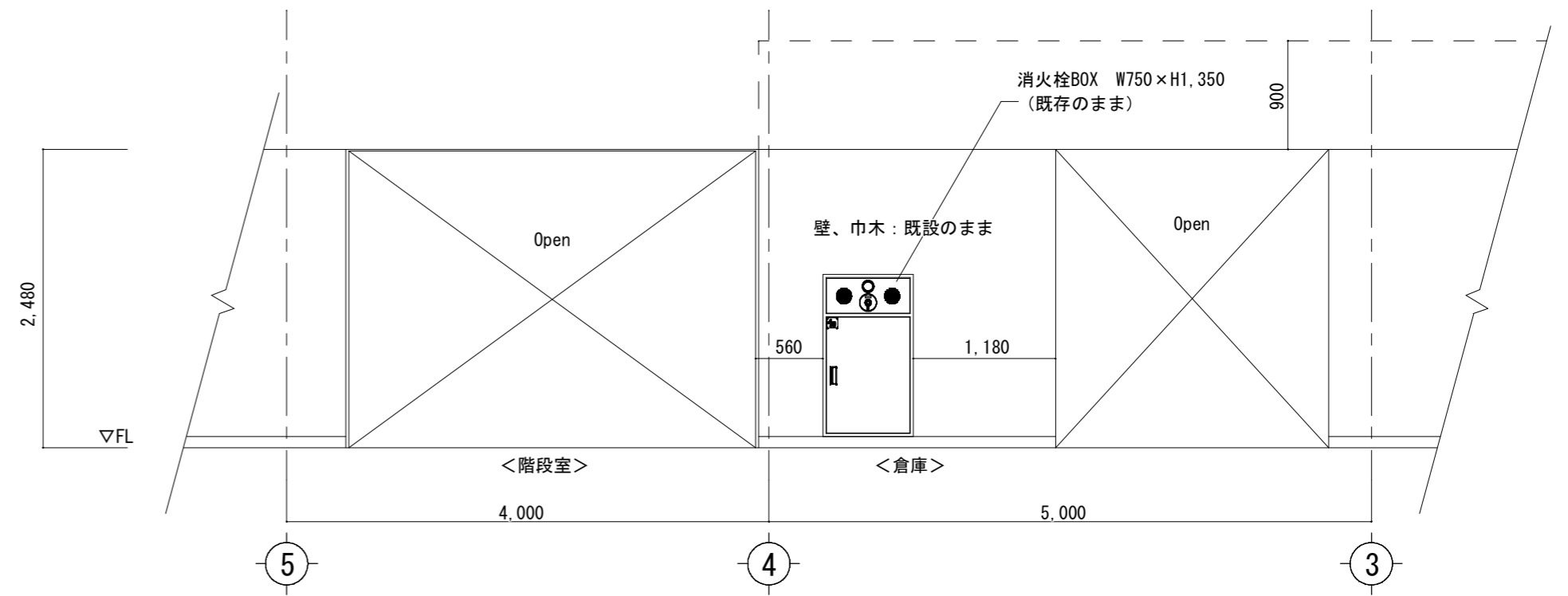
3階廊下 <B面>



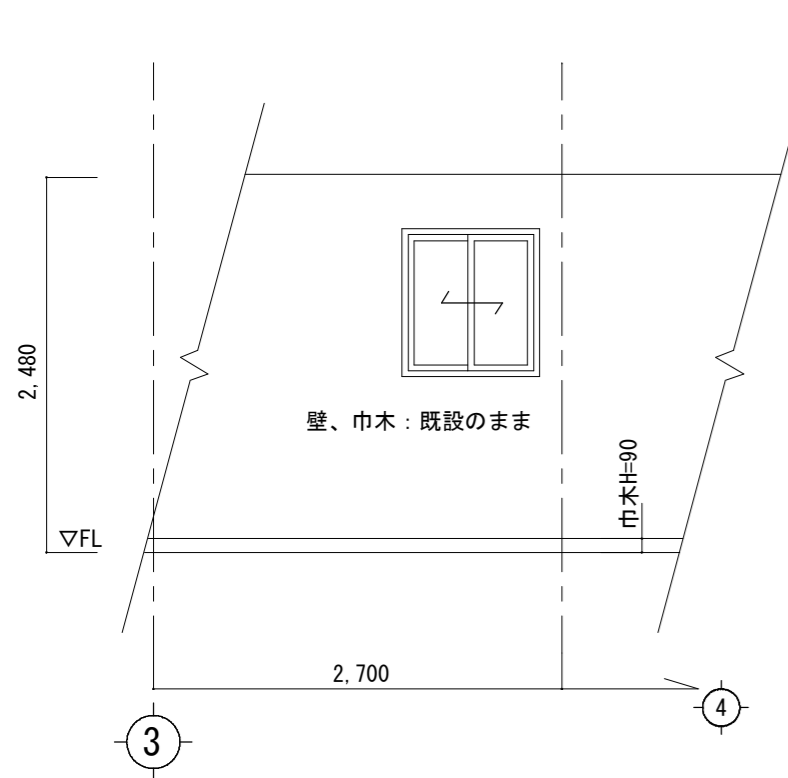
3階廊下 <C面>



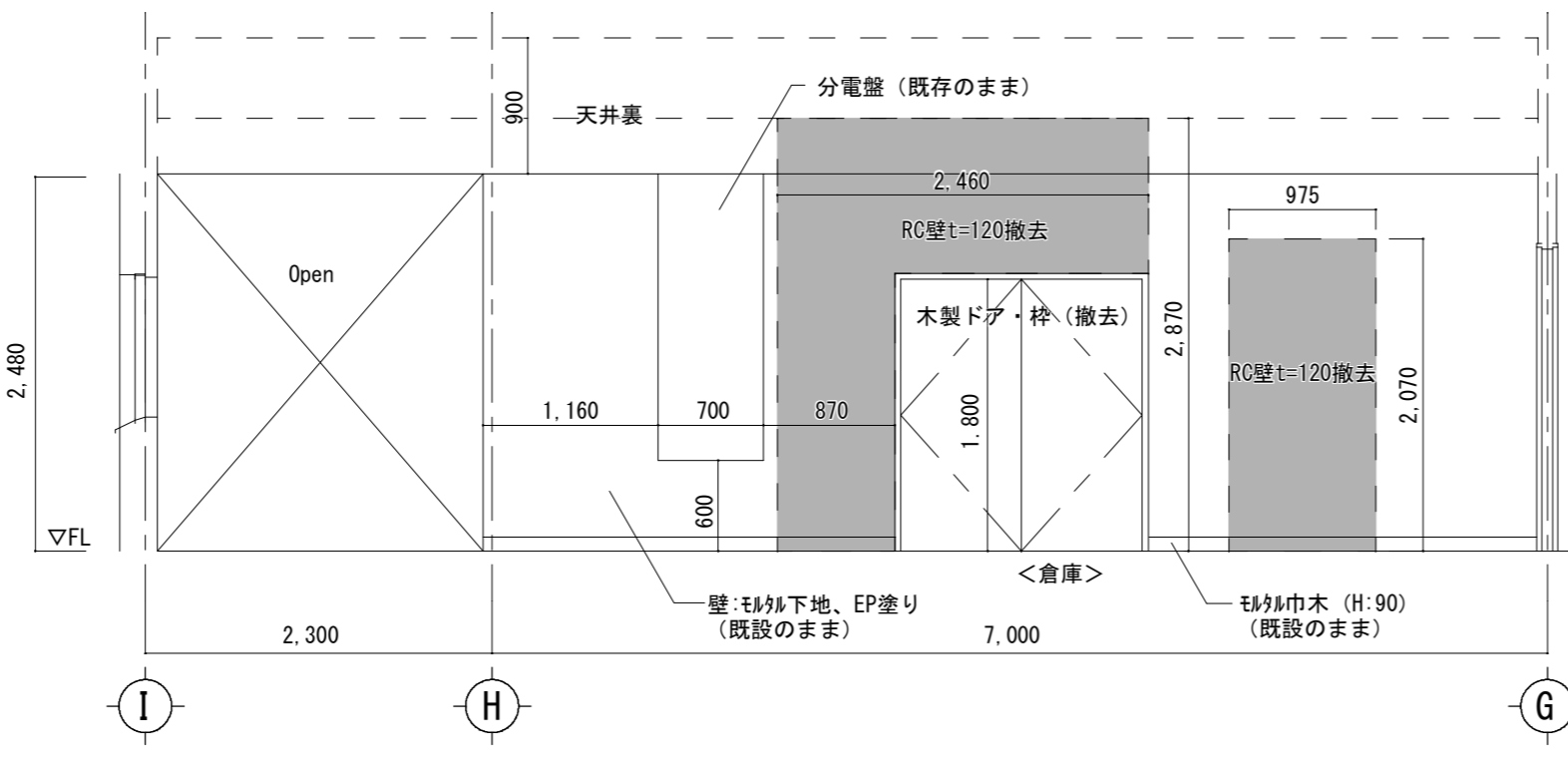
2階廊下 <B面>



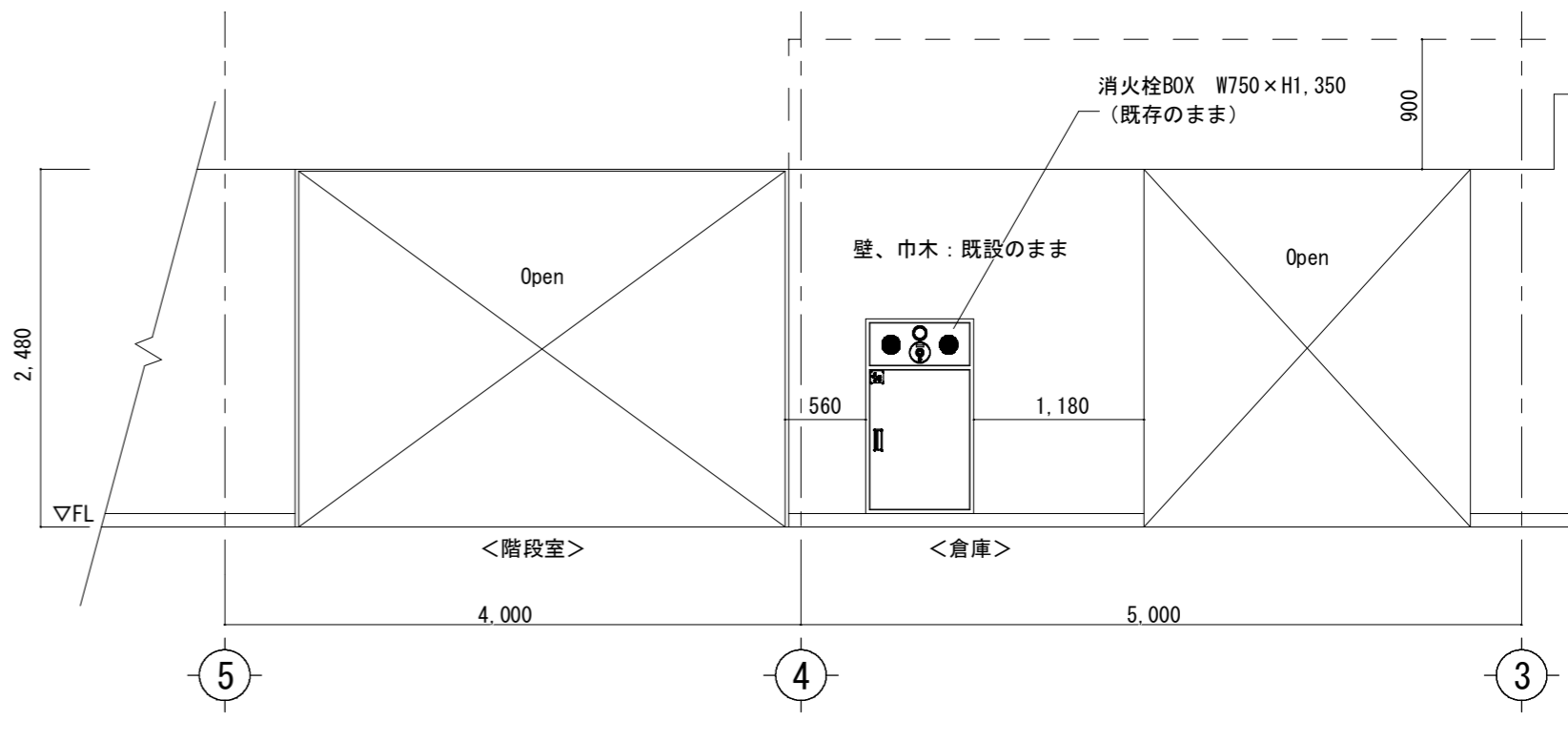
2階廊下 <C面>



1階廊下 <A面>



1階廊下 <B面>



1階廊下 <C面>

工事名/Title

津市立修成小学校長寿命化改修工事

図面種別/Drawing

廊下(倉庫廻り)展開図(改修前)

Check

No.

A-44

縮尺/Scale 原図:A2

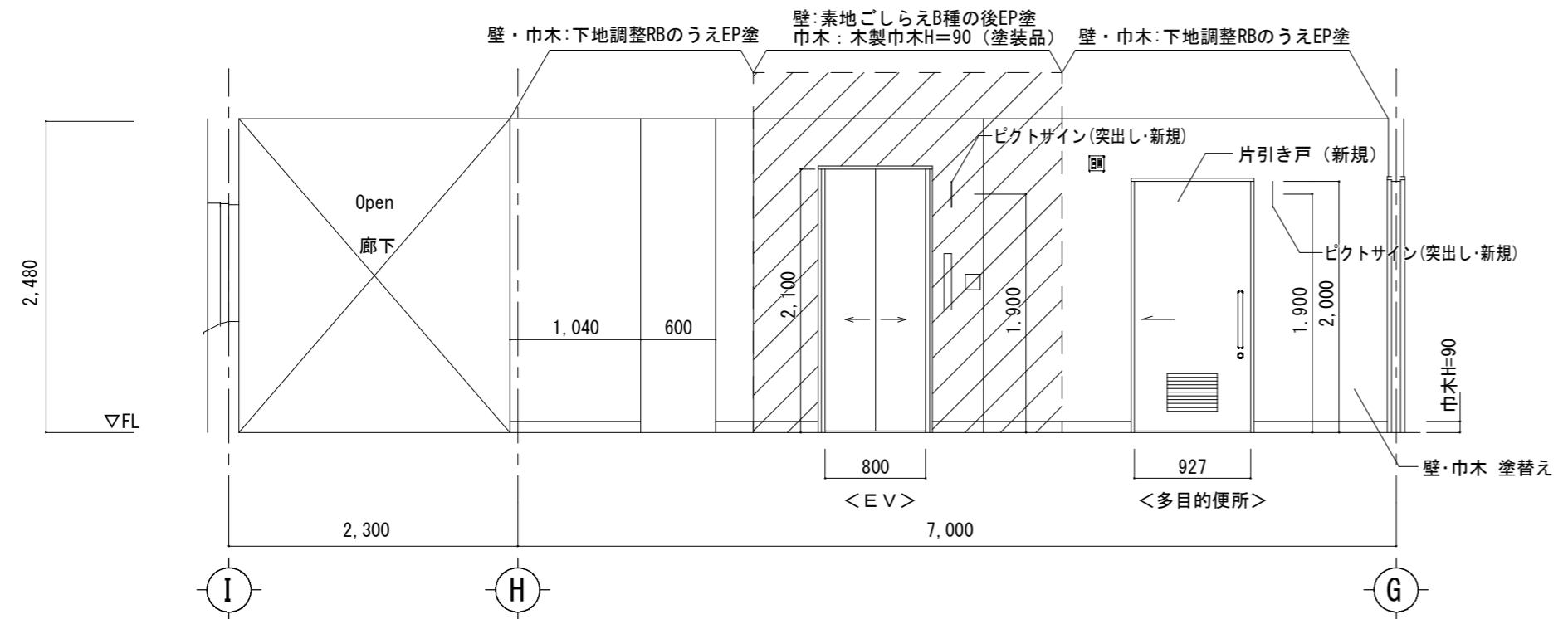
S=1/50

日付/Date

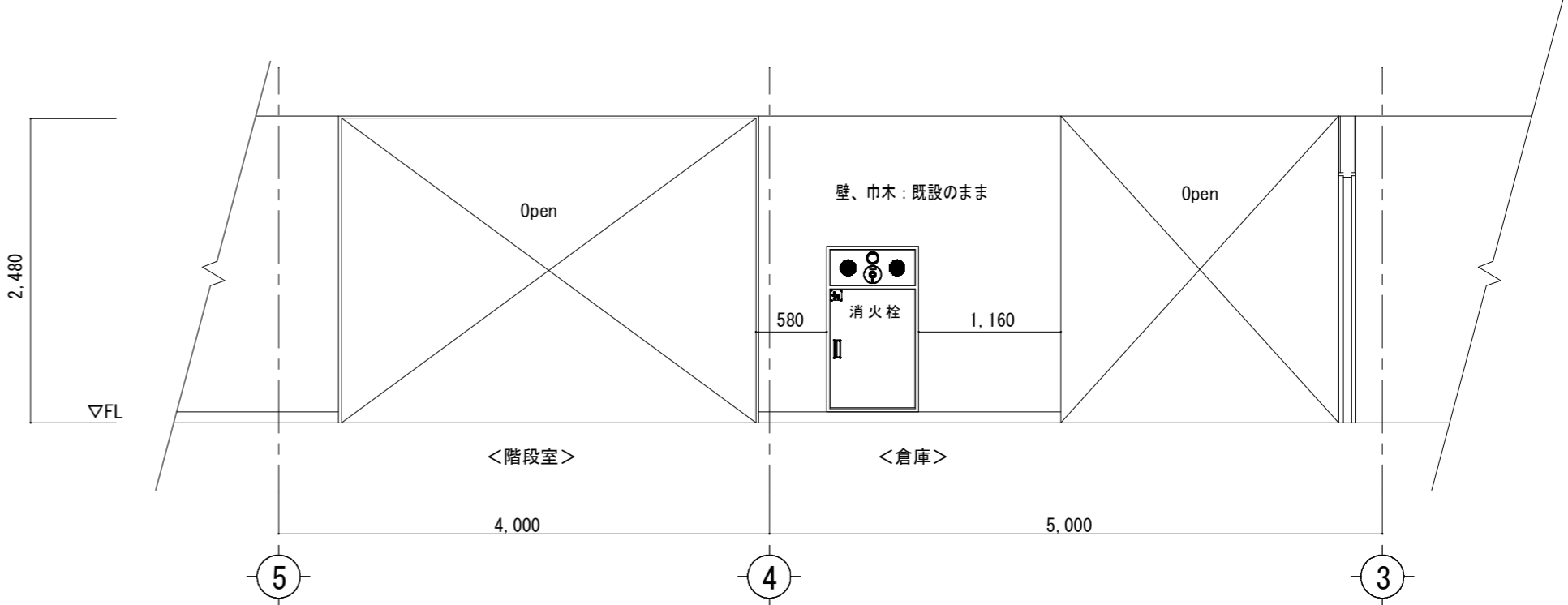
重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office

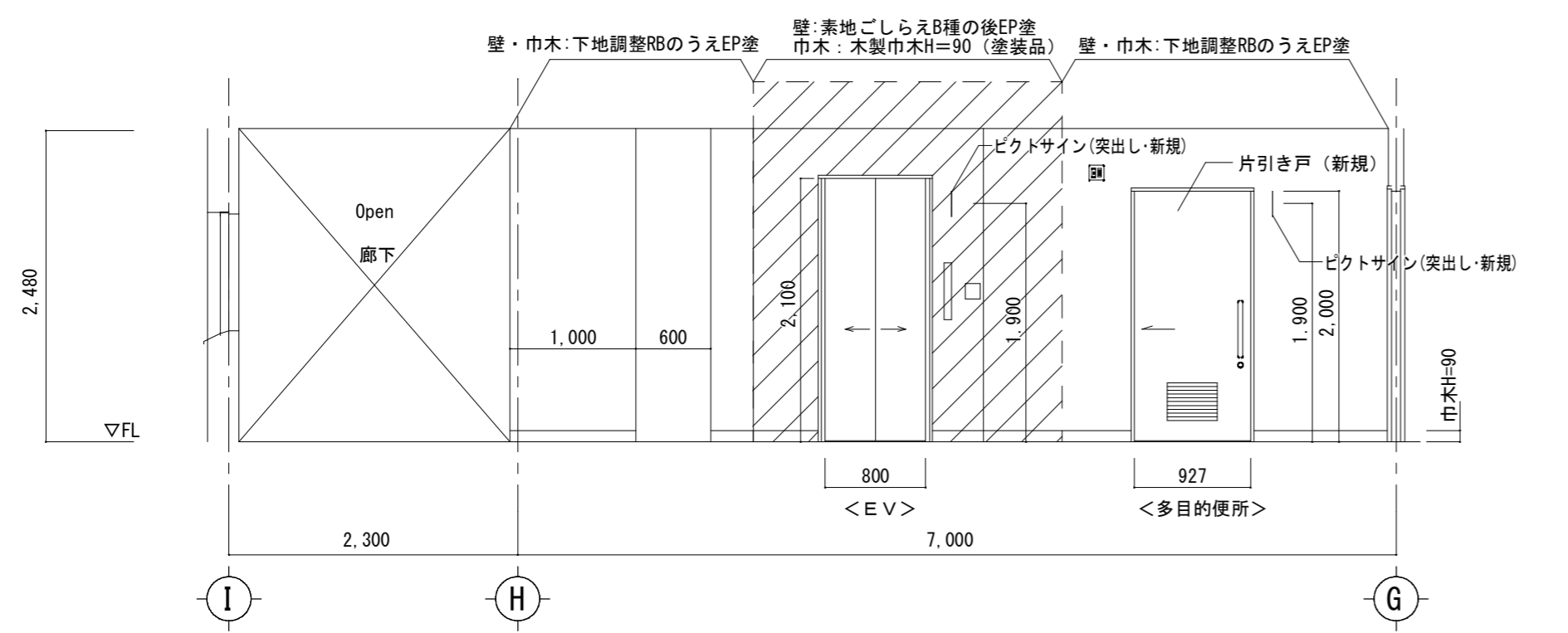
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



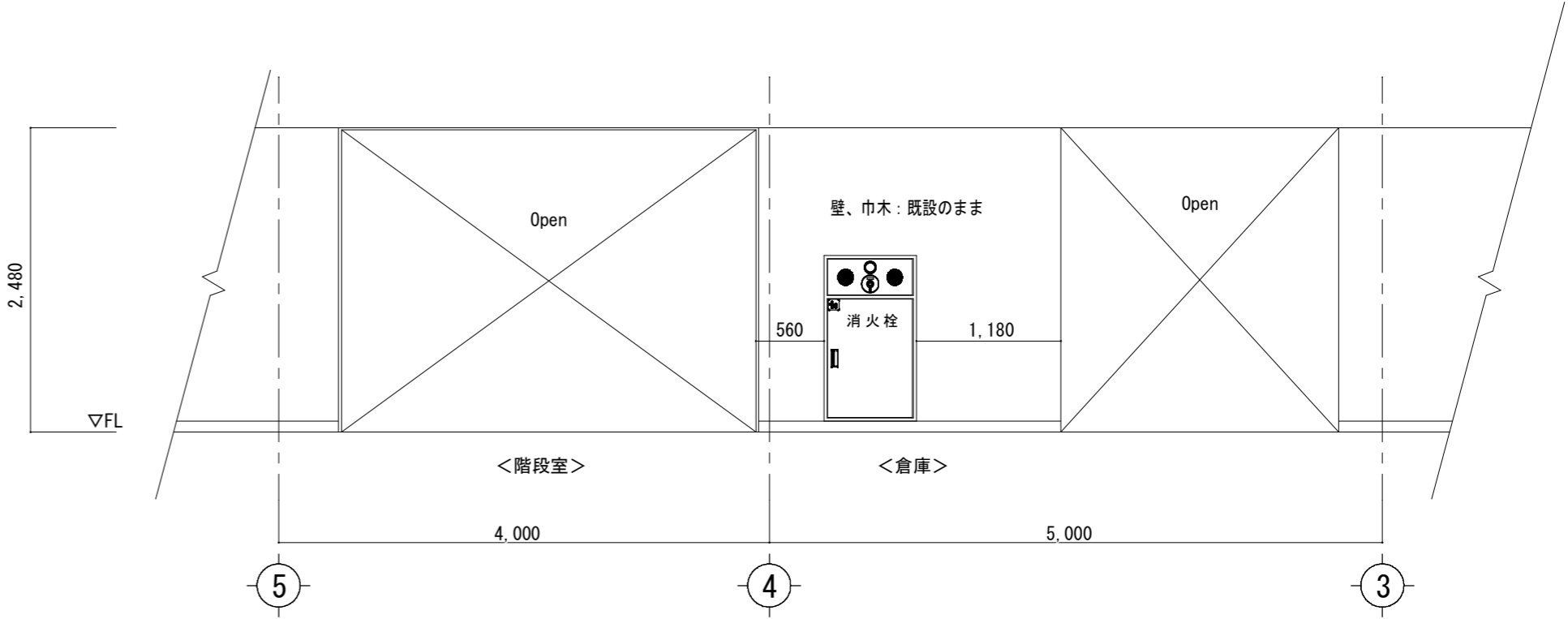
3階廊下 <B面>



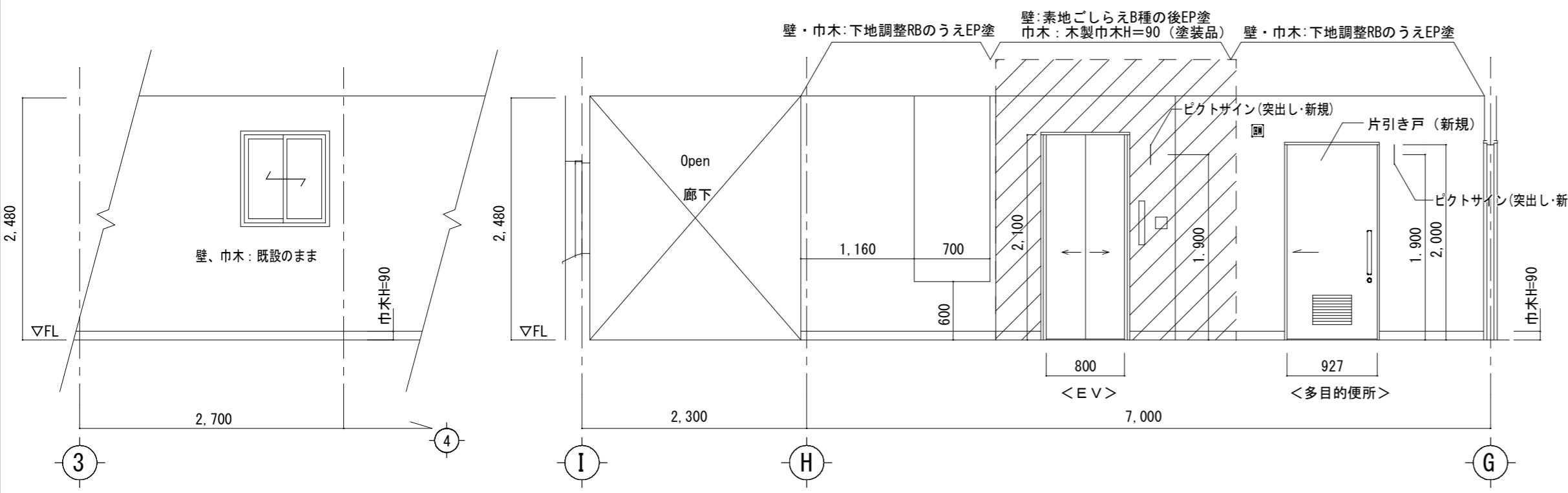
3階廊下 <C面> ※D面は既設のまま



2階廊下 <B面>

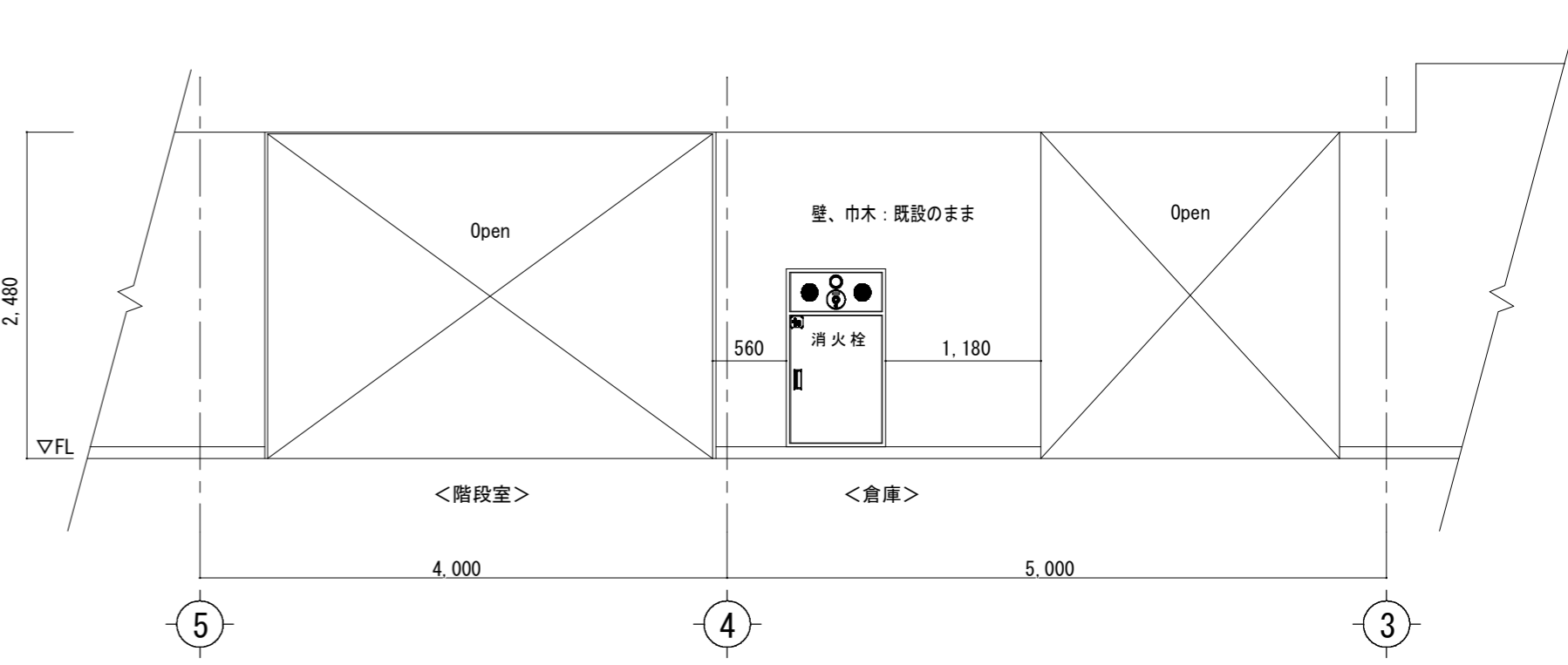


2階廊下 <C面> ※D面は既設のまま



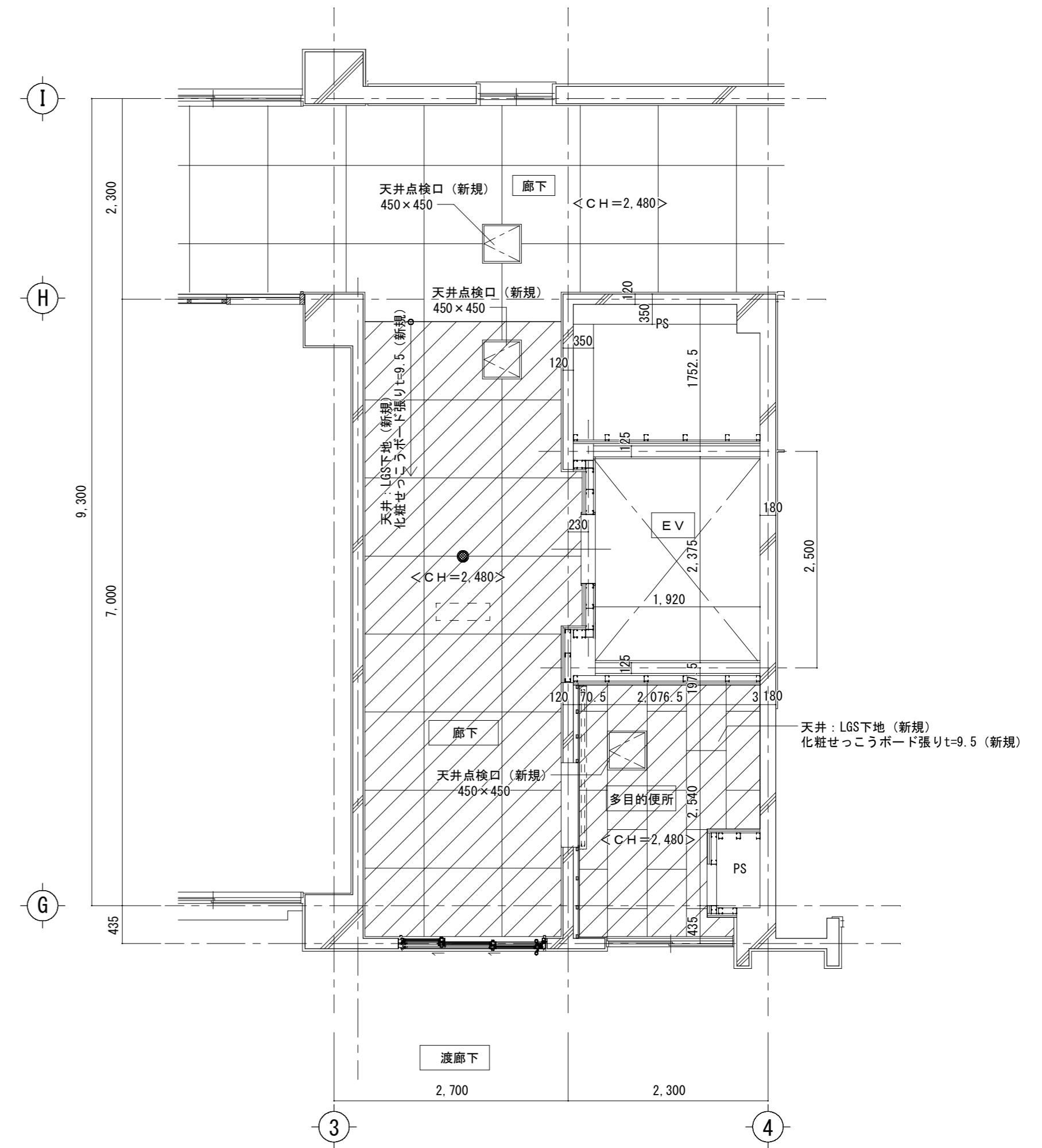
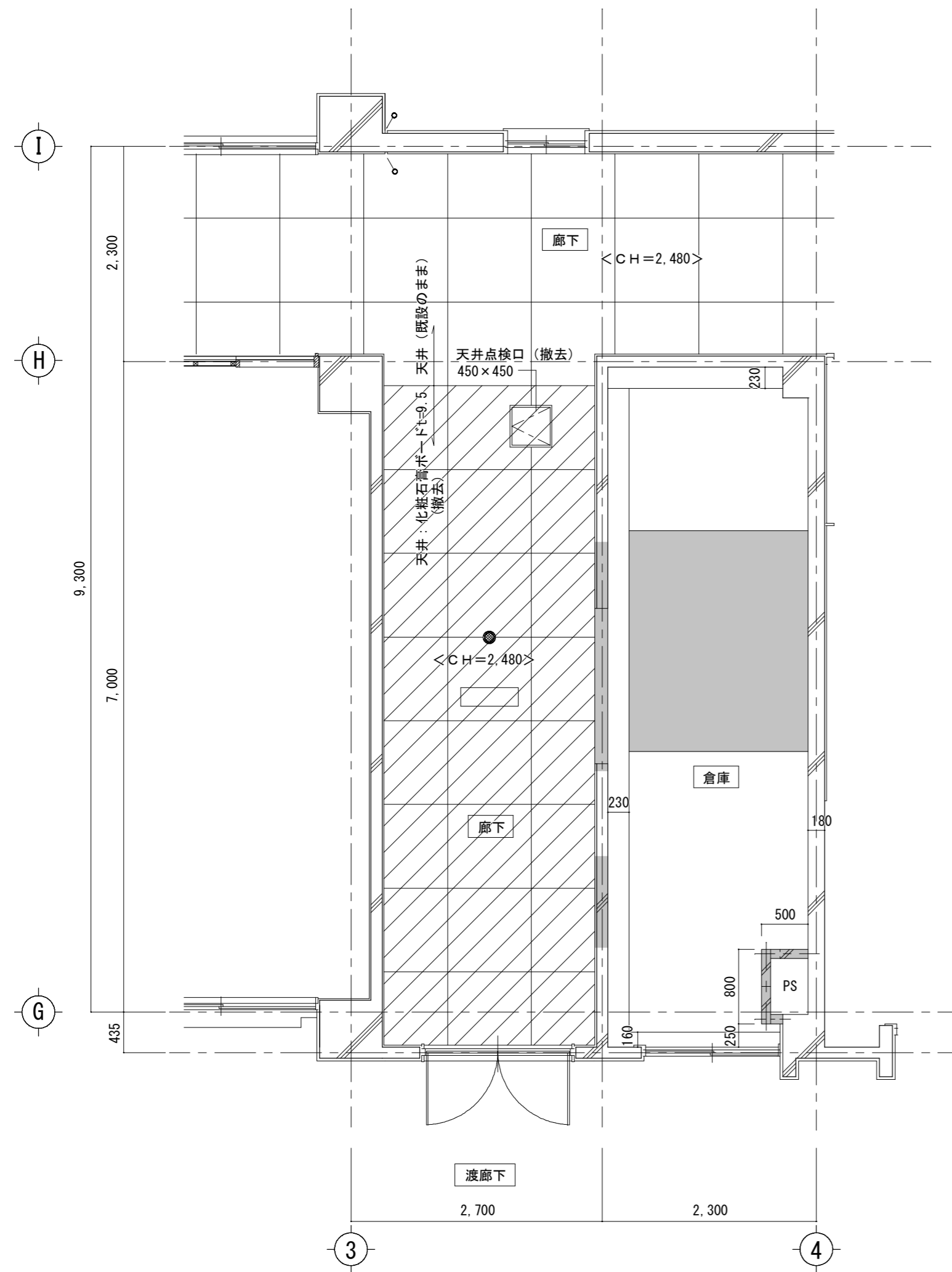
1階廊下 <A面>

1階廊下 <B面>



1階廊下 <C面> ※D面は既設のまま

工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>		図面種別 / Drawing <b>廊下(倉庫廻り) 展開図 (改修後)</b>		Check	No.	<b>資資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
縮尺 / Scale 原図: A2 S=1/50		日付 / Date			A-45	



※ スラブ、壁撤去範囲を示す  
 天井撤去 (下地共) 範囲を示す

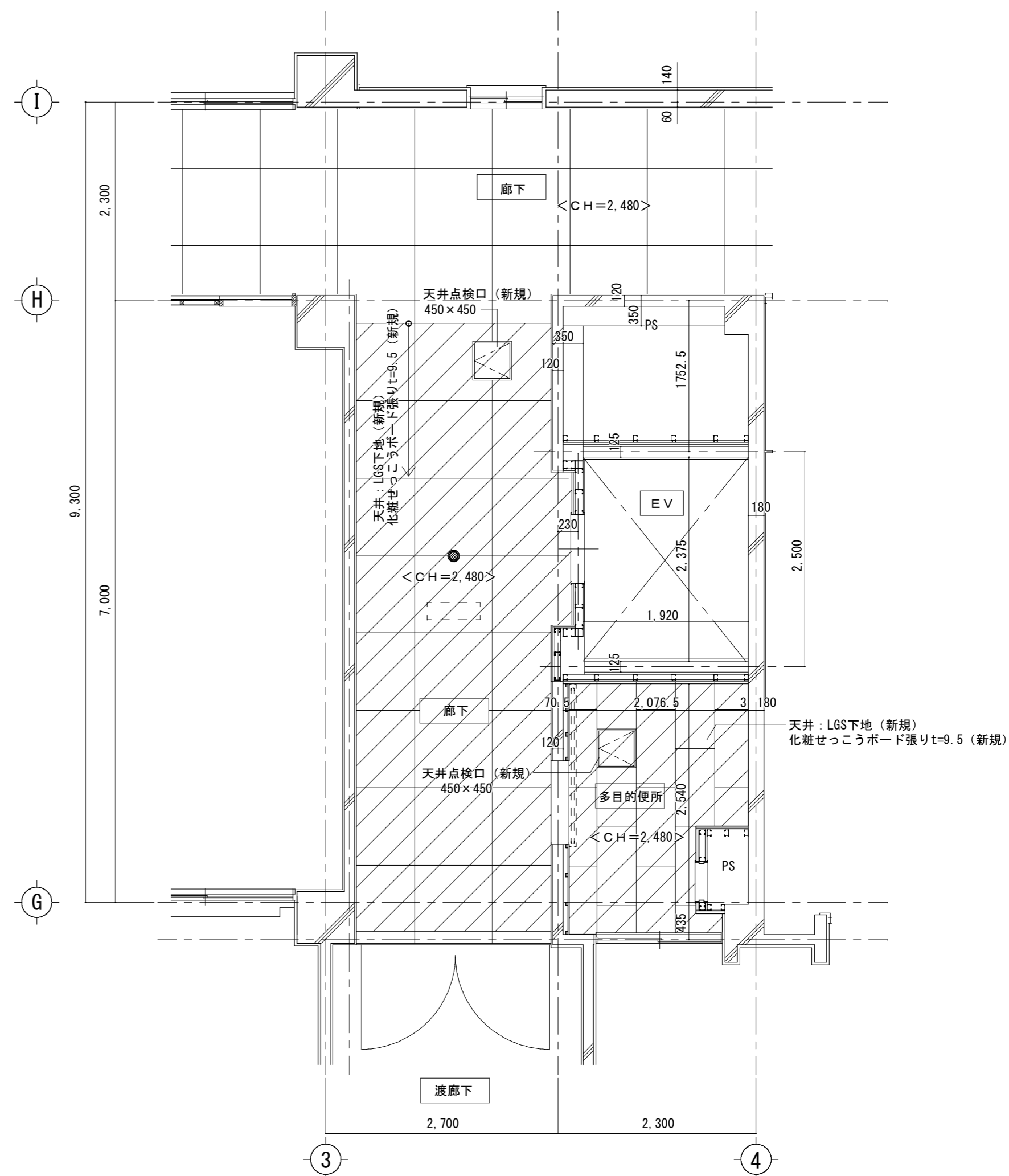
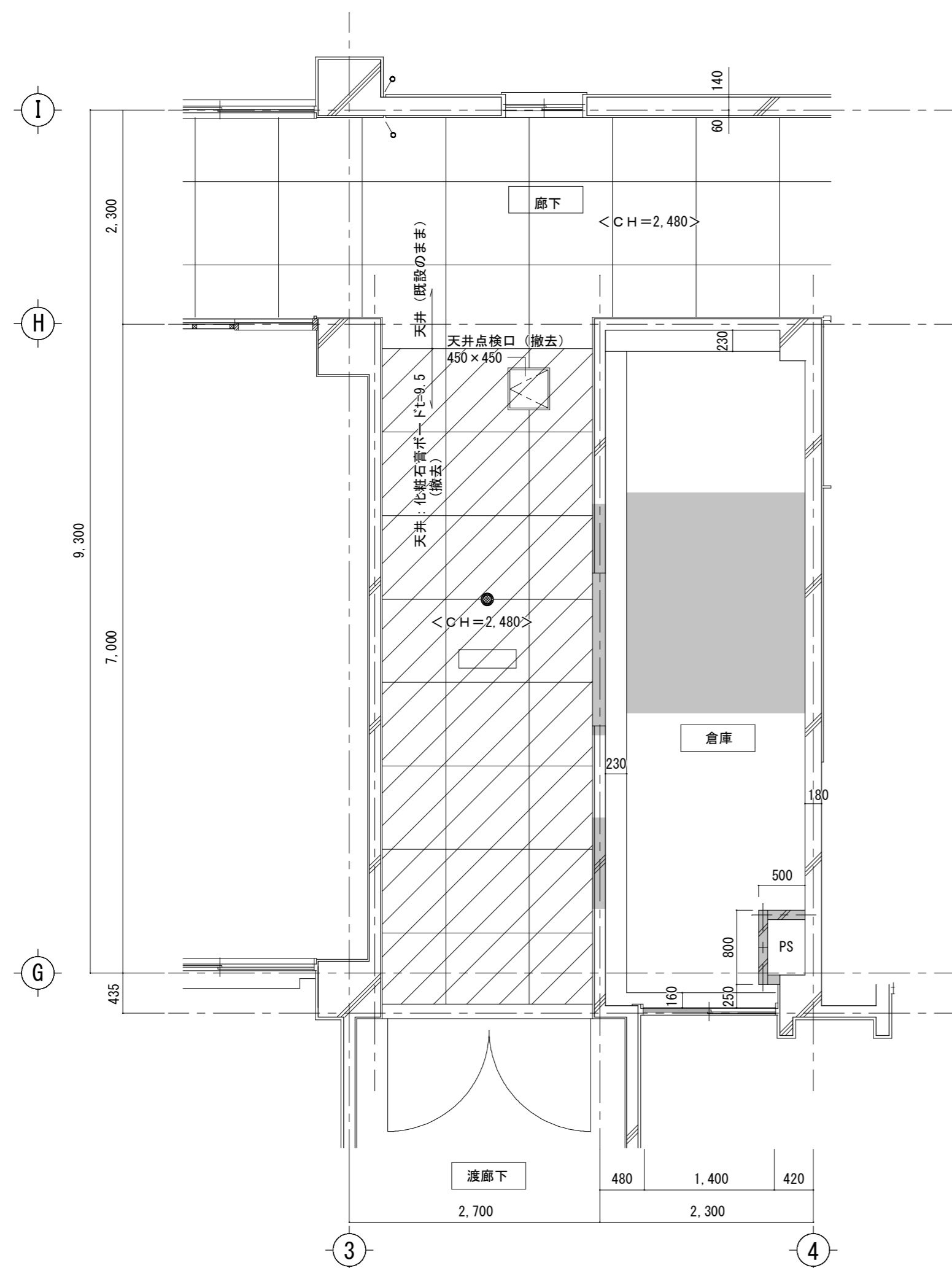
天井新設 (下地共) 範囲を示す

工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
 廊下・倉庫 1階 天井伏図 (改修前・改修後)  
 縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date  
 S=1/50

Check  
 No.  
 A-46

合資会社 **重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

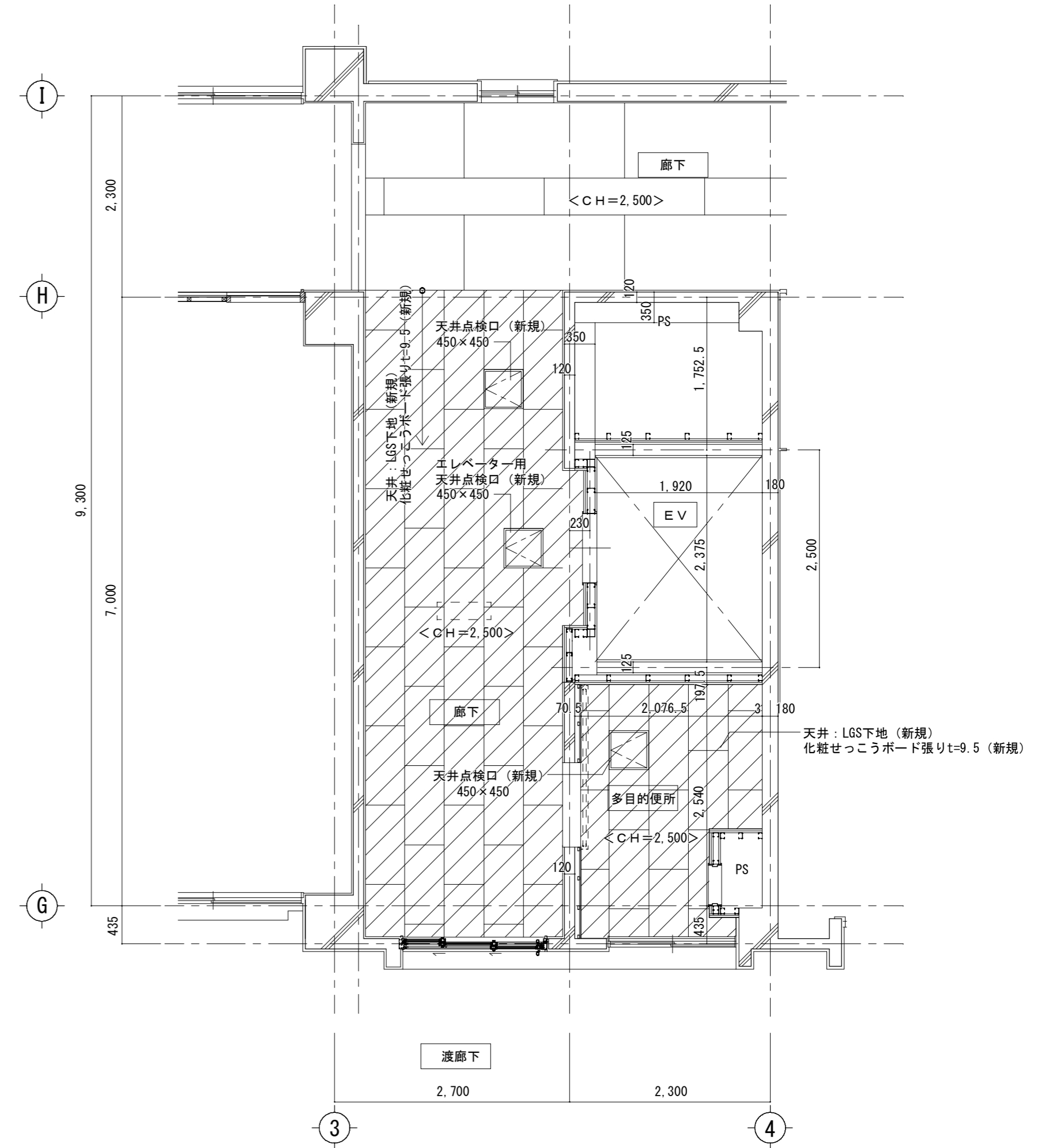
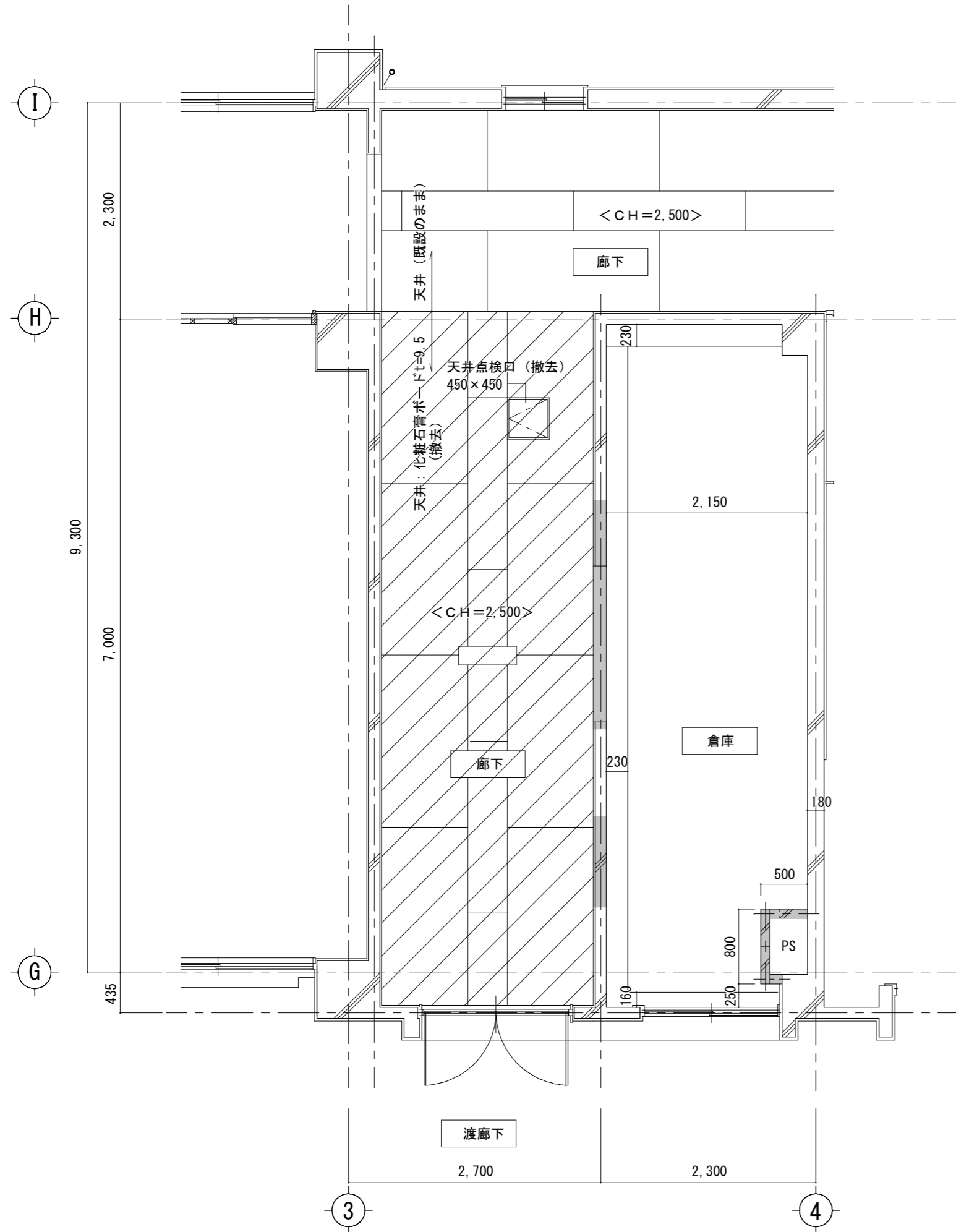


※ スラブ、壁撤去範囲を示す  
 天井撤去（下地共）範囲を示す

天井撤去（下地共）範囲を示す

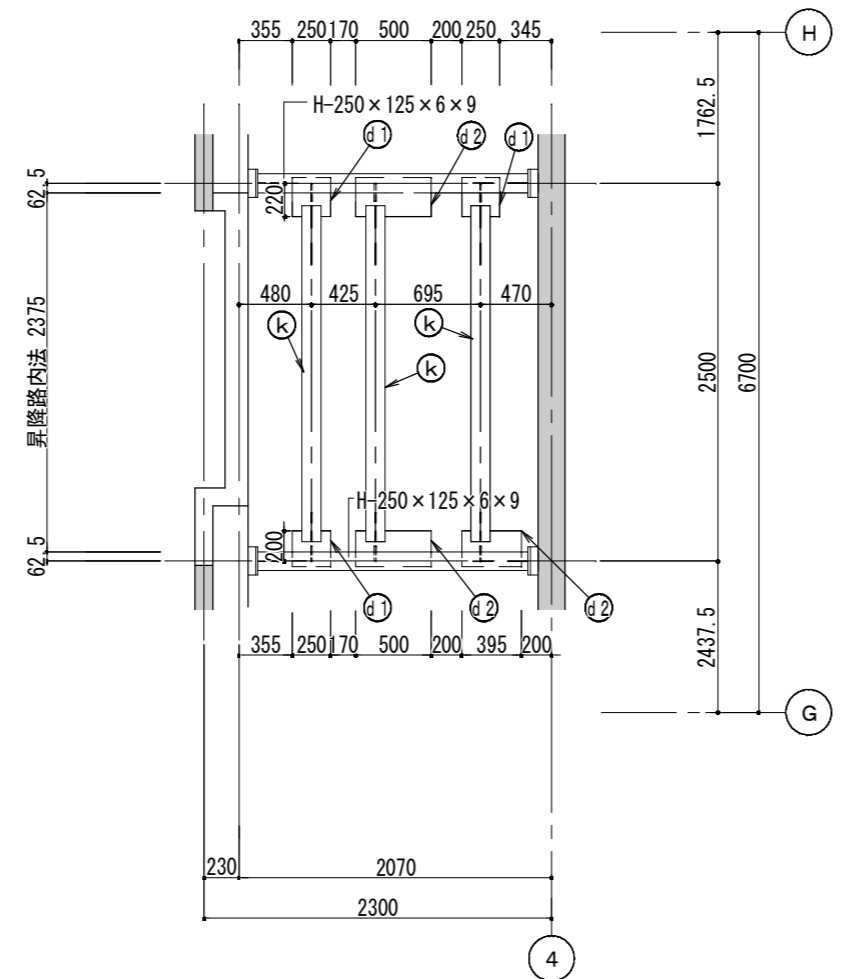
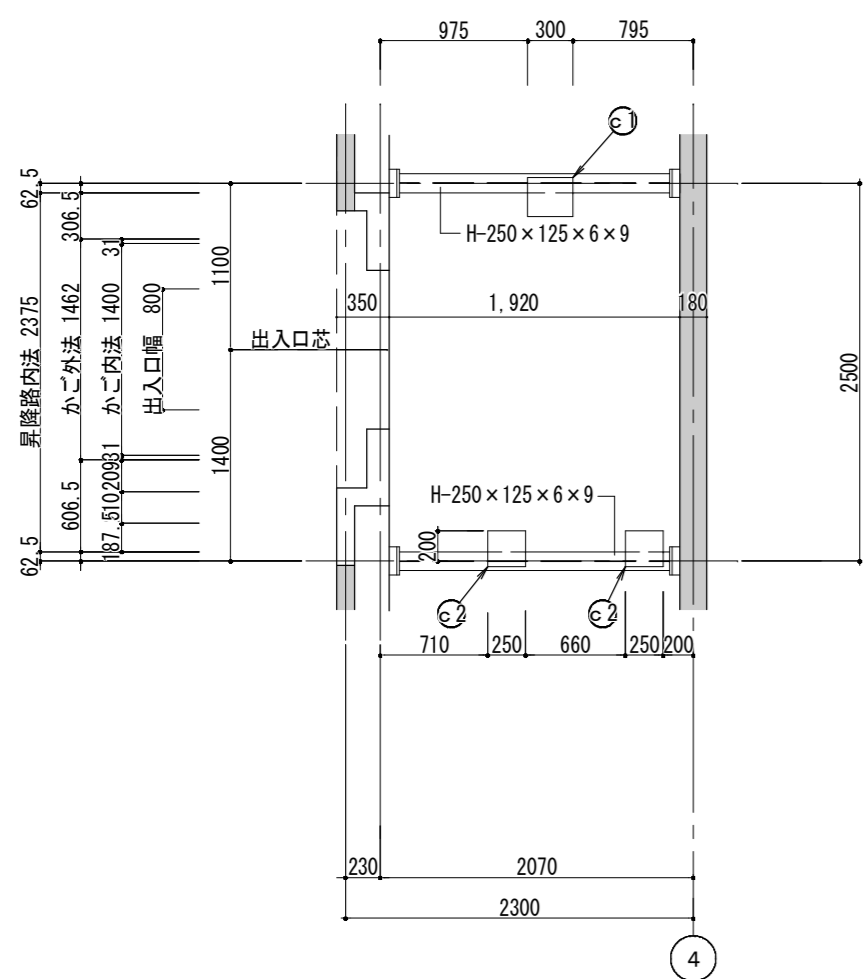
	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	資 会 社 重 企 建 築 事 務 所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	廊下・倉庫 2階 天井伏図 (改修前・改修後)		A-47	
		縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date			
		S=1/50			





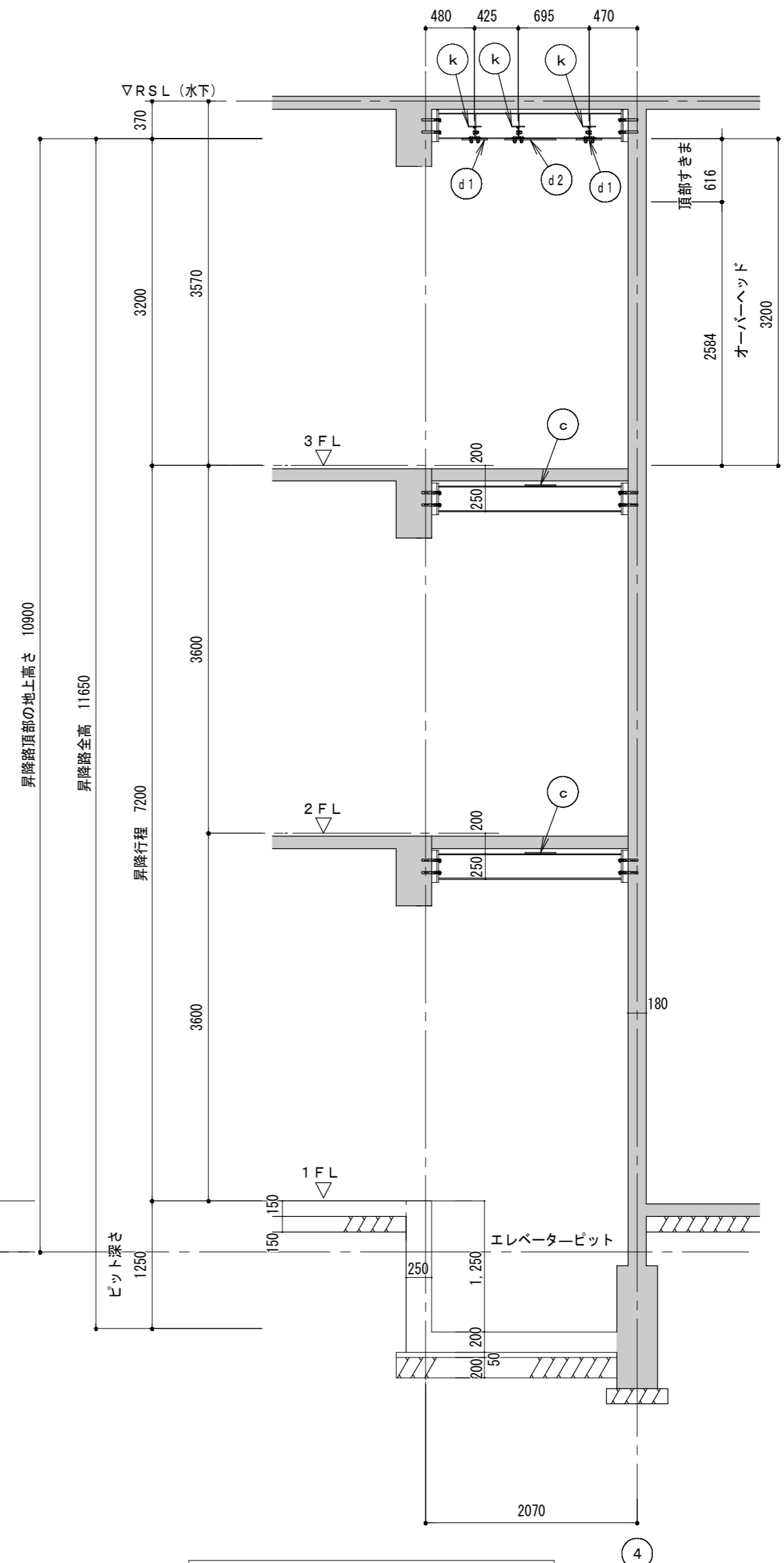
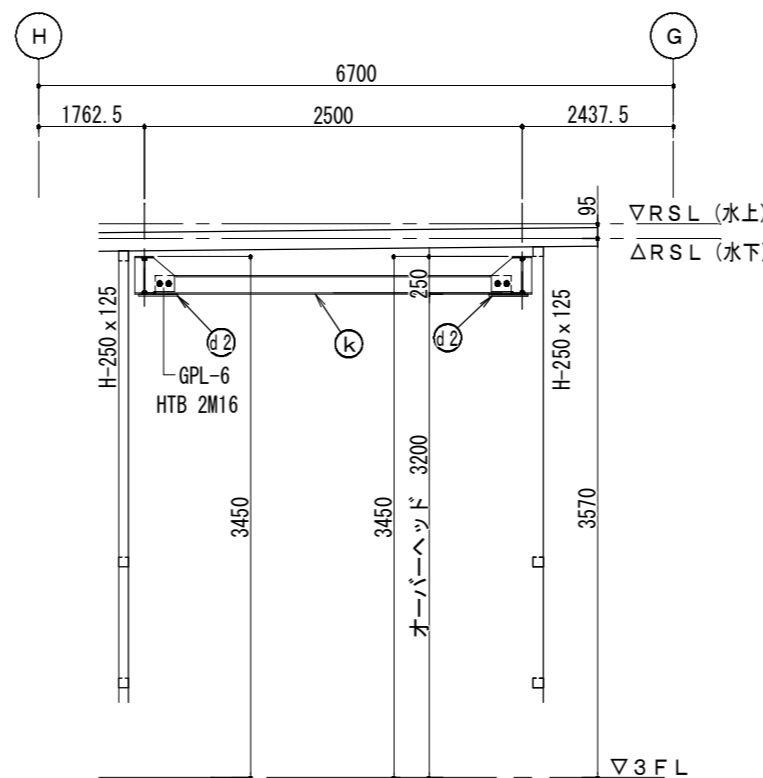
※ スラブ、壁撤去範囲を示す  
 天井材撤去範囲を示す

工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing 廊下・倉庫 3階 天井伏図 (改修前・改修後)	Check No. A-48	合資会社 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	縮尺 / Scale 原図: A2 S=1/50		



使用材料  
 H型鋼梁 SS400  
 鋼板 SS400  
 高力ボルト S10T  
 鉄骨錆止 一般錆止め工場1回塗 現場1回塗  
 あと施工アンカー: 接着系アンカー  
 鉄骨梁材は耐火被覆 吹付ロックウールt=25(1時間耐火)とする。

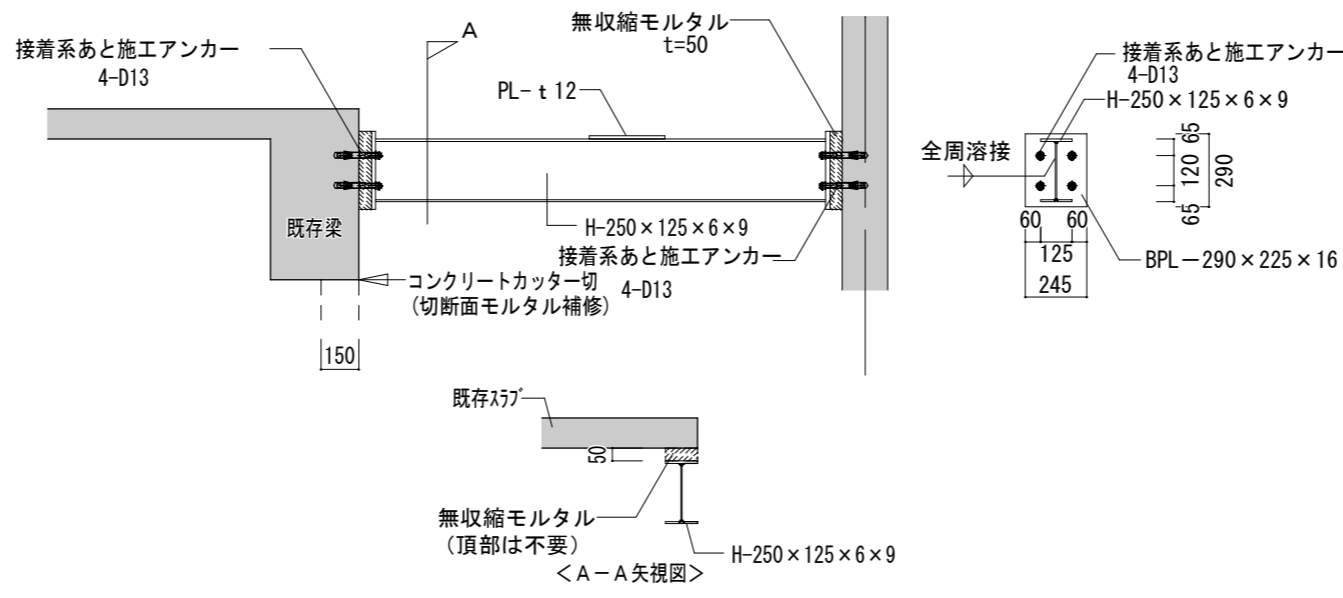
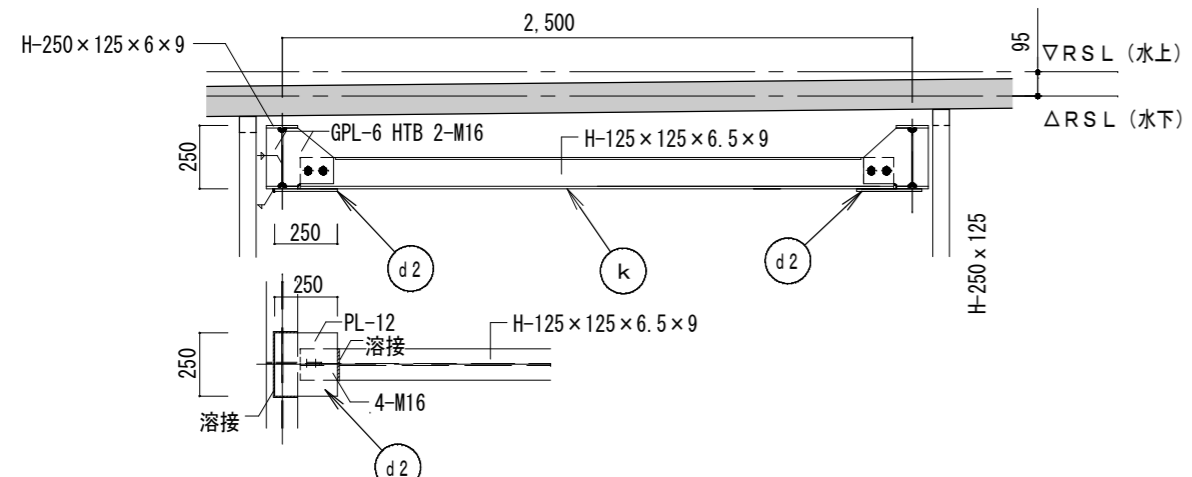
部材記号	名称	部材	工事区分
c1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12×300×250	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12×250×250	建築工事
d1	揚重ビーム取付用ファスナー(リブ付)	PL-t12×250×250	建築工事
d2	レールブラケット取付用ファスナー兼揚重ビーム取付用ファスナー(リブ付)	PL-t12×250×500(395)	建築工事
k	揚重ビーム	H-125×125×6.5×9	建築工事



2.3階昇降路梁伏図 S=1/50

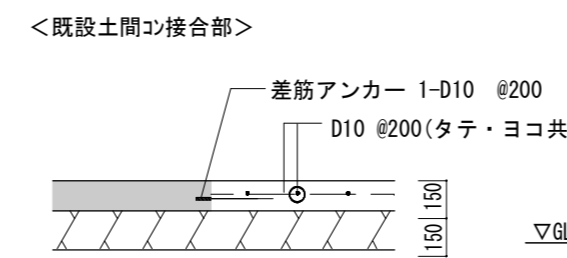
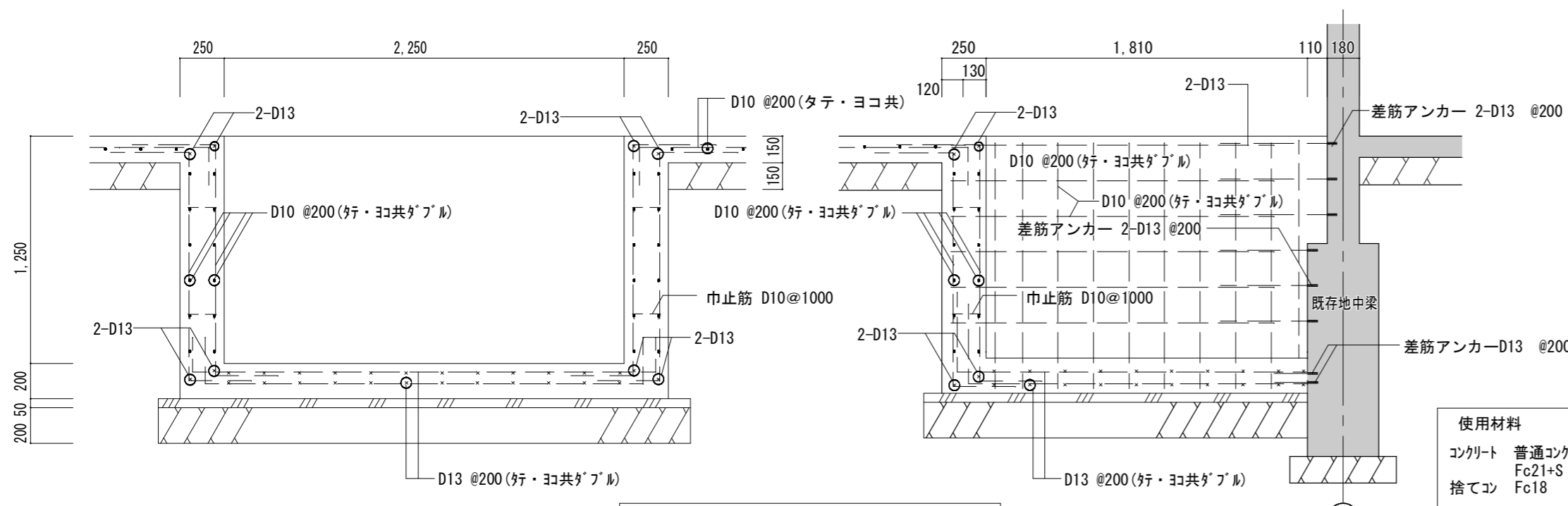
昇降路頂部梁伏図 S=1/50

昇降路頂部断面図1 S=1/50



昇降路頂部鉄骨梁詳細図 S=1/30

昇降路鉄骨梁詳細図 S=1/30



昇降路ピット配筋詳細図1 S=1/30

昇降路詳細断面図 S=1/50

使用材料  
 コンクリート 普通コンクリート(JIS A5308)  
 Fc21+S スラブ18  
 捨てコン Fc18 スラブ15  
 鉄筋 異型棒鋼(JIS G3112) D10~D16(SD295A)

工事名/Title	津市立修成小学校長寿命化改修工事
-----------	------------------

図面種別/Drawing	エレベーター廻り構造詳細図
縮尺/Scale	原図:A2 S=1/30、1/50
日付/Date	

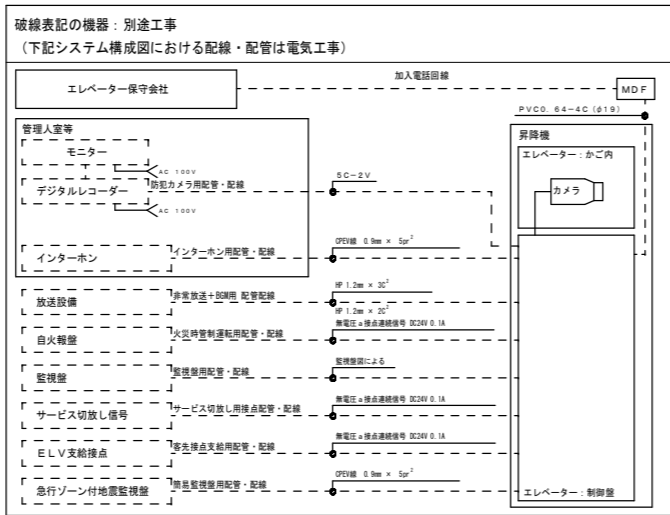
Check	
No.	A-49

Check	
No.	A-49

合資会社 重企建築事務所  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11-CO-45
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法間口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室サイズ（内法高さ）	2280mm
出入口方式	一方向出入口	
正面側停止数	3停止（1-3階）	
動力用電源	AC3φ-210V-60Hz	
照明用電源	AC1φ-100V-60Hz	
おもり位置特殊配置	あり	
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	平成31年版
	敷居間隔	10mm
	ドアセンサー機能	多光軸ドアセンサ2D
	車いす仕様	あり（制御機能）
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）	2（枚）
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消し機能	あり

エレベーター仕様要項			
分類	仕様項目	01号機	
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 300mm以下ステンレスヘアライン（1-3階）	
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）仕上（1-3階）	
	乗場敷居	アルミ製（1-3階）	
	乗場インジケータ	一体セグメントLED ステンレスヘアライン（1-3階）	
	乗場インジケータボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED（1-3階）	
	休止灯	あり	
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形 ステンレスヘアライン仕上（1-3階）	
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED（1-3階）	
	乗場休止スイッチ	乗場インジケータボタン組込	
	かご室仕様	天井	LEDフラット（白色LED）
		かご室壁・戸	化粧鋼板
		袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
		巾木	アルミ製
		かご床	樹脂タイル2mm
かご室敷居		アルミ製	
かご操作盤タイプ		袖壁操作盤	
かご操作盤プレート材質・仕上		ステンレスヘアライン	
かごボタン		ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED	
インターホン乱用防止カバー		あり	
正操作盤インジケータタイプ		かご内液晶インジケータ（5.7インチ） CUDO認定品	
かご操作盤液晶表示言語		2カ国語表示（日本語、英語）	
車いす専用かご操作盤		両側面に設置 プレート：ステンレスヘアライン仕上	
車いす専用かご操作盤インジケータタイプ		セグメントLED	
車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED		
その他仕様	車いす用インターホン乱用防止カバー	あり	
	かご室換気	ラインフローファン	
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）	
	かご室鏡	ステンレス鏡面枠なし（570mm×1400mm）	
	キックプレート	ステンレスヘアライン仕上（ビスなし） 高さ：床面より350mm	
	壁保護幕	あり（磁石式）	
	床保護マット	あり	
	気配りドア	あり	
	遮煙機能	ディフェンスドア 2枚戸両引き用（1-3階）	
	点字名板取付方法	接着	
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり	
	おもり非常止め	なし	
	火災時管制運転方式	火報信号連動式	
	インターホン型式	6V1局	
かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス		
かご室スピーカー	あり		
高調波対策種類	ACリアクトル（Ki=1.8）		
昇降路防振対策	あり		
フェッシャープレート	エレベーター手配（2-3階）		
レール支持方式	1フロア1ブラケット		
煙感知器点検口スイッチ	あり		
仮設動力電源	1式 (NANW00897)		



## No. 01号機

### 除外工事事項

#### 建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事  
（昇降路壁は5cm<sup>2</sup> 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器搬重用のフック又はビームの設置工事（20kN）/台
- 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から1-2.5m以下）
- ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はつり工事
- 段違いビット時のビット内保護柵工事（必要の場合）
- 固体・空気伝播対策工事（必要な場合）
- その他建築に関する工事

#### 設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（繋ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備連動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設置工事（外部より点検可能なこと）
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管・配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
- 5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第3号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）  
発熱量 エレベーター駆動部（875W/1台）
- エレベーター据付工事用の仮設電源を建築より供給とする場合、本設の電源仕様と同じ三相200V、または、単相200V、7.5kVA以上、ブレーカー容量50A以上の電源仕様とする


### 注意事項

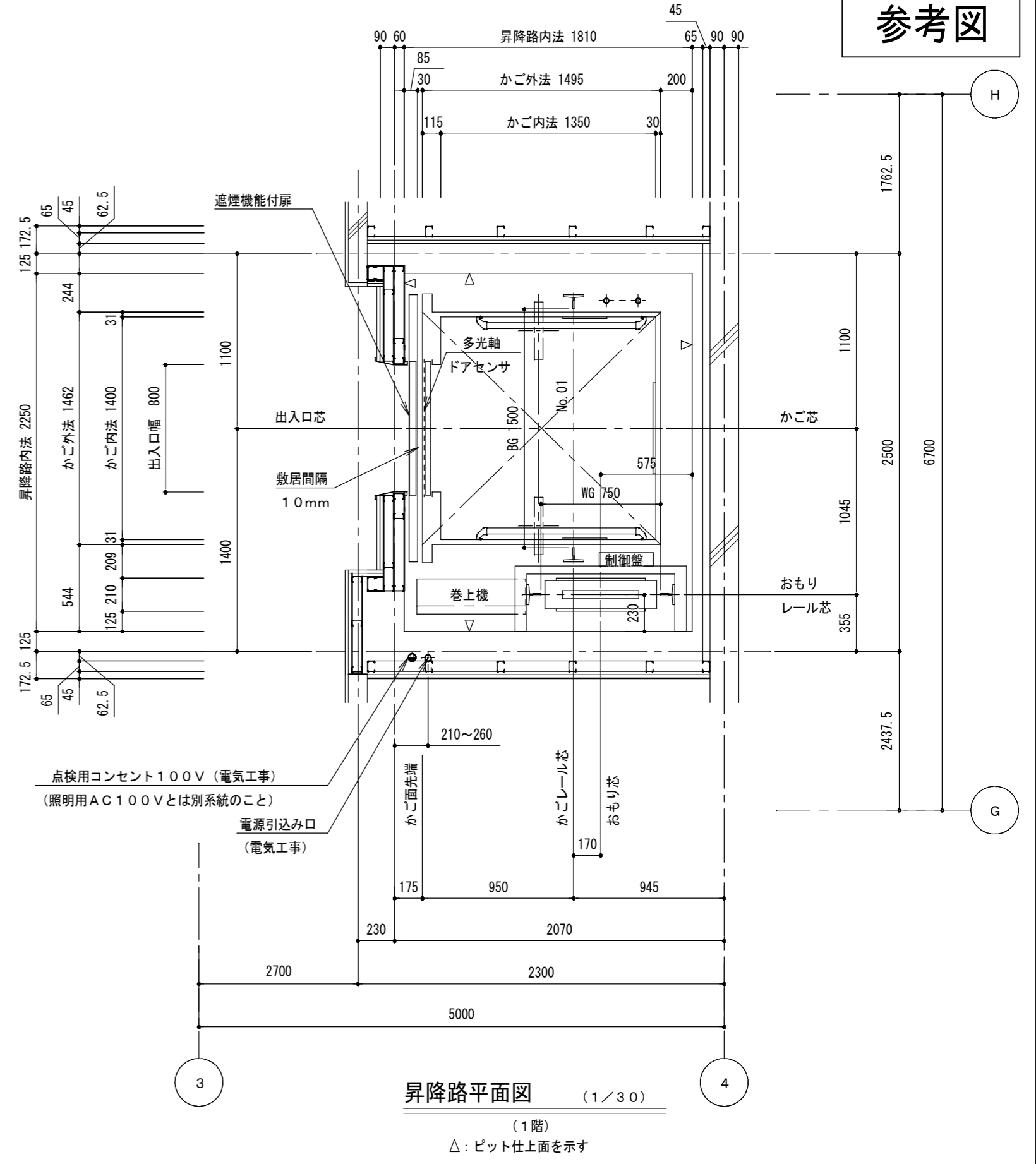
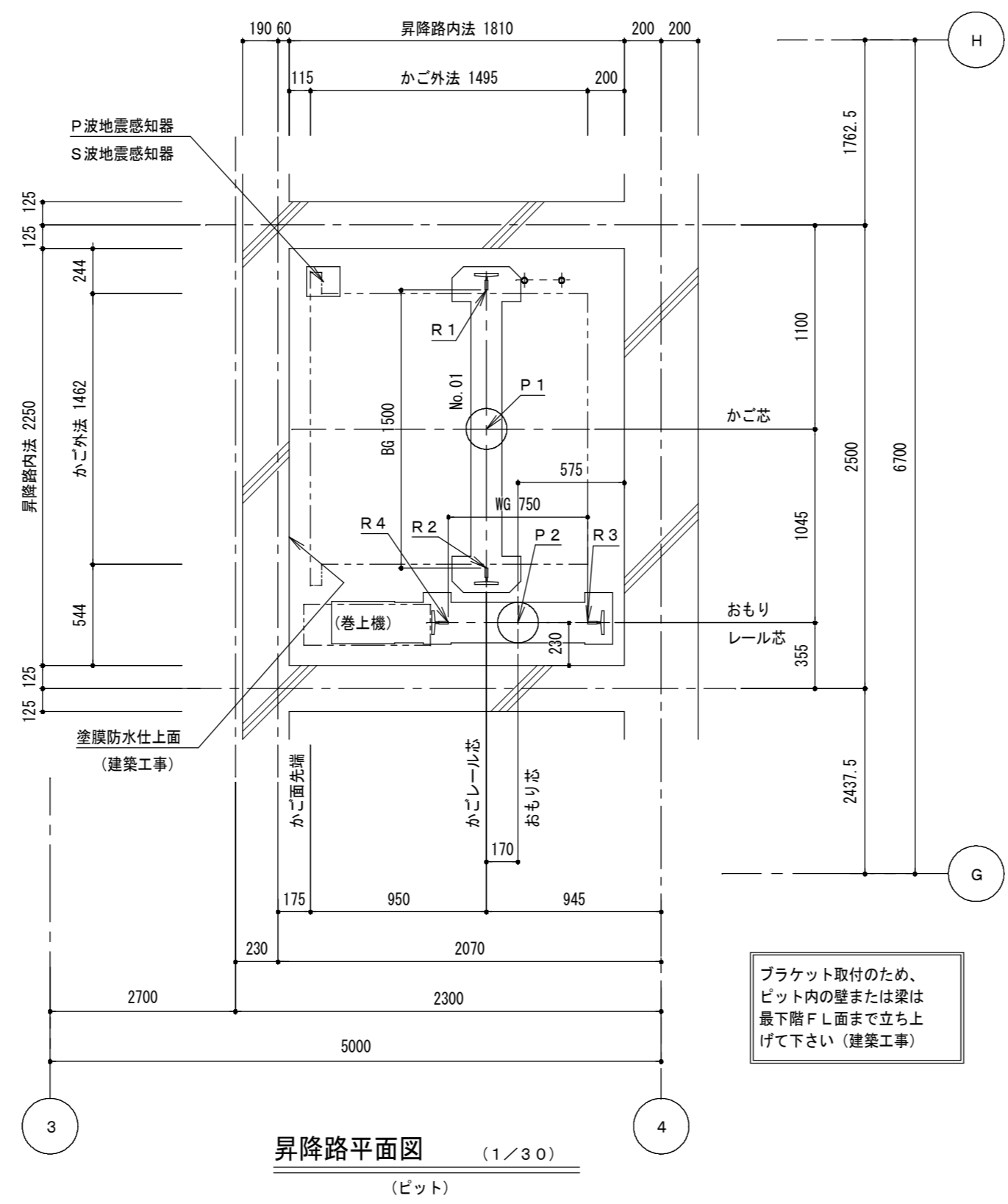
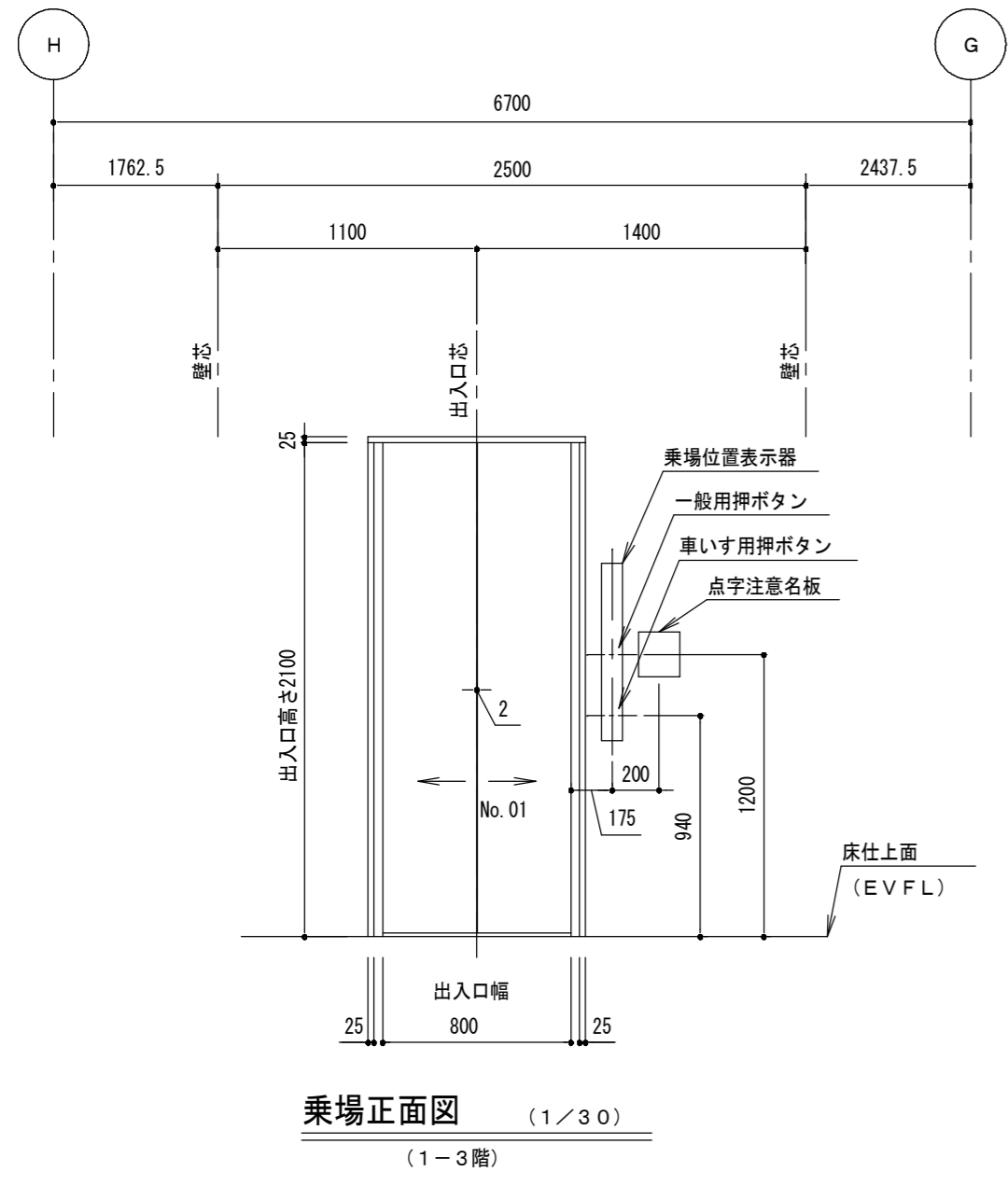
- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm<sup>2</sup>以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要で（1）昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと  
（2）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- 屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います  
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第3号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を經由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります  
次の対策をお勧めします
  - エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
  - エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
  - エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離を要する
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 施工作業時間条件：月曜日～土曜日 8:00～17:00
- メンテナンス契約が必要となります。

#### 乗場遮煙ドア設置上の条件

- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧a接点、接点電圧DC24V）

## 参考図

・	・	工事名/Title  <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別/Drawing	Check	No.	 <b>會齋社 重企建築事務所</b> Jyukki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・	・		エレベーター詳細図（1）			
・	・		縮尺/Scale	原図:A2	日付/Date	
・	・					



ピット荷重 (短期荷重)

P 1 (kN)	P 2 (kN)
93.3	75.4

レール下端部荷重 (長期荷重)

R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
36.2	14.8	34.4	59.5

動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 <sup>(*)</sup>	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	7.3mまで 8mm <sup>2</sup> 12.7mまで 14mm <sup>2</sup> 19.4mまで 22mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>

照明用電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側NF容量	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC1φ100V 60Hz	1kVA	20AT	4.3mまで 8mm <sup>2</sup> 7.6mまで 14mm <sup>2</sup> 11.8mまで 22mm <sup>2</sup>	2.0mm <sup>2</sup>

高調波対策 (高調波流出電流計算値)

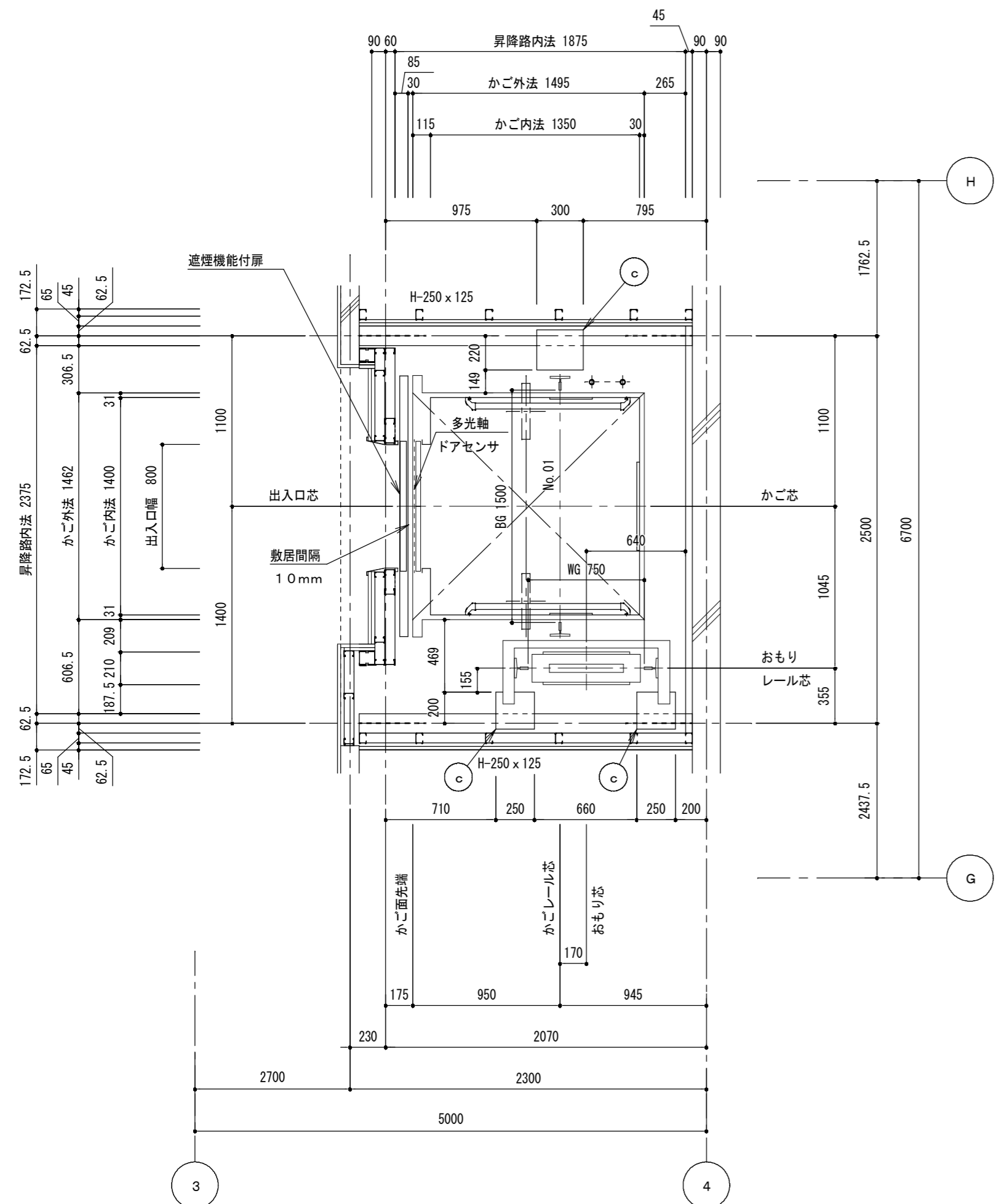
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P <sub>i</sub> (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K <sub>i</sub> )	6パルス等価 容量 [K <sub>i</sub> ×P <sub>i</sub> ] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I <sub>n</sub> (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
○ ACリアクトル追加 (K <sub>i</sub> =1.8相当)					32	1.8	8.6	25	38	14.5	7.4	3.4	3.2	1.9	1.7	1.3

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流す高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

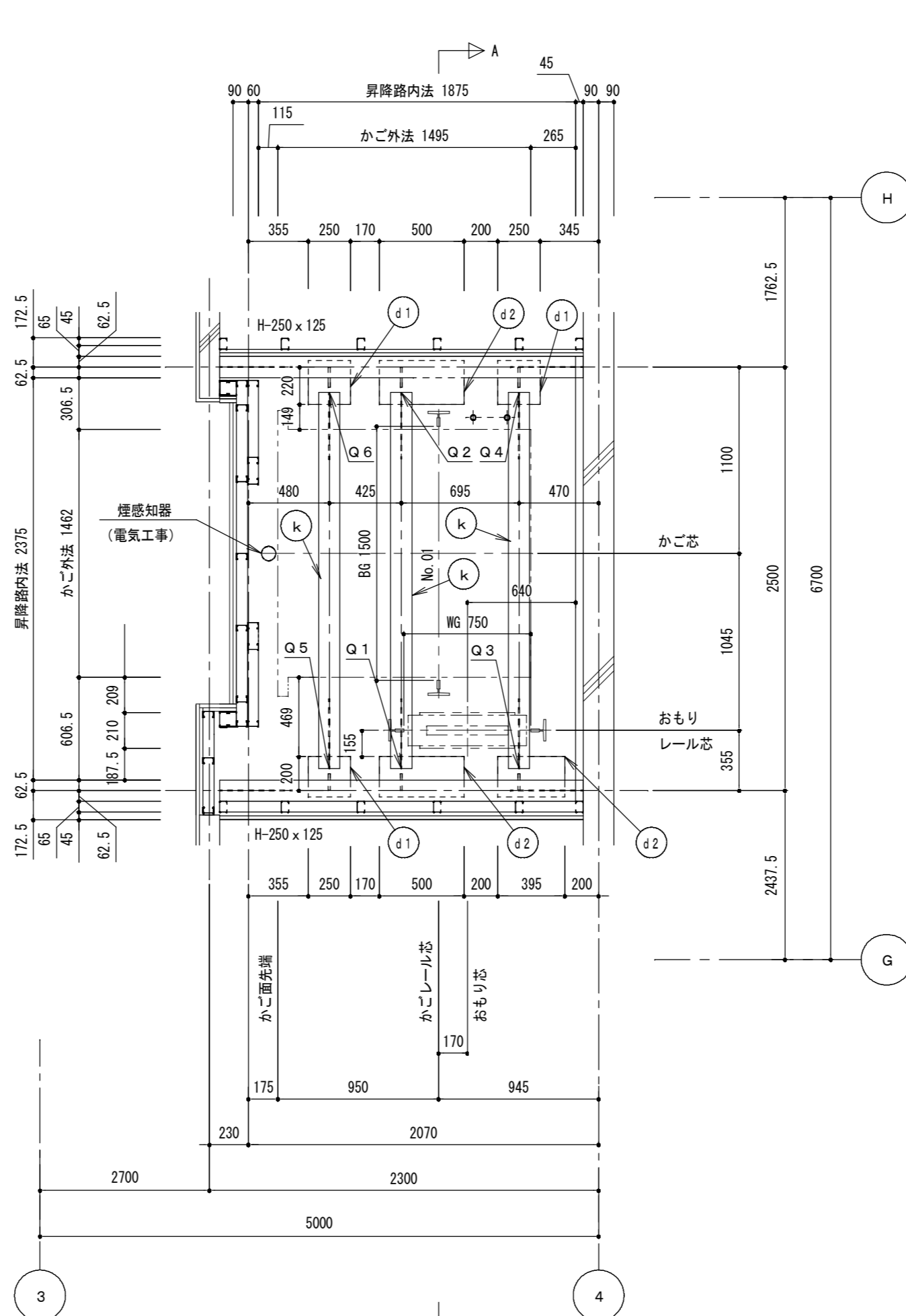
※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

- 電源引込み口 (最下階天井付近)  
 動力用 AC3φ-210V-60Hz  
 照明用 AC1φ-100V-60Hz  
 D種接地工事  
 ・インターホン用配管配線工事  
 CPEV-0.9×5P  
 ・火災警報用配管配線工事  
 自火報より無電圧a接点支給  
 ・遠隔監視用配管配線工事  
 PVC-0.65×4C  
 ・かご上スปีカー用配管配線工事  
 HP1.2mm×3C



昇降路平面図 (1/30)  
(2. 3階)



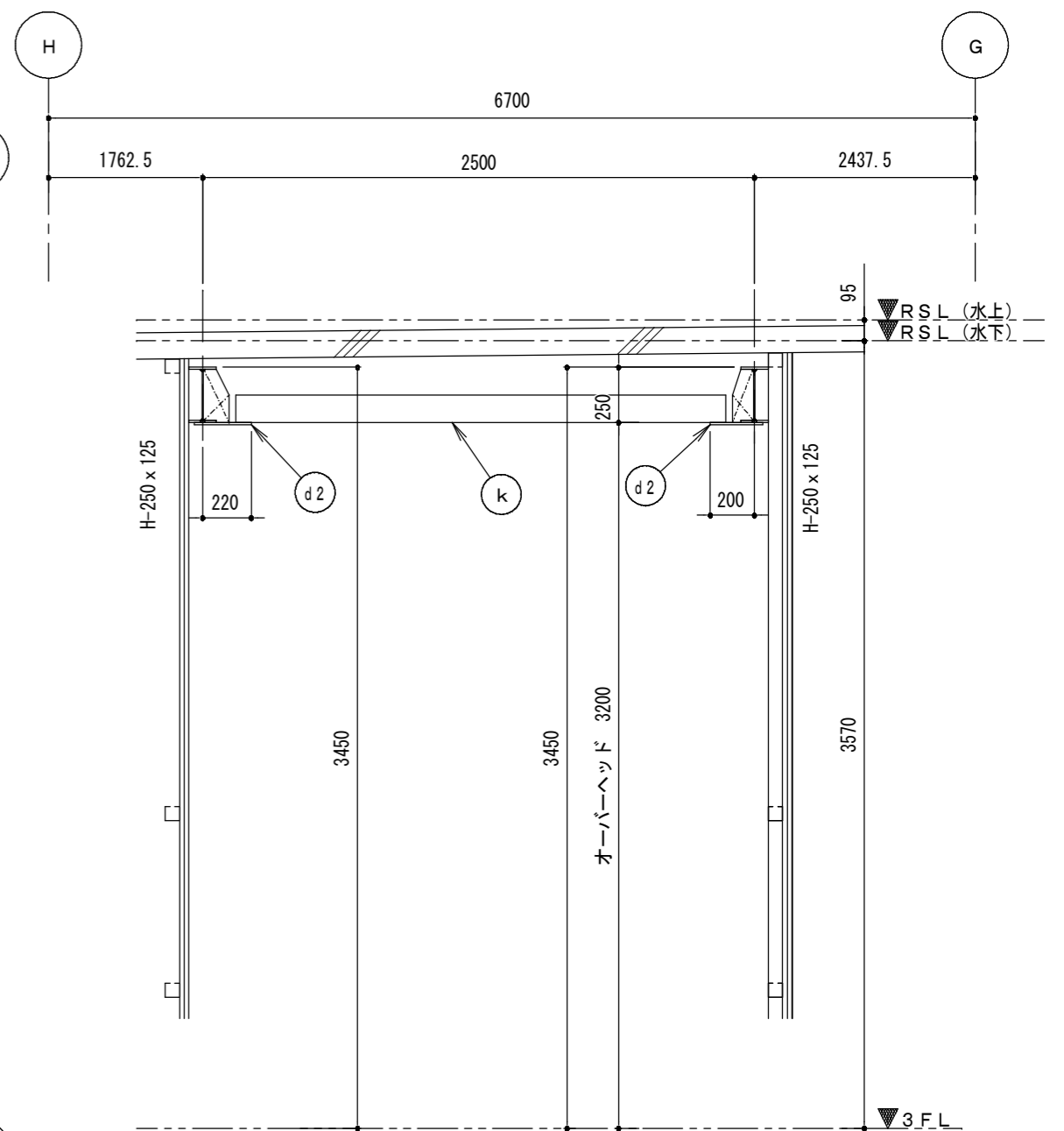
昇降路平面図 (1/30)  
(頂部)

揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

Q 1 (kN)	Q 2 (kN)	Q 3 (kN)	Q 4 (kN)	Q 5 (kN)	Q 6 (kN)
18.1	19.9	8.8	1.8	4.6	1.0

Q1~Q6はEV据付時に作用する

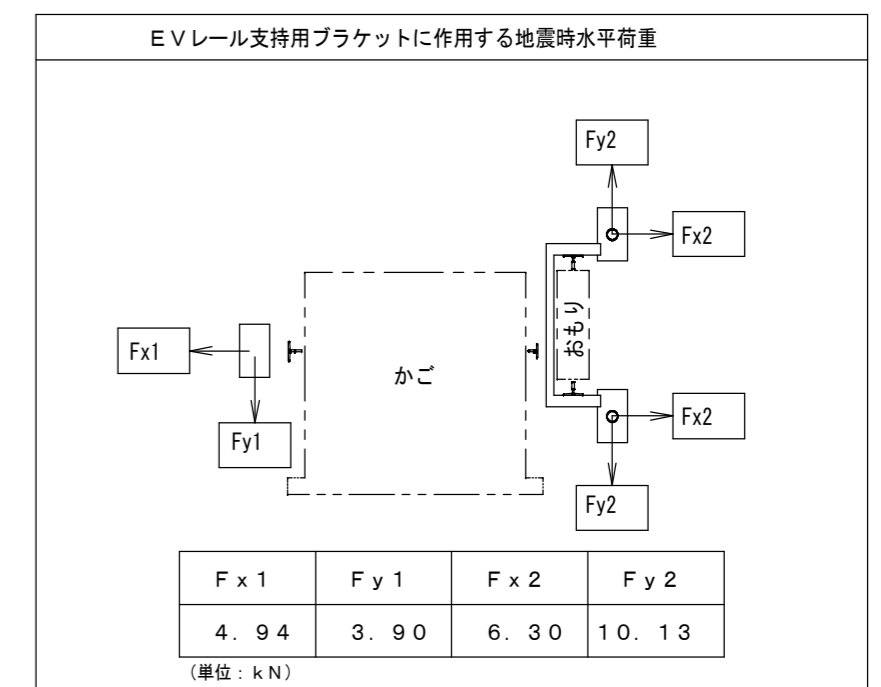
部材記号	名称	部材	工事区分
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t 12	建築工事
d 1	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t 12	建築工事
d 2	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t 12	建築工事
k	揚重ビーム	H-125 x 125 x 6.5 x 9	建築工事



昇降路頂部断面図 (1/30)  
断面A-A

注) 左右のファスナーは  
同一レベルに取付のこと

NO. 01



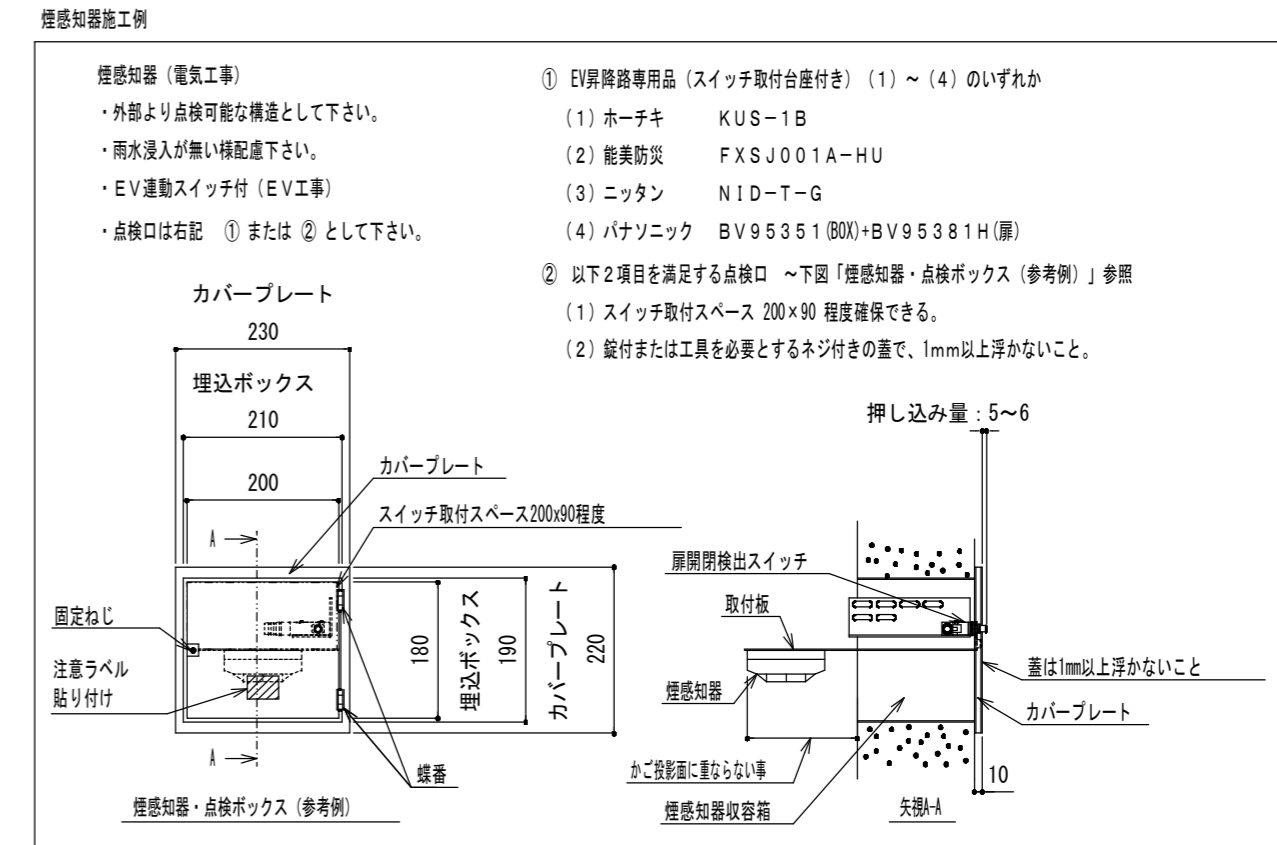
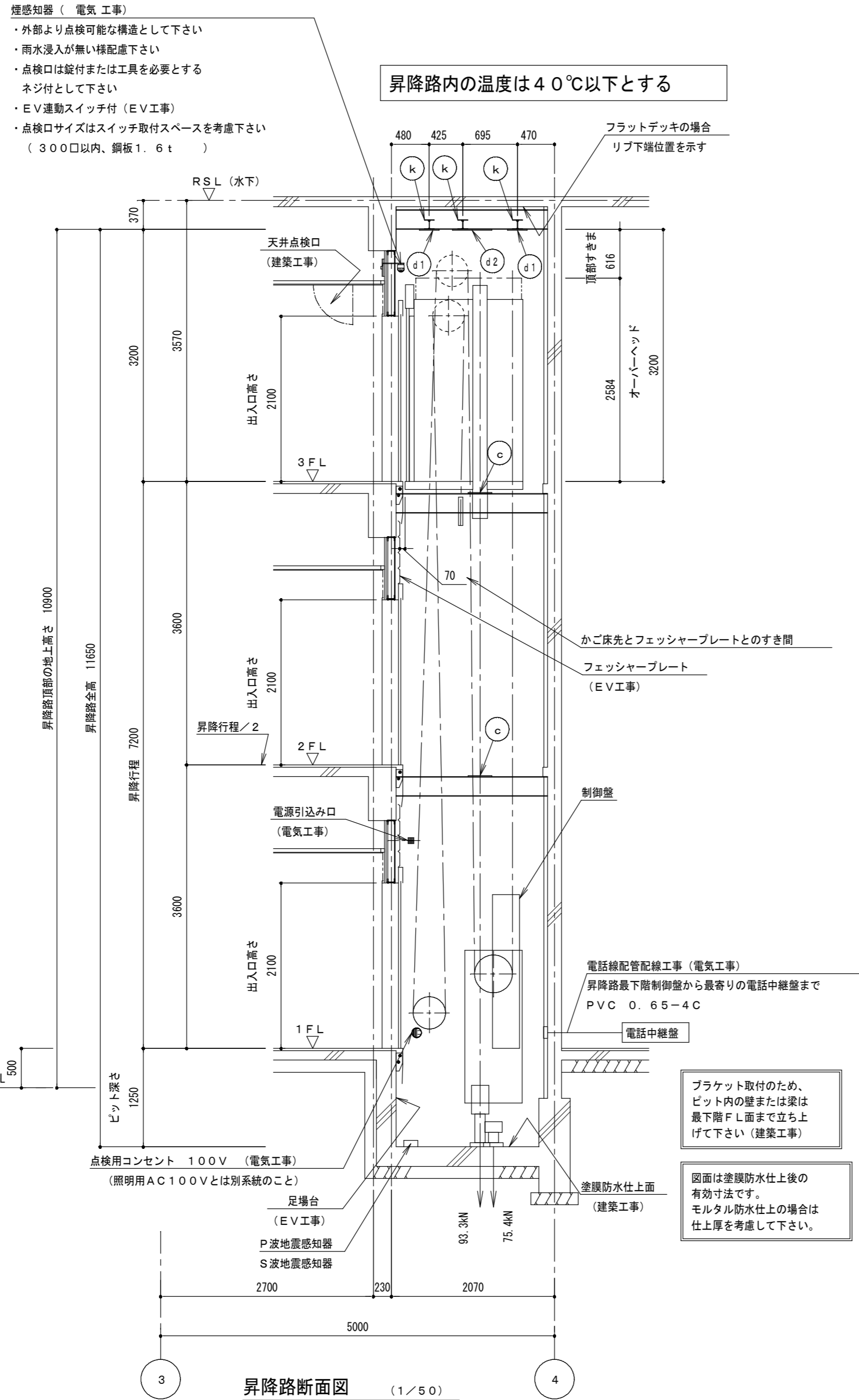
注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付のこと。

・	・
・	・
・	・
・	・

工事名/Title	図面種別/Drawing
津市立修成小学校長寿命化改修工事	エレベーター詳細図 (3)
	縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date S=1/30

Check	No.
	A-52

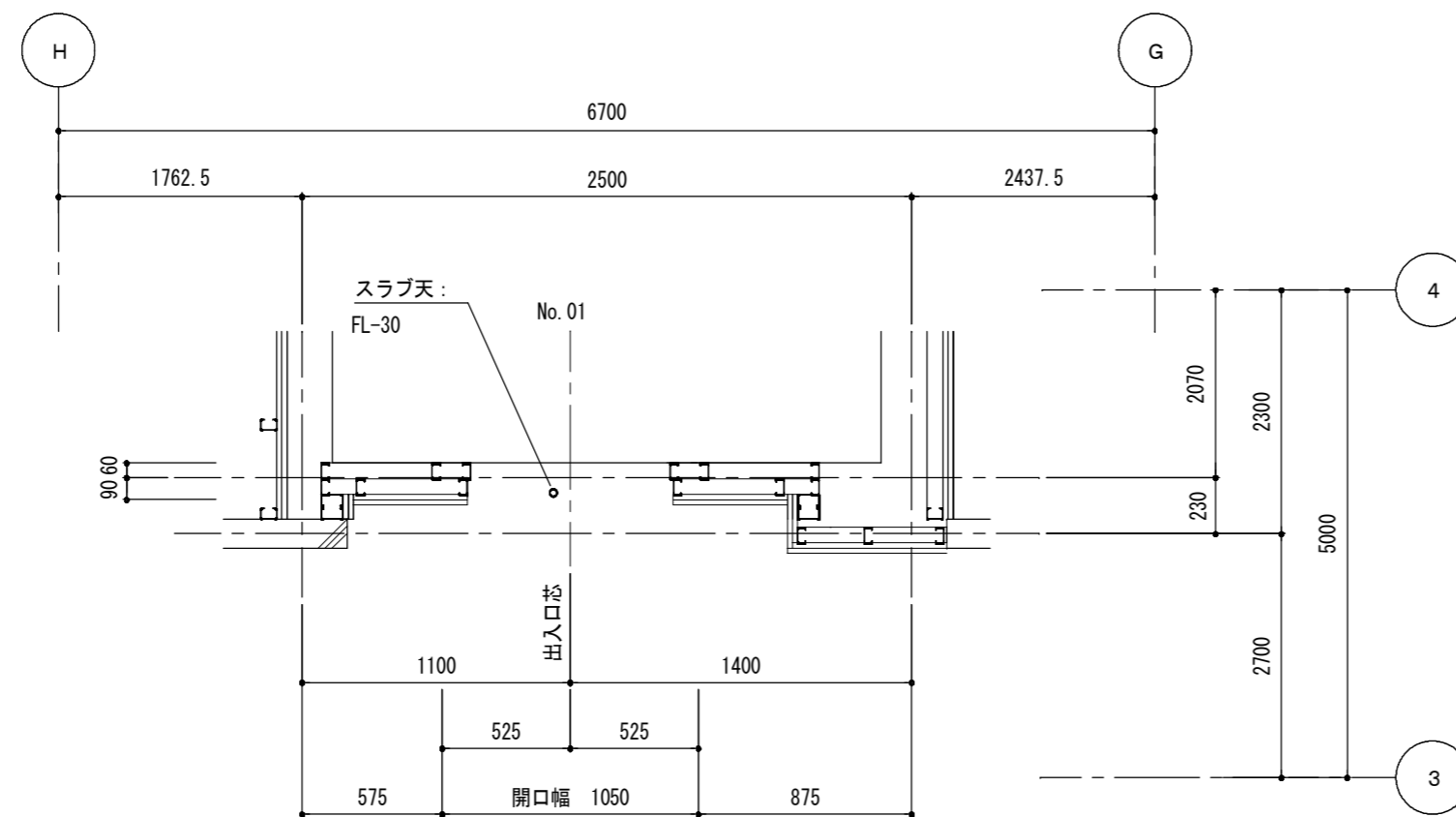
合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



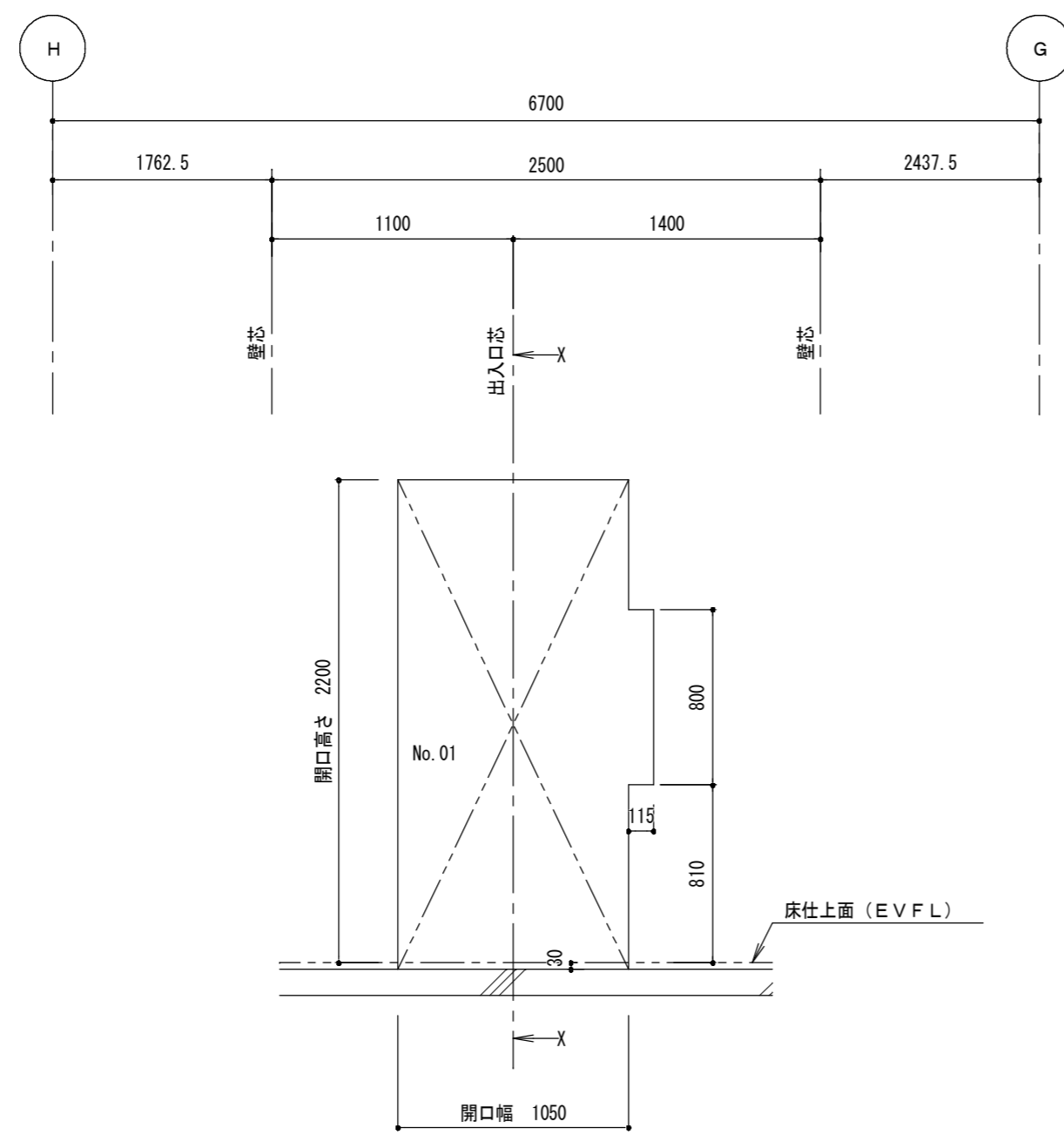
部材記号	名称	部材	工事区分
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t 12	建築工事
d 1	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t 12	建築工事
d 2	レールブラケット取付用ファスナー兼揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t 12	建築工事
k	揚重ビーム	H-125×125×6.5×9	建築工事

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階F L面まで立ち上げて下さい (建築工事)

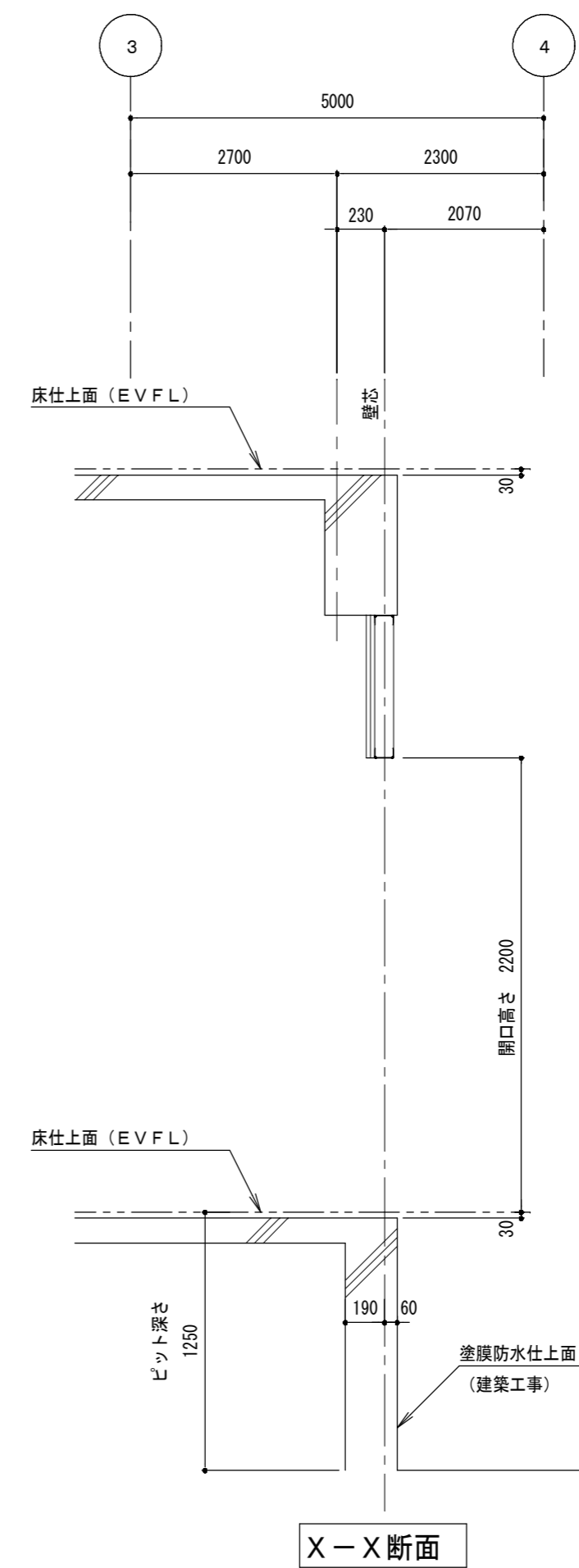
図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。



乗場平面穴あけ図 (1/30)  
(1-3階)



乗場穴あけ図 (1/30)  
(1-3階)



X-X断面

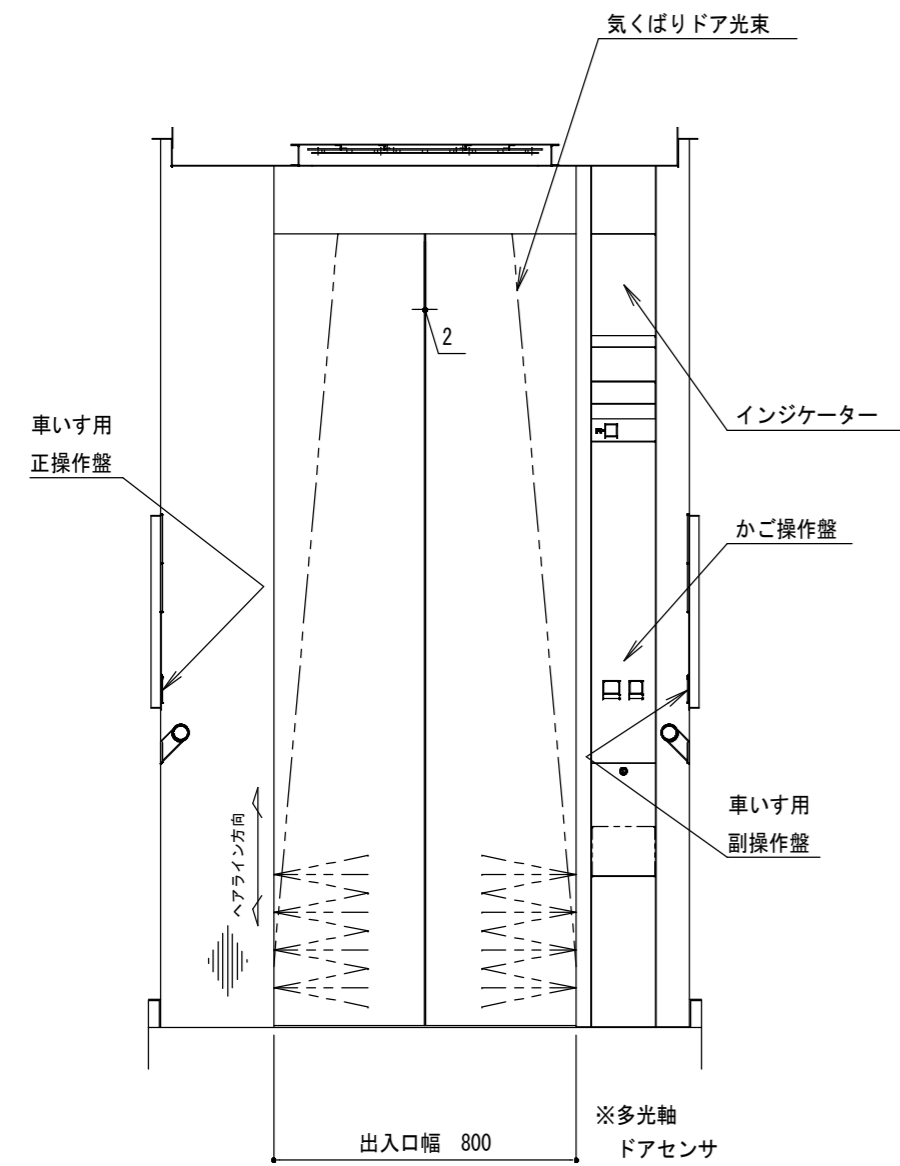
・	・
・	・
・	・
・	・

工事名/Title	エレベーター詳細図(5)
津市立修成小学校長寿命化改修工事	

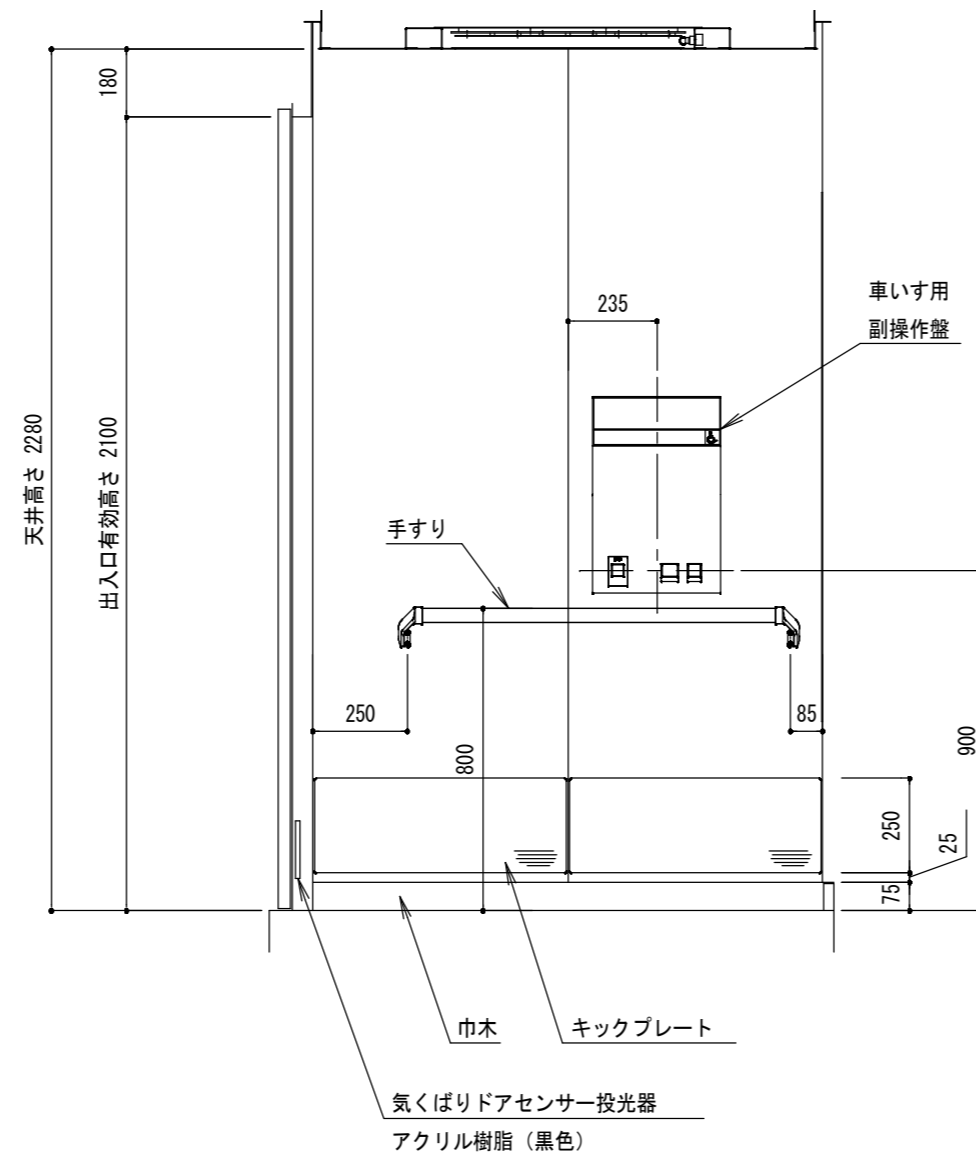
図面種別/Drawing	原図:A2	日付/Date
縮尺/Scale	S=1/30	

Check	No.
	A-54

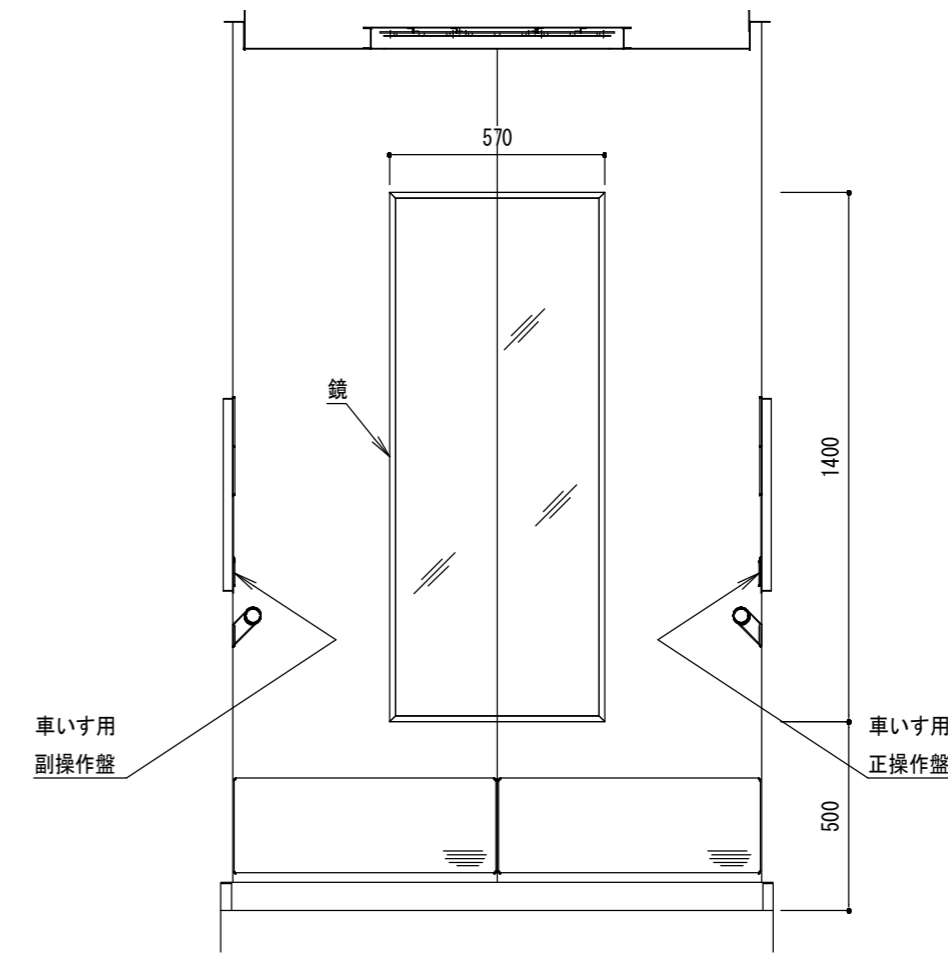
合資会社 重企建築事務所  
Jyuki Architectural Design Office  
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



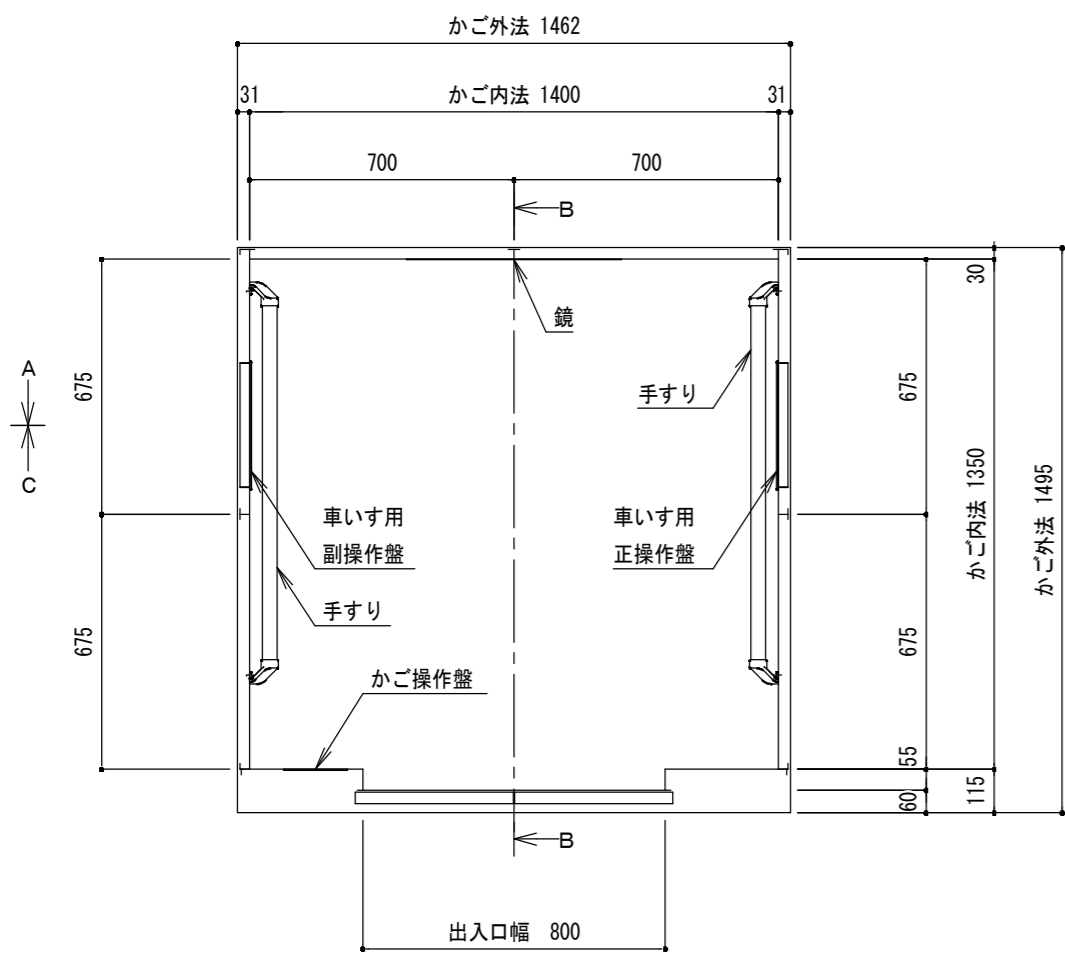
Uかご室正面図 (矢視A-A)



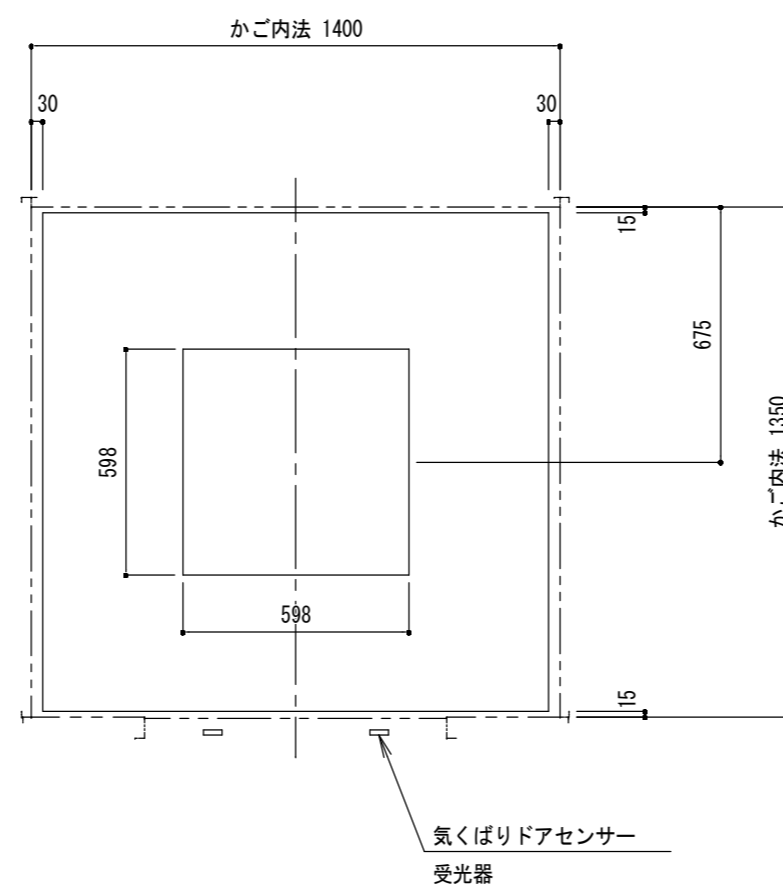
Uかご室側面図 (矢視B-B)



Uかご室背面図 (矢視C-C)



Uかご室平面図



U天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	6V 10W×1灯
換気装置	ラインフローファン
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t2
敷居	アルミ製
鏡	ステンレス鏡面仕上 t2.5
手すり	ステンレス製パイプ:ヘアライン仕上 (C38)
キックプレート	ブラケット:アルミダイカスト (銀色塗装) ステンレスヘアライン仕上:ピス無
保護幕	あり (磁石式)
床マット	あり

・	・
・	・
・	・
・	・

工事名/Title	津市立修成小学校長寿命化改修工事
-----------	------------------

図面種別/Drawing	エレベーター詳細図 (6)
縮尺/Scale	原図:A2 S=1/20
日付/Date	

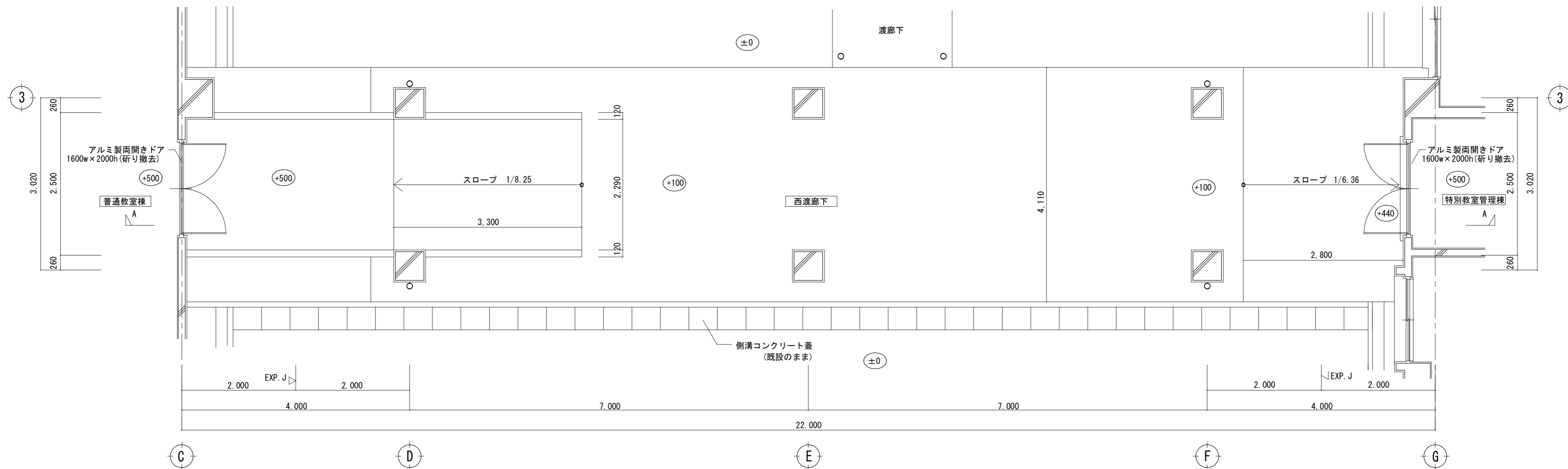
Check	
-------	--

No.	A-55
-----	------

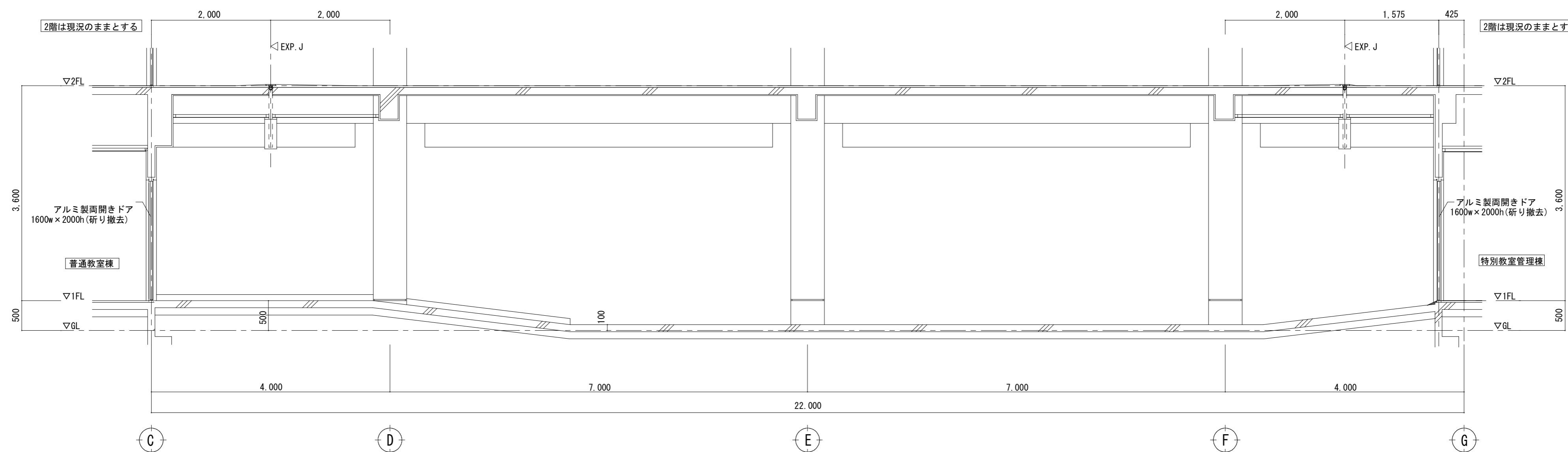
**合資会社 重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



渡廊下西 改修前 1階平面詳細図 S=1/50

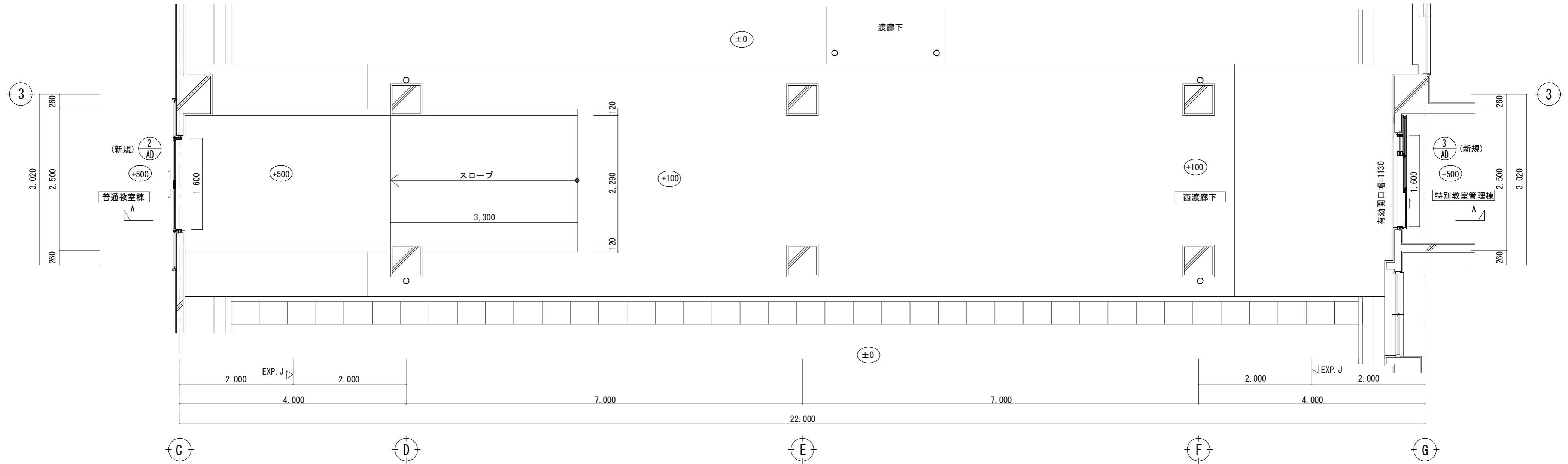


渡廊下西 改修前 1階断面詳細図 S=1/50

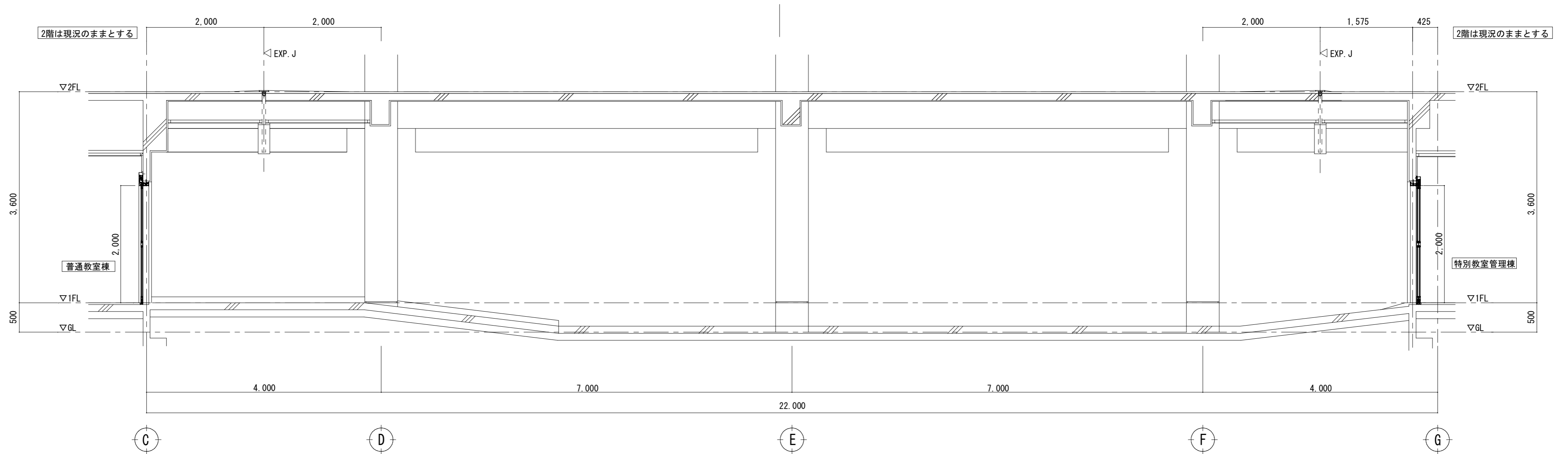


	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	1階平面・断面詳細図(改修前)		A-56	
		縮尺 / Scale 原図:A2 日付 / Date S=1/50			

渡廊下西 改修後1階平面詳細図 S=1/50



渡廊下西 改修後1階断面詳細図 S=1/50



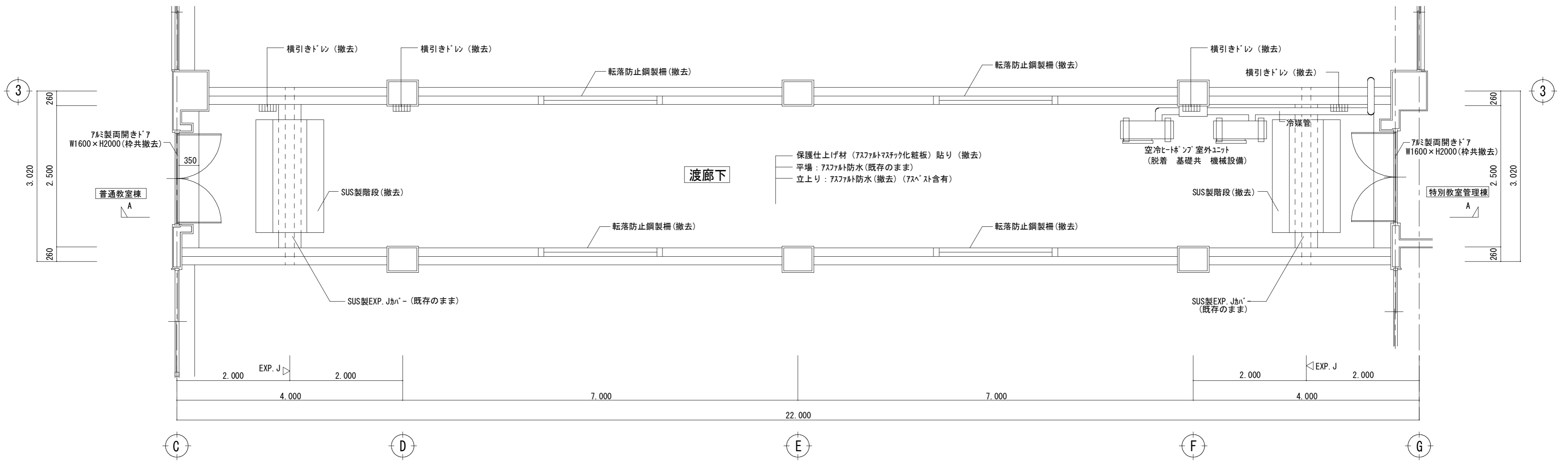
工事名 / Title  
**津市立修成小学校長寿命化改修工事**

図面種別 / Drawing  
**1階平面・断面詳細図(改修後)**  
 縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date  
**S=1/50**

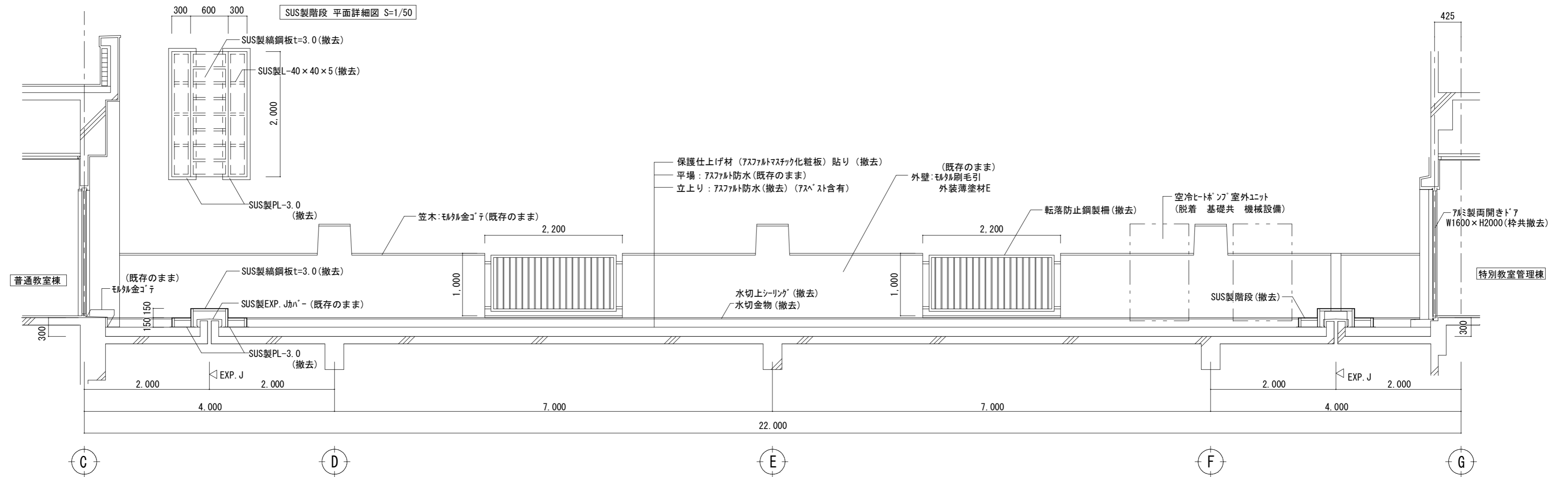
Check  
 No.  
**A-57**


**重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

渡廊下西 改修前3階平面詳細図 S=1/50

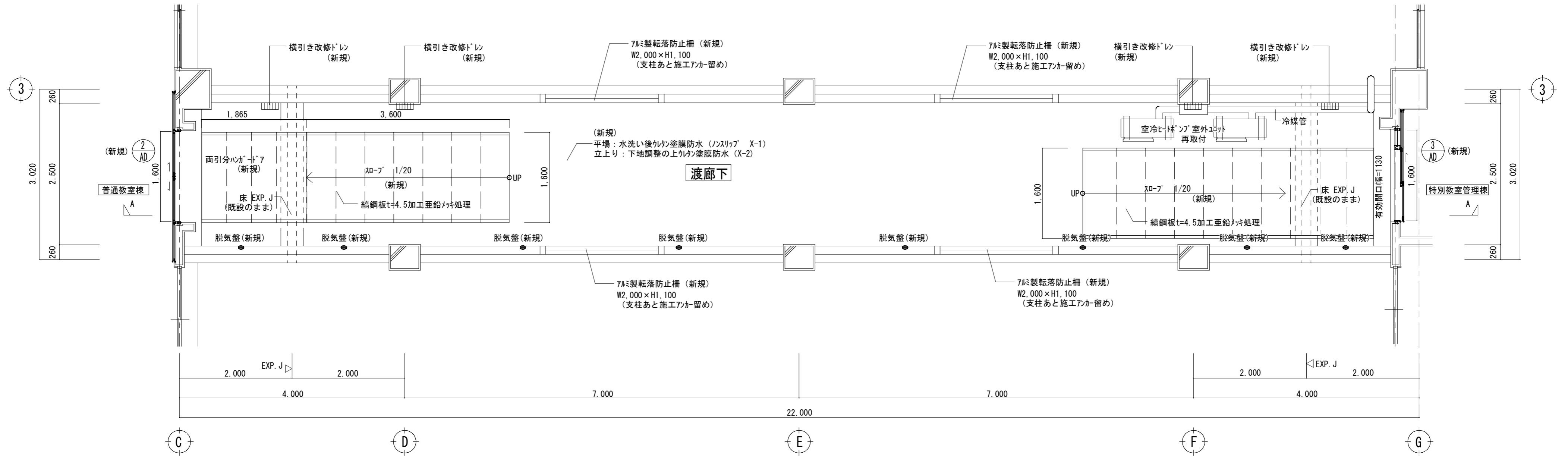


渡廊下西 改修前3階断面詳細図 S=1/50

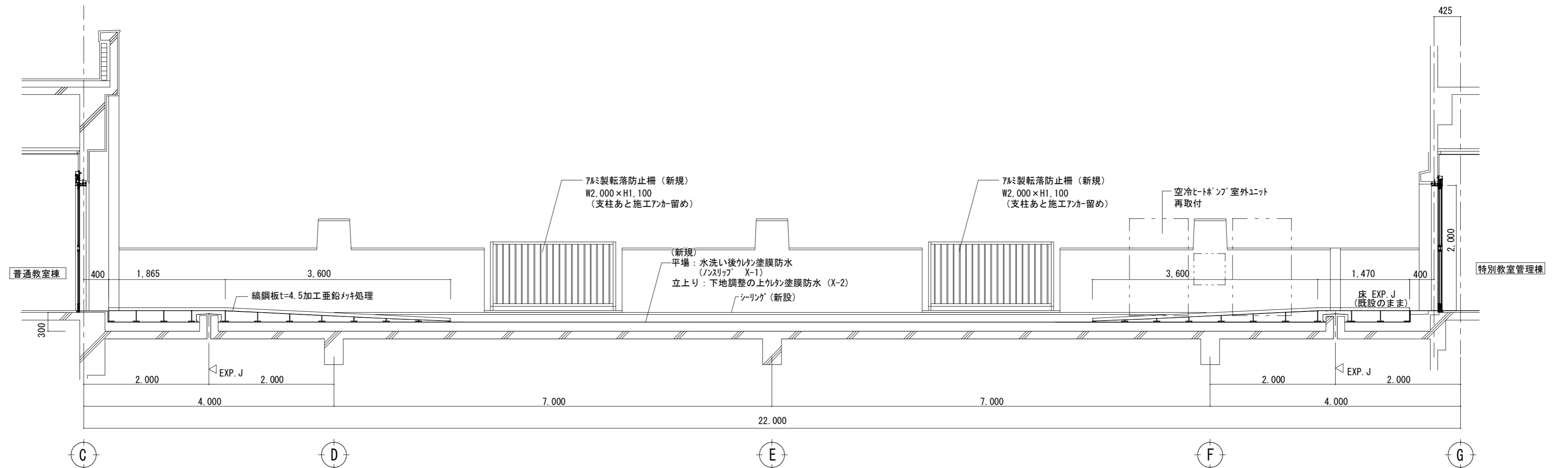


<p>津市立修成小学校長寿命化改修工事</p>	<p>工事名 / Title</p>	<p>図面種別 / Drawing</p> <p>3階平面・断面詳細図(改修前)</p>	<p>Check</p>	<p>No.</p> <p>A-58</p>	<p>合資会社 重企建築事務所</p> <p>Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</p> <p>一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
	<p>縮尺 / Scale</p> <p>原図: A2</p> <p>S=1/50</p>	<p>日付 / Date</p>			

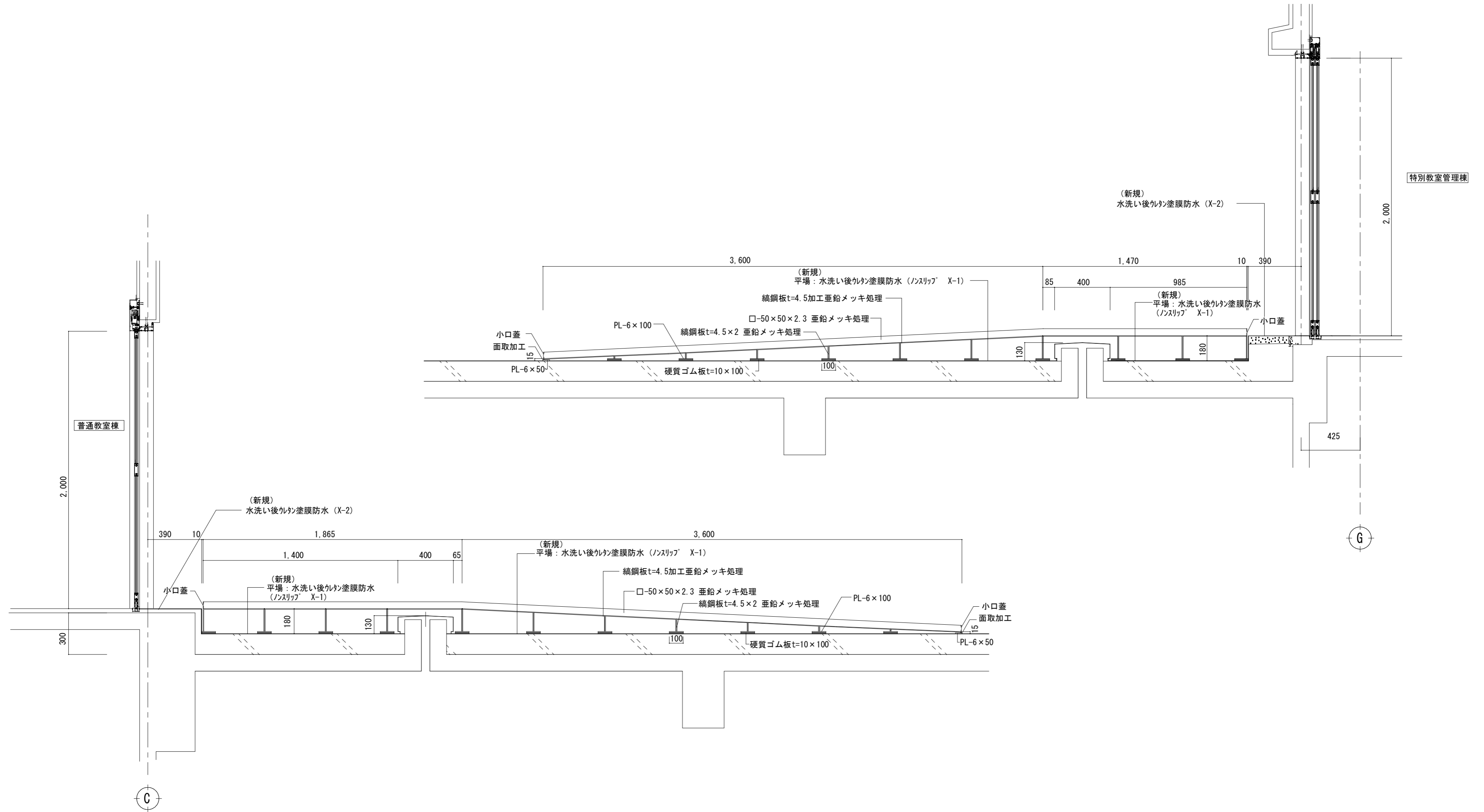
渡廊下西 改修後3階平面詳細図 S=1/50



渡廊下西 改修後3階断面詳細図 S=1/50

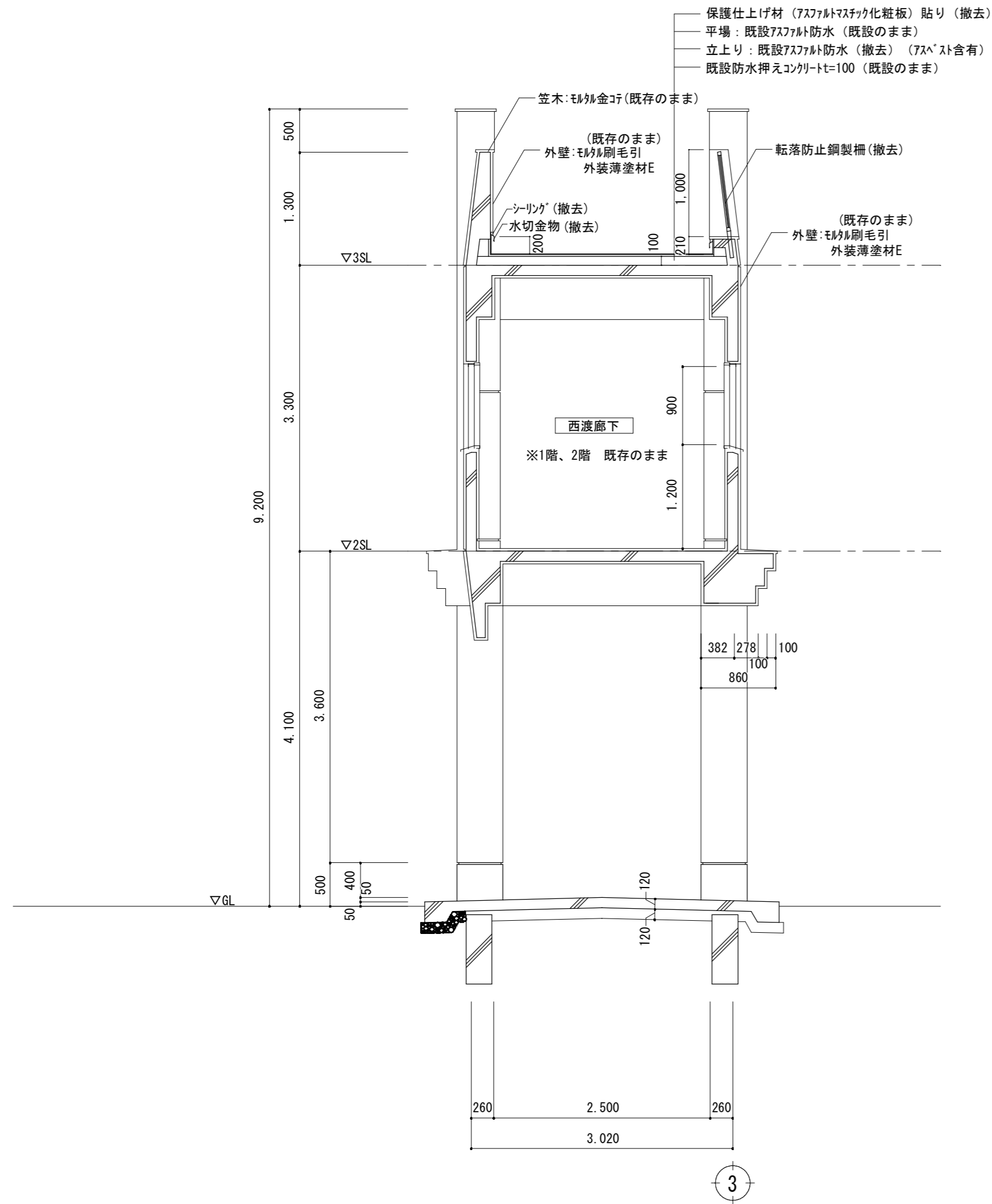


. . . .	工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>3階平面・断面詳細図(改修後)</b>	Check	No. <b>A-59</b>	資資会社 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	縮尺 / Scale 原図: A2 S=1/50	日付 / Date	. . .	. . .	
	. . .		. . .	. . .	

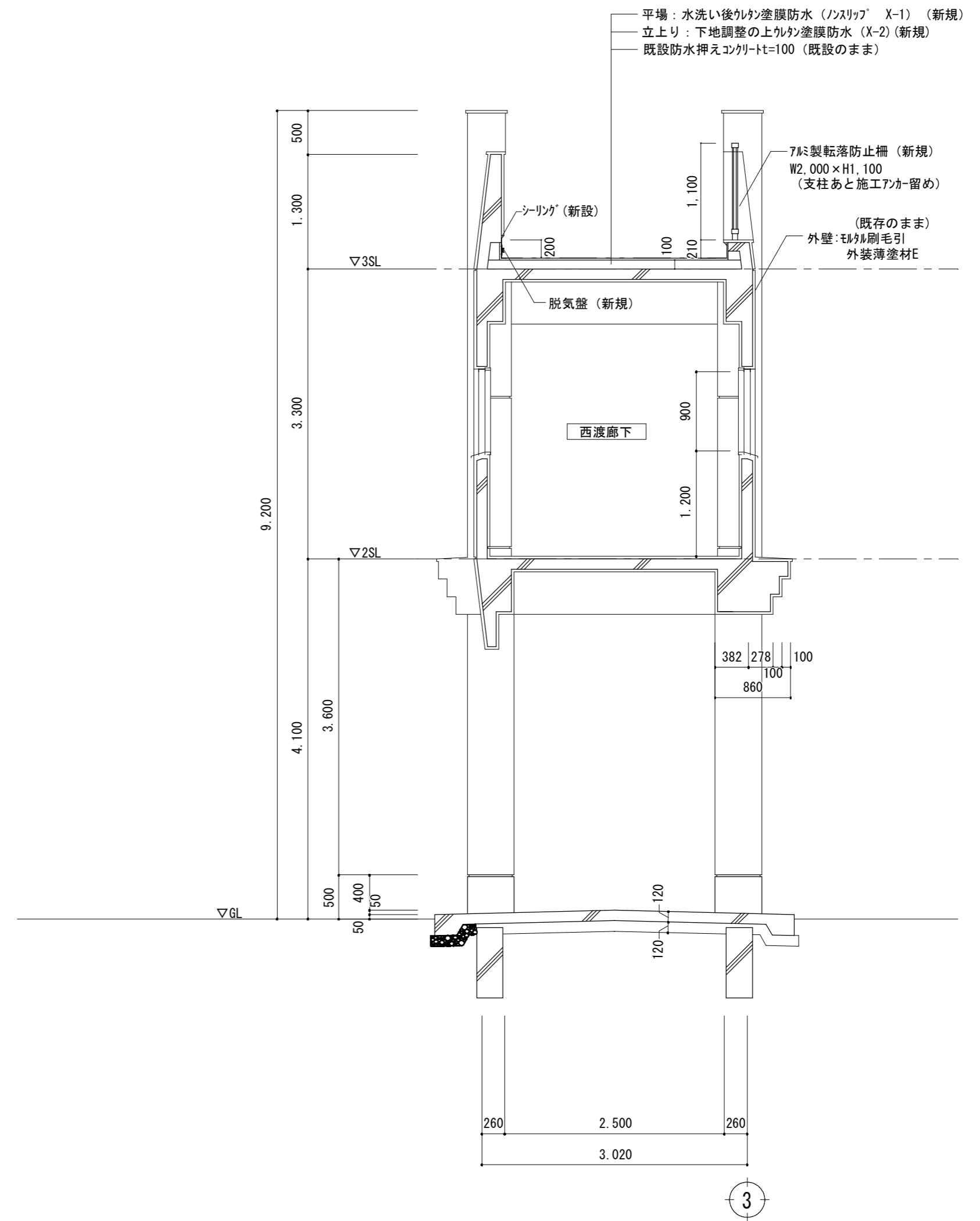


	<p>工事名 / Title 津市立修成小学校長寿命化改修工事</p>	<p>図面種別 / Drawing 3階新設スロープ断面詳細図</p> <p>縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date S=1/20</p>	<p>Check</p>	<p>No. A-60</p>	<p>合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
--	---	--	--------------	---------------------	--

渡廊下西 改修前断面詳細図 S=1/50



渡廊下西 改修後断面詳細図 S=1/50



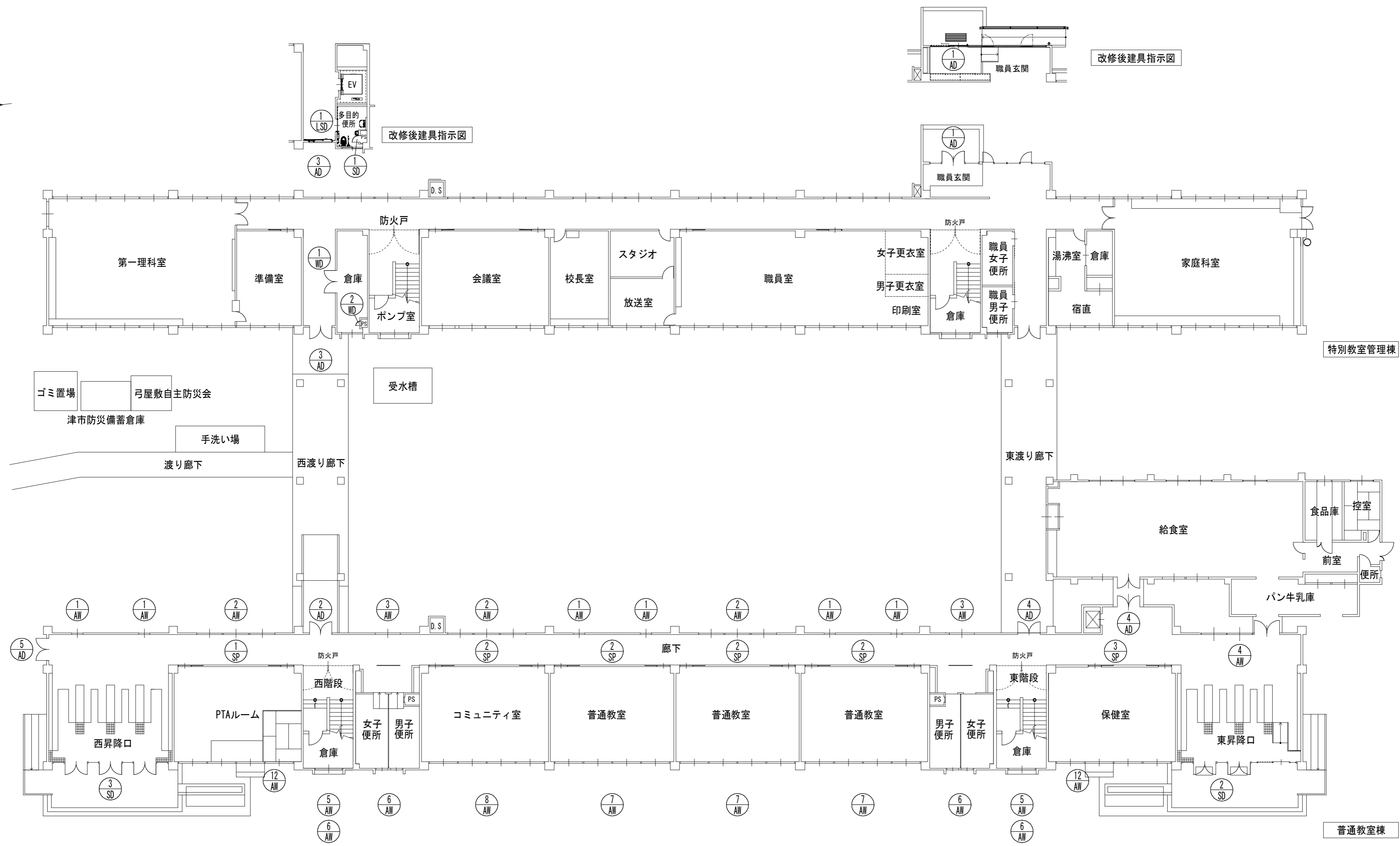

工事名 / Title	津市立修成小学校長寿命化改修工事
-------------	------------------

図面種別 / Drawing	断面詳細図 (改修前・改修後)
縮尺 / Scale	原図: A2 S=1/50
日付 / Date	

Check	
-------	--

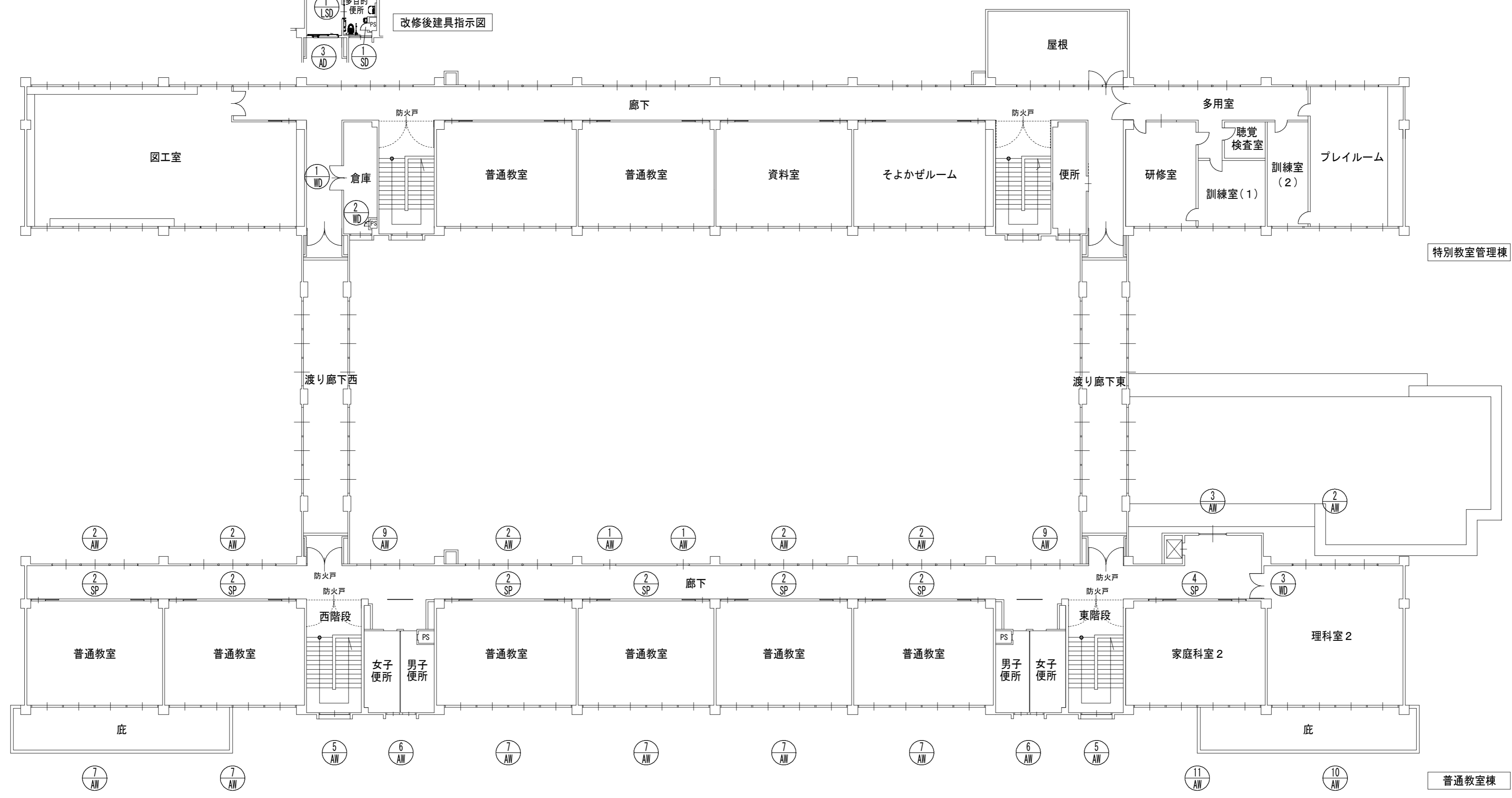
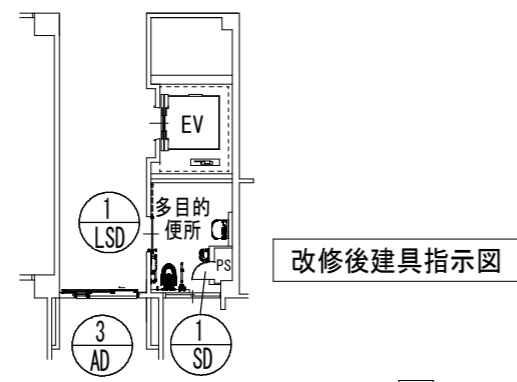
No.	A-61
-----	------


**重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治



1階建具キープラン S=1/200

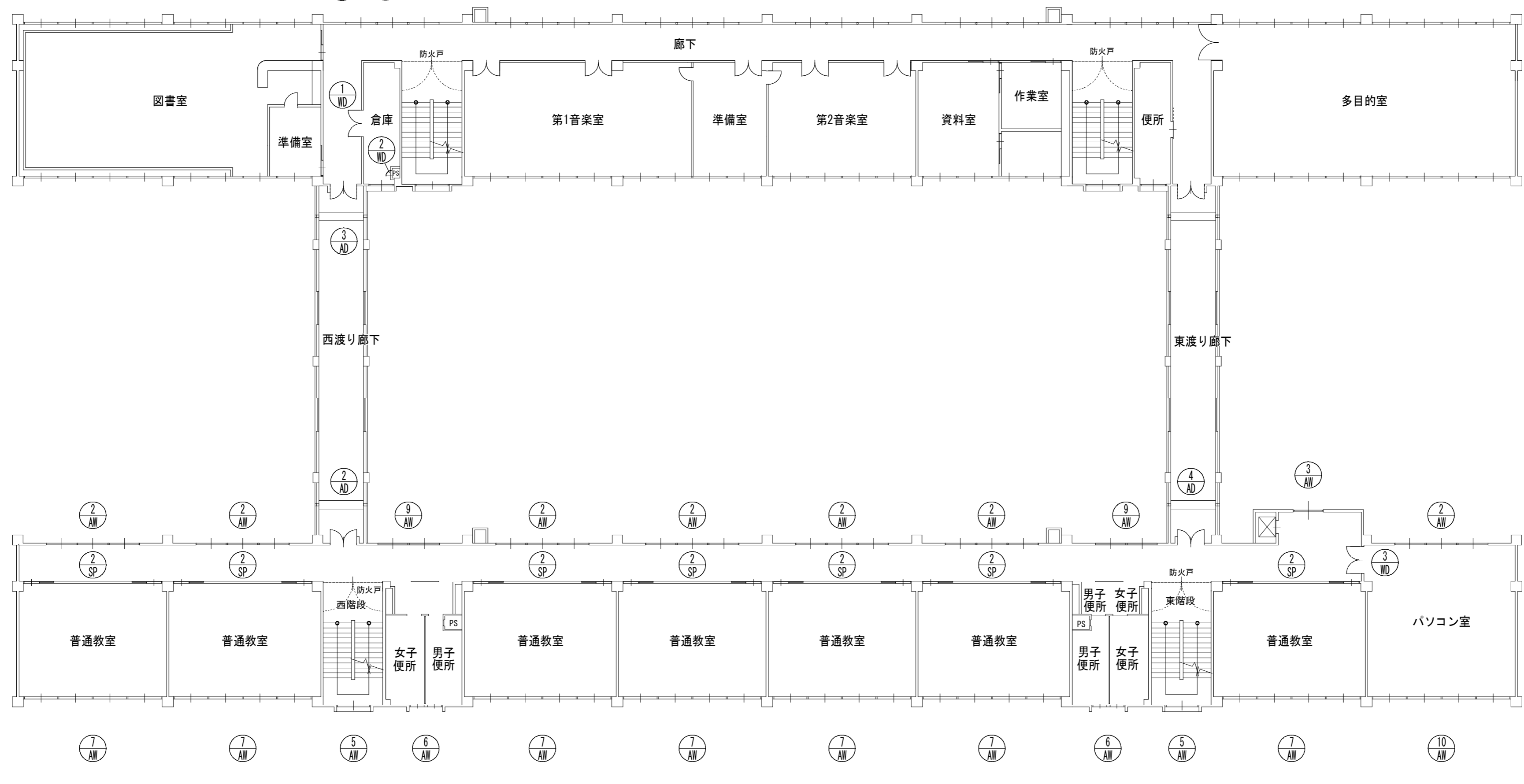
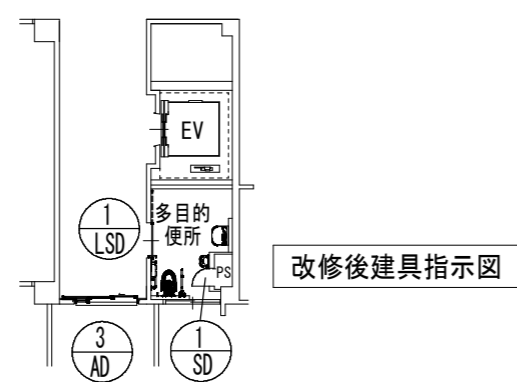
	工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>1階 建具キープラン</b> 縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date S=1/200	Check	No. A-62	合資会社 <b>重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
--	--	--	-------	-------------	---



2階建具キープラン S=1/200

	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	2階 建具キープラン		A-63	
		縮尺 / Scale 原図 : A2 S=1/200	日付 / Date		

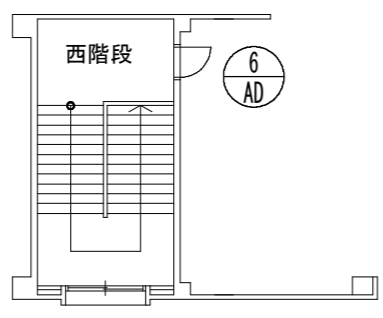




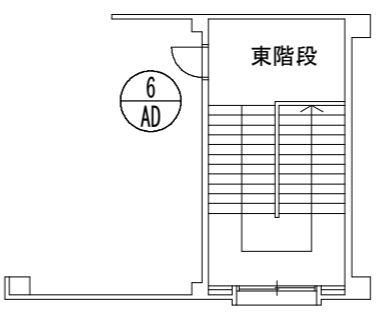
特別教室管理棟

普通教室棟

3階建具キープラン S=1/200



R階建具キープラン S=1/200



	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	 <b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	3階、R階 建具キープラン		A-64	
		縮尺 / Scale 原図 : A2 S=1/200	日付 / Date		

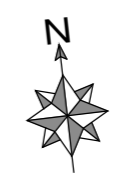
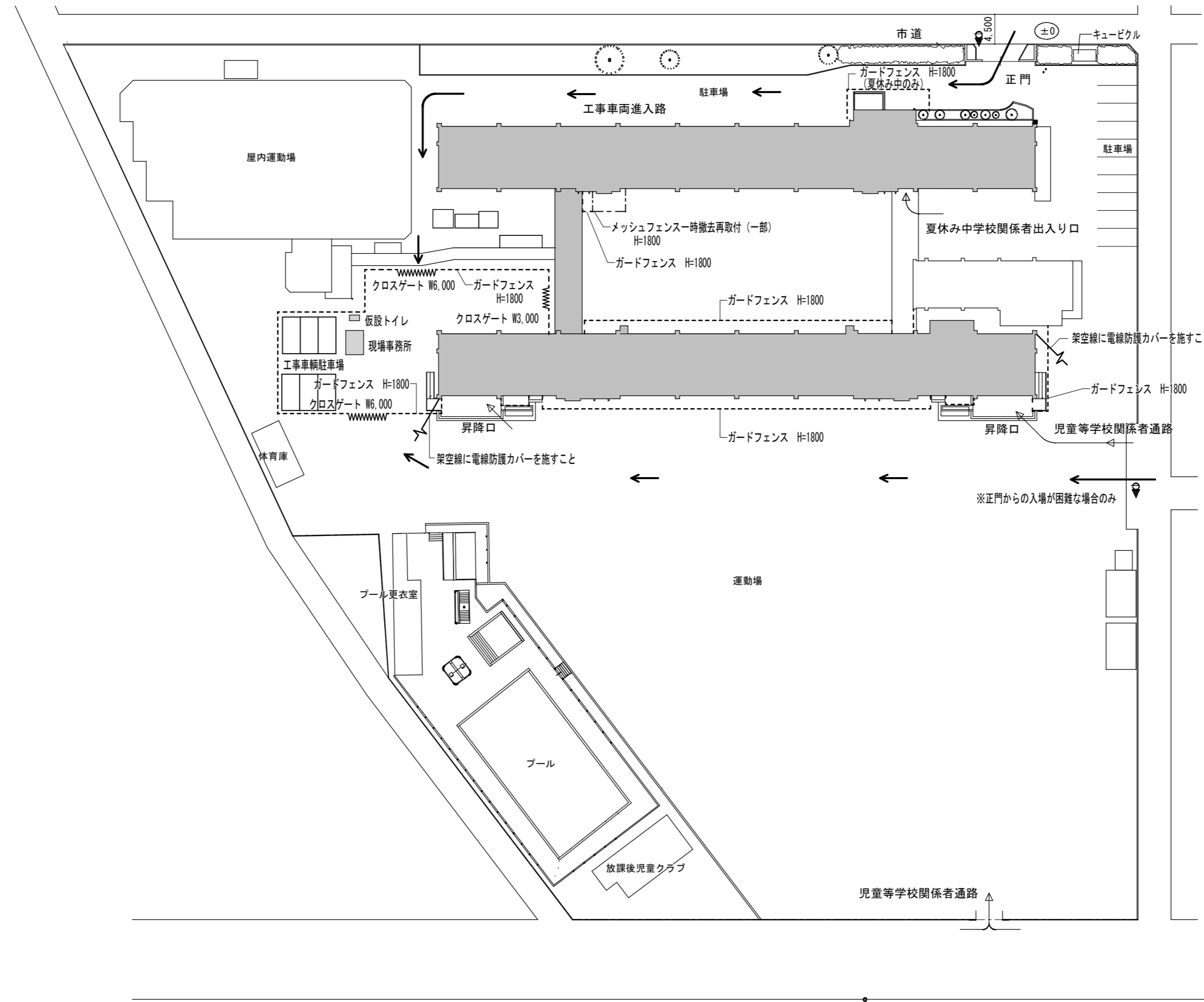
符 号・場 所	AW1	廊下	AW2	廊下・第2理科室	AW3	廊下	AW4	東昇降口	AW5	階段室	AW6	便所・倉庫	AW7	普通教室
種 別・数 量	引違い窓	8	引違い窓	16	引違い窓	4	開き戸付引違い窓	1	引違い窓	6	引違い窓	8	引違い窓	16
形 状														
材 質・見 込	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70
仕 上	アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理	
硝 子	透明ガラス5mm		透明ガラス5mm		透明ガラス5mm		透明ガラス5mm		学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm	
付属金物	クレセント、アルミ水切り		クレセント、アルミ水切り		クレセント、アルミ水切り		シリンダー錠付握り玉、ドアチェック、丁番、クレセントアルミ水切り		クレセント、アルミ水切り		クレセント、アルミ水切り		クレセント、アルミ水切り、アルミパネル	
改修内容	飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え		目隠しフィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え	
符 号・場 所	AW8	コミュニティ室	AW9	廊下	AW10	第2理科室 パソコン室	AW11	第2家庭室	AD4	東渡り廊下(1階-3階) 1階給食室連絡口				
種 別・数 量	引違い窓	1	引違い窓	4	引違い窓	2	引違い窓	1	両開き戸	3				
形 状														
材 質・見 込	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70				
仕 上	アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理		アルマイト処理					
硝 子	学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm		1階：学校用強化ガラス4mm 3階：透明ガラス5mm					
付属金物	クレセント、アルミ水切り、アルミパネル、換気扇		クレセント、アルミ水切り		クレセント、アルミ水切り、換気扇		クレセント、アルミ水切り、アルミパネル、換気扇		シリンダー錠、フロアーベンジ、フランス落し、押棒付属金物一式					
備 考	建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え		1階：建具周りシーリング打ち替え 3階：飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え					
符 号・場 所	SP1	PTAルーム	SP2	普通教室	SP3	保健室	SP4	家庭科室2						
種 別・数 量	スチールパーテーション	1	スチールパーテーション	17	スチールパーテーション	1	スチールパーテーション	1						
形 状														
材 質・見 込	スチール 障子アルミ 芯材ウレタン注入発砲	90	スチール 障子アルミ 芯材ウレタン注入発砲	90	スチール 障子アルミ 芯材ウレタン注入発砲	90	スチール 障子アルミ 芯材ウレタン注入発砲	90						
仕 上	粉体塗装		粉体塗装		粉体塗装		粉体塗装							
硝 子	ランマ部：透明3mm ドア部：透明ガラス5mm		ランマ部：透明3mm ドア部：透明ガラス5mm		ランマ部：透明3mm ドア部：透明ガラス5mm		ランマ部：透明3mm ドア部：透明ガラス5mm							
付属金物	引違用錠、戸車、クレセント、引手、他付属金物一式		引違用錠、戸車、クレセント、引手、他付属金物一式		引違用錠、戸車、クレセント、引手、他付属金物一式		引違用錠、戸車、クレセント、引手、他付属金物一式							
備 考	飛散防止フィルム貼り・掲示板クロス貼替え		飛散防止フィルム貼り・掲示板クロス貼替え		飛散防止フィルム貼り・掲示板クロス貼替え		飛散防止フィルム貼り・掲示板クロス貼替え							
符 号・場 所	WD3	AD5	PH	SD2	SD3	AW12	PTA室、保健室							
種 別・数 量	両開き戸	2	両開き戸	1	片開き戸	2	ランマ嵌め殺し窓付スチール戸	1	ランマ嵌め殺し窓付スチール戸	1	引違い窓	2		
形 状														
材 質・見 込	木製フラッシュ	36	アルミ製	70	アルミ製	70	スチール製 t=1.6	100(40)	スチール製 t=1.6	100(40)	アルミ製	70		
仕 上	ポリ合板フラッシュ		アルマイト処理		アルマイト処理		SOP		SOP		アルマイト処理			
硝 子	透明ガラス5mm		学校用強化ガラス4mm		透明ガラス5mm		学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm		学校用強化ガラス4mm			
付属金物	シリンダー錠付握り玉、ドアチェック、丁番、クレセント フランス落し		シリンダー錠付握り玉、ドアチェック、フランス落し 付属金物一式		シリンダー錠付握り玉、ドアチェック、丁番 付属金物一式		シリンダー錠、フロアーベンジ、フランス落し、押棒 付属金物一式		シリンダー錠、フロアーベンジ、フランス落し、押棒、付属金物一式		クレセント、アルミ水切り、アルミパネル、換気扇			
備 考	飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え		飛散防止フィルム貼り 建具周りシーリング打ち替え		枠・棧：下地調整の上SOP塗り 建具周りシーリング打ち替え		枠・棧：下地調整の上SOP塗り 建具周りシーリング打ち替え		建具周りシーリング打ち替え			

工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.
津市立修成小学校長寿命化改修工事	建具表 (1) (改修前・改修後)		A-65
縮尺 / Scale 原図 : A2	日付 / Date		
S=1/100			


**重企建築事務所**  
 Jyuki Architectural Design Office  
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号  
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

改修前 建具表 S=1/50												
符号・場所	① AD 職員玄関				② AD 1階・3階西渡廊下(普通教室棟)		③ AD 1階・3階西渡廊下(特別教室棟)		① WD 1~3階 倉庫(特別教室棟)		② WD 倉庫内PS	
形状												
種別・数量	アルミ製両開き扉+はめ殺し窓+片開き窓 1				アルミ製両開き扉 2		アルミ製両開き扉 2		木製量開きフラッシュ戸 3		木製量開きフラッシュ戸 3	
仕上げ・見込み	アルミ (アルマイト処理) 100				アルミ (アルマイト処理) 70		アルミ (アルマイト処理) 70		合板貼りSOP 36		合板貼りSOP 36	
硝子	学校用強化ガラス t=4.0				学校用強化ガラス t=4.0		学校用強化ガラス t=4.0					
付属金物	シリンダー錠、フローアヒンジ、フランス落し、押棒、レバー、付属金物一式				シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、スリル押棒 付属金物一式		シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、スリル押棒 付属金物一式		シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、付属金物		T番	
備考					撤去 (枠含む)		撤去 (枠含む)		撤去		撤去	

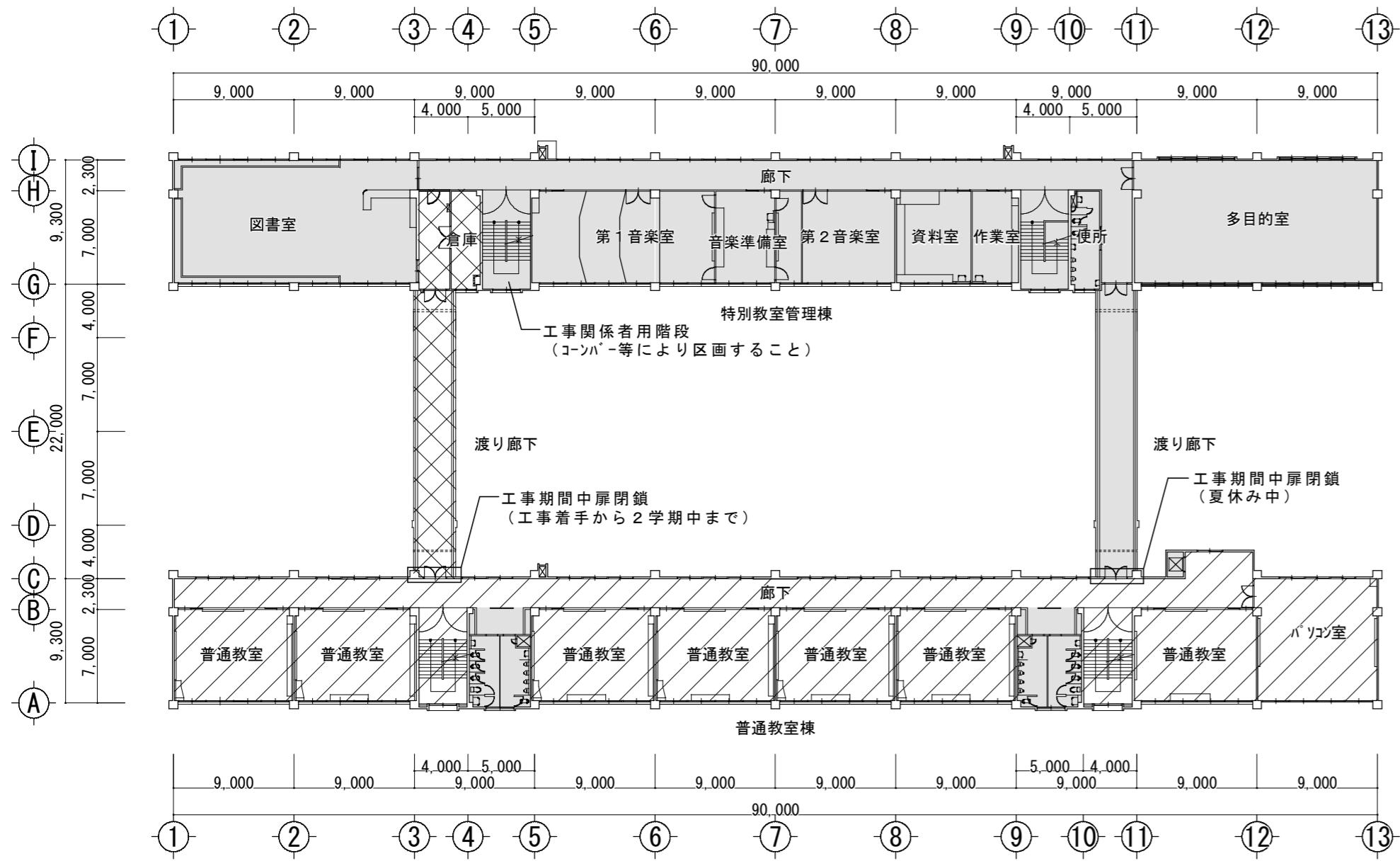
改修後 建具表 S=1/50												
符号・場所	① AD 職員玄関				② AD 1階・3階西渡廊下(普通教室棟)		③ AD 1階・3階西渡廊下(特別教室棟)		① LSD 1~3階 多目的便所(特別教室棟)		① SD 多目的便所内PS	
形状												
種別・数量	ガラス・袖付殺し付両開き戸 1				アルミ製両引分框ハンガー戸 2		アルミ製2枚建てハンガー片引き框戸 2		片引きハンガードア 3		スチール製点検扉 (溶融垂鉛メッキ鋼板) 3	
仕上げ	7M3(着色) 100				アルミ (着色) 100		アルミ (着色) 100		枠: 焼付塗装 扉: 化粧鋼板 80		枠: 電着塗装 扉: 電着塗装 60	
硝子	学校用強化ガラス t=4.0				学校用強化ガラス t=4.0		学校用強化ガラス t=4.0		学校用強化ガラス t=4.0			
付属金物	ハンガーレール、シリンダー錠、押棒(スリルL=600)、付属金物一式				シリンダー本締り錠、スリル押棒、7M3額縁、腰7M3ハネ t=2.0		シリンダー本締り錠、スリル押棒、7M3額縁、腰7M3ハネ t=2.0		ステンレス取手、自閉式ハンガーレール、ガイドレール内締り表示錠(非常開放装置付き)、付属金物一式		平面ハンドル、ピボットヒンジ、自閉式スプリングT番本締錠	
備考	カバー工法				新規		新規		新規		新規	



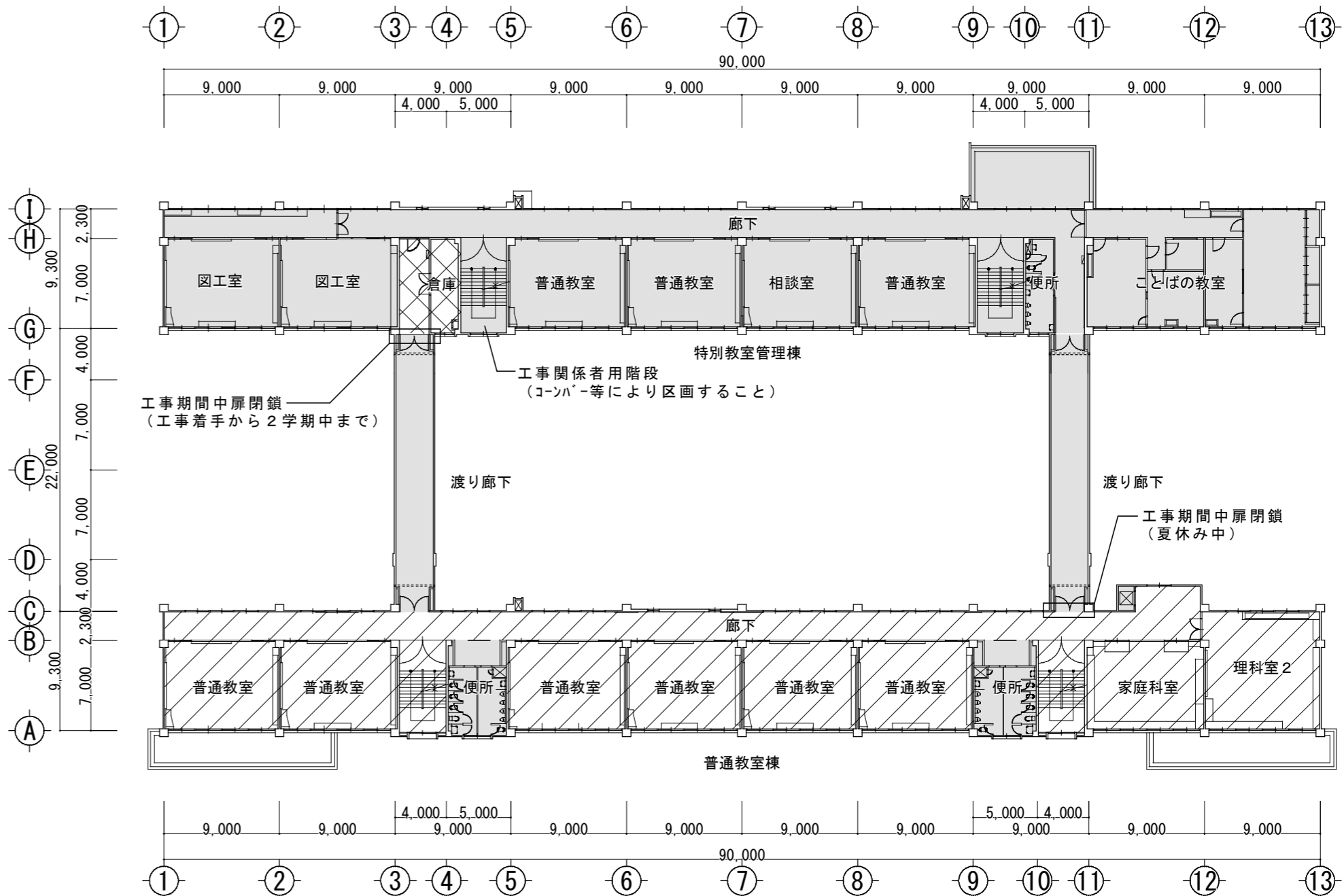
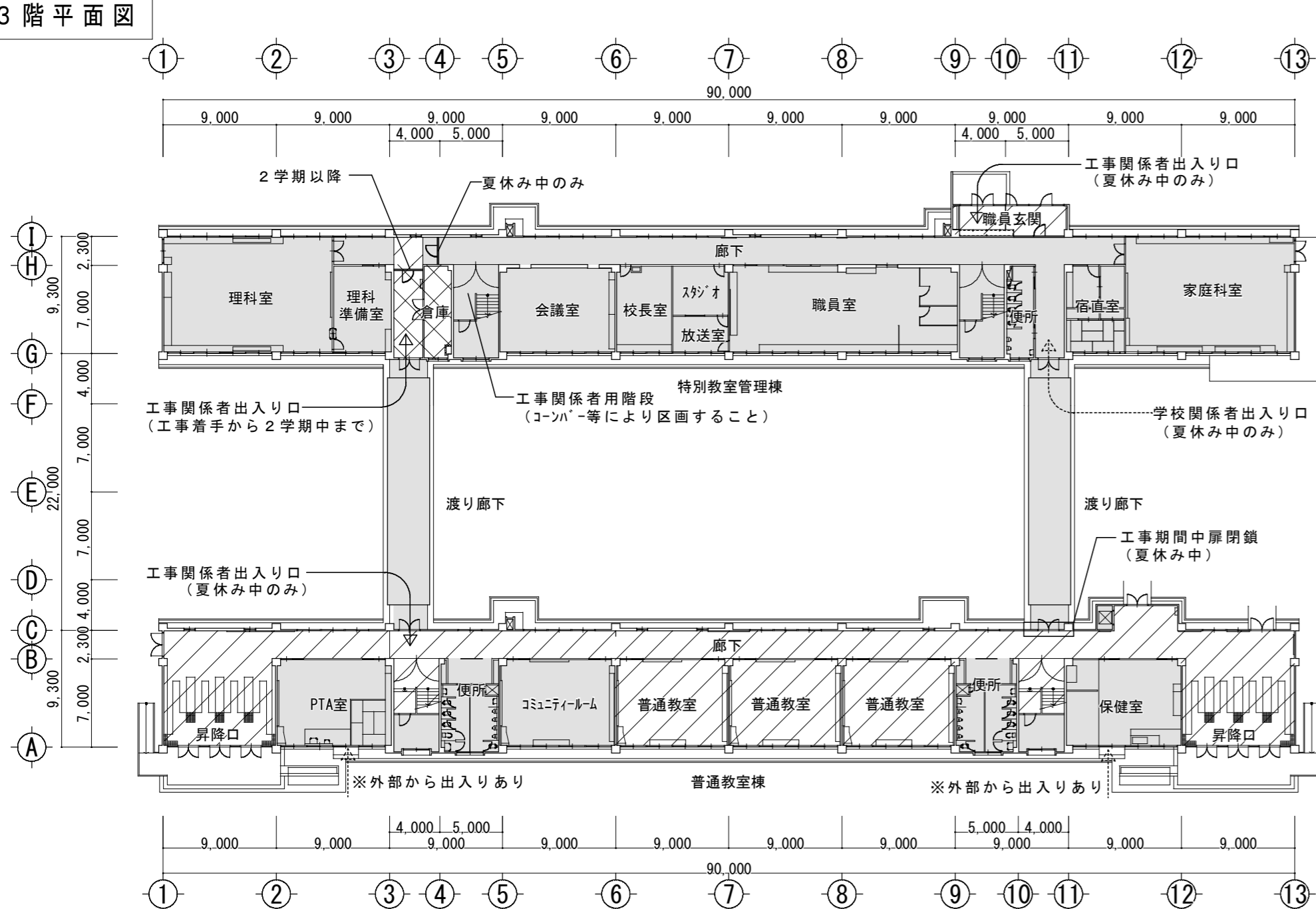
- 凡例
- : 仮囲い(ガードフェンスH1,800)
  - MMMMM : クロスゲートW6,000
  - 📍 : 交通誘導警備員(作業日常駐)
  - ← : 工事車両進入路
  - ⇐ : 児童等学校関係者通路
- ※架空線については保護管にて保護すること

仮設計画図 S=1/600  : 改修対象建物を示す

	工事名 / Title <b>津市立修成小学校長寿命化改修工事</b>	図面種別 / Drawing <b>外部仮設計画図 [参考]</b>	Check	No. A-67	 <b>合資会社 重企建築事務所</b> Jyuki Architectural Design Office <small>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</small>
		縮尺 / Scale 原図: A2 S=1/600			
		日付 / Date			



- 凡例
- : 工事施工範囲外を示す
  - ▨ : 2学期までに引き渡す範囲を示す
  - ▧ : 3学期までに引き渡す範囲を示す
  - ┌──┐ : 仮間仕切壁 (LGS下地 PBT=9.5片面 7mm製ドア付き)
  - ┌──┐ : 学校関係者出入口 (夏休み中のみ)
  - ┌──┐ : 工事関係者出入口



	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	株式会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立修成小学校長寿命化改修工事	内部仮設計画図 [参考]		A-68	
		縮尺 / Scale 原図:A2 日付 / Date S=1/400			